矢谷博文教授
退任記念業績集

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
インプラント再生補綴学分野

大阪大学大学院歯学研究科
顎口腔機能再建学講座
クラウンブリッジ補綴学分野

矢谷博文教授

目　　次

ご挨拶　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
略　歴　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3
主な学術的活動　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5
主な社会的活動　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7
主な国内外の功績・功労賞　・・・・・・・・・・・・　9
ご祝辞　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11
英語論文・日本語論文・著書　・・・・・・・・・　111
知的財産権（特許）　・・・・・・・・・・・・・　165
学位取得者　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　169
研究経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　183
思い出の写真　・・・・・・・・・・・・・・・・・　205
主な学内・学外役職　・・・・・・・・・・・・・・　227
講演・発表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　241
診療実績　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　411

1) 目次の項目をクリックすると、そのページへジャンプします。
2) 各ページの下部をクリックすると、目次に戻ります。

ご挨拶

2020年3月末日にて大阪大学大学院歯学研究科口腔科学専攻顎口腔機能再建学講座クラウンブリッジ補綴学分野教授を65歳で定年退職しました。私は、1980年に大阪大学歯学部を卒業し、その後、縁あって広島大学歯学部大学院（歯科補綴学第2教室、主任山田早苗教授）に進学しました。まもなくして山田教授が突然に教授を辞任され、濱田泰三助教授が教授に昇任されました。その後、大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室（現在の私の所属教室）の教授選をめぐる濱田先生と丸山剛郎助教授（私どもの教室の前任教授）のごたごたや私の研究を指導していただいていた川添和幸講師の突然の退職などにより大変苦労して大学院生活を終え、助手として臨床ライターを1年間務めた後、1985年に講師として岡山大学歯学部歯科補綴学第一講座（主任山下　敦教授）に赴任しました。1987年に助教授に昇任した後、13年間にも及ぶ助教授時代を経て2000年にようやく教授に昇任しました。2003年に機会があって大阪大学大学院歯学研究科歯科補綴学第一教室に移り、以来17年間を教授として教室を切り盛りして参りました。その間、いろいろな出来事がありましたが、この3月になんとか無事に定年を迎えることができましたことに安堵いたしております。ただ、未曽有のコロナ禍により最終講義、退官記念講演、退官祝賀会がすべて中止になってしまったことは、残念でなりません。それらの場におきましてこれまでお世話になった方々にお礼を申し上げる心づもりでおりましたが、それも叶わなくなり、大変に失礼をしておりますことをお許しください。

岡山大学時代の3年間と大阪大学時代の17年間、合わせてちょうど20年間の教授在任期間でしたが、岡山大学、大阪大学それぞれの教室員や同門の先生方の絶大な協力を得て、大きないざこざもなく、思う存分教室運営ができましたことは、本当に幸運であったとしか言いようがありません。

教授在任中は、教育、臨床、研究の3本柱のいずれにも全力で取り組んでまいりました。岡山大学、大阪大学を通じて103名もの博士号取得者を輩出できたことは私の大きな誇りです。特に研究に関しては、受賞につながった学会発表や論文も多く、恥じることのない研究業績を残すことができたのではないかと自負しております。学会発表や研究論文、研究助成や特許の獲得状況などの研究業績についてはもれなくまとめてありますのでご覧いただければと思います。個人的には、日本補綴歯科学会理事長、日本接着歯学会理事長を拝命し、存分に学会活動をやらせていただいたことはよき思い出です。また、大阪大学歯学部の長い歴史の中で初めて歯科医師国家試験問題作成委員会委員長や歯科医師国家試験出題基準改定部会部会長を務めさせていただいたこともとてもよい

経験になりました。これら長年にわたって教室員とともに積み重ねた仕事に高い評価を頂いたことが、日本補綴歯科学会学術賞、大阪大学総長顕彰、および歯科界最大の顕彰であると言われる日本歯科医学会会長賞（研究部門）の受賞につながったのではないかと思っております。これもひとえに教室に在籍し、同じ目標に向かって精進してきた多くの先生方のお蔭と心より感謝いたします。

振り返りますと、博士号を取得してしばらく教室に奉公したら郷里に戻って開業医の父の後を継ぐはずであった自分が、今このようにして退官記念業績集の挨拶文をしたためていることに、人生の不思議さを感じざるを得ません。一体何がこれまで私に大学人としての人生を歩ませたのかを考えてみますと、大きかったのは人との出会いにあったに違いないと思っています。未熟であった私を育てていただいた本当に多くの諸先輩の先生方、会う度に刺激を受け、そして固い友情の絆を結ぶことのできた同輩の先生方、また私を慕っていただき、時には叱咤激励もしていただいた優秀な後輩の先生方、これらの多くの先生方と出会い、教育、臨床、研究の楽しさや尊さを実感するうちに大学人として生きていくことに意義を見出していったのではないかと思います。私の人生に大きい影響を与えたこれらの先生方の多くはこの業績集に一文を添えていただいており、そのことも兼ねまして、深謝申し上げます。そして最後にずっと私を支えてくれた家内を始め家族の皆に心から感謝し、挨拶といたします。

大阪大学名誉教授　矢谷博文

略 歴

矢谷博文　　昭和２９年１２月２８日生

学　歴

大阪大学歯学部　　昭和 55 年 3 月 31 日　卒業
広島大学大学院歯学部　　昭和 59 年 3 月 31 日 単位修得退学

学　位

歯学博士
授 与 大 学：広島大学
授与年月日：昭和 60 年 5 月１６日
論　文　名：顎機能障害患者の咀嚼筋筋疲労に関する筋電図学的研究

職　歴

昭和 59 年 4 月　広島大学歯学部附属病院助手
昭和 60 年 4 月　岡山大学歯学部附属病院講師
昭和 62 年 4 月　岡山大学歯学部助教授
平成　8 年 6 月　文部省在外研究員にて米国ケンタッキー大学歯学部 Orofacial Pain Center に留学（在米期間平成 7 年 11 月～平成 9 年 7 月）
平成 11 年 4 月　岡山大学医療技術短期大学看護学科講師併任
平成 12 年 4 月　岡山大学歯学部教授
平成 13 年 4 月　岡山大学大学院医歯学総合研究科教授
平成 14 年 4 月　岡山大学歯学部附属病院副病院長（～平成 15 年 3 月）
平成 14 年 4 月　非常勤講師（大阪大学歯学部）（～平成 15 年 3 月）
平成 14 年 4 月　非常勤講師（福岡歯科大学）（～平成 17 年 3 月）
平成 15 年 4 月　大阪大学大学院歯学研究科教授
平成 16 年 4 月　非常勤講師（広島大学）（～平成 29 年 3 月）
平成 17 年 4 月　大阪大学歯学部附属歯科技工士学校長（～平成 18 年 3 月）
平成 18 年 4 月　大阪大学歯学部附属病院副病院長（～平成 20 年 3 月）

平成 20 年 4 月　非常勤講師（九州大学）（～令和 2 年）
平成 21 年 4 月　大阪大学歯学研究科副研究科長（～平成 22 年 3 月）
平成 22 年 4 月　大阪大学歯学部附属歯科技工士学校長（～平成 24 年 3 月）
平成 24 年 4 月　大阪大学研究教育評議会評議員（～平成 26 年 3 月まで）
平成 24 年 4 月　非常勤講師（長崎大学）（～平成 26 年 3 月）
平成 26 年 4 月　非常勤講師（徳島大学）（～令和 2 年 3 月）
平成 26 年 4 月　非常勤講師（鶴見大学歯学部）（～令和 2 年 3 月）
平成 26 年 10 月 非常勤講師（東北大学）（～令和 2 年 3 月）

研究歴

昭和 59 年　4 月 ～ 昭和 60 年　3 月　広島大学歯学部附属病院助手
昭和 60 年　4 月 ～ 昭和 62 年　3 月　岡山大学歯学部附属病院講師
昭和 62 年　4 月 ～ 平成 12 年　3 月　岡山大学歯学部助教授
平成　7 年 11 月 ～ 平成　8 年　5 月　米国ケンタッキー大学歯学部 Orofacial Pain Center に出張
平成　8 年　6 月 ～ 平成　9 年　3 月　米国ケンタッキー大学歯学部 Orofacial Pain Center に留学（文部省在外研究員）
平成　9 年　4 月 ～ 平成　9 年　7 月　米国ケンタッキー大学歯学部 Orofacial Pain Center に出張
平成 11 年　4 月 ～ 平成 12 年　3 月　岡山大学医療技術短期大学部看護学科講師併任
平成 12 年　4 月 ～ 平成 13 年　3 月　岡山大学歯学部教授
平成 13 年　4 月 ～ 平成 15 年　3 月　岡山大学大学院医歯学総合研究科教授
平成 15 年　4 月 ～ 令和　2 年　3 月　大阪大学大学院歯学研究科教授
令和　2 年　4 月　大阪大学名誉教授

主な学術的活動

1. 大阪大学

大阪大学歯学会副会長（平成 19 年～平成 23 年）として、歯学部の研究の発展に尽力した。

2. 日本歯科医師会

日歯生涯研修ライブラリーの研修ビデオの作成（平成 23 年度　エビデンスに基づいた顎関節症の診断と治療の進め方)、全国の都道府県や郡・市の歯科医師会主催学術講演会における多数の講演、社会保険指導者講習会（平成 20 年度）における講演、日本歯科医師会雑誌への論文掲載等を通じて、日本歯科医師会会員の歯科臨床技術の向上に尽力した。

3. 日本歯科医学会

学術講演会（平成 19 年度、2 回）の講師を務めるとともに日本歯科医学会英文雑誌 Japan Dental Science Review の Associate Editor（平成 26 年～ 27 年）として論文の編集に携わるとともに論文投稿を行った。

4. 日本歯学系学会協議会

理事（平成 24 年～平成 26 年)、常任理事（平成 26 年～平成 30 年）として講演会や公開シンポジウムの企画、運営に携わり、歯学の価値を国民に広く知っていただくべく種々の政策提言を行った。

5. 日本補綴歯科学会

理事長（平成 25 年～平成 27 年)、副理事長、理事ならびに各種委員会の委員長・委員を歴任し、数多くの学術的活動を行った。具体的には、市民フォーラムや生涯学習公開セミナーの充実を図るとともに、英文誌 JPR の国際化と質の向上（インパクトファクターの獲得として結実)、若手のための新規学術講演会（補綴歯科臨床研鑽会）の開催、ガイドラインの作成、教育用ビデオの作成、学会主導大型臨床疫学研究の企画と実行､欧米､アジアの補綴歯科学会との交流協定締結や共催学会の開催、歯科補綴学用語集の改訂などを行い､健康科学･生活科学としての歯科補綴学の主導、補綴歯科臨床の発展、ならびに国際交流の促進に尽力した。

6. 日本顎関節学会

常任理事、理事ならびに各種委員会の委員長、委員を歴任し、特に病態分類委員会の委員長として学会の骨格をなす顎関節症の病態分類とその診断基準の改定を行った。また、編集委員として教科書として位置付けられる顎関節症に関する書籍の改訂版（新編顎関節症改訂版、平成 30 年）の発刊に深く関わった。さらに用語検討委員会委員長として、学会で初めて解説付きの日本顎関節学会学術用語集（平成 29 年）を編纂、発刊した。これらの専門領域の学術活動を通じて国民の健康と福祉の増進に貢献した。

7. 日本口腔顔面痛学会

副理事長、理事、委員長を歴任し、ガイドライン委員会委員長として非歯原性歯痛のガイドライン（Minds に掲載）を作成し、またガイドブック委員会委員長として口腔顔面痛の診断と治療のガイドブック第 2 版を編纂、発刊し、口腔顔面痛の臨床の発展に寄与した。

8. 日本接着歯学会

理事長（平成 28 年～平成 30 年）、常任理事、理事、各種委員会委員長・委員を務め、接着歯学ならびに接着歯科臨床の発展、普及・定着に尽力した。特に、臨床研究委員会委員長としてレジン修復に関する多施設前向きコホート研究 (J-REFIT) を企画、実施するとともに接着歯学第 1 版（平成 14 年）、2 版（平成 27 年）への寄稿、日本接着歯学会設立 35 周年記念誌の編纂などを行った。

9. 日本顎口腔機能学会

理事・ガイドライン作成委員会委員長として固定性義歯装着者の機能評価のガイドラインを作成し、国民への良質な固定性義歯治療の提供に貢献した。

10. International College of Prosthodontists

日本人唯一の Board of Councilors（平成 25 年～平成 29 年）として学会の学術活動の企画、運営に携わるとともに、わが国におけるより高度な補綴歯科治療の普及に努めた。

主な社会的活動

1. 日本学術会議連携会員（平成 18 年～令和 2 年）

2. 歯科医師試験委員（平成 16 年～平成 27 年)、このうち平成 22 年度～平成 24 年度はブラッシュアップ委員会副委員長、平成 25 年度は第 107 回歯科医師国家試験問題作成委員会副委員長、平成 26 年度は第 108 回歯科医師国家試験問題作成委員会委員長を務めた。

3. 医道審議会専門委員（歯科医師分科会委員）（平成 20 年～平成 31 年）
   平成 29 年度、30 年度は歯科医師国家試験制度改善検討部会長代理として KV 部会の部会長を務めた。

4. 医道審議会歯科医師分科会国家試験出題基準改定部会（平成 24 年～平成 29 年）
   平成 24 年～平成 26 年は委員として歯科医師国家試験出題基準平成 26 年度版の策定に協力し、平成 28 年～平成 30 年は部会長として歯科医師国家試験出題基準平成 30 年度版を取りまとめた。

5. 日本歯科医学会（平成 18 年～平成 29 年）
   理事（平成 25 年～平成 29 年）
   評議員（平成 19 年～平成 20 年，平成 23 年～平成 24 年）
   学術研究委員会委員（平成 21 年～平成 23 年）
   専門医制協議会委員（平成 22 年）
   英文雑誌編集委員（平成 26 年～平成 27 年）
   有床義歯の調整・指導及びブリッジの適応症と設計ならびにリベースのガイドライン改訂検討部会委員（平成 18 年～平成 19 年）
   「歯科疾患の総合的管理及び高齢者の口腔機能評価にかかわる基本的考え方」に関する検討会委員（平成 19 年～平成 20 年）
   顎関節症の補綴学的治療の指針策定 WG 委員（委員長）（平成 20 年～平成 21 年）

6. 社団法人日本歯科医師会疑義解釈委員会委員（平成 18 年～平成 21 年）

7. 社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構歯学系 OSCE 実施小委員会・事後評価解析小委員会 FD 専門部会委員（平成 16 年～平成 24 年）

8. 岡山県社会保険診療報酬請求書審査委員会審査委員（平成 6 年～平成 7 年、平成 13 年～平成 15 年）

9. 社団法人大阪府歯科医師会夜間緊急歯科診療プロジェクト委員

10. 大阪府歯科技工士試験委員（平成 15 年～平成 16 年）

11. 厚生労働省「国際標準歯科インプラント材料の有効性および安全性評価に関する研究」研究班員（平成 27 年～平成 29 年）

主な国内外の功績・功労賞

平成 15 年　The 10th Biannual Meeting of International College of Prosthodontists (Halifax) にて Key Note Speaker として講演。講演タイトル “Minimal Invasive Bridge Work –Pin Bridge”

平成 19 年　日本補綴歯科学会副理事長として Indian Prosthodontic Society と学術交流協定締結

平成 23 年　The 14th Biennial Meeting of International College of Prosthodontists (Hawaii) にて Key Note Speaker として講演。講演タイトル “Adhesive Dental Cements”

平成 24 年　The 8th Biennial Meeting of the Asian Academy of Prosthodontics (Chennai) の Invited Speaker として講演。講演タイトル “Resin-bonded Fixed Partial Denture: Minimally Invasive Prosthesis.”

平成 25 年　Colloquium on Oral Rehabilitation China 2013 (Beijing) の Invited Speaker として講演。講演タイトル “Fixed Prosthodontic rehabilitation of Oral Function.”

平成 26 年　日本補綴歯科学会理事長として Indonesian Prosthodontic Society と学術交流協定締結するとともに Indonesian Prosthodontic Society and Japan Prosthodontic Society Joint Congress を Co-president として開催

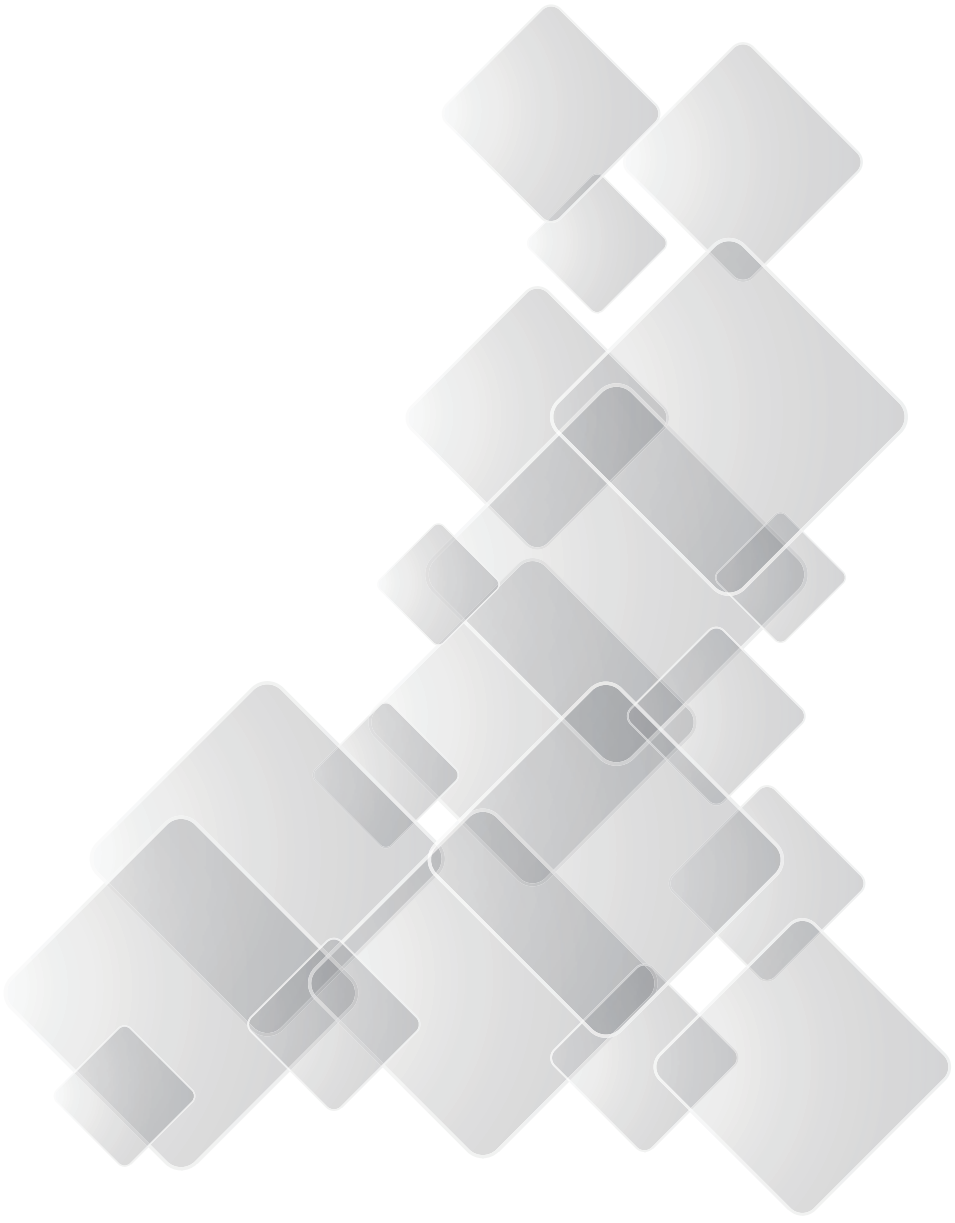
平成 26 年　大阪大学総長顕彰（研究部門）を受賞

平成 27 年　日中韓 3 か国補綴歯科学会 (2015 Biannual Joint Congress of JPS-CPS-KAP)（箱根）を大会長として開催

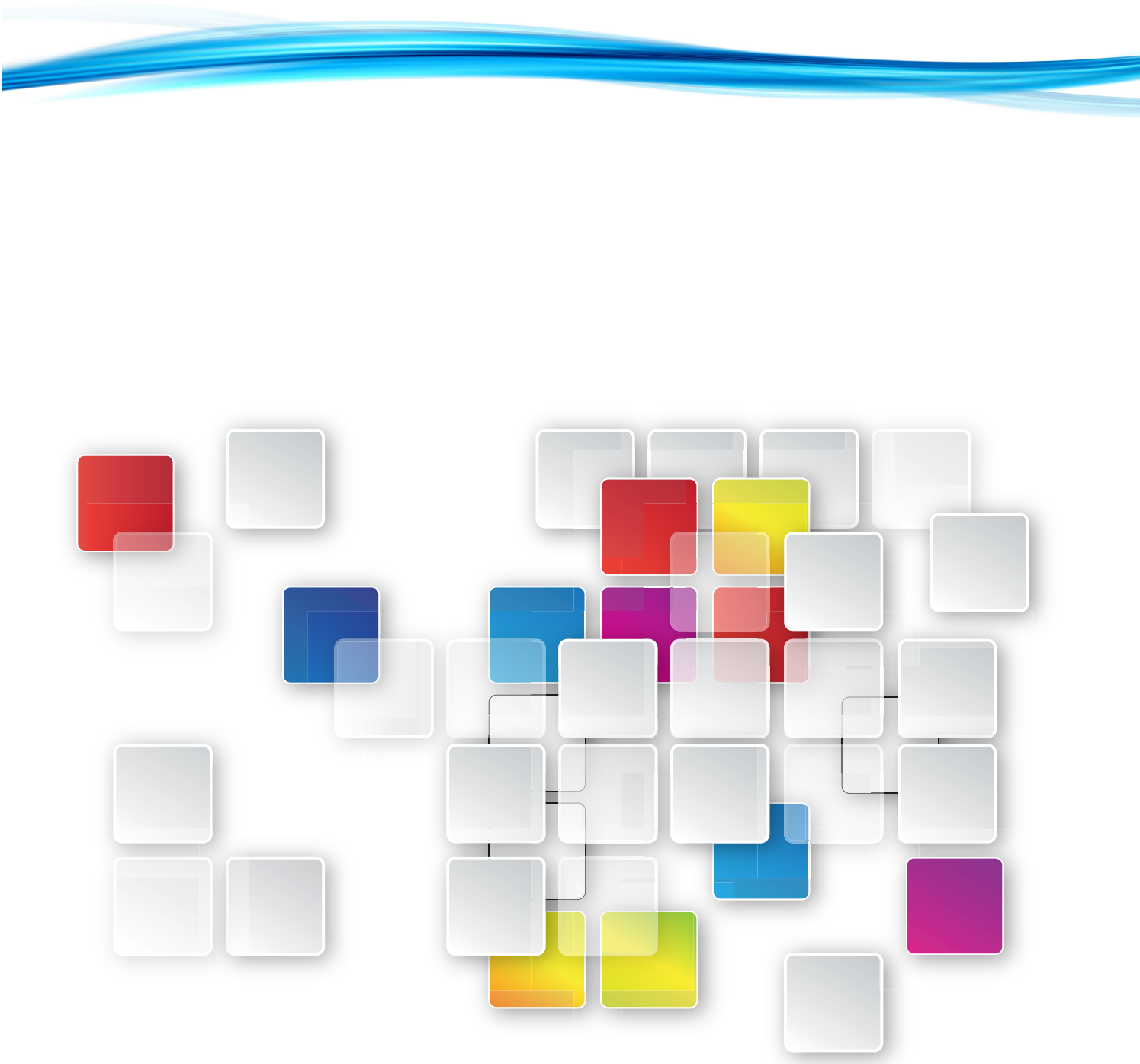
平成 27 年　日本補綴歯科学会理事長として Pacific Coast Society for Prosthodontics と学術交流協定締結

平成 30 年　平成 29 年度 公益社団法人日本歯科補綴学会学術賞を受賞

令和　2 年　令和元年度 日本歯科医学会会長賞（研究部門）受賞



ご祝辞



To Professor Hirofumi Yatani

College of Dentistry Provost's Distinguished Service Professor
Founder, Orofacial Pain Program
University of Kentucky Lexington, Kentucky USA
Professor and Dean **Jeffrey P. Okeson**

I would like to sincerely congratulate Professor Hirofumi Yatani on his well-deserved retirement. I have had the true pleasure of knowing Professor Yatani for more than twenty-five years. I was very privileged to have him as one of my full-time residents in our orofacial pain program between the years of 1995 and 1997. Dr. Yatani was a joy to have in our program. His intellect, motivation and kindness were outstanding, and he became a wonderful colleague, peer and friend. Our entire orofacial pain faculty, staff and residents quickly bonded to Hiro and Noriko. He had a strong interest in research and spent many hours working in our clinic. I feel very certain that he has left a wonderful legacy in the Department of Fixed Prosthodontics at Osaka University. I have always known him as an outstanding leader and teacher. I am so pleased to hear that he is now practicing the discipline of prosthodontics because I know of his skills and how much he will help many patients.

I will never forget the day that he, Noriko and their boys arrived in Lexington after a slight delay to another city. It was a special privilege for me to meet them at the airport. My wife, Barbara and I have had the privilege of meeting with him and Noriko several times in Japan and they have always been outstanding hosts.

Barbara and I wish you and Noriko much success and happiness as you enter this phase of your life. We consider you both our dear friends. We have been blessed to know you and share many wonderful experiences together. Thank you for coming to Lexington and for being a part of our orofacial pain residency program. We wish you both wonderful health and many more years of happiness. Please stay in touch.

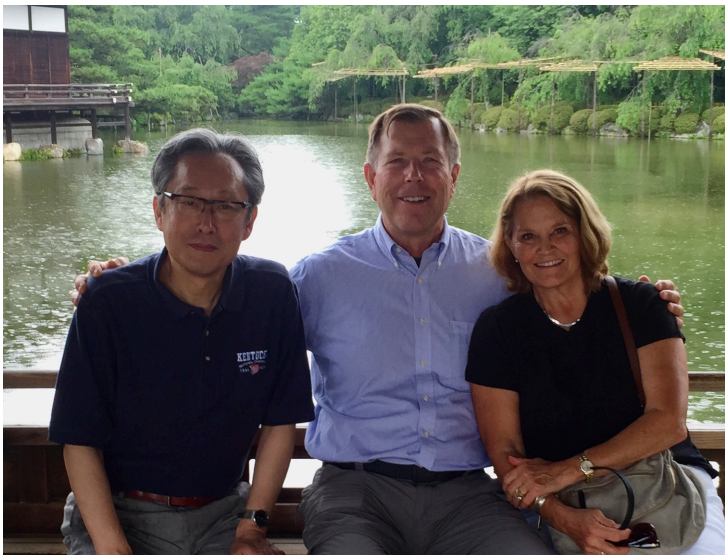
To Professor Hirofumi Yatani

Professor Emeritus of Psychology and Dentistry
University of Kentucky

Charles R. Carlson

It is my great honor to write this essay commemorating the life and work of Professor Hirofumi Yatani who is now retiring from Osaka University. I first met Professor Yatani when he and his family traveled to Lexington, Kentucky, USA, to study with Dr. Jeffrey Okeson, DMD, at the Orofacial Pain Clinic in the College of Dentistry at the University of Kentucky. I was the Director of Research at the Clinic and Professor Yatani expressed interest in conducting research during his time with us. He focused his work on understanding the relationship between sleep quality and clinical and psychological characteristics in patients experiencing temporomandibular disorders. This work was later published in the premier journal for orofacial pain research, The Journal of Orofacial Pain, and has been a foundational paper for scientists and clinicians to build our understanding of how sleep patterns influence clinical outcomes in persons with facial pain conditions. Professor Yatani's work in this area highlighted the importance of targeting sleep quality as a key area for health providers, particularly dentists, to address in their treatment protocols for orofacial pain conditions. More recent work at the National Institute for Dental and Craniofacial Research has affirmed the findings of Professor Yatani that sleep quality should be taken into account when managing patients with orofacial pain. It was my privilege to help Professor Yatani develop and carry to completion the original study on sleep issues and orofacial pain. It has been gratifying to observe the very successful career of Professor Yatani. I have had the oppoertunity of visiting firsthand the Universities where he has served as an outstanding Professor as well as a warm and hospitable host to me in your wonderful country. My sincere congratulations to my friend and colleague, Professor Hirofumi Yatani, on completing a magnificent career.

Charley
Cindy
Hiro



Congratulations on Professor Hirofumi Yatani's retirement

School of Dentistry, Seoul National University
Co-President of International College of Prosthodontists

Professor and Dean **Jung-Suk Han**

It is my great honor and privilege to write this message for the commemorative book dedicated to Professor Yatani. I met him in many international scientific meetings including Japan Prosthodontic Society (JPS), Korean Academy of Prosthodontics (KAP), International College of Prosthodontists (ICP), and Asian Academy of Prosthodontics (AAP), etc. At the same time, we share our friendship, knowledge, and research topics for the development of Prosthodontics.

Especially I was impressed and fascinated by his leadership and passion at the ICP Board meetings as well as Asian meetings internationally. He worked as a bridge and dedicated himself to communicating with every prosthodontist from all over the world.

He is an eminent clinician, researcher, and mentor to all his colleagues and students throughout his professional life. Personally, he and I are very close friends and inspired each other in every aspect. Of course, his lovely wife Noriko and my wife Keoung-Hwa became like sisters for a long time.

Even though he retired from Osaka University, his footsteps will remain forever in the mind of successors and many friends. He staretd a new career as a clinician however his contribution to dentistry will last in other forms at the same time. I hope to lifelong work with Prof. Yatani and Japanese colleagues for young students and dentists. Do not forget that Prof. Yatani started new projects and many things to do in the near future!

Once again, congratulate his retirement and enjoy a healthy and happy life with his family.

Congratulatory message for the Healthy Retirement of Professor Hirofumi Yatani

Professor Emeritus, Korea University, Seoul

Sang Wan Shin

We are all sure that Professor Yatani has made the great achievements in prosthodontic education and research worldwide.

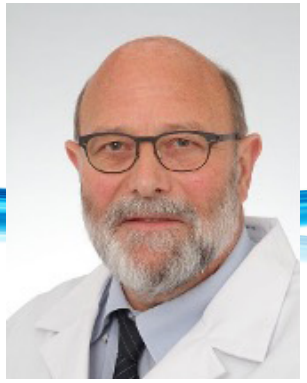
He and I have been working together from the beginning of the development of Asian Society in Prosthodotics (Asian Academy of Prosthodotics; AAP) and Implantology (Asian Academy of Osseointegration; AAO) for more than twenty years.

In addition, we have served as Councilors (Board member) of the International College of Prosthodontists (ICP) for many years and have been working rather closely to strengthen the prosthodontic society and specialty in Asia and Worldwide.

From what I understand, he has been practicing in a private dental clinic after retirement. I hope he continues to work as a clinical prosthodontist for his patients long.

I hope that Professor Yatani goes on healthy and happy with his family.
All the best for the next chapter of his life!

Tribute to Prof. Hirofumi Yatani



Department of Oral and Maxillofacial Surgery, School of Dentistry, Oral Pathology and Maxillofacial Surgery, Catholic University of Leuven, Belgium

Antoon De Laat

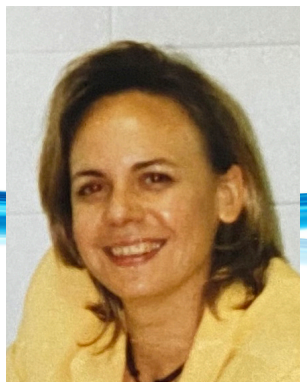
Dear Hiro,

I think the first time we met was during one of the many meetings of the Store Kro Club, the Society of Oral Physiology. You have been for many years a very faithful member and attendee of these meetings, and your contribution to the scientific exchange and your help as Japanese National Representative always have been highly appreciated. But not only in this Society, also in many other associations, you have played an instrumental role : the Academies of Orofacial Pain and Craniomandibular Dysfunction, the IADR, the European Prosthodontic Association and the International College of Prosthodontics… all could count on your wise input and efforts – like the many societies in your home country. One of the occasions that I had the opportunity during my numerous travels to Japan, to visit you in your "natural environment" in Osaka, I was amazed by the efficiency of the organization of your department and the enormous amount of work that your team did under your guidance. During one of the evenings, I remember, you asked your PhD students to briefly sit with us and explain the research they were doing. It became a long row of enthusiastic young researchers with a wide range of subjects covering prosthodontics, dental materials, pain and masticatory function… Some of them also came to study at my university, in Leuven, and that allowed us to meet several times here in Belgium. I remember the Store Kro meeting in Leuven, the meetings afterwards with dr Mine and others, many beautiful souvenirs…

Hiro, for me you were always an example. A very trustworthy, honest, hardworking researcher, but most of all, a friend with whom one can share much more than only research data : over the years we could give each other insight into our lives, also the live outside of university and research…and I have always highly appreciated this friendship with you and your lovely wife Noriko.
Now comes the time for the next phase in your life, with a different balance between family life, social life, professional interest and especially: to enjoy to look back to a successful, pleasant and rewarding career, to numerous colleagues and friends and to an even bigger group of grateful students that had the privilege to train under your guidance.
I sincerely wish you all the best with good health and I look forward to a next meeting somewhere on this beautiful world.

Your friend Antoon

To Professor Hirofumi Yatani



Assistant professor, Department of Prosthodontics, Dental School, University of Athens, Greece

Ilia Roussou

I'm honoured and very happy to be given the opportunity to contribute to Dr Hirofumi Yatani retirement book.

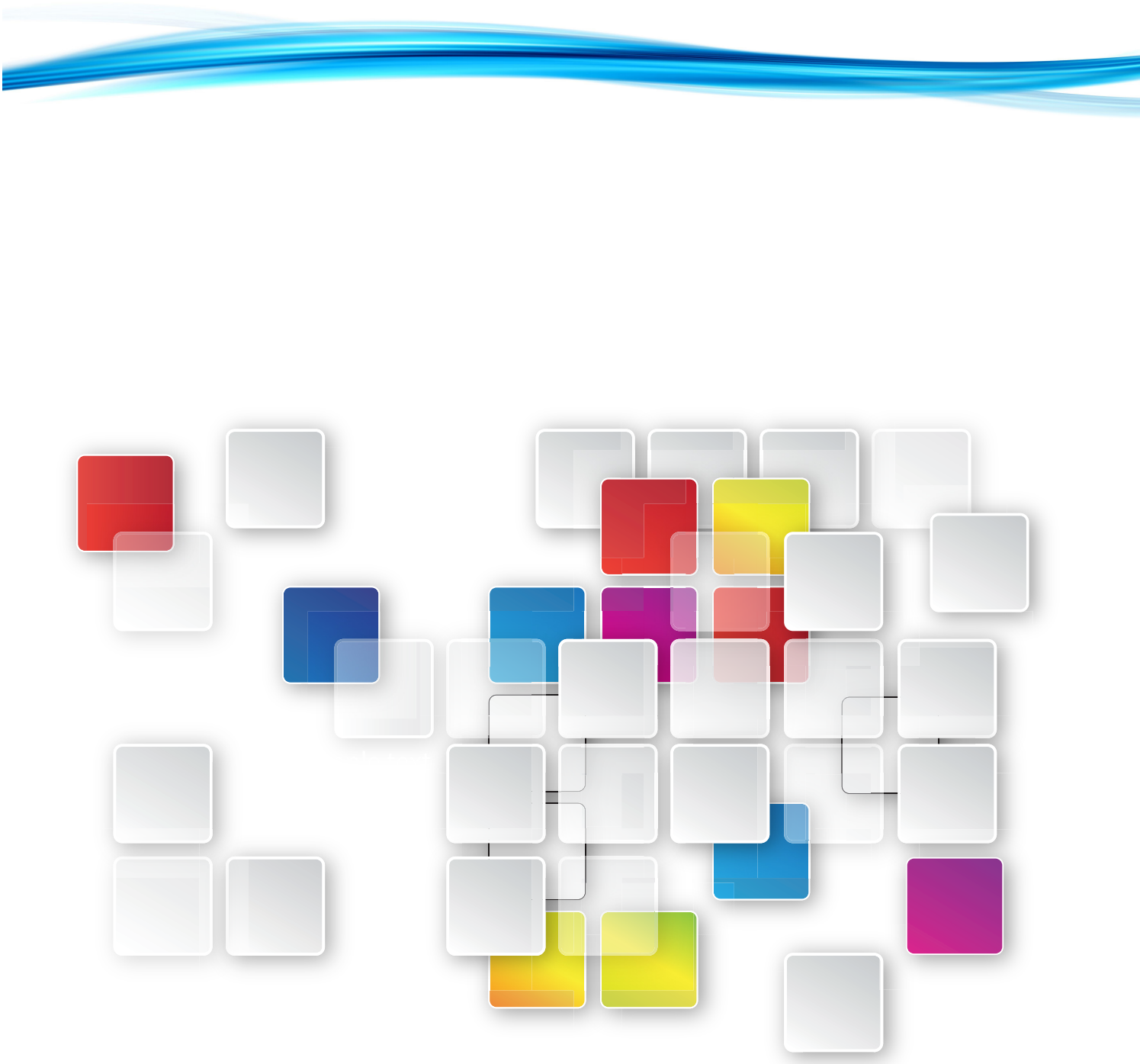
I met Prof. Hirofumi Yatani during our studies at the Orofacial Pain program, at University of Kentucky. Hiro and Noriko became immediately my close friends. At that time I was a young prosthodontist continuing my studies and Dr. Yatani became the teacher I looked up to. His kind and modest personality and the patience that he posses while guiding me to find the answers myself shaped the professional and teacher that I'm today. He was a truly inspiration for me since, of course he knew the answers to my questions but he also wants his students to search for themselves, since this is the way to truly learn. I just loved the debates we had, his knowledge on the literature is outstanding and therefore supporting his opinion in a valid scientific way.

I'm sure that his student benefited by learning not just to become an excellent prosthodontist and a good researcher but also for those in academics an extraordinary teacher following his example.

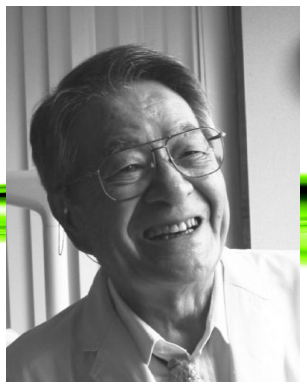
Dear Hiro, I have no doubt that your professional career was an incredible journey leaving behind your shared knowledge, students of yours that will continue carrying your messages and patients that benefited from your treatment. You will be missed for sure.

My warmest wishes for a happy retirement and a future that is worth every bit of your hard work and dedication.

Your Greek friend



教室の重鎮「博ちゃん」との思いで



岡山大学 名誉教授

山下　敦

私が歯学生終盤の頃、姉に２つの縁談が持ち上がった。月に一度の実家への帰省時、母は縁談の一方は同郷のお寺の次男さん、方やは丹後の歯医者さん、お前ならと意見を求められた。私の大学進学は音楽学校と決めていた時、音楽家より食いぱぐれのないお父さんの歯科を継ぎなさいと、鶴ならぬ母の一声で歯科医仲間の増えることを期待したいと答えたことを思い出す。暫くして姉は丹後峯山の矢谷歯科医院に嫁いだ。

写真は小学生になった長男の矢谷博文(以下失礼ながら博ちゃんと呼ばせて頂く)、と弟の尚久ちゃんと両親が山下家で元旦の雑煮を頂いている風景である。

博ちゃん一人が何かの本に見入っている。博ちゃんにはその頃から勤勉家の片鱗がうかがわれた。歯学生になった私は、実家での正月に大学で学んだ最新の技術や材料を、父や義兄に披露するのが楽しみであった。

博ちゃんが大きくなってからの夏は、丹後半島の伊根にある矢谷家の別荘で、歯の話は一切せずに互いに好きな海釣りに興じたことを懐かしく思い出す。

大学卒後の私は父に「卓越した歯科医になるには大学で総義歯をマスターすべし」との言葉に従い総義歯の講座に席をおいた。

最初の十年程は医員診療を通して歯学全体の掌握に費やした。バンド冠から全部鋳造冠、咬合論の理解などなど時間の足りない毎日の連続であった。噛める総義歯ができるまで大学に残る心算が、噛める義歯ができないまま拾数年が経過した。

歯学全体が朧気に見えてきたころ、歯学生の頃に描いていた歯科医療と現実に大きな隔たりのあることに気付きはじめた。再治療の多い日常臨床の中で「患者が利益を得る歯科医療」を実践するには、何が必要で、何を改変し、何を生むべきかを考えるようになった。そんな時、アメリカへの短期留学の機会を得た。留学で得た教訓の１つに「教授はひと時もミラーとピンセットを手放すな、臨床での疑問は研究で解決せよ」であった。私はこの言葉を可能であれば「将来の自分の講座」で実現したいと博ちゃんに熱ぽく話したことを思い出す。

ややあって、新設なった局部床義歯講座へ移籍した。その間も、対症療法の繰り返しの臨床では「患者が得る利益は至って少ない」ことが気になる日々を送った。改変の１つに歯質削除の少ない歯質保全を理念にした「接着ブリッジ」を秘かに手掛けていた。

ある日(昭和54年)博ちゃんから進学について相談があった。私は即座に「大学院への進学」を勧めた。昭和50年新設となった徳島大学からの補綴学へのオッファーは白數学長の決済でキャンセルになったこともあり、２年後の岡山大学歯学部のへの話は大いに期待した。博ちゃんには大学院の博士課程のあ

る広島大学の山田早苗教授のところで大学院を終えて私の講座に来て頑張って欲しいと伝えた。

開講座４年後（昭和 60 年）に博ちゃんを芽出度く講師として迎えることができた。矢谷博文先生は赴任してくれたたその年に「MKG について」を顎関節研究会で発表。接着ブリッジの臨床症例は多くあったが、リテーナーデザインは科学的裏付けが不十分あった。早速「接着ブリッジのデザインと金属の違いが接着力に及ぼす影響」をテーマに研究結果を出し補綴学会で発表してくれた。その後は理工系、機能系共に期待通りに次々と結果をだし期待通り講座の重鎮になってくれた。多くの結果を生み出す裏では博ちゃんをはじめ講座員全員が､「明日までにこれを」と差し出す私の無理難題に「くそ―」と歯噛みしめながら仕えてくれたお陰である。その頃の飲み会で講座員が海軍の軍歌月月火水木金金の「海の男の艦隊勤務」を「山下補綴の徹夜の勤務！」と替えて歌った。感謝と嬉しさで私も一緒に歌った。土日返上で働き山下の想いを形にしてくれたのである。日夜に育まれたエネルギーは多くの学会の主管校として恙なく盛会にこなせることができた。

教室員に山下補綴を早く理解して貰うのに「東京医科歯科大学同窓会のポストグラジュエート」を手伝って貰った。矢谷先生が手伝ってくれた時、スライドの一部に間違いや、不都合なところを指摘してくれた。上司でも身内でも間違いは間違いと進言する矢谷先生に限りない信頼を託すことができるようになった。

教わった他の教訓に、「開業して３年間は大学で学んだことを忠実に履行しなさい。５年たったらやっている診療の内、2、3 つは改変が必要である。10 年経ったら大半は堕している潔く変更すべきである」。と卒業生や講座員によく話した。これは、古きを捨てて新しき奇矯のみに走っているように見えるが、本意は「患者が利益を得る歯科医療」の効果の向上をブレることなく求めているのである。

山下家の元旦

矢谷博文先生には「より効果を求める山下の無理難題」によくも耐え、効果の向上に尽力して下さいました。これからは「自身も効果的に健康を得て余生を快適に過ごして下さい」。ご苦労様でした。

矢谷さんとの 40 年前の記憶を辿って

広島大学 名誉教授
東北大学 学術研究員
鹿児島大学 客員研究員
濱 田 泰 三

矢谷さんの定年にあたり、突然、原稿依頼があり、40 年前の記憶を辿ってみます。
矢谷さん、定年、お疲れさまでした。

矢谷さんは 1980 年、阪大卒業と同時に広大の当時 2 補綴の大学院に入学してきました。それから 5 年間、一緒に生活しました。広島に帰郷するために広大にこられる方が殆どのなかで、彼のように大阪から広大の大学院に来るのは珍しいケースでした。多分、当時の山田教授と山下教授の繋がりと、当時の阪大の補綴には行きたくないと言うことだけだったと思われます。

彼の大学人としての大活躍は、私どものところを巣立って以降からだし、彼の大学人生 40 年の 1/8 という短い間だから、医局での大エピソードは、真面目に院生をやっていたという事でしょうか。

彼のいた 5 年間は彼にとっては不安定な時期であったと、その点では気の毒に思うこともあるが、後に、彼自身が類似の経験をしていったから、彼にとっては役にたった経験だったかも知れない。

大学院に入り 1 年もたたず、主任教授が濱田に代わり、更に 1983 年に濱田が阪大の 1 補綴の下総教授の後任として選出されたのです。矢谷さんが自分の学位はとうなるのだと心配そうにしていたことを忘れることはありません。

当時、私はいろいろな外圧からの影響を医局員に及ぼさないように最大限の努力をしました。当時の研究室は活気もあり、彼も無事に大学院を終えました。彼は私が教授になってから 8 人目の学位でした。

顎機能障害患者の咀嚼筋筋疲労に関する筋電図学的研究

その後、岡山大学に移り、更に研鑽を積み、山下教授の後任となりました。

このまま落ち着くかと思っていましたが、2000 年に濱田が阪大の 1 補綴の後任予定者として指名されましたが、顛末は割愛しますが、ドローとなり、そこに矢谷さんが着任しました。それからまもなくして彼は私のところに、研究するものが居ないから、当時、留学させていた江草さんを欲しいと直訴してきました。

留学させるということは、将来を期待し、その成果を医局に還元してくれることを期待するのが普通であり、その申し出には驚きました。

しかし、私自身の経験から、教授だけが着任しても、手助けしてくれるものがないときの大変さを知っていたから、まさに割愛しました。

この点については、矢谷さんが岡大に移るときも沢山の新人を同行したことと合わせて、彼の大学生活の手助けになったと思っています。その江草さんは良く活躍したが、江草さんもいつまでも助教では気の毒で、私が東北大学にいる間に彼の活躍の場を広げるために東北大学に移らせるまで、良く

矢谷さんを支えたと思います。

　阪大での矢谷さんはいろんな学会などの委員等を沢山こなし、沢山の貢献をしたと思います。無事に定年を迎えることは喜ばしいことです。自愛し、更なる活躍を期待して筆を置きます。

Data 扱いが極めて緻密な矢谷教授

平成 23 年岡山大学 名誉教授
平成９年岡山大学（歯学部）教授

鈴 木 一 臣

永きに渡り歯学教育・研究に多大なご尽力をつくされて歯科界の発展に貢献された矢谷博文教授に敬意を表すとともに、退任記念誌に一筆の機会を頂きましたことを併せて御礼申し上げます。

矢谷先生との出会いは岡山大学在職中でして研究活動、学部・大学院運営は基よりプライベートを含めて現在に至っても交流させていただいており、教わったこと、共感・共鳴したこなど思い出は尽きませんが、ここではほんの少し触れさせていただきます。

研究においては先生の２大テーマである生物機能系および生体材料系での後者において共同研究や大学院生の指導をご一緒させていただきました。特に、実験データの解析や解釈に対する取り組みには敬服してきました。統計学に造詣が深いこともあって、様々な手法から分析されてから結論を導き出されていました。私などは、思い描いた実験計画に沿った結果が出ると疑いもせずに大喜びするタイプですが、矢谷先生は一つのデータも多方面から検討されれいます。一例ですが、歯質接着金属修復冠のマイクロジーケージ測定においてｎ数を出来るだけ増やすことはもとより、一つのサンプルについてどの部位にどの方向から漏洩があるのかを知るために 100 ㎛ 単位で切断して観察することを学生に指示し、素晴らしい成果を導き出しておられました。同様に峯篤史先生（現大阪大学）の Er:YAG レーザー照射歯質被着体の性質と接着に関する研究においても、レーザーが複合硬組織の結晶構造変化レベルで見るように指示されていました。このような先生の研究指導姿勢が優れた多くの研究者輩出に繋がっていると思い、本稿の題名となりました。

一方、学外活動では材料系学会などにおいて隣りあわせで座り意見交換したり、日本歯科医学会学術研究委員だった頃は帰途の空港特別ラウンジ（矢谷先生会員）で歓談（内容は研究の事）をさせていただいたことが懐かしい思い出となっています。また、我が国が世界の接着歯学をリードしてきた証として日本接着歯学会設立 35 周年記念誌が刊行されました。これも一重に理事長であった矢谷教授のリーダーシップがあったこそ成し遂げられました。

他方、近年企業の方を含む５～６名で温泉一泊研修旅行をしています。幹事を毎回してくださっている近藤康弘先生（近藤歯科クリニック院長）が、矢谷先生は目の付け所が違うなと何時も仰っておられて私も同感でした。

先生が岡山在住の頃はご自宅が近所で町内・学区の催しものによく参加して大いに盛り上がったことが懐かしく思い浮かびます。また、先生は園芸も趣味の一つで種から苗を育てられる拘りようで我が家でもいただき、沢山の花々を楽しませていただきました。

拘りと言えば、先生が文部省在外研究員としてケンタッキー大学に長期出張していた際に使用していた大型米車（キャデラック？）を日本に輸送し、私も数回乗車させていただきましたが、あの行動

はなかなか真似できるものではないと強烈な印象を抱きました。

最後になりましたが、私の退職記念パーティーの折矢谷教授夫人典子様が素晴らしいピアノ演奏をしてくださいました。音痴な私の耳にもあの美しい音色が蘇ります。有り難うございました。あらためて出合いの妙味を思い、矢谷博文先生にしみじみ感謝致します。

2007 年にバンコクで開催された国際歯科材料会議のリバークルーズにて。右端は九州大学理工の石川邦夫教授(当時は岡山大学助教授)。

毎年夏に行っている温泉地での研修旅行でのスナップ(2016 年城崎の西村屋招月庭)。矢谷先生、私と朋来会同門会会長の近藤康弘先生。

矢谷先生は私の偉大な師匠である

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
インプラント再生補綴学分野 教授

窪 木 拓 男

矢谷先生は私の偉大な師匠である。私が島根の三島先生や香川の永木先生、福山の作田先生とお酒を頂いて、現医局に挨拶に来るように言われたのが入局の直接的きっかけであったとすれば、私が補綴学に目覚めたのは、その当時の岡山大学歯学部歯科補綴学第一講座の主任教授であられた山下　敦教授、山見俊明助教授、そして、私が丁度入局する数年前に広島大学から移動して来られた矢谷博文先生がおられたからである。その頃は、歯科疾患の後始末を生業とする補綴学が歯科医学をだめにしたと揶揄されることも多々あったが、補綴診療に関わる幾多の問題を真剣に解決しようと志しておられたことに、私は強く引きつけられた。

入局後は、矢谷先生が率いておられた機能系研究班に入り、矢谷先生の岡山大学の一番弟子として診療のアシストから矢谷先生の技術の隅々を盗み、矢谷先生の蔵書を読みあさり、矢谷先生のレコードを借りて聴いた。例を挙げるときりがないが、矢谷先生の支台歯形成は、今なお岡大病院の技工士さん達が語り継いでいるくらい上手かった。私は、矢谷先生がその当時精力的に取り組まれていた顎関節内障患者の咬合治療の試みを通して、歯科医としての基本的な技術の多くを学んだ。矢谷先生は非常に明快な文章を書かれる方で、矢谷先生に文章を提出すると、おまえの文章は小説風でいかんと言われたものである。いつも赤色のペンで複雑に修正頂いた文章を謎を解くような気持ちで真剣に学んだ。矢谷先生の蔵書も豊かで、先生の本を真っ赤にする程、線を引きながら読みふけったため、それは俺の本だぞと怒られた。矢谷先生も無類のジャズレコード好きで、大切なレコードを借りては返さず、最後には親しき仲にも礼儀ありと叱られた。田舎者で貧乏人の私は、矢谷先生の多彩な能力、趣味、魅力的な人柄にいつも引きつけられた。

矢谷先生の学位論文は、その当時口腔生理学全盛期における咀嚼筋疲労の電気生理学的研究の王道を行くもので、咀嚼筋痛の病態に迫るものであった。矢谷先生は広島大学時代から噛みしめ実験の後に起こる咬合変化に注目されており、私はその変化の原因に関節軟骨や関節円板の粘弾性変形があるのではないかと推測し、その研究をさせて頂いた。サイエンスには医科も歯科もないこと、どの様な観点からも正しいと思える方向が正しいと教わった。矢谷先生のマンションと自分のアパートは同じ方向にあり、毎日いろんな談笑をしながら、夜遅く帰宅した。その折に生まれてくる幾多の奇想天外なアイデアが、毎日を楽しく、そして我々の人生を前向きにした。今でも、矢谷先生が特別講義に来られた際に、肩を並べてお話ししながら帰ったことを医局員に誇らしく語らせて頂いている。

矢谷先生は、この様に才能豊かな方であるが、努力家でもある。夏休みにはカルテを山ほど積み上げて自分が治療された顎関節症患者の予後を明らかにする臨床研究をされていた。自分でカルテを借りて、コツコツとデーターシートに入力するなど、なかなかできる事ではない。Evidence-based

Medicine (EBM) という言葉が一世を風靡する前から、臨床研究の大切さを心底理解されていたのである。そのためか、矢谷先生がされるシステマティックレビューは質が高いことが良く知られている。これまで、多数のレビュー論文を執筆されたが、その質においては間違いなく日本補綴歯科学会で右にでる者はいない。全部鋳造冠や CAD/CAM 冠はどの程度長持ちするのか、接着性レジンセメントの効果はあるのか、失活歯と生活歯で予後は異なるのかなど、歯科の臨床の土台になる事実を導くのは決して簡単ではない。矢谷先生の事実の上に臨床技術を積み上げる姿勢は尊敬に値する。ぜひこれからも、多くの示唆に富む論文をご執筆頂きたい。

我々の医局では、朝早くから旭川の河口にカヌーを出し医局員皆でハゼ釣りをして、午後矢谷先生が下ごしらえをされ、夕方からお宅で宴会をするという機会が年に一度あった。ハゼの天ぷらが本当に美味しく、我々が持参したり、矢谷先生が準備されたワインと絶妙にマッチして、本当に至福の時を過ごさせていただいた。奥さまにも大変御世話になり、医局の連中の家族が増える度にこの様な家族ぐるみの企画がなされ、かけがえのない医局の環境を創って頂いた。今の私は矢谷先生が蓄積された貴重な財産のもとに立たせて頂いているのである。

矢谷先生、ご退職ご苦労様でした。お身体を大切に、先生の第二の人生がどの様なものになるのか興味津々です。岡山大学へ非常勤講師で来られる際にお話しできることを楽しみにしています。できれば、また、先生のお宅でハゼパーティをやりたいですねえ。

上海の Asian Academy of Prosthodontics (AAP)（2011 年 10 月）

この時、古谷野先生が日本補綴歯科学会の理事長、矢谷先生が副理事長をされていた。日本補綴歯科学会の英文誌である JPR のインパクトファクターは 3.306 にも達し、黄金時代の幕が開けた。

矢谷博文先生のご退任に寄せて

広島大学名誉教授
呉市顧問

赤川安正

矢谷博文先生が健康で無事ご退任をお迎えになられること、心からお慶びを申し上げます。長い間、歯科界でご一緒できたことに感謝を申し上げます。

２補綴に優秀な大学院生がいるということは聞き及んでいましたが、それが矢谷先生でした。朝から熱心に論文を読んでいる姿を垣間見たこともありましたが、親しくなったのは私がスウェーデン留学から帰って来てからでした。インプラントの研究と臨床に邁進しようとしていたある日、矢谷先生が「先生、学位論文の原稿を見てくれませんか」と研究室を訪ねて来ました。当時の私のことですから、どれだけ指導ができたのかは心もとない限りですが、この時から５つ違いの先輩・後輩の仲が始まりました。この交遊は矢谷先生が岡山大学に移られてからも続き、中四国支部学会の懇親会の後では、いつもホテルの私の部屋で夜遅くまで議論をしたものです。幻の教授推薦の話もありました。
研究分野は、矢谷先生は咬合、TMD、接着、私はインプラントと高齢者、お互い異なっていましたが、意識して切磋琢磨して今日に至っています。矢谷先生は、恩師山下教授が展開された接着ブリッジを完成形にされたこと、顎関節症の症型分類を確立されたことなど、これらの分野で紛れもなく日本のリーダーでした。

歯科医師国家試験会議や教科書の編集、補綴研究会などでも一緒に働き、よく助けていただきました。大いに助けてもらったのは、私が日本補綴歯科学会の理事長を拝命した時の庶務担当理事の時です。「歯科補綴の未来価値」を掲げて学会を運営しましたが、ビジョンの多くを達成できたとすれば、それは縁の下の力持ちの庶務理事のおかげそのものです。本当にありがとうございました。

矢谷先生は幼少の頃、京都の山あいで神童と呼ばれていたのではないかと拝察します。極めて明晰な頭脳とともに裏表が全くなく、とても実直で、ひとつひとつきちんと考えて行動され、時には少し時間がかかりますが、極めて適切な結果をもたらすお仕事ぶり、何度も何度も感銘したことを思い出します。

とても楽しかった思い出が、広島、岡山、ボストン、レキシントン、宝塚などにあります。広島では翠町のマンションにも、呉の実家にも、仁保の家にも来ていただき、岡山の新築の家に泊めてもらったこともありました。岡山の家の玄関にあった竹筆で書かれた英語の書に感銘を覚え、製作者の松香先生（現徳島大学教授）の奥様にお願いして、私の教室是である「五省」の英語版「Five Reflections」を竹筆書きで作っていただきました。1996 年、ハーバード大学客員教授として歯学の PBL を展開していた頃、矢谷先生は TMD の第一人者である Okeson 教授のケンタッキー大学に留学中で、レキシントンに Legal Seafood のロブスターを持参し、先生お手製のビールで乾杯したこと、翌日の競馬で５０ドルを稼いだこと、Thanksgiving Day にはボストンにご家族でお見えいただき、２家族８人で寿

司バーに行った夜、宝塚に自分で設計した家を作ったというので駆けつけ、伊丹空港の夜景を見ながら奥様の手料理をいただき極上のワインを飲んだ夜など、決して忘れることはありません。

デザイン思考では、一つの人生ではなく、人生たちをデザインします。人生１は思い描いている人生、人生２は人生１がダメになった場合の人生、人生３はお金や世間体を無視した場合の人生です。お父上の歯科医院を継がれずに、岡山大学教授、大阪大学教授として輝かしい人生を歩まれ、今度は第１線の歯科医師として補綴歯科治療の難症例に挑まれる矢谷先生、３つの人生のどれを歩んで行かれるのかとても興味深く、しっかりと見守りたいと思っています。

これまでの交遊に満腔の謝意を申し上げ、ここからさらに新しい人生にチャレンジする矢谷先生の今後のご活躍を心から祈念しています。

2003 年カナダ Halifax で開催された ICP でのスナップ。右は、スウェーデンの Prof. Gunnar Carlsson と九州大学古谷野潔先生。

2007 年インド Chennai で行われた日本補綴歯科学会と Indian Prosthodontic Society の学術交流協定の調印式にて。

矢谷博文先生との思い出

徳島大学大学院医歯薬学研究部
顎機能咬合再建学分野 教授

松 香 芳 三

矢谷博文先生におかれましては、お元気で、定年退職を迎えられましたことをお慶び申し上げます。矢谷先生には、私は公私ともにお世話になっておりまして、私の人生の岐路において矢谷先生には多くのご指導を頂きました。ありがとうございます。

矢谷先生との最初の出会いは、私が歯学部４年生の時でした。矢谷先生は講師として、広島大学から岡山大学に赴任されましたが、サングラスをかけた教員の登場に歯学部の学生はざわつきました。私が病院実習をする頃には矢谷先生は助教授に昇任されており、臨床実習試験の採点を担当されました。当時の臨床実習試験は、患者さんの補綴治療・技工操作をすべて学生自身が行い、接着前に教授あるいは助教授にチェックを受けるというものでした。矢谷先生のチェックは厳しいということで有名であり、ある女子学生は緊張のあまり、アシストしている時にスリーウエイシリンジで矢谷先生の手に水をかけてしまいました。

入局後、私は矢谷先生のご指導で研究を進めることになり、一般大衆における顎関節症の疫学研究を実施しました。それまで研究室では誰も行っていなかった研究であり、現在のようにインターネットを用いて手法を学ぶことができませんでしたので、一から十まで矢谷先生にご指導頂きました。顎関節症の疫学研究は、その時点ではあまり行われていなかった研究であるため、その結果はマスコミに大々的に取り上げられました。

学位終了後、私は早期に開業するつもりでしたので、矢谷先生にそのことを相談しましたところ、「大学に残って、教育・臨床・研究をして欲しい」と伝えられました。おかげさまで、私は今でも大学人をすることができております。あの時の言葉がなければ、こんなに長く大学にいることはなかったと思います。最近では、優秀な大学院生、医局員に助けられ、自分の中では結構インパクトのある論文を発表できるようになったと感じております。

私はサングラスをかけての講義への登場はないのですが、それでも、私の若い頃は血気盛んであったと思います。その頃は、メールは連絡手段と考えておりまして、用件のみを簡潔に伝えることに徹しておりました。「メールを送るときには優しさが必要だよ」と矢谷先生に教えられましたことは、私の中では衝撃でした。その後、留学したアメリカ UCLA の名誉教授から、「知り合いの日本人からメールが届くと、目の前に花畑が広がる」ということを伝えられ、同じ事を感じている人が世界には存在することを認識するとともに、愛の感じられるコミュニケーションをするように努めるようになりました。

私はアメリカに９年間滞在しており、当時は日本に帰って来るつもりはなかったのですが、矢谷先生から「日本に帰って来てはどうか」とご示唆を頂き、岡山大学の窪木先生にお願いしまして、窪木

教室に入局させて頂きました。この時の矢谷先生の言葉も私の大きな転機になっております。

このように私の人生の岐路には、矢谷先生の大切なアドバイスがありました。感謝致しております。また、岡山大学の山下敦名誉教授に教わったように、頂いた恩を後輩に送りたいと考えております。

矢谷先生が 2003 年 Halifax で開催された ICP からの帰途、ロサンジェルスに立ち寄られた際のスナップ。私は UCLA に留学中で、写真右は同じく UCLA に留学中の江草宏ご夫妻。

2012 年 私の教授就任祝賀会にて。私ども夫婦の右隣は山下敦名誉教授、窪木拓男教授。左隣は近藤康弘同門会（朋来会）会長、矢谷先生、前川賢治准教授。

矢谷博文先生のご退職に寄せて

東北大学大学院歯学研究科
分子・再生歯科補綴学分野 教授

江草　宏

矢谷博文先生のご定年退職にあたり、心からのお祝いとともに感謝の意を表したいと思います。この度の寄稿にあたり、いざ筆を進めようと思うと、矢谷先生にこの 17 年間ご指導いただいた様々なことを思い出し、センチメンタルな気分に浸って、なかなか脱稿することができませんでした。それほど、私にとって矢谷先生の存在は偉大であり、私の人生観に大きな影響を与えてくださいました。今の私があるのは、本当に矢谷先生のおかげと感謝の念に堪えません。

矢谷先生との思い出は、私が UCLA でポスドクをしていた 2003 年に始まります。カラッとした暑さが気持ち良い 7 月、矢谷先生はハリファックスでの学会帰りにロサンゼルスに立ち寄られ、初めてお会いすることになりました。矢谷先生が大阪大学に着任されて間もなくの頃で、教室運営の中でバイオロジーの研究室を立ち上げる人材を探しているとのお話しでした。地方大学出身の私が、名門の“阪大一補”の教員になれるかもという千載一遇の光栄に、今思い出すと本当に恥ずかしいのですが、私は自信過剰にもいくつかの要望を提示して交渉したのです。実力もないのにアメリカンドリームに浮足立った若僧の要望を、矢谷先生は黙ってお聞きになり、静かに「わかった」と言われました。その際、私を試されるように、少しばかりニヤッと楽しそうな表情をされたことを今でも思い出します。

翌年 2004 年 4 月に大阪大学に助手として着任し、新たな生活が始まりました。矢谷教室の一流の臨床、教育を吸収することに加え、バイオ研の立ち上げには大変な苦労がありましたが、矢谷先生の厳しくも温かいご指導を賜り、素晴らしい教室員に恵まれながら何とか一補の一員になっていけたように思います。楽しい時間でした。向こう見ずな若僧の初対面での要望を、本当に一つ一つ誠実に叶えてくださった矢谷先生のご恩に報いようと、がむしゃらに走り続けました。そんな合間にも、矢谷先生は度々私を釣りやワインの会に誘ってくださり、人生に大切な多くのことをご教授くださいました。

立上げ当初のバイオ研にて（2004 年）
矢谷先生、UCLA 西村先生、石垣先生と

釣り前日、鳴門の渡船宿にて（2006 年）

研究室は軌道に乗り、充実した生活を送っていた 2013 年の春、東北大学が私を教授職にピックアップしようとしている話を知りました。助教の私が教授などと話半分に聞いていたのですが、夏頃には話が具体性を帯び、矢谷先生を大いに悩ませてしまいましたことを大変申し訳なく思っ

ております。そのような中、矢谷先生は夏季休暇中にもかかわらず、行きつけの梅田の喫茶店に私をお呼びになり、私の想いを聞いてくださりました。当時を思い出すと、矢谷先生のご恩に報いたい気持ちと自分の中の若僧の挑戦心が相まって、切ない気持ちばかりが込み上げてきます。私の身勝手に対して大局的な視点からご指南を賜りましたこと、感謝の念に堪えません。さらには立派な祝賀会を発起いただき、温かく送り出していただいた御恩は忘れません。

初めてのご来仙（2014 年）

その後大阪を離れ、2014 年 4 月より仙台に居を構えました。小さな教室ながらも運営に奔走していますが、ここでも矢谷先生には、授業のスライドをいただいたり、非常勤講師をお受けいただいたりとお世話になりっぱなしです。いつになっても、矢谷先生のやさしく懐かしい関西弁での様々なアドバイスは、私にとって実質的、精神的な支えであり、心から感謝しております。ご退職後もお忙しくご活躍のことと存じますが、これからも仙台にお招きして講義や釣り、お酒をご一緒できることを願っております。とはいえ、恩師に甘えてばかりではいけませんので、これからは、矢谷先生が歯科界に残された多くのご功績から学んだ知識、精神を大切に育んで行きたいと思います。

最後になりますが、矢谷先生が退職されましても益々お元気にご活躍されることを心よりお祈り申し上げるとともに、変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。

矢谷博文先生の想い出

阪大１９回生
大阪市開業
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室同門会 前会長
宮 内 修 平

矢谷博文先生には、平成 15 年（2003 年）４月より令和２年（2020 年）３月までの 17 年間にわたり阪大歯学部第１補綴学講座の主任教授を務められ、定年退官を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。

さて、小生と矢谷先生との主な出会いは二度ありました。第一の出会いは昭和 54 年（1979 年）４月です。先生が阪大歯学部学生の最終学年、いわゆる一診時代です。当時、私は１補の助手で、27 回生のクラウンブリッジのライターを努めておりました。先生はおとなしくて余り目立たない存在だったように思います。卒後、すぐに広島大学歯学部大学院へ行かれたためほとんどお目にかかること無く月日が流れました。そして、第二の出会いは平成 15 年（2003 年）、阪大一補の教授就任の時でした。お互いに長く補綴の分野に携わってきたため、それまでも学会を通じて先生が活躍されていたのはよく存じていましたが、阪大の教授に就任されたことは正直驚きでした。

平成 17 年度一補同門会総会にて

平成 15 年（2003 年）11 月 15 日に行われた一補同門会総会において、会長の角田篤美先生から次期会長として小生が選出され、平成 16 年（2004 年）４月から会長を務めることになりました。本来、任期は２年間ですが、何故か５期以上 11 年間もの長きにわたり会長職を務めさせていただく結果となりました。その間、常に同門会会則第二条「この会は大阪大学歯学部補綴学第一教室の発展を助け、学術の進展を期するとともに、会員相互の向上発展と親睦をはかることを目的とする」に則って、微力ながら同門会を運営してきたつもりで、矢谷教室に対しても物心ともにわずかながらも応援させて頂きました。11 年間、教室行事（新入生歓迎会、送別会、花見の会、忘年会など）にも極力参加させていただきました。その間、矢谷教授はじめ多くの現職の教室員との親睦が図れたことは大変意義深く、今でも私にとって大きな財産となっております。

また、平成 16 年（2004 年）、会長になって最初の総会終了後の学術講演会では、矢谷教授の座長で、支台築造をテーマに、奈良市開業の宮本昇先生、大津市開業の多田純夫先生、大阪市開業の高永和先生と小生の４名の同門会員によってセミナー形式の講演が行われました。各先生方の考え方、やり方の違いがあり、非常に興味深い内容だったと思います。小生は、メタルコアは一切使わず、すべてレジンコアで行うという内容の発表に対して、座長からのコメントが、「レジンコアのみとはかなり極端なご意見ですね」だったのを想い出します。当時はまだまだメタルコアが全盛期でしたが、今では脱離防止や歯根破折防止などの観点から、レジンコアが主流になってきたことを思えば、小生の意見も

まんざらでたらめではなかったと自負しております。

平成 19 年（2007 年）4 月に愚息の鉄平が愛知学院大歯学部を卒業後、一補矢谷教室に入局させていただきました。直接は石垣尚一教官のご指導によって平成 24 年（2012 年)、無事に博士学位を取得することが出来ました。改めて矢谷先生、石垣先生に心より感謝いたします。また、愚息は大のタイガースファンでして、同じく大ファンの矢谷教授と時々一緒に甲子園に応援に行ったようです。

さて、同門会会長の他に、矢谷先生からご推薦頂き、阪大の非常勤講師を十数年務めさせて頂きました。歯学部学生に対して年 1 回の特別講義として、「支台歯形成」を主テーマに話させて頂きました。最近では、学生全体の人数に対して女子学生の占める割合がほぼ 5 割であったのが昔と随分違う点でした。まるで女子大のようでした。

また、開業医の立場でありながら、日本歯科審美学会の会長・理事長を 3 年間務めさせて頂きましたが、それが可能だったのは、矢谷教授のご厚意・ご指示で教室員（主に若林先生）を補佐役にあてていただいたからこそと深謝しております。

後任の同門会会長として、矢谷教授の退官まで大阪市開業の日野年澄先生（阪大 32 回生）が頑張ってくれましたが、彼も同門会会則に則り、粛々と立派に会の運営をされました。日野先生はじめ多くの役員の先生方、本当にご苦労様でした。

ご退官後は臨床に関わるお仕事をされるように聞き及んでおりますが、どうかくれぐれもお身体ご自愛の上、第二の人生でのライフワークを全うされますことを心よりお祈り申し上げます。

教室行事の花見の会で矢谷教授と奥様と
（平成 19 年 4 月万博公園にて）

カラオケスナック（吹田アメニティー）で

小生の古希の祝いに矢谷先生もご参加
頂きました。(2019 年 3 月 9 日北新地にて)

矢谷博文先生の背中を眩しく見つめて来た 35 年

岡山大学インプラント再生補綴学分野同門会
朋来会会長

近 藤 康 弘

矢谷博文先生が令和２年３月をもって大阪大学歯科補綴学第一教室教授をご退任されるに際し編纂される業績集に寄稿の依頼を受け大変嬉しく思うと共に、恐縮しているのが偽らざる気持ちです。先生は大阪大学歯学部卒業後直ちに広島大学大学院歯学研究科に進まれ学位取得後に、講師として岡山大学歯学部歯科補綴学第１講座山下敦教授の教室に昭和 60 年４月より着任されました。それ以来、私は先生の背中を常に眩しい存在として見つめ追いかけ、早くも 35 年が経過していることに気づき改めて感慨深い思いと感謝の気持ちに溢れています。今回の寄稿は先生の岡山大学における 18 年間の教育、研究そして診療の３分野について触れる事ができ、退任記念業績集の一部に添えて頂ける喜びを感じながら引き受けさせて頂きました。

先生が着任された昭和 60 年は教室設立３年目で教室だけでなく岡山大学歯学部も同附属病院も創成期であり大学院は卒業生を待つまで設置されていない状況でした。このような創成期は当然３分野を充実させる為には私も含め、先生とご一緒に教室に残って頂いた広島大学や様々な大学の卒業直後の教室員と混成チームを作って一緒になって体制造りに邁進した時代でした。その中でも先生は広島大学大学院時代に手掛けられた顎関節症に関する研究を継続しながら山下教授の下で先進的な研究に数多く取り組まれていました。先生が赴任された当時、教室にはパソコンは無くスライド作製は手動タイプライターを駆使して作製した原図を写真撮影した後、暗室による現像は当たり前の作業でした。そのような環境下で先生が最初にされた備品購入は正しくパソコンであったと記憶しています。その際の記憶媒体は８インチのフロッピーディスクであった事は今では懐かしい思い出となっています。私は同時期に山下教授が取り組まれておられた接着ブリッジを中心とした材料系研究に傾注しており、研究に関してはそれぞれが担当領域として分担していました。その後、顎関節分野の成果として昭和 62 年に接着技術の成果を取り入れた「顎関節症患者の補綴的治療」として厚生省（当時）の高度先進医療の認可を受けることに繋がりました。そして、助教授就任後に米国ケンタッキー大学に文部省在外研究員として渡米されその分野に対する知見は更に磨かれ、帰国後も研究、臨床、教育３分野の活動を通して日本におけるこの分野のアカデミアの中心で活躍され、私にとって更に眩しい存在となられました。

その後、平成 12 年４月に山下敦初代教授が退任された後の第二代教授に昇任されました。当時は大学も大学院大学への組織変更に直面していた時期で３分野の運営に加えて副病院長職も加わり学内外で多忙を極められていたと思います。既に、私も教室を離れ開業医として慌ただしくしていた為、当時の先生をお手伝いできなかった事は大変申し訳ない気持ちでした。そして、岡山での教室づくりも軌道に乗り、機能系、材料系を有機的統合しながら新規な治療法へと発展させ、先生御自身の歯科補

綴学の幅を拡げられ疫学的検証を重ねながら新たな見地を充実されておられました。しかし、その頃に大阪大学から招聘の打診を受けている旨の相談を先生から受けた事を覚えています。その時の先生のお言葉は「こんちゃん！どう思う？」であったと記憶しています。今でも先生は私の事を「こんちゃん」と呼んで親しく接して頂いていますが、眩しく背中を見つめる存在の先生に意見など言える立場でも無いにも関わらず「私なら受けると思います」と答えてしまい、先生も少し驚かれていました。

平成 15 年 4 月より大阪大学大学院教授に転出され今日まで 17 年間ご自身の母校の発展だけでなく数多くの学会にも貢献されました。そして、日本の歯科医学と歯科医療の発展に携わられ、令和元年度日本歯科医学会会長賞を受賞された事を知り、岡山大学で籍を同じくした私共の旧歯科補綴学第 1 講座山下教室を根元とした同門会である朋来会会長としても誇らしく思っています。私としては先生が平成 28,29 年度日本接着歯学会の理事長をされた時に、副理事長としてお手伝いしたのが僅かながらの恩返しでした。また、岡山を離れても毎年 4 月に我々同門会総会に名誉顧問として欠かさずご出席頂いて、現在の窪木教室員をはじめ同門会員一同に叱咤激励を頂戴しています。

最後に、私が矢谷先生の背中を眩しく見つめながら得られた財産はアカデミア以外にも数限りありません。中でも初めての海外は山下先生、窪木先生等とご一緒したハワイの学会で、海外を経験する楽しさと所作の類、食事においてもワインの美味しさと楽しむ心得は今では私の生活の一部に定着しています。ただ、奥様への優しさだけは見習おうと思いつつも、今でも足元にも及ばないと自覚しています。

現在、国は人生 100 年時代をイメージして構想会議を設けています。それならば先生と家族を交えてのお付き合いはまだ 35 年であり、今年 65 歳を迎えられるのでハーフターンに差し掛かったばかりです。先生にとってこの度の教授ご退任は人生の中で大きな一区切りであり、大任を勤め上げられた事は大変な功績であります。しかし、今後も幅広くご活躍され私の眩しい存在であり続けて頂ける事をお願いして結びと致します。

昭和 62 年 3 月初めての海外学会参加のためハワイを訪れ、到着直後のスナップ写真。空港で掛けて頂いたレイが懐かしい。
（左より　山下敦教授、私、矢谷博文先生ご夫婦）

矢谷先生との不思議な関係

大阪大学歯学研究科 招聘教授 名誉教授
医療法人サヤラ健育会 理事長

前田芳信

大学院生時代の出会い

矢谷先生との出会いは明確に覚えているが、矢谷先生にとっては迷惑なものであったに違いない。それは私が第二補綴科の大学院生として講義係をしていた時になる。歯学部6年生の卒業試験の出欠をとっている時に、矢谷先生が欠席しその日に広島大学の大学院の受験のためであることを知った際のことであった。その後はしばらく研究領域が異なったことから、同じ補綴であっても交流がなかったが、何かの折に歯科医師であった父から、矢谷先生のご尊父と同級生であることを知った。

補綴学会での再会

それまでは大学の教室に所属していれば学会に演題を登録し発表するために同じ教室の仲間と行動を共にするのが通例であり、他の大学の先生方と個人的な話をすることはほとんどなかった。しかしUBCでの海外留学を通じて東北大学の佐々木先生と家族づきあいをするようになったり、 教授の元を訪ねた際に留学中の九州大学の古谷野先生と出会ったりと、海外の友人ができるとともに思わぬ形で日本人同士の横のつながりができるものである。

帰国してしばらくたった1993年の小倉での補綴学会の際に佐々木先生、古谷野先生達が若手の助教授や講師の集まりを開かれたのに参加するのは自然なりゆきだった。そこで久しぶりに岡山大学の助教授をされていた矢谷先生と再会した。ただ和やかな飲み会のムードは、テレビ中継されていた「ドーハの悲劇」のために何となく意気消沈するものとなったことをよく覚えている。

その後、この集まりは補綴学会ごとに開かれることになったのであるが、単なる飲み会ではもったいないと勉強会も開こうとなっていった。その動きを学会の首脳陣に不穏な動きがあるとしてご注進した方がおられたようで、それぞれの教室の主任教授に圧力がかけられ、この集まりは終息してしまった。その当時は補綴学会も封建的で権威主義的な体質であった。

しかし、やがてこの集まりに参加していた先生方の中から補綴学会の理事長が輩出されることになり、その一人が矢谷先生であることは誇りにしてしていいだろうと思う。なぜなら補綴学会の体質をより自由で学術的で、横のつながりの広がりを支援するものとして改革してくれたからである。

一補と二補の教授として

矢谷先生は阪大を卒業されて、広島大学を経て岡山大学で補綴学教室の教授、副病院長をされていたが、第一補綴学教室の後任の教授として阪大に戻ってきていただいた。おかげで、私が2007年に口腔総合診療部から出身教室の第二補綴学教室の教授に移動した際、二人で補綴学教室を運営すること

になったのも不思議な縁である。

共同して実習のテキストを出版したことをはじめ、２教室での勉強会などいろいろなことを協力してさせていただいた。また、古谷野先生から引き継いだ国際補綴学会 (International College of Prosthodontists) の理事の役割を矢谷先生にお願いして、いろいろ頑張っていただいたことも付け加えるべきであろう。

これから一緒に仕事をさせていただくこと

私は大学を退職するに際して、中学の同級生であった更家社長の誘いでサラヤとともにオーラルケア製品の開発、海外（主としてアフリカ）の歯科医師の教育を進めるための拠点として大阪市内に診療所　医療法人サヤラ健育会　オーラルケアステーション本町歯科を開設して運営を担当している。この施設では大阪大学の歯学部附属病院と連携することで、エクステンション的な存在となることを目指している。そこで、数年前から矢谷先生にも参加して欲しいとラブコールを送っていたのであるのが、それが実現することになって喜んでいる。矢谷先生には、大学と連携して診療、教育、セミナー等をおこなっていただければと、おおいに期待しているからである。

2020 年 2 月の補綴学会関西支部研修会後の懇親会で

2011 年に上海で開催されたアジア補綴学会で

始まりの日・・・「ドーハの悲劇」

九州大学大学院歯学研究院
口腔機能修復学講座 クラウンブリッジ補綴学分野
インプラント・義歯補綴学分野 教授
古谷野　潔

矢谷先生・・・幅広い領域で活躍され数々の素晴らしい業績を残され、大過なく無事に定年を迎えられたこと、誠におめでとうございます。矢谷先生は、私にとっては補綴学会の仲間の中でも一番の親友と言っていい存在で、長い間、本当に親しくお付き合いさせていただきました。矢谷先生との思い出は多すぎて、とてもとてもここには書ききれませんが、この機会に「補綴学会若手の会（当時）」のことを書いておきたいと思います。

ともに顎機能、咬合、顎関節といった領域に興味を持つ仲間として若い頃から学会などでお会いしたときには意見交換をしたものですが、なんと言っても関係が深まったのは、私が米国留学から帰ってからでした。私は、顎関節症の病因論、中でも咬合の役割に関する新たな考え方や当時の日本では耳慣れない Diagnosis/Doctor Oriented System から Problem/Patient Oriented System へのパラダイムシフトなど、アメリカ留学中に学んだことについて講演や著作で発表したところ、矢谷先生はいち早く賛同され意気投合しました。

勢い余って周りの友人達と「補綴学会はこうあるべきだ」とか「このように変えていかねば・・」などと息巻いていました。1993 年 10 月に北九州市で補綴学会が開催された折に、我々の仲間であり地元である鱒見先生にお願いして、飲み会の場所を設定してもらい、仲間に声をかけて初めての「補綴学会若手の会（当時）」を持ちました。ちょうどその日は、あの「ドーハの悲劇」の日だったので日付まで記憶に残っています。皆、若いのにそれぞれ独自の考えとビジョンを持ち、やる気に満ちたメンバーで、（お酒の勢いも借りて）大いに議論が盛り上がり、大変勉強になるとともに刺激を受けました。そこで補綴学会が開催されるときにはこのメンバーで集まり、飲み会だけではなく、アドホックな勉強会「若手の会」をやろうということになりました。このときの参加者は 10 余名であったかと思いますが、矢谷先生が出世頭で助教授、私も含め大半は助手、年齢も最年長の矢谷先生と私が 38 歳という、まさに「若手の会」でした。この「若手の会」の活動は、当時の補綴学会の執行部の先生にとっては少々目障りな活動だったようで、一時はお叱りを受けたりもしました。

しかし、私にとっては「若手の会」は、意見発出の場、議論の場、勉強の場、相談の場、刺激を受ける場であり、私の成長の源泉となりました。おそらく他のメンバーにとってもそのような貴重な会であったと思います。後に、第 1 回の参加者の全員が教授になり、さらには、そのうちの佐々木啓一先生、矢谷先生、馬場一美先生、窪木拓男先生、私の 5 名が補綴学会の理事長（次期、次々期適任者も含む）を務めることになるとは夢にも思いませんでした。矢谷先生は、当時風当たりが強かった「若手の会」を佐々木先生とともに矢面に立って牽引してくださいました。矢谷先生の存在がなければ、この会は成り立たなかったと思います。大変感謝しています。

あれから 27 年が経ち、若かった我々も 65 歳です（私のほうが半年若いですが・・）。まだまだ若いつもりですが、今の学会の若手からすると、あの頃我々が学会執行部の先生方に感じていたように、「長老」などと思われるのでしょうね。お互いにそういった年齢に達し、大学を退職する時期となりました。しかし、まだまだ老け込むのは早いですよね。人生百年と言われる時代です。これから、もう一花咲かせましょう。

矢谷先生とは、学会などを通したアカデミックな交流ばかりでなく、奥様の典子様ともども、家族ぐるみのお付き合いをさせていただきました。いろいろな学会にご一緒しました。佐々木先生ご夫妻と 3 夫婦で色々なところに行きましたね。特に IADR や ICP などの折に 6 人でいろいろな外国の街を訪ねたのは忘れがたい楽しい思い出です。これからはそうした学会にご一緒する機会も減るのかもしれませんが、機会を見つけて、また皆で楽しい旅行もしましょう。そのためにも、まずは、COVID-19 感染を乗り越え、お互い健康には気をつけて、元気に過ごしましょう。

NY2003GNYAP

2003 年の JPS と GNYAP の joint meeting の Banquet にて。矢谷先生ご夫妻、矢谷先生の留学時代の恩師 Okeson 先生ご夫妻と。

Barcerona2010

2010 年に Barcerona で開催された IADR：Barcerona の街角にて。矢谷先生ご夫妻、佐々木先生ご夫妻と。

みちのくより矢谷先生へ向けて

東北大学大学院歯学研究科
口腔システム補綴学分野 教授

佐々木啓一

矢谷先生、ご定年でのご退職、まことにおめでとうございます。こう言わざるを得ませんが、本心としては寂しさで胸がいっぱいです。時の流れは速いものですね。

先生とのお付き合いはもう何年になるのでしょうか。先生は私の一学年上ですので、ずっと補綴学会等では認識はしておりましたが、本当にいろいろと話すようになってきたのは、私がUBC（バンクーバー）から帰ってきて、補綴学会で当時の「若手の会」を企画したあたりからだと思っています。「若手の会」の具体的な立ち上げは、1993年10月28日、小倉で開催された補綴歯科学会の夜、ドーハの悲劇の日でした。当時、まあ何と生意気な若造が集まったことでしょうか。また、よくもあんなに鼻っ柱の尖がった連中がいたものです。誰から挙げていったらいいのかわかりませんので、順不同で、前田先生、矢谷先生、古谷野先生、鱒見先生、志賀先生、皆木先生、山口先生、馬場先生、窪木先生‥(抜けた先生がた、ごめんなさい)。それから補綴学会の度にいろいろと熱く語り合ったこと、今でも楽しい思い出ですし、私が大学生活を送ってきた原点になっています。正直言って、当時、東北大学の補綴学講座は弱小で、そこに所属していた私にとってみれば、矢谷先生、古谷野先生と供に歩めることを本当にうれしく思っていました。30代のころにあのような環境を持てなければ、とっくに大学を去っていたと思います。

あれから今日まで、補綴学会やその他の学会等で数えきれないほどたくさんのことを、ご一緒にさせていただきました。先生と古谷野先生、そして私がちょっとだけ当時の若手の中では年長であったため、何となくオピニオンリーダーっぽくなり、いろんな仕事の機会をいただきましたね。とは言え、私がいつも一方的に先生を頼ってきた、というのが本当のところで、私が先生のお役に立った、ということは少なかったと思います。また江草君の件のように大変な非礼もしでかしました。いつも、いつもお世話になってきて、改めて、心から感謝申し上げます。

私は、どちらかというとアイディアと企画力で組織を引っ張ろうという、言い出しっぺタイプで、物事をじっくりと詰めて実行していくのはあまり得意とはしていません。その点では、矢谷先生はどんなお仕事も、例えばTMDのガイドライン、あるいは先生の教室の接着症例のまとめ等、最後までしっかりとまとめ上げて来られました。私はいつも感心しながら先生のお仕事ぶりを見てまいりました。本当に頭が下がります。私には到底できません。先生のお力は、今後とも歯科界の発展、充実には欠かすことのできないものと考えています。きっと私のもう一人の兄貴分である前田先生とともに、まだまだご活躍されるものと信じておりますし、また期待しています。これからも宜しくお願いします。

それはそうと、これからも先生ご夫婦、古谷野先生ご夫婦、そして私ども夫婦で、面白そうな学会、特に海外の学会には行きましょうね。老害と言われない程度に！　長い間、お疲れさまでした。

2012 年 4 月 1 日　佐々木の同門会の発足のパーティーに来ていただいた際の写真です。皆、まだ若い。右端は同門会長の横山です。

矢谷博文先生との思い出

九州歯科大学
顎口腔欠損再構築学分野 教授

鱒 見 進 一

矢谷博文教授が定年御退職を迎えられることに、心よりお慶び申し上げます。

私が矢谷先生とお話しをするようになったきっかけは、1993 年 10 月の第 90 回日本補綴歯科学会総会学術大会の折でした。私は、この年の 4 月に UCLA での留学を終え帰国し、学内では大学院生の指導などを行っておりましたが、古谷野先生や佐々木先生の発案で、これからの補綴歯科学会を見据えて垣根を越えて本音で語り合える機会を作ろうということで、その第 1 回目を北九州で開催される 90 回大会の際に行うということになり、私が幹事をすることになりました。当日この会には全国の大学で活躍している同世代の先生が 30 名近く集まり、研究の話や大学生活など忌憚なく話すことができ盛会でした。途中、小林義典教授と赤川安正教授が「若者の息吹きを感じたい！」と乱入した記憶があります。講師や助手が主体の会でしたので「若手会」と銘打って、その後学術大会の際に毎回行われることになりました。この会の中でも矢谷先生はすでに助教授であり、我々の長兄としてまとめ役を果たしておられました。毎回飲み会だけでは意味がないので主管の大学で講演会をした後に懇親会をしようという矢谷先生の発案に皆賛同し、93 回大会では鶴見大学での講演会の後に懇親会が行われました。このような動向に学会首脳陣からは「反動分子」と言われ、矢谷先生が当時の理事長に主旨説明に言ったと聞いております。かつて矢谷先生は、良い感じに酔うと「キングコング」を踊りながら歌っていたことを思い出します。

時が過ぎ当初の若手会メンバーの古谷野先生が 1997 年に九州大の教授になったのを皮切りに、佐々木（東北大 2000）、矢谷（岡山大 2000、大阪大 2003）、皆木（岡山大 2002）、佐藤（昭和大 2002）、窪木（岡山大 2003）、私（九歯大 2003）、志賀（日歯大 2004）、馬場（昭和大 2007）、藤澤（2007）と教授になり、若手会は後輩達に譲ることとしました。 岡山大学の教授に就任された折には、米国留学後に持ち帰ったキャデラックに右近先生と共に祝賀会場のホテルからご自宅まで同乗させて戴き、ご自宅で美味しいワインと奥様の手料理をご馳走になりました。その節は本当にお世話になりました..

あれからからもう 27 年が過ぎてしまいました。退職後は、決して無理をせず、体を労って診療に励まれてください。奥様ともども御自愛の上、今後とも活躍されんことを祈念して、お慶びの言葉とさせて戴きます。

矢谷博文教授の退官によせて

福岡歯科大学 客員教授
口腔医療センター センター長

佐 藤 博 信

矢谷博文先生におかれましては無事退官を迎えられ、心よりお喜び申し上げます。

ちょうど３年前になりますが、私の退職に当たり、先生にも私の退職記念誌に寄稿文を書いていただきました。先生がその寄稿文に書かれていたように、いろんなところでお会いし、大学にも講義に来ていただくなど、まずは長年の深い交流に感謝申し上げます。

昨年も、もう何度目になるでしょうか、StoreKro の学会（Journal of Oral Rehabilitation のコアーメンバーが集まる北欧を中心としたクローズドなミーティング､昨年 Scotland Dunkeld で開催された）でお会いし、旧交を温めました。その２年前の Sweden Kiruna の時も、帰りが大変で、Stockholm の空港のそばのホテルに一緒に泊まって、いろんなお話をしたことなど、最近だけでも懐かしい思い出でいっぱいです。先生は 90 年代顎口腔機能の権威で、世界の教科書とされる書籍を出されたアメリカケンタッキー大学 Okesson 教授のところで、研鑽を積まれ、一方、私は同時期に、世界でヨーロッパでの第一人者であるスウェーデン、イエテボリ大学 Carlsson 教授の下で在外研究員の時期を過ごし、それぞれの経験からの意見交換は大変意義深いものでした。

もちろん、私たちのメインの学会である日本補綴歯科学会では長年、理事として、一緒に仕事をし、帰りもよく一緒に羽田までご一緒させていただきました。先生が理事長をされていたときには、私が大会長のもと福岡で学術大会を開かせていただくなど、さらに深いお付き合いをさせていただきました。そうそう、確か顎関節学会でも、理事として、用語作りの合宿も御一緒にしたことも思い出されますね。ほんとうに先生との思い出は書き出すときりがないほど、いろんな機会で先生とのお付き合いでき、ありがとうございます。

もう、700 字をすでに超えてしまいました。書きたいことはまだ山とありますが、このあたりにしておきます。これからも先生はいろいろと活躍されるとは思いますが、どうか一息もついていただければと思います。ほんとうにご苦労様でした。2017 年にスウェーデン Kiruna で行われた Store Kro meeting の excursion で文字通り氷でできた ICE HOTEL を訪ねた時の写真を添付します。左端は新潟大学の小野教授です。みんな手に持っているのはホットワイン。たのしいお酒も一緒の人、矢谷先生がいてのことです。また、どこかでゆっくりとお話とお酒を共にいたしましょう。

矢谷先生との巡り合わせ

徳島大学医歯薬学研究部 教授
日本補綴歯科学会 前理事長
日本学術会議会員
市川哲雄

矢谷博文先生、無事定年ご退職おめでとうございます。また、長い間、本当にお疲れ様でした。
私が初めて矢谷先生にお目にかかったのは、たぶん矢谷先生が岡山大学の山下　敦教室の准教授の頃で、補綴学会の中国四国支部学会であろうと思います。先生のご専門が咬合、顎関節症という補綴のメインストリームであり、私の分野は発音という超マイナーな研究分野で、神々しく、雲の上のような存在でありました。従って研究面での接点はほとんどなく、日本補綴歯科学会における会務運営でのお付き合いがスタートでした。いつもはっきりと意見を言われる矢谷先生ですが、私にはいつも優しくしていただいきました。そして先生の恩師の山下　敦先生、濱田泰三先生には先生が阪大に移られてからも支部の中で親しく接していただきましたし、門下の松香芳三先生がお隣の教室に来られたのも何かの巡り合わせかなと思っております。

私が日本補綴歯科学会の理事長に選ばれ、どう運営したらいいかを悩んでいたときには、矢谷先生には「自分の思い通りにすればいいよ」といわれました。たいへん温かい言葉なのですが､心の中では､「それは先生だからできるのですよ」と呟いておりました。人が物事を為し得るにはその人の努力はもちろん大事ですが、それ以外に持って生まれたオーラというか徳というか無邪気さというかそういったものが必要と思っております。まさしく、矢谷先生はそれをお持ちになっているわけで、実際、先生が理事長になられたら数々の発案された事業を躊躇なく行われ、そしてそのほとんどを達成されました。その一方で、会務をしっかりやられる方は、研究等については教室員に任せる方の多いのもよく見ておりました。しかし、先生は私の方から会務上原稿をお願いすることも多々ありましたが、ご自身でしっかりと原稿を準備されており、その真摯なお姿にはいつも身が引き締まる思いでした。
先生の退職直前になりましたが、日本の歯科医学の最高の賞である日本歯科医学会会長賞を受賞されました。先生のご業績から言えば当然だと思いますが､日本補綴歯科学会からは久しぶりの受賞になり、しかも残り１ヶ月とはいえ現役中での受賞は補綴学会の中ではわずかです。推薦を決めたのは私の期の補綴学会での最後の委員長会であり、学会においても私においてもうれしい限りです。また、補綴学会の中で学術に対する功績を表彰する日本補綴歯科学会賞を設けましたが、その記念すべき第１回目は矢谷先生に受け取っていただきました。矢谷先生との巡り合わせで、このように先生の受賞に少しでも関われたのは本当に光栄と思っております。

人生 100 年時代。世の中はまだまだ先生を必要と思っております。そうはいっても１つの区切りとして、海外の学会ではいつも一緒に参加される奥様と第二の人生を楽しんでいただければと思います。ご健勝と末永いご多幸を心よりお祈り申し上げます。

矢谷博文先生、ご退職おめでとうございます。

矢谷博文先生との思い出

大阪大学大学院歯学研究科
顎口腔機能再建学講座 有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野
教授
池邉 一典

矢谷先生は覚えておられないかも知れませんが、私が先生と初めてじっくりとお話しさせていただいたのは、私が留学から帰った 2001 年頃の、補綴学会の懇親会でした。その当時は、顎関節症や顎機能の生理学的な研究が花盛りで、また、分子生物学的な研究が補綴学の分野でも始まっていました。一方で、Evidence based medicine、つまり臨床データ、生物統計学、臨床疫学を重視する姿勢も盛んにその重要性を説かれていました。

私はそのころ、新規の材料や方法に頼る研究は、いずれそれが使われなくなると廃れる；ヒトを対象とした普遍性のある大きなテーマの研究がしたい；臨床家なので、歯科医師にしかできない、基礎の先生には不可能な研究をしたい；患者のデータに基づいた実感をともなう臨床研究や、より世間にアピールしやすい高齢者の疫学研究、特に口腔と全身の健康の関係を探求したいと考えていました。

既に岡山大学教授であられた矢谷先生も、臨床エビデンスの蓄積に目を向けるべきであるというお考えであったので、思い切ってお声を掛けさせていただきました。阪大 OB であるという気安さもありました。当時、補綴学会のホープであり、雲の上の存在であった矢谷博文先生が、実にフランクに、真摯な態度で私の話に耳を傾けていただいたことに感動したことを今でも覚えています。そのときは、まさか隣の教室に来られるとは思いもよりませんでした。

2003 年に歯科補綴学第一教室の教授として赴任されてからは、矢谷教室は常に我々の教室の目標でした。陣容については、中村隆志先生をはじめとした経験豊かなベテランの先生方に加え、広島大学から江草　宏先生（現東北大学教授）、岡山大学から峯　篤史先生など外からの有能な若い人材を入れて活性化し、考えうるベストの教室づくりをされてこられたと思います。学生には羨ましいほど人気があり、教室員数で我々の常に 1.5 ～ 2 倍、入局者数や大学院生は 2 倍以上、科研費獲得額や臨床の稼働額も常に我々の上を行く矢谷教室になんとか差を広げられないようにわが教室も頑張りました。また、2013 年には、日本補綴歯科学会の理事長に、大阪大学としてトップが会長であった時代も含めて初めて就任された矢谷先生を誇らしく思いました。特に学会の特別講演などでお聞きする矢谷先生の文献レビューは、綿密に練られて説得力があり、いつも大変勉強になりました。

ただ、紳士的でクールな外貌からは想像しにくのですが、私が見てきた等身大の矢谷先生は、大変気さくで、情熱家で、また話をじっくりとよく聞いてくれます。お酒が好きで、たまに誘っていただき、長らく補綴学会の重鎮でおられたご経験から、表面ではわからない学会の中のことを色々教えていただきました。私が教授に決まった日も、真っ先にワインをご持参いただきました。これは本当にうれしかったです。

今は、長年に亘る教授の重責から解放されて、肩の荷が下りられたものと思います。お好きなワインと釣りと、そして歯科臨床を存分にお楽しみください。

矢谷博文教授の御退官に寄せて

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
インプラント再生補綴学分野 准教授

前川賢治

矢谷博文先生、御退官本当におめでとうございます。心よりお喜び申し上げます。また、先生の退官記念業績集に、先生との思い出ならびにこれまでの御恩にお礼を述べさせていただく幸せに対して、心から感謝致します。

矢谷先生との最初のご縁は、私が岡山大学歯学部４年生として歯科補綴学第一講座の講義を拝聴した約 30 年前に遡ります。鮮明に記憶しているのは、山下　敦名誉教授と分担されて御教授頂いた顎関節症に関する講義です。日本顎関節学会の分類に基づいた各症型の病態と治療法について、それぞれ一回ごとの講義で詳細にお教えいただきましたが、当時、先生が情熱を注がれていた「顎関節症の補綴学的治療」に関して、常に自信に満ちたお話ぶりでエネルギッシュに解説いただいた講義は非常にインパクトが強く、補綴治療の多様な効果に魅力を感じさせていただき、自分が補綴学の道を志すことを考え始めた最初の機会になったと記憶しています。

1994 年に私が歯科補綴学第一講座に入局させていただいた当時、助教授でいらした矢谷先生には顎関節症患者の診断にアシストとして付かせていただく機会が多かったことから、顎関節症の臨床診査、MRI の読影、口腔スプリントやパンピングマニピュレーションなどの治療に対する考え方、その実際に関する細かなテクニック等、現在の自分自身の臨床の基盤形成に大きく関わる知識や技術を学ばせていただきました。現在、咬合を触って顎関節症を治療することはなくとも、咬合が崩壊した患者さんの咀嚼機能、審美性の回復にあたり、顎関節や咀嚼筋の状態を十分考慮したうえで咬合再構成治療にあたっている際、現在でも「この知識は大学院生の時に矢谷先生から学んだものだなあ。」などと思い出すことがあります。また、大学院入学後にまだ研究経験のない状態で先生の学会発表をお手伝いさせていただき、医局で二人ならんで統計解析を行ったことは緊張感に溢れた記憶に残るものでありますが、実際のデータをもとにしたプレゼンテーションの組み立て方や論の展開を拝見させていただいたことは、現在の自分自身のそれらに多大な影響を与えていただいた大切な宝となっています。さらに、私自身の趣味が先生の好きな魚釣りであったことが幸いし、私的な面でも大変かわいがっていただきました。旭川河口でのハゼ釣り大会とその釣果を先生のお宅で天ぷらにして高級ワインとともに堪能させていただく機会は、毎秋の恒例行事となっていましたが、当時の医局で緊張感を持って先生と接していた我々に、この日は最高のオフの日の表情を見せていただいていた決して忘れることのない思い出です。

大阪大学に移られた後も、国内・国際学会等、多くの場でご一緒させていただき、各地の名産と美味しいお酒を頂いた記憶も数え切れません。矢谷先生が日本補綴歯科学会の理事長、各種委員会の長をお務めになられた際には、様々な委員会委員にご指名いただき、貴重な経験させていただきました。

理事長をお務めの際に開始されたプロソシリーズは現在も継続して実施されており、現在の課題口演の選考方法も先生が学術委員長をお務めの際に確立されたものと記憶しています。さらに、研究企画推進委員長をお務めになられていた際の統計セミナーの開催など、先生のアイデアとリーダーシップのもとに計画、実施された企画は枚挙に暇がありません。このような企画に参画させていただく幸せを感じつつ、ご指名いただいた御恩と先生のご期待に報いるために最大限の努力をしたつもりですが、常に矢谷先生に助けていただいていたに過ぎないような気もしています。しかし、先生の音頭のもとに発足した日本補綴歯科学会と東京都健康長寿医療センターの共同研究では、実際の研究計画立案、データ解析に直接関わらせていただき、ご期待に少しばかり応えることができたことには安堵しています。このような有益な経験を数多くさせていただいたことにも心より感謝致します。また、矢谷先生が大阪大学に移られて間もない頃、国際学会の招待講演の機会を頂くことがあったのですが、後日、講演者として御推薦していただいたのは矢谷先生であったと仄聞することもありました。プライベートでも、学会参加のため岡山にお越しになられ前泊されている際に、少しお酒に酔われた矢谷先生からお電話を頂き、ほんの少しだけ強引にお誘いいただいて楽しい夜をご一緒した思い出も忘れられないものであり、本当にお忙しい先生でいらっしゃるにも関わらず、これまで私のことを気にかけ続けていただいたことに感謝してもしきれません。

ご退官間際の先日、岡山大学歯学部同窓会の学術講演会にて、先生のこれまでを振り返られてのご講演を拝聴する機会を頂きました。ご講演の最後に先生の補綴臨床に関するフィロソフィーを伺った際、自分自身の現在の臨床に対する考え方が、大学卒直後に診療室で勉強させて頂いた矢谷先生のお考えを基軸としたものであることを再確認させていただきました。これまで大学教員として生きてきた自分自身にとって、矢谷先生は間違いなく最も影響を与えていただき、勉強させていただいた師匠のお一人です。月日の経過は大変早く、最初のご縁から既に約 30 年が経過しました。矢谷先生がご定年を迎えられるのは未だに信じがたいものがありますが、これまで担われてこられた大役、本当にお疲れさまでした。これからも変わらずに公私にわたり多くの事をご相談、ご指導いただきますが、何卒よろしくお願い申し上げます。加えて、最近ご一緒できていない釣行の早期の実現を楽しみにしております。

矢谷博文先生の思い出

大手前短期大学歯科衛生学科 教授

中 村 隆 志

矢谷先生と私は、大阪大学歯学部の同期生です。第一口腔外科の古郷幹彦教授や非常勤講師の森田和子先生（大阪市開業）らも同じ 27 回生です。私達は、昭和 49 年に入学し、昭和 55 年に卒業しました。当時は、最初の 2 年間が教養課程、残りの 4 年間が専門課程で、それぞれ豊中（石橋）キャンパス、中之島キャンパスで授業や実習が行われました。27 回生の担任は、口腔生理で有名な河村洋二郎先生でした。

矢谷先生は、当初、豊中キャンパスの最寄り駅である阪急石橋に便利な宝塚駅近くに下宿されていました。私も実家が宝塚市であり、同じ阪急宝塚線で通っていたこともあり、早くから面識がありました。矢谷先生は、京都府の北部出身でしたが、東京で浪人生活を送られたこともあり、都会的な印象でした。もう 40 年前以上も前のことであり記憶も不確かですが、阪大だけでなく、東京医科歯科大学も受験されたようなことを聞いた気がします。医科歯科大に進学されていたら、全く違う人生だったと思います。

矢谷先生は、当時から服装にも気をつけられており、ベルトと靴の色はそろえないといけないと注意を受けたことがあります。私は、麻雀で忙しかったのですが、矢谷先生は、探検部に所属しておられ、マイクロネシアでダイビングをされたこともありました。また、当時医学部に銀簫会という尺八のサークルがあり、誘われて一緒に見学に行きました。私の方は、ちょっと苦手だったのですが、矢谷先生は銀簫会で活動を続けられました。矢谷先生の奥様も琴の奏者であり、銀簫会の関係で知り合いになられたように聞いています。

大学 3 年になると、中之島キャンパスに移りました。私達の入学時は、まだ学生運動が続いており、教養（石橋）の建物はバリケードで封鎖されていました。校門の外には、機動隊が待機しており、授業が受けられない時期が続きました。そのため、 3 年次には仮進学で進級し、石橋まで試験を受けに行きました。矢谷先生や私は、運良く試験をクリアできましたが、10 名以上が留年してしまいました。解剖実習をやっている途中で留年が決まったものもおり、おかしな具合でした。6 年次の一診では、チェアの半分が立位でした。矢谷先生は、臨床実習でも器用さを発揮されていました。

卒業後、矢谷先生は広島大学の大学院に進学され、その後、岡山大学の補綴（クラウンブリッジ）に移られました。私も阪大で同じクラウンブリッジに所属しており、1991 年に、新開発された歯科用 CAD/CAM である CEREC 1 の講習を受けるため、一緒にチューリッヒ大学に行ったことがあります。矢谷先生は、山下教授（岡大）の代理で、私は丸山教授（阪大）の代理でした。一補からは、今西仰先生も同行しました。ここでは、模型上でインレーの支台歯形成を行い、CEREC 1 で、光学印象、設計、ミリングを行いセラミックインレーを作りました。矢谷先生も私も形成はそんなに悪くなかったので

すが、適合はひどいものでした。辺縁には肉眼でも最大で 0.5mm ぐらいの間隙が見られました。この不適合インレーしかできなかった CEREC が現在では、良好な適合の得られ、ジルコニアのクラウンもできる代表的な CAD/CAM システムに発展したのですから、驚きです。チューリッヒ大学での講習後は、矢谷先生のコネクションでフライブルクの Strub 教授やエアランゲンに留学中だった大川先生（現日本補綴歯科学会理事長）を訪問するなど、有意義な出張でした。

その後の矢谷先生の活躍は皆さんがご存じの通りです。定年退官後は、臨床医として仕事を続けられるとうかがっております。今後のますますのご活躍を祈念する次第です。

CEREC 講習中の矢谷先生
（1991 年、チューリッヒ大学）

ビアホールにて、矢谷先生、今西先生、中村（1991 年）

矢谷先生との 17 年間

大阪大学大学院歯学研究科
クラウンブリッジ補綴学分野 准教授

石 垣 尚 一

矢谷先生が教授に就任された 2003 年 4 月から遡ること数か月、大阪にいる私と岡山の矢谷先生との e-mail のやりとりがスタートしました。直接の面識もないままの交流でしたが、当時の矢谷先生が大阪大学に抱いていたイメージは最悪であったようで、いったいどうなることやらと心配でした。しかし､4 月に就任される､直接お話しできるようになると､そのような心配も徐々に解消していきました。

矢谷先生はその年から日本補綴歯科学会の理事に就任され、それまであまり縁が無かった私も、幹事を始めとしてたくさんのお仕事をいただき(表 1)、視野を広めていただきました。最初の頃は要領が悪く、生活の大半を学会活動に奪われそうになりながら、なんとかこなしておりました。煩雑になりますので、他学会のことは省略しますが、17 年間、ご丁寧にご指導いただき感謝しております。

表 1．日本補綴歯科学会関係の幹事・委員歴

① 2003，2004 年度：認定審議会幹事
② 2005，2006 年度：庶務幹事
③ 2007，2008 年度：総務幹事，財務委員会委員
④ 2009，2010 年度：学術委員会幹事，第 118 回学術大会準備委員長
⑤ 2011，2012 年度：支部長会幹事，学術委員会委員
⑥ 2013，2014 年度：理事長幹事，疫学調査委員会委員
⑦ 2015，2016 年度：研究企画推進委員会幹事，専門医認定委員会委員
⑧ 2017，2018 年度：編集委員会委員，専門医制度委員会委員
⑨ 2019，2020 年度：修練医・認定医・専門医制度委員会委員

一方、国際学会での発表時、教室旅行、釣り（矢谷先生がお師匠さんです)、会食など、様々な場で楽しい思い出がいっぱいです。

左の写真は、矢谷先生が就任されてから初めての教室旅行（2003 年 8 月・高知）の宴会での 1 枚です。この時から、2 日目は朝早く出発して、船釣りを楽しむのが恒例となりました。しかし、この年は台風が通過した直後のため、全くの坊主に終わり、波も高く、他の参加者はほぼすべて船酔いで倒れてしまいました。

右の写真は息子の光昴を連れて参加した教室旅行(2004 年 7 月)の時のものです。鯛を釣りに行ったはずなのに鯖ばかり大漁で、おみやげを除いてほとんどホテルに差し上げてきました。

この頃かしばらく、毎年春には徳島まで鰹を釣りに行くことが恒例となりました（2006 年 5 月・堂浦)。ただ、鰹が釣れる確率はさほど高くなく、徐々にメインイベントは前夜の船宿での豪華舟盛り、釣り当日の筏の上での BBQ になってしまい。このところはすっかり堂浦に行くこともなくなり、日本海がメインとなっています。

右の写真は、現在東北大学教授の江草先生が広島大学から大阪大学に赴任してすぐの頃だったと思います。

右の写真は、2007 年 7 月の教室旅行と山田真一先生ご一家の写真です。山田先生はこの後、筋萎縮性側索硬化症（ALS）のため、現在もご自宅で療養生活を続けておられます。矢谷先生は、毎年 1、2 回、私、中野環先生、小野真司先生と、ご自宅までお見舞いに伺っています。一日でも早く治療法が開発されることを祈っています。

さて、一つ一つ思い出していると、際限なくページが増えてしまいますので、この続きは写真だけ並べさせていただきます。

矢谷先生はまだまだ定年というイメージではないので、65 歳定年制を歯がゆく思っておられるのではないかと思います。もっといろいろやりたいことがおありでしょうが、まずは臨床疫学研究の大きなテーマであった健康長寿を第一にしていただき、今後もご活躍なされることを祈念しております。

IADR
（2008 年 7 月・トロント）

矢谷邸新築お祝い
（2009 年 12 月）

IADR
（2010 年 7 月・バルセロナ）

EACD
（2010 年 9 月・ナポリ）

ICP
（2011 年 9 月・ハワイ）

AAP
（2011 年 10 月・上海）

ICP
（2013 年 9 月・トリノ）

新谷歩先生 阪大着任祝い
（2013 年 10 月）

教室旅行
（2014 年 7 月・越浜）

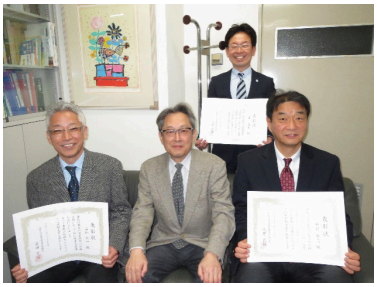
IJP
（2014 年 10 月・バリ）

AAP
（2014 年 11 月・台北）

ビワマスの釣果
（2015 年 7 月・奥琵琶湖）

EPA
（2015 年 9 月・プラハ）

研究企画推進委員会忘年会
（2015 年 12 月）



大阪大学歯学部教員評価表彰
（2016 年 3 月）

矢谷先生誕生日お祝い
（2017 年 12 月）

キス釣り
（2018 年 6 月・日置）

矢谷博文先生との思い出

かやしま歯科クリニック　院長

萱島浩輝

矢谷先生、ご退官おめでとうございます。数々の研究成果に加え、教育、また臨床にご尽力され、歯科補綴学分野はもちろんのこと、歯学分野の発展に多大な御功績を残されたことと存じます。心よりお祝い申し上げます。

大学院進学にあたり選択を迫られる研究室配属ですが、私にとってそれが人生の大きな岐路だったと思います。研究室面談の際、私の希望は一切聞いてもらえず、「お前はバイオ研に行け」とだけ言われ、当時の私はとても反発したと記憶しております。若気の至りとはいえ、大変反省しております。ただあの時、先生の一声がなければ、現在の私はなかったと思います。誰よりも濃密な研究生活を過ごし、またその内容が受賞などにより評価されたことは、当時何も取り柄のなかった私に大きな自信を与えてくれました。また、バイオ研創設の研究室長である江草先生が東北大学の教授にご栄転された際にも、後任として院卒間もない若輩者である私を助教に引き上げて頂きました。次々に自分の世界観を大きく広げて頂き、人間力を磨くことができたと思います。13年間ご指導頂きました先生には感謝の念に堪えません。

私も先生と同じ年度に退局することとなり、ご指導頂いたご恩に対して、少し心苦しく思う気持ちもございますが、先生から送別の言葉を頂けたことは、とても印象深く、嬉しく思っております。この経験を糧に矢谷教室の卒業生として、精一杯精進して参りたいと思います。

先生には今後とも体調にご留意頂きつつ、益々のご活躍を心よりお祈りしております。

矢谷先生のご趣味について

大阪大学大学院歯学研究科
クラウンブリッジ補綴学分野 講師

瑞 森 崇 弘

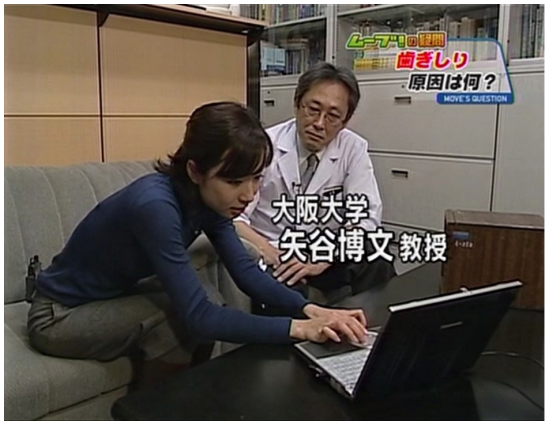
矢谷先生が着任された当時の思い出から書き始めようとしましたが、他の先生方が書かれていると思いますので、違うことにします。矢谷先生の代表的な趣味は釣りであろうことは多くの先生方がご存知ではないでしょうか。毎年の教室旅行は船釣りができる場所に行き、教室員と一緒に釣果をあげておられました。他に私が存じ上げていることでは、ワインやバラにも造詣がお深く、色々なご趣味をお持ちと伺っております。私の趣味はPC関係なのですが、矢谷先生はPCパーツのジャンク品をオークションで入手し、プレミア価格がつくような旧製品をリストアするのを楽しんでおられます。相当にマニアックな領域に達しておられると思います。インテルのCPUをお使いですが、私は似た性能のインテル品と比べると安価なAMDのをK6あたりからずっと使っています。私には予算的に無理でしたがRyzen Threadripper 3960X (24-core, 48-thread) を使って最新モデルの自作などされてはいかがでしょうか。Threadripperは将棋の藤井七段も作ってみたいと言っていました。

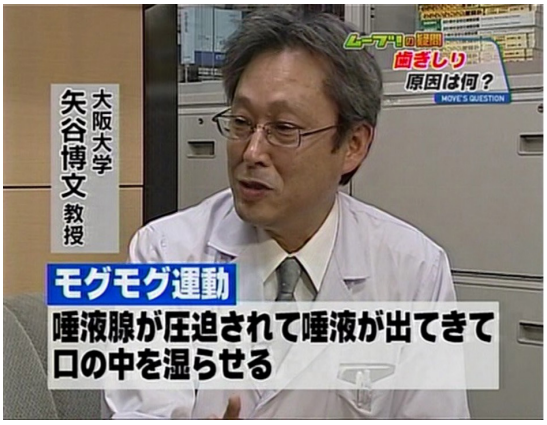
音楽はなんとなくジャズやクラシックを聴かれるのだろうと思っていました。例えば、キースと言えばジャレットで、エマーソン（ELP)、ムーン（誰）やリチャーズ（転石）ではないだろうと。私は80年代にジャンルごと廃れたように思われるHR/HM方面の洋楽が好きで、ずっとその頃の音楽しか聴いていませんでした。ところが、2012年頃にMCZというわけのわからないものに遭遇し、過去に遡ってBRDを揃え2017年からはライブにも行くようになりました。筆者写真の後ろの建物は大阪城ホールで、昨年12月のクリスマスライブの前に撮りました。

話を矢谷先生に戻しますと、驚いたことにLGMがお好きでFCにも入っておられます。
写真は昨年２月のLGM武道館ライブです。２階席正面の最前列が当たったとおっしゃっておられたので、拡大していただくと画面右端に写っておられるかもしれません。

ついでに私が写っている右の写真は大阪城ホールでの2017年暮れのMCZのライブです。これは8年続いた5人時代の最後に近いライブでした。

趣味とは関係ありませんが、たまたま講座のNASのVideoフォルダをみていたら矢谷先生のご出演番組がありました。撮影場所は教授室で2007～8年頃です。





最後になりましたが、長年にわたり教室を先導していただき、ありがとうございました。大学の枠を離れて今後もご活躍されるとのこと、お体にはお気を付けください。
重ね重ねありがとうございました。

「矢谷教授の教え子」

大阪大学大学院歯学研究科
クラウンブリッジ補綴学分野 講師

峯　篤史

矢谷先生が新しい一歩を踏み出されるこの機会に、20 年以上公私ともに、この上なく良くしていただいたことにあらためて深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

本記念誌には矢谷先生へのメッセージが数多く記されています。ある方は矢谷先生の恩師であり、ある方は盟友であられます。この峯は、矢谷先生の「教え子」であり、その中でも「最もお世話になった者」であることに間違いはありません。岡大歯学部学生(特にサッカー部員)として、指導していただいた大学院生、若手教員として、釣りの初心者としてなどなど、教わったことは数えきれません。

大阪大学総長顕彰を受賞された矢谷先生と峯（奨励賞）のダブル受賞（2014 年）

Prof. Pashley，桃井教授と (1999 年)

直接的だけではなく、間接的にもたくさんの意義深い教えをいただきました。材料系、Pain 系の著名な方々と深く知り合う機会をいただき、さらに大学人として進むべき道を明確に示していただいたきました。Prof. Van Meerbeek の元に留学することを夢に持てたのことも矢谷先生のお導きあってのことです。

Prof. Van Meerbeek と（2016 年）

Prof. Okeson と（2013 年）

Prof. De Laat と（2009 年）

大学院生時代のことで心に残っていることは、「峯は（学会で）結構いい質問をする！」と言っていただいたことです。それは、鈴木一臣教授と 3 人でお話しているときでした。単純な峯は学会でさらに質問する姿勢で臨むようになりました。このように峯は矢谷先生にたくさん“褒めて”育てていただきました。

岡山大学第一補綴　材料系（2003 年）

2012 年に大阪大学へお声がけいただいたことにも、心から感謝しております。帰阪してよかったと考えているのは峯個人だけではありません。この場をおかりして、家族・親族からの御礼もお伝えさせていただきます。

大阪大学大学院歯学研究科クラウンブリッジ補綴学分野（2012 年度）

矢谷先生の教え子ということで、学会の責務を担うチャンスを多くいただきました。委員会の委員となるご依頼をいただいた際、その委員会の委員長へ矢谷先生がおっしゃられたお言葉、「峯をこき使ってください！（よく働きますから）」で勇気をいただきました。

補綴学会若手の先生方と（2018 年）

日本接着歯学会・矢谷理事長の幹事としても色々な経験ができました。接着歯学を研究する補綴臨床家として接着歯学会のためにお仕事をできることを、とても嬉しく思いました。特に「矢谷理事長だからこそ」の素晴らしいコンテンツが盛りだくさんとなった 35 周年記念事業にお傍で参画できたことは貴重でした。

接着歯学会若手の先生方と（2017 年）

教室では接着歯学の研究チームを任せていただき、濃密な研究生活を送らせていただきました。矢谷先生に常に迅速にそして力強くご教示いただき、われわれは幸せでした。

松本真理子先生の壮行会（2015 年）

このように大学人として、恵まれた環境の中で質の高い研鑽を積ませていただくとともに、たくさんの楽しい時間をご一緒させていただきました。この深く大きな感謝を言葉で表すことができません。この先もこの教え子に、変わらぬご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

接着歯学会学術大会の懇親会（2019 年）

教室の花見（2013 年）　　矢谷先生の赤いカヌー↑

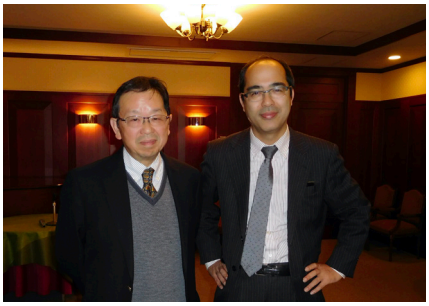
矢谷先生にいただいた素晴らしい機会

大阪大学大学院歯学研究科
クラウンブリッジ補綴学分野 助教

若林一道

矢谷先生、長い間お疲れ様でした。矢谷先生とお仕事をご一緒させていただいた時間は、私の大学人生でも色々なことがあり、忙しいながら、本当に楽しい時間でした。

歯学部附属病院の医員を６年間努め、医員の職が年限を迎えていたため、一般歯科開業医に２年間努めることとなりました。なかなか大学の教員で２年間、開業医に就職していた先生は少ないのではないでしょうか。もう大学を辞めようかと思っていたところ、矢谷教授と歯科理工学教室の荘村教授から、医学部で臨床医工学融合研究教育センター（MEI センター）が立ち上がり、教員を募集しているからそちらにエントリーしてみないかとの話がありました。私は臨床をしながら理工学教室で学位を取得しましたので、医工連携という内容から幸運にも特任助教として採用していただくことができました。倉智嘉久センター長からいただく仕事はとても忙しかったのですが、医工学について勉強する機会をいただき、現在の補綴のメインストリームの一つであるデジタルについてとても役に立っています。宮原秀夫元総長や西尾章治郎総長、澤芳樹先生、2002 FIFA ワールドカップ日本組織委員会業務局長や内閣官房審議官を歴任された御園慎一郎先生、ロボットで有名な石黒浩先生、映画監督の大森一樹先生、元プロ野球選手の江本孟紀様、女優の秋吉久美子さんなどとお話をさせていただく機会もあり、矢谷先生からのご連絡がなければ、このような経験はできなかったものと、本当に感謝しています。



それから、2010 年 1 月に開催された第 28 回日本接着歯学会学術大会の準備委員長をさせていただいたのも、とてもいい経験でした。この役目により、学術大会開催に関するある程度の手順やノウハウなどを知ることができました。ただ､私がいろいろ関わらせていただいた矢谷先生が大会長の学会は、島根県や石川県など、大阪から遠い場所が多く、場所としては最高なのですが、会場の下見など、事前の準備がなかなか大変でした。ですが、やはり実行委員長という役職のためか、多くの他大学の先生にご挨拶をいただいたり、この学会で名前を覚えていただいた先生も多く、私のような者にこのような役を与えてくださったことに感謝しております。それ以外に教室のあゆみでも書かしていただきましたが、最も記憶に残っているのは、懇親会です。宍道湖のほとりにあるイングリッシュガーデン内のイタリアンレストランにて行ったのですが、120 名ほどの方にご参加いただき、盛大に開催することができました。懇親会の最初、矢谷先生の希望でウエルカムドリンクを用意し、参加者の皆様に振る舞うことになっていました。皆様がシャンパンを飲まれ，優雅に会が始まりました。懇親会では私が司会だったのですが、田上会長が乾杯の挨拶をしているとき、矢谷先生と担当の方の話し声が聞

こえてきました。矢谷先生「何の飲み物で乾杯するの？」
会場関係者「乾杯のドリンクは承っておりません。」
矢谷先生　「マジで。なんとかならんのか？」
会場関係者「なんともなりません。」
矢谷先生　「若林、なんとかしろ。」（最後はやっぱり俺か・・・）
と思いながら、「本レストランはイタリアンレストランで、ビールでの乾杯はできませんでしたので、申し訳ございませんが、お手元のシャンパングラスを再度お持ちください。」と、とりあえず案内し、無事乾杯を済ませる事ができました。私の横で矢谷先生が「若林、ナイス。若林、ナイス」と小声で連呼されていたのが今でも耳に残っています。

　また、医局旅行に関してですが、私の子供等がとても楽しみしていました。長女から長男までほぼ毎年参加させていただいておりましたが、子供たちが楽しそうに矢谷先生や医局員の先生方にお酒を注ぎに行ったり、写真を撮っている姿をみて、一補に残ってよかったと思っていました。矢谷先生には色々な機会を与えていただきました。これらを無駄にすることのないように今後も頑張っていく所存ですので、今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、どうぞ宜しくお願いいたします。
　矢谷博文先生が健康で無事ご退任をお迎えになられること、心からお慶びを申し上げます。長い間、歯科界でご一緒できたことに感謝を申し上げます。

お祝いの言葉

明石喜裕
あかし歯科クリニック 院長
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

矢谷先生、御退官誠におめでとうございます。
　医局に在籍した 8 年間は歯科医師として社会人としての多くのことを学ばせていただきました。多くの方々との出会いがあり本当に充実した医局生活を送らせていただきましたし、先生から頂きましたご指導や環境は今の私の基盤になっております。
　いつも明るく、意欲的な先生をお手本に、これからも 35 年間は歯医者を頑張りたいと思っております。今後のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

赤瀬公計
赤瀬歯科医院 院長
矢谷会

　矢谷先生が広島大学大学院生、私が学生として出会いは人生の大きな幸運の一つです。学生診療室ではライター、卒業時には岡大一補綴に連れていって頂き、そこで歯科医師としてのスタートを切ることが出来ました。私の結婚披露宴で頂いた心の籠ったお言葉は胸に刻んでいます。先生の主催された京都での補綴学会での再集結が矢谷会結成へと繋がりました。先生の益々のご活躍とご健康を心より祈念するものであります。

浅野将宏
連島あさの歯科 院長
岡山大学歯学部サッカー部 OB

矢谷先生、ご退任おめでとうございます。
　岡大歯学部サッカー部（11 期生）浅野です。矢谷先生には、私が歯学部６年次の頃に、サッカー部の顧問をしていただきました。1995 年ですから、今から 25 年も前のことです。長いような、短いような。
　矢谷先生には、自分のような者でも本当に気さくに話しかけていただき、うれしく思っています。先日の岡山でのご講演前日の祝賀会でも、２保存出身から見ると羨ましいくらい、１補綴 OB の先生方とざっくばらんに歓談をされていたのが印象的でした。「これから根治をせんといかん、教えてくれよ！」とか、今後の生活も波瀾万丈でしょうか？！
　血圧など体調には充分にご留意いただき、今後も笑顔の素敵な先生でいてください！

蘆田俊二

あしだ歯科クリニック 院長
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

矢谷先生から学ばせて頂いた多くのことを短い文章で伝えることは難しいのですが、二点述べさせて頂きたく思います。一つ目は当時全国の歯学部で最大の医局員数（しかも血の気の多い人だらけ）であった１補を愛と優しさで統括したリーダーシップです。２つ目は当時の主流であった全顎治療や咬合再構成ではなく Minimal Intervention（最小の侵襲で最大の効果）にフォーカスをあてた治療概念へのシフトです。矢谷先生、本当におめでとうございます。

足立健次

八束歯科クリニック 院長
岡山大学歯学部サッカー部 OB

私が矢谷先生にお世話になったのは先生が一補綴の助教授の頃でした。友人が矢谷先生の助教授診を受ける際の患者が私でした。その際の検査表には私にないはずの左下５番の歯周ポケットが６点法で記入されていました。先生はそれを視て「本当に検査したのか」と笑ってその場を後にされました。当時の怖い印象の先生とは違い非常に優しい表情だったのを今でも覚えています。それから数年後、私が勤務していた医療法人が勉強会の講師として先生をお招きしました。勉強会後の飲み会では私を一社会人として対等に接していただき本当にうれしかったです。その数年後、岡大サッカー部３０周年の記念式典で再開し丁重にお礼をさせて頂きました。しかし、全く覚えていただけておりませんでした。こんな影の薄い私ですからこそ矢谷先生の更なるご活躍を陰から応援させていただきます。

天羽康介

曽根駅前歯科 勤務
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

矢谷先生、ご退官おめでとうございます。長い間ご指導いただきありがとうございました。研究の相談の際はいつも的確にご指摘いただき、普段はユーモアのある親しみやすい雰囲気で接してくださり、理想の上司であると思っています。ご健勝とご多幸をお祈りしております。

お祝いの言葉

荒川　光
オリーブファミリーデンタルクリニック 院長
岡山大学歯学部 朋来会

ご退任を心からお祝い申し上げます。
　15 年くらい前の「車エビ事件」覚えていらっしゃいますか？医局の冷蔵庫を開けた某栄伸先生の「うまそうなエビがあるぞ」のひと言で、その日は「エビパーティー」になりました。その時の僕たちには、その車エビが矢谷先生へのお歳暮とは知るよしもなく・・・、空き箱を見て怒り狂う矢谷先生に謝るしかない僕たちでした。あの時は本当に申し訳ありませんでした。
　当時生まれたばかりの愚息も高校生になりました。今後とも、公私ともどもご指導よろしくお願いいたします。

有田　景
いちき歯科 勤務
岡山大学歯学部サッカー部 OB

　長年の任務を無事勤めあげられましたこと、心よりお祝い申し上げます。私は学生時代、岡山大学サッカー部に所属しており毎年夏のキャンプで、また卒業後も OB 会にてお世話になっておりました。至らない私にも学生時代からいつも温かく、時に熱く話して頂いたのを覚えております。
退職後も臨床に携わるとお聞きしました。新たな環境でも、さらなるご活躍されることをお祈りしております。

安藤ゲン
ゲンデンタルクリニック 院長
岡山大学歯学部サッカー部 OB

矢谷先生、この度は御退官おめでとうございます。
　岡山大学時代から家族のように可愛がって頂き、本当に楽しい時間を過ごさせていただきました。これからも妻、子供達共々家族ぐるみでお世話になると思いますので、よろしくお願いいたします。

飯田吉郎

医療法人ナディアパークデンタルクリニック 理事長
岡山大学歯学部サッカー部 OB

矢谷先生、ご退任おめでとうございます。
　30 年前に岡山大学の補綴学実習で初めてお目にかかって以来、先生は私の憧れでした。キレッキレでかっこよすぎでした。近年はその温かいお人柄に触れ、またさらに憧れが強まっています。そして、これからもずっと憧れ続けます！

池田淳史

岡山大学病院 歯周科 助教
岡山大学歯学部サッカー部 OB

矢谷先生　定年ご退官、心からお祝い申し上げます。
　岡山大学歯学部サッカー部の顧問として、新入生歓迎会や夏季のキャンプ等の楽しい思い出だけでなく、学生の時に教わった「鬼手仏心」を心がけながら日々の臨床に取り組んでおります。
　ご退官後もぜひ、岡山大学歯学部やサッカー部にお越しください。また、今年の夏季のキャンプでお会いできることを楽しみにしております。

池田聡子 (旧姓 楠本)

岡山大学歯学部歯学科サッカー部 OG

矢谷先生、この度はご退任おめでとうございます。
　岡山大学歯学部サッカー部マネージャーを 6 年間勤めさせていただきました。大学に入って 1 年目、2 年目の何もわからない私に、教授という肩書きを感じさせないお人柄で接してくださり飲み会やキャンプなどとても楽しく過ごさせていただきました。また、私が学生の時、顎関節症を患い口が開かなくなってしまったときには、教授自ら診察してくださり、恐れ多くも、とても感激した覚えがあります。現在の私はというと、卒業後早々と結婚し、2 人の女の子の子育てをしながら歯科医師としても頑張っています。毎日が忙しくてんやわんやですが、いつも明るく、笑顔が素敵な矢谷先生をお手本にこれからも精進していきたいと思います。
　先生の益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

お祝いの言葉

石井雅之

石井歯科医院 院長
岡山大学歯学部 朋来会

私が四十年前、大阪の予備校で国家試験を受けた時、教室の半分は阪大の学生さんでした。もしかして先生もあの中におられたのでしょうか。当時は合格点に達すれば全員合格できるシステムだったので、大歯の我々はバカ話に興じていましたが、阪大の学生さんはほぼ全員、勉強しておられました。この人たちは常に百点を目指しているのか、と驚かされたものでした。先生が退任されると聞き、なぜかそのことが思い出されました。

石田昌也

大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 大学院
岡山大学歯学部サッカー部 OB

矢谷先生ご退任おめでとうございます。長い間お疲れ様でした。
大学生だった私が矢谷先生とお会いできる機会は毎年夏にある OB キャンプの時でした。キャンプでは毎年数多くの美味しいワインを飲ませて頂き、最高のひとときを過ごさせて頂きました。そのようなご縁と矢谷先生のおかげで、今年の 4 月から第一補綴教室の大学院生として補綴学を学ばさせて頂きます。特別講義しか受けたことがないので、今後矢谷先生から色々なご教示を頂けましたら幸いです。

伊藤真午

総合病院岡山協立病院歯科 歯科部長
岡山大学歯学部 朋来会

岡山大学 1 補綴では大変お世話になりました。そして、先生のスマートな生き方にあこがれておりました。それ故、色々な所で先生のお名前を拝見しますと、懐かしくも思いつつ、つい目を通さずにはおられませんでした。そして、その内容は毎回興味深く、わかりやすい切り口で書かれており、いつも勉強させて頂いておりました。本当に長い間、色々ご教示頂きありがとうございました。そして、お疲れ様でした。
ただ、まだまだ期待しておりますので、今後の益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

伊東裕子
いとう歯科 副院長
岡山大学歯学部 朋来会

春うらかたに花の季節が訪れました。
　この度は教授のご退任の由、心からお喜び申し上げます。25 年程前、3 年間先生にご指導いただきましたが、優れたご才能とお人柄で医局をまとめられ、その後、大阪大学教授となられ、遠い存在に感じられました。しかしながら、毎年年賀状をいただき大変嬉しく思っております。
　これまでの御恩へのお礼とお祝いまで申し上げます。

井上将樹
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 医員

　矢谷先生、ご退官おめでとうございます。長年にわたりご指導いただき、ありがとうございました。矢谷先生は普段の大学で一補を導いている姿はもちろんのこと、新年にご自宅に医局員を招いて下さったり、医局旅行などでも率先して盛り上げて下さるなど、上司として非常に尊敬しております。これまでの経験を生かし、さらなる発展とご活躍を願っております。

今井　誠
今井歯科クリニック 院長
岡山大学歯学部 朋来会

矢谷先生、この度はご退任、誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。
　岡山大学歯学部では、たくさんのご指導を賜り本当にありがとうございました。仕事はもちろんバリバリとこなし、釣り・園芸・料理など趣味がとても多彩で、ルックスも抜群な先生が、学会の打ち上げでご披露なされた“キングコング芸”!!　先生のお人柄を垣間見るとともに、あのギャップにはとても衝撃を受けたことを今でも覚えております。
　これからも先生の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

お祝いの言葉

岩崎正一郎

医療法人 岩崎歯科診療所 院長
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

　矢谷先生、ご退任おめでとうございます。私自身は、一補で現役としてお世話になることはありませんでしたが、私が行っております歯根破折歯の接着再植治療に関してご興味を持っていただき、いろいろとお声がけしていただいたことは私にとって心強いものであり、大変感謝しております。矢谷先生の今後の益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

上橋大輔

上橋歯科医員 勤務
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

矢谷先生、この度は、ご退官誠におめでとうございます。
　ご在任中はひとかたならぬご厚情とご指導を賜り、深く感謝いたしております。教えていただいたことは数え切れず、本当に感謝してもしきれない想いがございます。今後のご健康とご活躍をお祈りいたします。

上橋清美

日本歯科学院 学校長
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

矢谷先生、この度は、ご退官誠におめでとうございます。
　在籍中は大変お世話になりました。先生に、学会発表の方法から始まり臨床での患者さんへの対応までご指導いただいましたことで、学ぶ楽しさ、研究や教育の楽しさを知りました。これは、今の私の基盤となっております。先生への恩返しは、良い学生を育て少しでも歯科業界に貢献することだと思っております。
先生には今後ともお元気で、これまでの知識やご経験を活かされ、ますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

上原淳二

北川病院 歯科医長
岡山大学歯学部 朋来会

矢谷教授、この度はご退任誠におめでとうございます。平成 11 年に岡山大学補綴学第一講座に入局後約 4 年間、先生には、教育、研究、臨床の 3 本柱の大切さをお教え頂きました。今でも私の歯科医師としての礎となっています。ありがとうございます。毎年同門会や学会で先生とお会いしたり、年賀状でご挨拶できることをいつも楽しみにしております。どうぞお体を大切にますますお元気で、またお会いできる日を楽しみにしております！

上村明日香

大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

このたびはご退官おめでとうございます。補綴分野の教育、臨床の発展にご尽力され、多大なご功績を残されたことと存じます。また、学生の時の講義から大学院と、長きにわたり御指導御鞭撻いただき、ありがとうございました。矢谷先生から学んだことを忘れず精進し、また次に受け継いでいきたいと思います。

江口傑徳

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
歯科薬理学分野 助教

祝！ご退任

無事にこの日を迎えられ，本当におめでとうございます。長い間の勤労お疲れ様でした。早朝の顎関節の勉強会，診療室での凛としたお姿，ハゼ釣り，私たちにとってかけがえのない宝物・思い出になりました。心から感謝しています。

これからもお体には十分気をつけて元気でいてください。

お祝いの言葉

梅香路英俊
埋香路歯科 院長
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

矢谷教授、定年退官誠におめでとうございます。
お祝いのお言葉を述べさせていただく段にあたって色々な美辞麗句があると思いますが、私と先生は３年違いますし、尚且つ先生とは教室行事の折にお話させていただく程度で個人的なお付き合いは殆どなく、先生の人となりを申し上げるのは同級生の方から先生のこと聞くだけで非常に難しいと思っています。

定年退官されてこれからは第二、否第三の人生を歩まれるかと思います。学生の指導、教室員の色々な研究に関してのご指導、宿命とも言える歯科医としての患者さんの診療等々、本当に多くのことに携われ長年のご苦労に敬意を表さずにはいられません。今しばらくはごゆっくり静養していただきたいと思います。

昨年９月、下総名誉教授が御還浄された時、先生はご弔意に来られていました。その時私は初めて先生のお心にお会いし触れたような気がいたしました。

先生のこれからの人生が有意義に過ごされるならば、今までの先生の歩まれた人生が光輝く証として評価されると思います。今後先生とは一補の行事ぐらいでしかお目にかかることができませんが、いつまでも若さを保たれお元気なお姿で皆様方とご一緒にお会いできますことを願っております。

江崎良真
江崎歯科医院 勤務
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

感恩報謝。矢谷先生ありがとうございました！

大石浩司
しまなみ歯科医院 院長
岡山大学歯学部 朋来会

定年御退官心からお祝い申し上げます。自分が先生と一緒に過ごさせていただいたのは先生が岡大の新教授として就任された頃、自分は研修医としてお世話になりました。思い出すのは朝勉強会というものがあったことです。そうです、Okeson 先生のビデオを若手と先生とで見たのをすごく覚えております。そして、同期の黒井が Okeson 先生が顎関節を手振りで表すのを「今度、カニでも行く？」と吹き替え物まねしたことをよく覚えております。こうして、先生のもとで顎関節症を学んだおかげで、開業した今でも顎関節症に対し自信をもって患者様に対応できます。これは一生の財産です。本当にありがとうございます。今後、益々のご活躍と御家族皆様のご健勝を祈念申し上げます。

大谷恭史
DENTAL OFFICE OTANI 院長
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

矢谷先生、御退任を心からお祝い申し上げます。
矢谷先生が大阪大学に赴任されてからの最初の大学院生としてご指導いただいてから、現在に至るまで公私共に大変お世話になり、本当にありがとうございました。
私の留学先のシアトルを訪ねていただき、楽しくワインを飲みながら食事をご一緒させて頂いた事が、昨日のように思い出されます。
帰国後も、矢谷先生の特別なお取り計らいにより、講演の機会を頂いたり、後輩たちを指導させていただく機会を頂いたりと、感謝の気持ちで一杯です。
先生の教室への思いを引き継いで、微力ながら教室の発展に貢献していく所存ですので、今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。退任後もさらなるご活躍をお祈りいたします。

大月 浩
おおつき歯科クリニック 院長
岡山大学歯学部サッカー部 OB

この度はおめでとうございます。
長年お疲れ様でした。岡山大学歯学部学生時代に医療人を志すものとしての厳しさを教わった３０年前のご縁以来、時代を先導されて来られた歯科界でのご功績は元より歯科治療におけるフィロソフィーまで多く学ばせていただきました。そして何よりも、先生のクールでありながらも、熱い、人望の厚いお人柄にお慕い申しております。今後もどうぞお体にご留意され、益々のご活躍を祈念いたしております。

お祝いの言葉

大西栄史
吉祥寺デンタルクリニック 院長
岡山大学歯学部 朋来会

矢谷先生。教授ご退任おめでとうございます。
　岡山大学教授ご就任時の研修医として、大変お世話になりました。当時、右も左もわからなかった私は、多くのことを教えて頂きました。私が患者トラブル問題を起こしてしまい、大変なご迷惑をおかけした時、現岡山大学窪木教授とともに、矢谷教授に助けて頂きまして、今の私の歯科医人生があると思っています。大変感謝しています。一生忘れません。長い間おつかれさまでした。これからもお体を大切になさってください。

大野誠之
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 大学院生

　学生時代の講義から今に至るまで、大変お世話になりました。講義で印象的であったのは、内容はもちろんのこと矢谷先生の教養の広さと深さでした。一補でお世話になってからも常に専門領域にとらわれない博識さに感銘を受けました。今後とも私の人生のお手本とさせていただきます。ありがとうございました。

大森　潤
おおもり歯科 院長
岡山大学歯学部 朋来会

　和田精密歯研（株）の広報誌「希望」（2013 年版）に掲載された矢谷先生の特集記事を読んでいた時、たまたま周りにいた歯科関係者でない友人達がどアップの写真を見て「この方めっちゃダンディで格好いいっ！」と感嘆。「インテリでイケメンでフランクな恩師の先生。俺は職場も部活も直径だぜ！」と自慢。私達の永遠の若大将、いつまでもお変わりないご活躍を信じてやみません。このたびのご退任、誠におめでとうございます。

岡村真弥
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 医員

矢谷先生、御退官誠におめでとうございます。
　学位を始め、在学中は大変お世話になりました。学部生時代からとても印象に残る講義をされる先生だと感じていました。入局後も教授としての業務だけでなく、医局旅行やご自宅での食事会など、とても気さくかつ活発に活動されているのを拝見し、自分もこういう上司になりたいと思っています。新天地での益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

岡本峻輔
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 大学院生

17 年間お疲れ様でした。ご退官おめでとうございます。
　入局から 1 年と短い間でしたが、その 1 年間ほぼすべての矢谷先生の診療につかせていただくことができました。間近でトップレベルの顎関節治療を勉強することができ、贅沢かつ有意義な 1 年間となりました。これから顎関節症で困っている患者さんに出会うときには、この 1 年間で学んだことを活かせていければなと思います。本当にありがとうございました。

小川丈夫
トミデンタルクリニック 院長
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

矢谷先生、御退官おめでとうございます。
　大学院在籍中は、先生の御指導のお陰で無事学位を取得する事が出来感謝しております。入局初年度の医局旅行で、先生と一緒にボートを漕ぎ魚釣りをした事、岡山観光した事が思い出深いです。また、先生御夫妻に結婚式の仲人をいて頂いたことは家族の一生の思い出です。先生の今後のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

お祝いの言葉

小川秀典

小川歯科医院 院長
矢谷会

矢谷先生、ご退任おめでとうございます。
　私が大学を卒業し岡大の第一補綴に入局し、同時に先生は講師として入局されました。
　週一回行われていた顎関節治療に関する抄読会など先生のおかげで充実した医局生活を送ることができました。
　お互い魚釣りが好きで忘れられない多くの思い出が昨日のように思い出されます。
研究、教育、臨床と長い間お疲れ様でした。これからもますますのご健勝を祈念しております。

尾田　良

医療法人社団 尾田歯科クリニック 院長
岡山大学歯学部サッカー部 OB

矢谷先生、定年御退任、心からお祝い申し上げます。
　先生と初めてお会いしたのは３０年前、岡山大学での先生の講義でした。私にとっては軍隊のような恐怖の授業で、一睡もできませんでした。そのイメージが一変したのが、故天野先生とご自宅にお邪魔した時でありました。大学とは全く別のとても優しいお顔でした。食したペペロンチーノは今でも忘れることができません。
　まだまだお忙しいとは存じますが、これからは自分の時間も大切にされ、どうぞご家族とごゆっくりお過ごしください。

織田和博

織田歯科医院 院長
京都府歯科医師連盟 副会長

　今日までのご職務、研究、教育、ご指導お疲れさまでした。ありがとうございました。充分な骨休めの後には、ご健康にご留意の上、歯科界のさらなる発展のため、ご活躍ありますことをお祈り致します。また、ご公務に時間を取られ犠牲とされておられましたこと、人生の充実にも成果がお有りになりますことを願って止みません。
　矢谷先生のご人徳に触れ集いました私達「矢谷会」も、今後変わらぬ集いを続けてまいりたいと思います。久しく変わらぬご指導をお願い致します。ゴールへ到達しようとの試みにこそ栄光はある。- マハトマ･ガンジー - だそうです。矢谷先生に尽きることのない試みがありますように。

小田上孝司

おだがみ歯科医院 院長
岡山大学歯学部 朋来会

矢谷先生、大阪大学歯科補綴学第一教室教授定年退職を迎えられるとの事、おめでとうございます。
先生には、岡山大学歯学部の学生としてまた卒業後歯科補綴学第一講座の医局員として大変お世話になりました。先生に教えていただいた「鬼手仏心」の心構え、大切にしております。
これからもお体を大切に、ますます充実した日々をお過ごしください。

小野　剛

倉敷市立市民病院歯科口腔外科 医長
岡山大学歯学部 朋来会

矢谷博文先生、ご退任を心よりお祝い申し上げます。
学部の部活動の顧問をして頂いた頃からお世話になっております。先生との一番の思い出は、シンガポールにお越しいただいたことです。おいしい食事やシンガポールの夜景などなど、楽しかったです。今後のご健康とご活躍をお祈りいたしますとともに、岡山でお会いできるのを楽しみにしております。現在は、倉敷市児島のゆるキャラ 「G パンだ」とともに働いています。

小野真司

大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 医員

矢谷先生、ご定年おめでとうございます。
無事にお仕事を勤めあげられたことをお祝い申し上げます。ご在任中はとても優しく、時に厳しくご指導していただき、本当に感謝しております。多くの機会を与えていただき、歯科医師として､人として成長できたと思います。今後のご健康とご活躍を心より祈念しております。長い間、ご苦労様でした。

お祝いの言葉

加藤亜季子

加藤歯科医院 勤務
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

矢谷先生、御退官心よりお慶び申し上げます。
　何時ぞやの医局旅行の際に、矢谷先生と釣りを御一緒させて頂きました。なかなか釣れない私達のために、先生は「絶対に釣らせてやるからな」と、オキアミを大量にまいて下さいました。魚は釣れませんでしたが、とても楽しい思い出です。
　一補に在局中はオキアミをまいて頂くどころではない、多大なる温かい御指導を賜りまして、本当にありがとうございました。そして、出来の悪い大学院生で大変申し訳ありませんでした。教育・臨床・研究と歯学の発展に貢献なさった矢谷先生、今後も健やかに益々の御活躍をなさいますこと、お祈り申し上げます。

金田祥弘

K デンタルクリニック 院長
岡山大学歯学部サッカー部 OB

矢谷先生、この度は長きにわたるお勤め、お疲れ様でした。
　私が岡山大学歯学部サッカー部に入部した当初、矢谷先生が顧問をしてくださっておりました。飲み会の際は矢谷先生の温和なお人柄のおかげで、緊張する僕たちもすごくアットホームな雰囲気で楽しむことができました。先生が大阪大学の教授としてご退職された際は、すごく寂しい気持ちになったことを今でも覚えています。
　ご退職されてからも、岡山大学歯学部サッカー部のことをずっと気にかけてくださり、関わった全ての者が感謝と、尊敬の念を抱いているはずです。僕もわずかな間のお付き合いでしたが今でも先生に名前を覚えていただいていることが光栄で、非常に嬉しいです。
　いつまでもアクティブでお元気な姿を見せていただきたく思いますので、ご退官されてからもくれぐれもご自愛ください。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。この度は本当におめでとうございます。

川上滋央

岡山みなみ歯科クリニック 院長
岡山大学歯学部サッカー部 OB

矢谷先生，ご退官おめでとうございます。
先生には私が岡山大学歯学部サッカー部入部して以来お世話になっております。先生が大阪大学歯学部補綴学第一教室教授にご着任以降もサッカー部のキャンプは好例行事となっており，毎年非常に楽しい時間を過ごすことができました。近年はなかなか参加できておりませんが，最近家族でキャンプをすることにハマっており，是非また先生とキャンプでご一緒できればと思います。先生の今後の末永いご健康とご多幸をお祈りいたします。

川端秀治

川端デンタルオフィス 院長
岡山大学歯学部 朋来会

岡山大学歯学部歯科補綴学第一講座に入局したのは今から 23 年前。開業準備のため矢谷教授の元を離れて北海道へ。2 年後開業したあるとき、矢谷教授から祝いの時計が届きます。他大学卒の新入医局員で 3 年間お世話になったきり。開業のお知らせなどしておりませんでしたから、医院の雰囲気にあつらえたかのような時計のデザインは私にとって生涯忘れない矢谷教授との思い出となり、矢谷教授のお人柄を深く知る出来事となりました。時計は 16 年経った今も医院の真ん中で時を刻んでいます。

完山　学

一般財団法人倉敷成人病センター／健診センター歯科 部長
岡山大学歯学部 朋来会

矢谷先生ご退任おめでとうございます。
公私とも長年にわたりご指導いただき、ありがとうございました。
思い起こせば、先生と初めてお会いしたのは、私が岡大４年生の１補綴の授業と実習でした。先生はその時 36 歳！もうあれから約 30 年経ちますね。出身が同じ京都ということもあり、ずいぶん目をかけていただき、そのご縁で同じ補綴の道に進もうと決めたことを昨日のように思い出します。
これからも先生とは生涯をかけてのお付き合いを続けていきたいと思っております。どうぞ、お体を大切に、ご家族の皆様への心よりの御隆盛を祈念いたします。

お祝いの言葉

絹田宗一郎

絹田歯科医院 院長
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

矢谷先生、御退任おめでとうございます。
　僕は大学院の途中からご指導いただきました。研究途中という難しいタイミングからのご指導にも関わらず、学会発表の方法など多岐にわたってご指導いただきありがとうございました。補綴学会と歯科理工学会での受賞や科研費の獲得などは先生のご指導のおかげだったといまでも感謝しています。ほんとうにありがとうございました。

木林博之

きばやし歯科医院 院長
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

　今から 17 年前、社会人大学院での学位取得にあたり、翌年度からの英語論文執筆を課され、引き続き週 1 回通学することになった。その折、理工学教室の高橋純造教授から「どうせ大学に来るなら、歯学部病院で診療もしたらどうや」と声をかけてもらった流れで、矢谷先生をご紹介いただいた。もともと学部卒業時に一補に残るか勤務医になるか、大学院も一補か理工か、を悩んだ経験があり、一補での診療は素直にやってみたいと思った。矢谷先生は私を研修登録医として快く受け入れてくださった。臨床医としてスタートした私の歯科医師人生にとって、社会人大学院入学は大きな転機であったが、同様に一補入局は大きなステップとなった。入局当初は数年間お世話になれればと思っていたが、矢谷先生のご厚意から招聘教員を拝命し、その後臨床准教授、そして臨床教授という大変名誉な肩書まで頂いた。矢谷先生の期待に応えるべく、同門の若手対象に 6 日間の臨床セミナー（①診査・診断、②口腔内写真、③支台築造、④支台歯形成、⑤ワックスアップ、⑥補綴前処置のための歯周外科）を始めて今年で 5 年。教育機関で教えることで、人として大きく成長させてもらえただけでなく、自身の臨床に自信を持つことができた。また、医局の若手精鋭たちと 6 年間続けてきた月 1 回の臨床論文抄読会は、日本歯科評論での半年連載（しかも 2 年間）という形で実を結び、チーム全員にとって貴重な良い経験となった。
　開業医でありながら、このような教育者としてのポジションを与えてくださった矢谷先生には感謝してもしきれません。これらの経験や多くの人との出逢いは、臨床医としてもかけがえのないものとなりました。いつも温かい目で見守ってくださったからこそ出来たことです。本当にありがとうございました。矢谷先生はご退官後一臨床医として診療にあたられると聞きました。まだまだ第一線でのご活躍を期待しております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

木本晶子

アキ歯科クリニック 院長
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

矢谷博文先生、ご退任おめでとうございます。
　約１５年前に外科の研修医として第一補綴科に配属され、先生をはじめ、一補の先生方のお人柄に触れ、あまりの居心地の良さに一補にそのままお世話になることになりました。あの時、先生に入局を許して頂いていなければ、今日の私はありません。
　歯科医師として働けていたかも疑問なくらいです。先生には本当に感謝しています。私は先生の優しく軽やかな雰囲気にいつも癒されていました。これからもそのままでいて下さいね。
　今までお疲れ様でした。先生のこれからの益々のご活躍とご発展をお祈りしております。くれぐれもお身体お大事になさってください。

倉田邦明

倉田歯科クリニック 院長
岡山大学歯学部サッカー部 OB

　つつがなく定年を迎えられましたことを心よりお慶び申しあげます。永年のご功労に厚く敬意を表しますと共に、御身お大切になさいますようお願い申しあげます。
　学生時代、先生とキャンプへ出かけ、お酒を交わしながら色々なお話をしたことが懐かしく思い出されます。今ならあの頃よりもう少し専門的なお話ができるでしょうか。
　この度は参加することが叶わず申し訳ありません。長野の地から、今後益々のご活躍を祈念しております。

黒井建志

くろい歯科クリニック 院長
岡山大学歯学部 朋来会

矢谷先生、御退任を心よりお祝い申し上げます。
　私は岡大一補綴での２年の研修医在籍期間１年目が矢谷先生の岡山最終年でしたので、私、永松、土本、大石の４人が先生の最後の教え子になったというのが我々の密かな自慢です。
サッカー部現役、OB に対する変わらない愛情、学会や講演で拝聴する優しく穏やかで理路整然とした語り口、いつまでも尊敬し、見習わせて頂いております。
　今後の益々のご健勝とご活躍を祈念致します！！！

お祝いの言葉

黒﨑陽子
岡山大学病院 助教
岡山大学歯学部 朋来会

　このたびはつつがなくご退任を迎えられましたことを心よりお喜び申し上げます。
　岡大に講義にいらして下さった際には、いつも私たち医局員にお心遣い溢れるお言葉をかけて下さったこと、とてもうれしく思っておりました。ずっとご多忙な日々を過ごされてきたことと思います。ご健康には十分留意され、今後ますますご活躍されることを祈念しております。

黒住琢磨
黒住歯科医院 院長
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

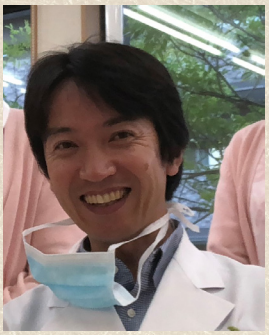
　歯科補綴学第一教室教授ご退任おめでとうございます。
矢谷先生には、ご就任されてから私が退局する 2006 年までご指導いただきました。深く感謝いたしております。
　矢谷先生とは赴任される前に、教授室の準備のために何度もメールのやり取りをさせて頂きましたこと、また私の結婚式に出席いただいたこと等が、大切な思い出となっております。
　矢谷先生の今後のご健康と、ますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

桑原俊也
くわはら歯科医院 院長
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

　矢谷博文先生、阪大歯学部の伝統ある看板講座の一つである歯科補綴学第一講座の主任教授を、当時の教授選の混乱の中、お引き受け頂き感謝しております。そして、就任後多くの輝かしい業績を上げ一補の名前を世界に知らしめて頂き本当にありがとうございました。特に 2000 年前後から大きなパラダイムシフトの起こったＴＭＤに対する臨床や研究に、先生はいち早く着目され、先生の豊かな academic な精神の基、既成概念にとらわれず多くの研修成果を発表されてきたことに対し心から敬意を表します。
　これからの益々のご健勝を祈念しております。

小島俊司

こじま歯科医院 院長
岡山大学歯学部 朋来会



最初の先生との接点は、私が大学に入学し所属したサッカー部でのことでした。先生の飲み会での飲みっぷりは、今でも鮮明に覚えています。あれから 30 年、研究・臨床のエネルギッシュな姿勢に感銘を受け、また先生のご自宅での食事会にも何度も参加させていただき家族一同大変お世話になり、歯科医師としてはもちろんのこと、一個人としての生き方に憧れておりました。大学退任ということで歯科界としては残念ですが、先生のことですので、これからも歯科にとどまらず公私ともさまざまな方面でご活躍されることかと思います。先生お疲れ様でした、そして今後のご活躍をお祈り申し上げます。

小林友幸

大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 医員

矢谷教授、ご退官おめでとうございます。ご在籍中は大変お世話になりました。矢谷先生は教授でありながら、私達、平社員医局員にもいつも気さくに接して頂き本当にありがとうございました。私の個人的な矢谷先生との思い出は、先生の歯を抜歯させていただいたことです（笑）。私が研修医時代に人生で初めての抜歯を行ったのが矢谷先生の歯でした。初めての処置＆相手が教授ということもあり大変緊張しましたが、先生は、研修医に処置されるのにも関わらず一切動じず、器の大きさを体感いたしました。益々のご活躍をお祈り申し上げます。

近藤真次

井上歯科医院 勤務
岡山大学歯学部サッカー部 OB

矢谷先生、教授退任おめでとうございます。
そしてご苦労様でした。矢谷先生には私が岡山大学に入学してからご指導いただきましたが、サッカー部顧問として部員の集まりにも快く参加して頂き嬉しい限りでした。また、歯科医師となってからも関西での恒例の忘年会で夜遅くまで飲み色々とお話をできることが幸せだと思います。
これからはあまり無理なさらないようご自愛いただければと思います 。誠におめでとうございます。

お祝いの言葉

財満千晶
ちあき歯科クリニック 院長
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

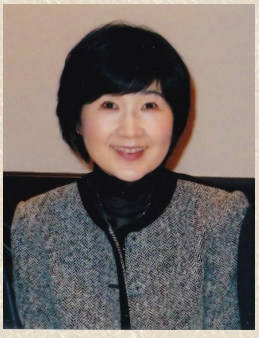
御退任おめでとうございます。長い間お疲れ様でした。矢谷先生は私の卒業と同時に一補の教授になられたのでつい同期入局のような感覚で接してしまう大変失礼をしておりましたがそれはきっと誰にでも気さくで親しみやすい先生のお人柄ゆえで私だけではないと思っております。これからも益々のご活躍をお祈りしております。

坂口千代美
コープ倉田歯科 勤務
岡山大学歯学部 朋来会

矢谷先生、この度はご退任おめでとうございます。
先生が岡山にいらっしゃる時から、大阪に行かれた後も本当にお世話になりました。私が学生の時、一補綴の毎回胃が痛くなるような実習の御指導から、入局一年目の教授診、顎関節外来、教授室での抄読会などから多くの事を先生から学ばせていただき、現在の毎日の診療の礎となっております。教授診の際に、左手でタービンを持たれて教科書のようなきれいな形成をされていたことを今でも思い出されます。
今後も今までのようにどこかの学会でお会いできます事を楽しみにしておりますので、これからもどうぞ御指導のほどよろしくお願いいたします。

作田篤代
作田歯科医院 院長
矢谷会

この度はご退任おめでとうございます。
矢谷先生とは、岡山大学第一補綴科山下敦先生の教室で初めてお会いしてから３５年になります。入局２年目に簡易型筋電計の研究を先生の下で行わせていただいたこと、顎関節症の勉強会で熱く語って下さったこと、臨床・研究において多くのことをご指導頂いたことが思い出されます。当時から現在に至るまで大変お世話になり有難うございました。これからもお身体を大切にしてご活躍下さい。



佐々木淳一

大阪大学歯学部理工学教室 講師
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

矢谷博文先生、この度はご定年おめでとうございます。
　私が今も大学教員として研究職を続けておりますのも、矢谷先生にご指導いただきましたおかげであると実感しております。心より感謝申し上げます。長年のご功労に厚く敬意を表しますとともに、今後のご健康とご活躍を祈念いたします。

佐藤　匠

大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 医員

　矢谷教授ご退任おめでとうございます。そして、4 年間という短い期間でしたが、大変お世話になり有難うございました。かつて G 中村が 31 番で診療していた頃には、隣のチェアーということもあり、密かに教授の診療内容を聞いて勉強させていただいておりました。これからもどうぞご指導いただけると幸いです。今後のますますのご活躍をお祈りいたします。

繁田真人

しげた歯科 院長
岡山大学歯学部 朋来会

　このたびはつつがなくご退官の日を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。先生には岡山大学在学中から医局時代まで大変お世話になりました。学生時代は、先生のお顔を見るだけでお腹が痛くなったものです。第一補綴学講座入局後も仕事では常に緊張しておりました。先生のご指導のおかげで成長出来たと思います。しかしながら、プライベートでは先生のお人柄に触れるにつれ、釣り・料理の話で盛り上がり、仲良くさせていただいたと思っております。また、釣りに行きたいですね。
　最後に、矢谷先生におかれましては今後ともお元気で，またこれまでの知識・経験を活かされて，益々ご活躍されることをお祈り申し上げます。

お祝いの言葉

下田隆史

下田歯科医院 副院長
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

矢谷先生、この度はご退任おめでとうございます。先生が着任された当時､私は大学院生として､また卒業後も医員在籍中は様々なご指導賜り、大変お世話になりました。昨年教室セミナーにもお招きいただきありがとうございました。拙い話しか出来ませんでしたが、とても良い思い出となりました。今後のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

下元拓哉

ゴールデン歯科・矯正歯科 院長
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

矢谷教授、９年間ご指導頂きまして誠にありがとうございました。僕のインプラント周囲炎に関する臨床研究が形になったのは、矢谷教授が新谷先生を招致して統計解析の相談会を開催して頂いたおかげです。あの相談会がなければと思うとぞっとします。早朝勉強会も今となってみたらすごくいい思い出です。リスニングが苦手なのでオケソン先生の話は理解に苦しんでましたが、最後の矢谷教授の解説がわかりやすく非常にありがたかったです。新天地でのご活躍をお祈りしています。

頭司雄介

医療法人社団頭司歯科口腔外科クリニック 院長
岡山大学歯学部サッカー部 OB

矢谷先生、定年ご退職おめでとうございます。
岡山大学歯学部の学生時代、大変お世話になりました。先生に教わった歯科補綴学、特に接着歯学は今でも自身の歯科臨床に息づいています。５回生の夏の大会、北海道デンタルで初勝利を挙げ、先生とチーム皆で祝杯を上げたことは最高の思い出です。楽しい飲み会、恒例キャンプなどで、気さくにお話下さり、将来の夢や希望を持つことができました。あらためて心より感謝致します。
先生、ご家族様の今後のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

鈴木　梓
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 大学院生

矢谷先生、ご退官おめでとうございます。４年間ご指導いただき、ありがとうございました。矢谷先生に院卒業の最後までみてもらえないことは非常に残念です。矢谷先生には１年目から“梓”と名前で呼んで下さって本当に嬉しかったです。また医局旅行や色々な行事で率先して盛り上げて下さったり、気さくに話しかけて下さったり阪大歯学部一の教授だと断言できます。これまでの経験を生かし、さらなる発展とご活躍を願っております。

鈴木康司
中国四国厚生局
岡山大学歯学部 朋来会

矢谷先生、長年のお勤めお疲れ様でした。先生の退官にあたり、感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。
先生からは本当にたくさんのことを教えて頂きました。学生時代は、「スウェディッシュバナナ」の講義に始まり、臨床実習の助教授診に至るまで、緊張感あふれるものでした。卒後は、栄光の岡大１補綴において、特に顎関節症の疫学研究や臨床に関してご指導頂き、卒後２年目にして国際学会（IADR）に連れて行って頂きました（原稿は全て先生に書いて頂きました！！）。私は現在、保険診療に係る行政職に就いておりますが、これも先生から１補綴の「保険委員」に指名して頂いたことから始まっています。他にもまだまだありますが、書ききれません！振り返ると、先生から臨床、研究、教育の真髄を教えていただき、最高の師と出会えたことを心から感謝します。
退官後も、歯科界のためにこれまでと変らずご指導いただきますようお願い致します。

園山　亘
浅田歯科医院 院長
岡山大学歯学部 朋来会

いつも厳しくも的確なご指導をいただきありがとうございました。最初に直接ご指導いただいたのは、先生がご留学中にケンタッキーから論文のデータをまとめる指導を頂いたときでしょうか。内容が難解なうえに、先生の特徴的な文字と解像度の悪い FAX が相まってさらに難解になり、鈴木康司先生と頭を抱えたことを昨日のように思いだします。今後もご指導いただけますよう，よろしくお願いいたします。

お祝いの言葉

高岡亮太
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 医員

　これまでたくさんのチャンスをいただき、矢谷先生には感謝の気持ちしかございません。厳しいお言葉もたくさんいただきましたが、その叱咤激励がいつも私を成長させてくれました。臨床と研究を両立されている矢谷先生は私にとって憧れでした。矢谷先生を超えることは難しいですが、少しでも近づけるようにこれからも努力し続けたいと思います。これまでのご恩は一生かけてお返しさせていただきます。歯の治療は僕に任せてください！

多賀一真
医療法人センヤ会 センヤ歯科医院
岡山大学歯学部サッカー部 OB

　矢谷先生、御退任おめでとうございます。これまでの御功労に敬意を表し、感謝申し上げます。
矢谷先生とは、デンタル大会後のキャンプでご一緒させていただいて多くの面白いお話しと多くのお酒で楽しまさせていただきました。今となっては大変良い思い出となっております。
これからは歯科医師としてはもちろんのこと、一人の人間として矢谷先生のような素晴らしいお人柄に近づけるよう日々精進していきます。
矢谷先生！長い間本当にお疲れ様でした！

髙嶌紗弥佳
SAYA Dental Clinic 院長
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

矢谷先生、ご退任おめでとうございます。お疲れ様でございました。
　短い期間でしたが第１補綴科で学んだことは、私の歯科医師人生の根幹となりました。
　どうぞお体ご自愛下さいませ。また学会でお会いできるのを楽しみにしております。

高原悠樹
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 大学院生

矢谷先生、ご退官おめでとうございます。
　学生の時講義を受けていた自分が、一補に入局し先生の診療の補助をできるとは夢にも思っていませんでした。早朝勉強会などの機会も設けてくださったことで、顎関節に対する知識をさらに身に付けることができたと思います。医局行事や新年のお宅訪問で一緒にお酒を飲む機会もありましたが、本当に楽しかったです。
　新天地での益々のご活躍をお祈りしております。短い間でしたが本当にありがとうございました。

田尻裕子
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

　御退官おめでとうございます。心よりご祝福申し上げます。矢谷先生は岡山大学の第一補綴科で教授をされていたこともあり、安心して大阪大学に来られました。先生の作られたオープンな雰囲気の教室はとても居心地がよく、充実した大学院生活を送ることができました。また結婚式でも素敵なお言葉を頂き、とても感謝しております。今後も変わらぬご活躍を期待しております。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

巽　秀人
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 大学院生

　矢谷先生、ご退官おめでとうございます。僕の様な人間を大学院から受け入れてくださり、本当に有難うございます。研究室決定のお電話を頂いたときに先生が「バイオじゃダメか？」と仰っていたことを今でもたまに思い出します。この３年間５研で過ごし、バイオで良かったと感じています。バイオ研に導いてくださり本当に有難うございました。
　これから、大学院生として、また歯科医師としても精進していきます。３年間、ご指導していただき、本当に有難うございました。先生のご健勝とご多幸をお祈りしております。

お祝いの言葉

田中利幸

てるてファミリー歯科 院長
岡山大学歯学部サッカー部 OB

矢谷先生、この度は教授ご退任おめでとうございます。また、長い間お疲れ様でした。
私は、岡山大学歯学部９期生で、先生に第一補綴科の授業や実習で教えていた　だいただけでなく、サッカー部時代に顧問としてお世話になりました。主将をしていた時期に、前顧問の加藤先生が退官されるタイミングで、次のサッカー部顧問をどなたにお願いしようかと先輩方に相談させていただいた折、まず矢谷先生にお願いしようということになりました。その時は先生が怖いイメージでしたが、快諾していただいた上に、その後、部活での飲み会で談笑させていただいたこと、OB 戦にプレーヤーとして参加いただいたことを懐かしく思っております。今後も健康に留意されてお元気にお過ごし下さいますようお祈り申し上げます。

田中良祐

なかもず田中歯科 院長
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

矢谷先生　ご退官おめでとうございます。
先生には医局在籍の間はもちろんのこと、結婚式でもご挨拶いただき、公私とも大変お世話になり、ありがとうございました。また、退局後もたまに食事にご一緒させていただく機会を、先生のいろんなお話が楽しくて心待ちにしておりました。ご退官されてもお忙しいと思いますが、また食事にご一緒させてください。
この度は誠におめでとうございます。

辻　清薫

宝力池辻歯科クリニック 院長
岡山大学歯学部 朋来会

矢谷先生、この度はご退任おめでとうございます。矢谷先生と初めてお会いしたのが学２の模型実習でしたので、もう 30 年以上前ということになりますね。卒業後、第一補綴でお世話になったわけですが、今思い返してみると先生に一番怒られた（怒らせた）医局員だったようです。退任後も益々のご活躍を。本当におめでとうございます。(写真は本人と娘です)

辻阪亮子

青木歯科 勤務
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

矢谷先生ご退官おめでとうございます。
　時に厳しくも大きな声で笑いながら「ツージー」と呼んでくださる、そんな包容力豊かな先生のお陰でこんな私も博士号を取得することができました。ありがとうございました。
いつも診療・研究・教育を大切にされていた先生。これからはお体も大切にしてください。

土田武史

つちだ歯科医院 院長
岡山大学歯学部サッカー部 OB

　矢谷先生、この度は御退官おめでとうございます。
岡山大学歯学部第一補綴科の実習は、第一解剖学の実習と並び非常に厳しいということで有名でした。ですので、当時は精神的につらいこともあったような気がしますが、卒業してから思えば、これから歯科医師になるのに必要なことを教えて頂けた実習だったと感謝しています。
　矢谷先生の今後のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

土本洋平

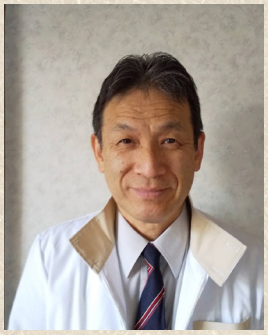
高知駅つちもと歯科 院長
岡山大学歯学部 朋来会

　矢谷先生、御退官おめでとうございます。20 年ほど前に岡山大学第一補綴科の入局を希望し、先生にご挨拶に行ったことが昨日の事のように思われます。
　教授診、授業の準備、接着研究、キャンプ、ハゼ釣りパーティーなどすべてが楽しい思い出です。また、高知に会いに来てくれた時は、本当に嬉しかったです。私も先生のように包み込むような優しさを持った人になれるよう、日々昇進していきたいと思います。

お祝いの言葉

土山孝彦

医療法人土山歯科医院 理事長
岡山大学歯学部 朋来会



矢谷先生、ご退任おめでとうございます。先生に教えていただいた医局時代がついこの間のように思い出されます。私が同期数人と勉強会を忘れて夕食に出かけた時、お店の電話から先生の怒声が響き、皆あわてて戻りました。ー先生すいませんでした。ー　また学会などで先生とご一緒させていただいた時、よくご馳走になりました。ー先生ご馳走さまでした。ー
私が退局した後も同窓会岡山県支部での学術講演会を快く引き受けてくださったり、全国歯科技工士教育協議会でお声掛けくださったり先生にはお世話になりっぱなしであります。有り難うございました。
先生におかれましては、お体御自愛くださり、今後ともご指導よろしくお願いいたします。

寺田昌平

てらだ歯科 院長
岡山大学歯学部 朋来会

岡山大学で矢谷先生にお世話になりましたが、もうあれから 30 年も経ちます。医局では、右も左も分かっていない若造に、とても親切にご指導いただきました。まだパソコンが今ほど普及していなくて、やっと 1 台 Mac II Ci が NEC の PC の他に入ってきました。学会発表するためにスライドを作るわけですが、それまで青天と言われるものから丁度切り替わる時期でした。先生方の診療が終わって、夜の部が始まります。矢谷先生が考えられた原稿をスライドに起こして行きました。夜中までスライドをつくらせていただいたのが、いい思い出です。あの頃があったからこそ、今の自分があるのだと思っています。最先端のことをスライド作成を通して触れさせていただきました。自分は開業のため岡山大学をはなれ、また矢谷先生は大阪大学に移られ、同じ関西で歯科医療に携わってきました。
今回御退官との案内をみて実際早すぎると感じるのは自分だけなのでしょうか。まだまだこれから矢谷先生の御活躍を願っています。また今後共よろしくお願いします。

殿村恭子

大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

　一補を卒業して女子と呼べない年齢になってからも、矢谷先生のお家での女子会に呼んで頂き有り難うございました。美味しい手料理やお酒を戴きながらのお喋りはとても楽しかったです。そのときのレシピを密かに真似て，チャプチェ、味付け卵の前菜、焼き野菜などが今も我が家の食卓に並んでいます。

　矢谷先生、ご退任おめでとうございます。長い間、お疲れ様でした。体に気をつけて、これからのご活躍も祈念しております。

富田　慎

医療法人ナディアパークデンタルクリニック 理事
岡山大学歯学部サッカー部 OB

　この度はご退官おめでとうございます。私が学生の頃の先生はとても厳しく、「泣く子も黙る一補綴」を象徴する存在で、「怖い！」という記憶しかありません。卒後 OB 会で久しぶりにお会いした時には「ウッホ、ウッホホ」とキングコングの物まねをされ、「先生が壊れてしまった！」と思ったものです（笑）。そんな存在ですので岡大はもとより阪大でも退官を惜しまれていることでしょう。これからも頼り甲斐のある兄貴でいてください。今後の益々のご活躍を心からお祈り申し上げます。

友成隆之

とも歯科クリニック 院長
岡山大学歯学部 朋来会

　矢谷先生　ご退任おめでとうございます！そして、大変お疲れ様でございました。

　入局して初めての学外での発表で先生と奥様と３人で新潟へ行ったことを懐かしく思い出します。何も知らない、できない私に親身にご指導くださり、先生から教わった Critical thinking は今でも論文を読む時に役立っています。お返しに当たり馬券をお伝えできれば良かったのですが・・・

　これからも益々のご活躍を祈念しております！

お祝いの言葉

鳥山尚代
岡山大学歯学部 朋来会

　矢谷先生、ご退任おめでとうございます。岡大歯学部では、大変お世話になりました。
　診療・研究に対する姿勢には尊敬の念しかありませんが、医局ではやさしい先生でした。サーティワンアイスをご馳走してくださることもよくあり、矢谷先生がチョコミントをお気に入りだった事が懐かしく思い出されます。他にも楽しい思い出ばかりなのもお人柄によるものだと思います。
　先生の今後のご健康とご活躍をお祈りいたします。

中江佳代
なかえ歯科クリニック 院長
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

　教室を退局して早くも 12 年が経ち、大阪府茨木市で父の歯科医院を継承して 2 年目になりました。歯科補綴学第一教室で経験したことは今の歯科医師人生の礎の一つとなりましたことを感謝しております。
　これからも地域医療に貢献できるよう日々精進していきたいと思っております。

永木孝典
医療法人社団　永木歯科医院　理事長
矢谷会

　長きにわたりお仕事お疲れ様でした。先生と出会って 37 年になります。嫁以上の長いお付き合いとなりました。啄木の、「ふるさとの山に向かいて言うことなし、ふるさとの山はありがたきかな」という歌がありますが、私にとって、先生はふるさとの山であり、兄であり、酒友であります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。ビール瓶尺八でなく、本物の尺八をお聴かせください。

中野　環
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 助教

17 年間大変お疲れ様でした。この度は無事に定年を迎えられました事、大変お喜び申し上げます。長年のご功労と多くのご功績を残されましたことに敬意を表しますと共に、退官後もより一層のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

永峰聡子
しおみ歯科クリニック 勤務
岡山大学歯学部サッカー部 OG

この度はご退官誠におめでとうございます。
岡大サッカー部のキャンプでご一緒させて頂いた際には、美味しいワインやカクテルをご馳走になりました。ありがとうございました。
私が大学に入学した時には、矢谷先生は大阪大学に着任されておられましたので、残念ながら直接ご指導を賜ることはできませんでしたが、ご高名な先生のことは常々先輩方からお伺いしており、キャンプでご一緒できたことは恐れ多くもとても嬉しかったです。キャンプ場のある香川県東かがわ市は私の地元でもあり、地元に矢谷先生がいらして下さっているということを、密かに嬉しく思っておりました。また次の夏にもぜひご一緒できればと思います。
今後のご健康と益々のご活躍をお祈り申し上げます。

中村誠志
なかむら歯科 院長
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

在局中は、研究・臨床・教育のいずれかに偏ることなく真摯に向かわれる矢谷教授の背中を拝見させていただきました。おかげさまで、開業した今、自分にも知らず知らずのうちに、どんなことでもしっかりと考えて取り組む姿勢が身についてきたと思います。ありがとうございました。

お祝いの言葉

長昌弘晃
医療法人優心ながよしデンタルクリニック 理事長
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

矢谷教授ご退任おめでとうございます。矢谷教授の診療科で歯科医師として勉強させて頂いた事、一生の思い出です。毎年恒例の石垣先生と江草先生と始まった阪大釣倶楽部も今年で１５年を迎えることになりました。今となっては一年の一番の楽しみです。今後も後輩を連れて楽しい思い出づくりをしていきたいです。教授もこれからも益々のご発展心よりお祈り申し上げます。ワインの飲み過ぎに気をつけて下さい(笑)。

並河雅也
なみかわ歯科クリニック 院長
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 大学院生

矢谷先生、ご退任おめでとうございます。
岡山大学時代から大阪大学大学院でお世話になるまで、先生には色々な場面で本当にお世話になりました。少しでも感謝を結果で返せるように、研究の方を頑張っていきたいと思っています。また福知山に寄られる際はぜひ寄っていただければ嬉しいです。今後ともよろしくお願いします。

縄稚久美子　岡山大学病院 助教
縄稚　梢　JGH DENTAL CLINIC (Singapore) 勤務

矢谷博文先生、ご退官おめでとうございます
久美子大学院の４年間、梢研修医の２年間を先生の元で修行させていただき、先生の岡大最後の院生、研修医とならせていただいたことは私たちの誇りです。縄稚姉妹の青春？！が矢谷先生とともにあり、学会等でお会いするたびにタイムスリップし元気が出ます。これからもずっとお会いしたいです。またゆっくり奥様とシンガポールにもおでかけください。お待ちしています。

西岡秀樹

西岡歯科医院 院長
岡山大学歯学部サッカー部 OB

矢谷先生、長い間大学でのお勤めで歯科医療の向上にご貢献頂き有り難うございました。またその中で学生時代に先生の元で学べて大変光栄に思っております。先生との繋がりは何と言っても岡山大学サッカー部で今でもキャンプ・関西支部忘年会でお付き合いさせて頂き感謝しています。これらの集まりは先生抜きでは決して有り得ない事で、これからも引き続きサッカー部の為に開催して頂けたらとお願い申し上げます。

さて、私の中で先生との思い出で一番印象強いのは顧問に就任して頂いた直後の時期に現役部員全員を先生の家に招き入れて頂き BBQ をした事です。先生の奥様、お子様にも親切に接して頂き当時怖かった 1 補綴のイメージを抜きにしても大学の先生が学生の我々におもてなしして頂く事が大変衝撃的でした。そんな面倒見が良い先生、ご退任後は自分の時間を楽しんで頂き少しだけ我々とも同じ時間を過ごして頂けたらと思っています。

野﨑真弘

瀬戸内市裳掛歯科クリニック 院長
岡山大学歯学部 朋来会

矢谷先生、この度はつつがなくご退任を迎えられましたこと、心よりお喜び申し上げます。

岡山大学歯学部が設立したばかりの頃より同窓生の私達にひとかたならぬご指導、ご鞭撻を賜り心より感謝申し上げます。歯科医師になりたての頃、矢谷先生より教わりました「鬼手仏心」の心情を日々の臨床にこれからもずっと活かして参ります。

長きにわたりお疲れ様でした。矢谷先生の益々のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

萩野僚介

大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 医員

矢谷先生，ご退官おめでとうございます．学位でお世話になる最後の学年として５年間大変お世話になりました．研修医の時からプライベートの釣りに誘っていただき、朝方までバーベキューを楽しませて頂いたのが懐かしいです．またご一緒出来たらうれしいです。今後も益々のご活躍をお祈り申し上げます。

お祝いの言葉

原木真吾
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 医員

矢谷先生、この度は長きにわたるお務めに関して、大変お疲れ様でございました。そしてご退官誠におめでとうございます。
私に関しては、短い期間でしたが、歯科医師としての今後の人生において非常に実りある御指導を多々頂くことができたと思っており、深く感謝しております。
大変お世話になりました、本当にありがとうございました。

伴　晋太朗
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 大学院生

矢谷先生、ご退官おめでとうございます。学生時代からたくさんご指導いただき、ありがとうございました。矢谷先生は普段は教授としての業務に真摯に取り組んでおられていますが、お話しさせていただくと大変親しみやすく、よくプロ野球の話などを楽しくさせていただいたことが心に残っています。自分も矢谷先生のような上司になりたいと思います。お体に気をつけて、新天地でのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

畔堂佑樹
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 大学院生

大変お世話になりました。教室をぐるぐる回りながら授業していた時は怖い先生かと思っていました。しかし、一補に入局後は一緒に肩を抱きながら酒を飲み、とても親しくお話ししていただき、ありがとうございました。これからもご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

東　真未

大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 医員

　この度はご退官おめでとうございます。７年間大変お世話にありがとうございました。
　その中でも、学位の論文審査前の２週間ほどは毎日夜遅くまで論文の修正に付き合ってくださり、何とか論文を完成させることができたことに、とても感謝しております。そのおかげで審査当日はとても心強かったです。また、海外の学会発表では皆で一緒にお食事をできたのはとても楽しい思い出です。矢谷教授の益々のご健康とご活躍をお祈りいたします。

平井公人

岡山大学歯学部歯周病態学分野 助教
岡山大学歯学部サッカー部 OB

　矢谷先生，ご退任誠におめでとうございます。この日を無事に迎えられましたことを，心よりお慶び申し上げます。
　私は仕事では先生とご一緒することはほとんどありませんでしたが，矢谷先生とはサッカー部の顧問として，楽しい時間を共有させて頂きました。特に夏のキャンプは何歳になっても学生の頃の気分に戻って楽しめる貴重なイベントです。岡大に残っている岡大サッカー部OBも年々減少傾向ですが，今後も岡大を盛り上げれるように，また，矢谷先生の目に止まるような研究が出来るように頑張りますので，楽しみにしておいて下さい。
　矢谷先生におかれましては，これからもよりいっそう健康で充実した日々をお過ごし下さい。

廣岡徹彦

ひろおか歯科医院 院長
岡山大学歯学部 朋来会

　矢谷先生、この度は定年ご退官おめでとうございます。長年にわたるこれまでのご功労に敬意を表し、心よりお祝い申し上げます。
　入局以来、先生のいつも明るく、何事にも意欲的な姿勢は私のお手本とするところでした。今後もご指導いただく機会を頂けましたら幸いです。
　これからの第二の人生も、ますますご活躍されることをお祈り申し上げます。

お祝いの言葉

福井隆夫

綾歌郡歯科医師会 副会長
岡山大学歯学部 朋来会

私が岡大の第一補綴科に研修医として入局してすぐの頃、ある治療でコアを除去する際に、歯冠部が折れて見えなくなってしまったことがありました。患者さんが不安から怒りだし、「上の先生を呼んで！」と叫び始め、私がおろおろしていると、当時助教授だった矢谷先生が来てくれて、治療を引き継いでくれ、さらに治療後の報告もしてくれました。私は、指導者になったときは矢谷先生のようになろう、そう心に誓いました。矢谷先生には、これからもお体を大事にしていただき、益々ご活躍されることをお祈りいたします。

福田修二

医療法人創志会 金子歯科医院 勤務
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

矢谷博文先生、ご退任おめでとうございます。
平成 20 年に歯科補綴学第一教室に入局してから、7 年 6 ヶ月の期間ご指導いただきありがとうございました。
医局行事の際、先生の前で大高寮歌を歌いエールを送らせて頂いたことは自分にとっていい思い出です。先生を中心としたこの教室で素晴らしい先輩後輩と巡り会えたこと感謝しています。
お体に気をつけていただき、先生の今後のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

藤井三紗

大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 大学院生

矢谷先生、ご退官おめでとうございます。学生の頃に受けた矢谷先生の講義から補綴への面白さ・奥深さを教えて頂き、また口腔補綴科へ入局してから、補綴科として診療されている姿を間近で見させて頂き、多くのことを学ばさせて頂きました。その他にも飲み会や医局旅行など気兼ねなく接して頂きとても楽しい思い出でいっぱいです。今まで本当にありがとうございました。

藤田豊大
藤田歯科 院長
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

この度は、歯科補綴学第一教室教授ご退任おめでとうございます。
矢谷先生との思い出といえば、2017 年 4 月に、2 日にわたる和歌山市での講演会の講演をお受け下さり、2 日目は講演が夕方からということもあって朝から和歌山市内を案内させていただきましたが、僕の準備不足で 1 時間ほど時間を持て余してしまい神社の境内で座って時間を待つという事をさせてしまったことです。
僕としては矢谷先生と色々とお話しすることができてとても楽しかったのですが、本当に申し訳ございませんでした。今後ともご健康とご活躍をお祈りいたします。

藤田栄伸
ふじた歯科医院 院長
岡山大学歯学部 朋来会

矢谷先生、御退任おめでとうございます。いよいよ第二の人生のスタートです。先生には岡山大学補綴学第一講座に在任中、公私に渡りお世話になり感謝しかありません。先生との思い出はなんといっても福山の鞆浦の海でゴムボートに乗って苦楽？を共にさせてもらったことです。あの時は本当に楽しかったです。どうか第二の人生大いに釣り三昧を楽しんでください。僕はまだまだ子育ての最中で、子供に楽しみを分けてもらっています。いつの日か大三島でビール片手に釣り糸を垂らしてのんびりと釣りができるのを楽しみにしています。本当に長い間ご苦労様でした。

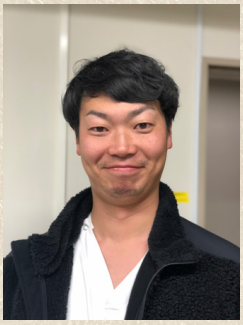
前田あずさ
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
インプラント再生補綴学分野 助教

矢谷先生、この度はご退官おめでとうございます。大学院進学を機に岡大にやってきた私にとって、先代教授であられる先生は当初畏れ多くて近寄りがたい存在でしたが、留学時代にシアトルで開催された IADR で気さくにお声かけいただき、嬉しかったのを覚えています。最近は毎年 12 月に、ワインを片手に臨床・研究・教育・国際交流から趣味の話など多岐に渡って勉強させていただくのが楽しみでした。これからも変わらずご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。先生の益々のご活躍をお祈りいたしております。

お祝いの言葉

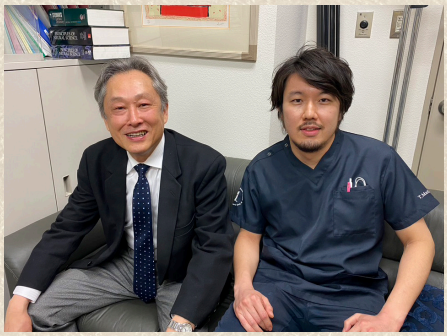
松岡　秀
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 医員

　矢谷教授、７年間大変お世話になりました。研修医の頃は毎回のようにアシストで迷惑をかけてしまい、申し訳ありませんでした。また大学院生になっても、発表のたびに色々とアドバイスをいただき、おかげさまで無事大学院を卒業することができました。矢谷教授のもとで臨床・研究を学べたことは僕の中でかけがいのない思い出となっています。これからも一補のためにできることを日々努力していきます。７年間本当にありがとうございました。



松岡　隆
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 医員

　矢谷先生、ご退官誠におめでとうございます。僕の同学年は僕を含めて問題児が多く、ご迷惑ばかりおかけしました。大変お世話になりました。僕は僕なりの「恩返し」を一補に対してさせていただきますので、温かく見守っていただけると幸いです。今後のご健康とご活躍を心より祈念しております。誠にありがとうございました。



松本真理子
北海道大学病院歯冠修復科 助教
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

矢谷 博文 先生　ご退官おめでとうございます。
　阪大一補でご指導いただきました７年半、そして北大へ移ってからの５年も、いつも変わらず温かく接していただき本当に有難うございました。今こうして大学で教員ができていること、また夢のルーベン大で学べていること、全ては一補の一員として受け入れていただいたことから始まったお陰と感謝しております。この経験をさらに活かしていけるように日々邁進して参ります。
　今後も先生のご健康と益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

水口　一

岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科
インプラント再生補綴学分野 講師

岡山大学の臨床実習（一診）での助教授診にはじまり，26 年もの長きに渡り，大変お世話になりました。入局早々の私に「咬合治療の予後調査」なるテーマを与えて下さったことは，私の人生の一番の宝と思っております。その当時，TMD 治療も医局も変換点であり，いろいろな狭間で苦悩したのも今では良い思い出です。その後も矢谷先生は公私にわたり面倒見よくお引き立て下さいました。正真正銘，矢谷先生なくしては現在の私はなかったことでしょう。できの悪い門下生ですが，今後も末永く御指導をお願いいたします。

水口真実

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科インプラント再生補綴学分野
岡山大学病院クラウンブリッジ補綴科 医員

矢谷先生、ご退官おめでとうございます。岡山大学で先生にご指導賜り、患者さんに真摯に向き合うこと、臨床や研究において自己研鑽を怠ってはならないこと等多くのことを学びました。出産後、仕事と子育てで悩んでいた時、先生が親身になって相談にのってくださったこと、本当に感謝しています。先生のスライドに今でも登場できるのは、私の自慢です！今後のますますのご健勝とご多幸を心よりお祈りいたします。

水島恒尚

水島歯科医院 院長
岡山大学歯学部 朋来会

岡山大学歯学部歯科補綴学第一講座で 1997 年から 4 年間お世話になりました。研修医時代は、矢谷助教授（当時）と視線が合っただけで震えていました。近年、和歌山市歯科医師会でご講演頂いた際には、先生の優しい眼差しを拝見し、自分も少し成長できた様に感じました。今後も、矢谷先生のご健康と私達の目標としてご活躍されることをお祈り致します。

お祝いの言葉

水野圭一朗
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 医員

矢谷先生、ご退官おめでとうございます。
　矢谷先生には学部の入学時より担任としてお世話になりました（3年間でしたが）。一補が常に活気に溢れていて、全てのことに対して情熱を持ち対応できていたのは先生がいたからこそだと思います。本当にありがとうございました。
　新天地でも益々のご活躍をお祈りしています。

南野卓也
医療法人一祥会　Nao 歯科・矯正歯科 勤務
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

　矢谷先生には本当にたくさんの事を教えていただきました。特に接着歯学会では、毎年のように学会から懇親会、そして若手会まで楽しく非常に濃密な時間を過ごせたことがとても印象深いです。楽しい思い出をありがとうございました。
　歯科医師人生の最初の 8 年を阪大一補矢谷教室で過ごせたことを誇りに思います。ご退官後もまだまだ臨床を続けられることと思いますが、健康にはくれぐれもお気をつけください。矢谷先生、長い間本当にお疲れさまでした。

森田和子
もりた歯科医院 院長
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

　矢谷先生とは名前も近いことから、学部に上がってからはほとんどいつも同じ班で、本当に一緒の時間が長かったですね。一診の夏休み、仲良し 13 人組で東北旅行を計画したとき、一日の走行距離 400㎞というプランを立てて「目標勾配高すぎるやろう‥」と皆が呆れて反対する中、あっけらかんと「大丈夫やん〜！」と笑いながら旅行を完遂した性格は今も変わらず、一補の教室運営に活かされたのだと思います。退官で時間ができたら、今度こそゆっくりまたみんなで旅行したいですね！

盛林昭仁

大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 医員

矢谷博文先生、ご退任おめでとうございます。
　長きに渡り、ご指導くださりましたこと、誠にありがとうございました。発表予行、そして大高寮歌をはじめ、滑舌の悪い僕にいつも温かい目を向けてくださったこと感謝しております。
　国試浪人を経験し、大学にいくことが良いことなのか迷った時期もありましたが、今では自分の歯科医師人生のスタートを阪大一補矢谷教室で過ごせたことを誇りに思っています。ご退官後もまだまだ臨床を続けられることと思いますが、どうかお体に気をつけください。今後も先生のご健康と益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

山崎章弘

医療法人 山崎歯科クリニック 院長
岡山大学歯学部 朋来会

矢谷先生、ご退任おめでとうございます。
　長い間の研究生活、本当にご苦労様でした。岡山大学で先生がまだ助教授だった頃に入局させていただき、多くおのことを学ばせていただきました。現在は臨床の道に進んでいますが、当時の下積みのおかげで、いろんな苦労も乗り越えることができました。
　先生のことですので退官されても、まだまだ研究の道を究めていかれることと思います。ますますのご活躍を祈念しております。

山崎聖也

やまざき歯科クリニック 院長
岡山大学歯学部 朋来会

矢谷教授、定年ご退官おめでとうございます。
　私が岡山大学６年生で進路に迷っていた際、１補綴の諸先輩からのお誘いもあり矢谷先生のもとへ入局のご挨拶に伺いました。国試に合格して晴れて入局してみると、そこに矢谷先生はおられませんでした（笑）。ですので私の矢谷先生との思い出は学術的な要素よりもサッカー部のキャンプや宴会の場での思い出が強いです（サッカー部ではありませんが・・）。
　退官後も益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

お祝いの言葉

山田周平
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 医員

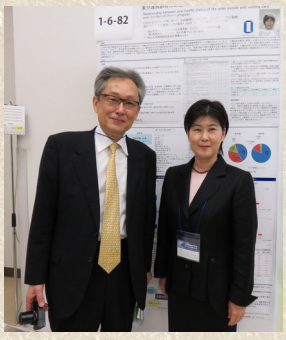
矢谷先生、ご退官おめでとうございます。矢谷先生の在任中で最後の学位取得学年として、研修医の期間を含めて５年間、大変お世話になりました。学部学生のときは非常に怖い印象しかありませんでしたが、一補に入って矢谷教授の気さくな一面を知ることができました。今後の益々のご活躍を祈念しております。本当にお疲れ様でした。

山中あずさ
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 大学院生

矢谷先生、ご退官おめでとうございます。
教授診では、優しく時には厳しくご指導いただきました。医局行事や新年のお宅訪問では、先生と一緒にワインを飲めたことが大変嬉しく、今でもその時のことを鮮明に覚えています。教授という立場にありながら、誰に対しても壁を作らず接する矢谷先生の人柄が大好きでした。新天地でも先生らしく、頑張ってください。

山本道代
（医）青木内科小児科医院 あいの里クリニック・歯科 院長
岡山大学歯学部 朋来会

矢谷先生、ご退官おめでとうございます。
岡山大学歯学部歯科補綴学第一講座（現　岡山大学大学院医歯薬学総合研究科インプラント再生補綴学講座）に在籍した５年間は大した研究業績も残さず逃げ回っていました。何かやり残した気がして、矢谷先生は大阪大学に赴任された後ですが、大学に舞い戻って多くの先生に助けられ学位をいただき、その成果を発表した 2015 年の補綴学会で一緒に写真を撮っていただいたのは良い記念になりました。ありがとうございました。



弓立真広

大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 大学院生
岡山大学歯学部サッカー部 OB

矢谷教授、ご退官おめでとうございます。ご在籍中は大変お世話になりました。
　矢谷先生は教授でありながら、いつも気さくに接して頂き、本当に素敵な上司を絵に書いた人だと思っていました。飲み会の席での思い出はたくさんあり過ぎて尽きることはありません。本当に楽しい日々を心から感謝申し上げます。矢谷先生から学んだ数々の補綴治療を今後に活かしていこうと思います。益々のご活躍をお祈り申し上げます。

吉田栄介

医療法人桜奈会　アスキーデンタルクリニック 院長
岡山大学歯学部 朋来会

　先生が教授になる過程に立ち会わせて頂いたことは、私の歯科医師としての人生の中でいちばんの幸運であったと言えます。あの時間での先生の立ち振る舞い、言動は今でも私の行動規範です。あの頃も今も、そしてこれからも私にとって最高の先輩であり、師であり、怒られるでしょうが気のおけない友です。教授の任、ご苦労様でした。そして、これからも益々のご活躍される姿を眺めさせて下さい。それが私にとっての幸運ですから。

吉田絢子（旧姓 徳永）

大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

矢谷博文先生　ご退任 心からお祝い申し上げます。
　一補在局中は、ご指導頂きありがとうございました。水曜早朝の Dr. オケソンの DVD 聴講は正直しんどかったです。英語もわからず、後の矢谷先生の解説も難しかったです。ですが、勉強する環境を与えて頂いた事、とても感謝しております。
　今後、ますますのご健勝と末永いご多幸を心よりお祈り申し上げます。

お祝いの言葉

吉村義孝
吉村歯科医院 院長
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

矢谷博文先生、ご退任おめでとうございます。先生が一補の教授にご就任された時期は社会人大学院生としてお世話になっておりました。先生のご就任２年目という大変な時期に社会人大学院生の私にまでご指導頂き学位を取得させて頂けましたこと、大変感謝しております。これから益々お元気でご活躍されることを願っております。　“感謝”

吉本彰夫
医療法人社団吉翔会 吉本歯科医院 院長
岡山大学歯学部 朋来会

矢谷先生、ご退任おめでとうございます。
岡山大学歯科補綴学第一講座にて矢谷先生のもとで学ばせて頂けたこと誇りに思っております。
矢谷先生にご指導頂いたことを糧に、精一杯自分の仕事に励みます。
そしてこれからもさらなるご活躍をお祈りいたします。

若林由紀
若林歯科医院 副院長
岡山大学歯学部 朋来会

ご退任おめでとうございます。
入局して初めての模型実習の日、学生たちに厳しい顔で気合を入れられる若き助教授の矢谷先生に、医局での笑顔はどこに…？とびっくりした記憶があります。
自分が当時の先生の年齢になったとき、いかにたくさんの重責をあの年齢で担っていらしたかと思いました。真摯に仕事に取り組まれていた矢谷先生と同じ医局で働けて光栄です。

脇　智典

医療法人社団 麻布東京デンタルクリニック 理事長
大阪大学歯学部歯科補綴学第一教室 OB

私は、矢谷先生から大阪大学で初めて博士号の学位を頂いた学年となります。その後も、矢谷先生からは、多くの機会を頂きました。アメリカ留学から帰国して、最初に大きな学会での講演の機会を与えて頂いたのは、矢谷先生が主催された日本補綴歯科学会主催のプロソ‘14でした。この講演をきっかけにいろいろな学会から講演をする機会を与えて頂けるようになりました。また、現在、臨床教授の任務も与えて頂き、矢谷先生からずっとご指導頂いていた臨床と教育と研究の３つを行うことが出来る場も与えて頂きました。貴重な機会を与えて頂いたことに心より感謝しております。
矢谷先生のますますのご発展とご健康を心から祈念しつつ、お祝いの言葉とさせて頂きたいと思います。

鷲野　崇

わしの歯科クリニック 院長
岡山大学歯学部サッカー部 OB

いつも優しく、そして医療人として真っ直ぐな姿勢でおられる矢谷先生のことを、ずっと尊敬しております。お忙しい日々であったと思いますが、これから少しお時間ができるでしょうか？名古屋で最高のおもてなしをさせて頂きますので、名古屋にお立ち寄りの際には是非お声がけ下さい。先生とじっくり熱く語り合える日を楽しみにしております。

和仁紀子

井戸歯科小児クリニック 勤務
岡山大学歯学部 朋来会

矢谷先生、ご退任おめでとうございます。
案内状を拝読しこれまでのご功績の多さに圧倒されました。優しくてダンディーで陽気な先生のお顔と、当時の医局の先生方を思い浮かべながら、約30年前の研修医時代を懐かしんでいます。退局後は訪問歯科診療に10年携わり、その後縁あって小児歯科で勤務医をしています。結婚して、家事、育児、仕事、同居、介護…なにもかもずーっと中途半端ですが、おかげさまで病気もせず、家族に恵まれ、田舎で淡々と過ごしています。
矢谷先生、これからもお元気でますますのご活躍を心からお祈り申し上げます。

英語論文・日本語論文・著書

英語論文

■ Review papers ■

1. Egusa H, Soysa NS, Ellepola AN, Yatani H, Samaranayake LP. Oral candidosis in HIV-infected patients. Curr HIV Res 2008; 6: 485-499.

2. Egusa H, Saeki M, Doi M, Fukuyasu S, Matsumoto T, Kamisaki Y, Yatani H. A small-molecule approach to bone regenerative medicine in dentistry. J Oral Biosci 2010; 52: 107-118.

3. Koyano K, Maeda Y, Stohler CS, Mericske-Stern R, Hudson JD, Yim SH, Kim HS, Gandhi UV, Sato H, Kuboki T, Yatani H. Consensus statement from JPS Global Workshop Kyoto 2012. J Prosthodont Res 2013; 57: 153-155.

4. Fueki K, Ohkubo C, Yatabe M, Arakawa I, Arita M, Ino S, Kanamori T, Kawai Y, Kawara M, Komiyama O, Suzuki T, Nagata K, Hosoki M, Masumi S, Yamauchi M, Aita H, Ono T, Kondo H, Tamaki K, Matsuka Y, Tsukasaki H, Fujisawa M, Baba K, Koyano K, Yatani H. Clinical application of removable partial dentures using thermoplastic resin-part I: definition and indication of non-metal clasp dentures. J Prosthodont Res 2014; 58: 3-10.

5. Fueki K, Ohkubo C, Yatabe M, Arakawa I, Arita M, Ino S, Kanamori T, Kawai Y, Kawara M, Komiyama O, Suzuki T, Nagata K, Hosoki M, Masumi S, Yamauchi M, Aita H, Ono T, Kondo H, Tamaki K, Matsuka Y, Tsukasaki H, Fujisawa M, Baba K, Koyano K, Yatani H. Clinical application of removable partial dentures using thermoplastic resin. Part II: Material properties and clinical features of non-metal clasp dentures. J Prosthodont Res 2014; 58: 71-84.

6. Yatani H, Komiyama O, Matsuka Y, Wajima K, Muraoka W, Ikawa M, Sakamoto E, De Laat A, Heir GM. Systematic review and recommendations for nonodontogenic toothache. J Oral Rehabil 2014; 41: 843-852.

論文・著書

7. Carbajal Mejía JB, Wakabayashi K, Nakano T, Yatani H. Marginal bone loss around dental implants inserted with static computer assistance in healed sites: A systematic review and meta-analysis. Int J Oral Maxillofac Implants 2016; 31: 761-775.

8. Nikaido T, Tagami J, Yatani H, Ohkubo C, Nihei T, Koizumi H, Maseki T, Nishiyama Y, Takigawa T, Tsubota Y. Concept and clinical application of the resin-coating technique for indirect restorations. Dent Mater J 2018; 37: 192-196.

9. Mine A, Kabetani T, Kawaguchi-Uemura A, Higashi M, Tajiri Y, Hagino R, Imai D, Yumitate M, Ban S, Matsumoto M, Yatani H. Effectiveness of current adhesive systems when bonding to CAD/CAM indirect resin materials: A review of 32 publications. Jpn Dent Sci Rev 2019; 55: 41-50.

■ Original papers ■

10. Kawazoe Y, Kotani H, Maetani T, Yatani H, Hamada T. Integrated electromyographic activity and biting force during rapid isometric contraction of fatigued masseter muscle in man. Arch Oral Biol 1981; 26: 795-801.

11. Yamashita A, Yatani H. Occlusal bonding for long-term neuromuscular occlusion. NY State Dent J 1990; 56: 31-33.

12. Jimenezs LF, Amano Y, Yatani H, Yamashita A. Protesis fija plural adhesiva：Estado actualy reporte de caso clinico. Revista Sociedad de Protesis Estomatologica 1990; 6: 32-39.

13. Wakabayashi Y, Kondo Y, Suzuki K, Yatani H, Yamashita A. Effect of dissolution of collagen on adhesion to dentin. Int J Prosthodont 1994; 7: 302-306.

14. Matsuka Y, Yatani H, Kuboki T, Yamashita A. Temporomandibular disorders in the adult population of Okayama city, Japan. J Craniomandib Pract (Cranio) 1996; 14: 158-162.

15. Orsini MG, Yatani H, Kuboki T, Yamashita A. Relationship between temporomandibular joint disc position and configuration on magnetic resonance imaging. Oral Radiol 1996; 12: 39-47.

16. Kuboki T, Azuma Y, Orsini MG, Hirooka T, Yatani H, Yamashita A. Effect of occlusal appliances and clenching on the temporomandibular joint space. J Orofac Pain 1997; 11: 67-77.

17. Yatani H, Kaneshima T, Kuboki T, Yoshimoto A, Matsuka Y, Yamashita A. Long-term follow-up study on drop-out TMD patients with self-administered questionnaires. J Orofac Pain 1997; 11: 258-269.

18. Watanabe EK, Yamashita A, Imai M, Yatani H, Suzuki K. Temporary cement remnants as an adhesion inhibiting factor in the interface between resin cements and bovine dentin. Int J Prosthodont 1997; 10: 440-452.

19. Watanabe EK, Yatani H, Kuboki T, Matsuka Y, Terada S, Orsini MG Yamashita A. The relationship between signs and symptoms of temporomandibular disorders and bilateral occlusal contact patterns during lateral excursions. J Oral Rehabil 1998; 25: 409-415.

20. Yatani H, Minakuchi H, Matsuka Y, Fujisawa T, Yamashita A. The long-term effect of occlusal therapy on self-administered treatment outcomes of TMD. J Orofac Pain 1998; 12: 75-88.

21. Yatani H, Sonoyama W, Kuboki T, Matsuka Y, Orsini MG, Yamashita A. The validity of clinical examination for diagnosing anterior disk displacement with reduction. Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod 1998; 85: 647-653.

22. Yatani, H, Suzuki K, Kuboki T, Matsuka Y, Maekawa K, Yamashita A. The validity of clinical examination for diagnosing anterior disk displacement without reduction. Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod 1998; 85: 654-660.

論文・著書

23. Watanabe EK, Yamashita A, Yatani H, Ishikawa, K. Suzuki, K. Improvement in the tensile bond strength between resin cement and dentin surface after temporary cement application. Int J Prosthodont 1998; 11: 203-211.

24. Tanaka J, Ishikawa K, Yatani H, Yamashita A, Suzuki K. Steric effects of N-Acyl group in O-Methacryloyl-N-Acyl tyrosines on the adhesiveness to the unetched human dentin. Dent Mater J 1998; 17: 233-238.

25. Yatani H, Watanabe EK, Kaneshima T, Yamashita A, Suzuki K. Etched-porcelain resin-bonded onlay technique for posterior teeth. J Esthet Dent 1998; 10: 325-332.

26. Orsini MG, Kuboki T, Terada S, Matsuka Y, Yatani H, Yamashita A. Clinical predictability of temporomandibular joint disc displacement. J Dent Res 1999; 78: 650-660.

27. Tanaka J, Ishikawa K, Yatani H, Yamashita A, Suzuki, K. Correlation of dentin bond durability with water absorption of bonding layer. Dent Mater J 1999; 18: 11-18.

28. Tanaka J, Ishikawa K, Yatani H, Yamashita A, Suzuki K. Effect of carboxyl group in O-methacryloyl-N-acyl tyrosines on adhesiveness to unetched human dentin. Dent Mater J 1999; 18: 87-95.

29. Watanabe EK, Yatani H, Yamashita A, Ishikawa K, Suzuki K. Effects of thermocycling on the tensile bond strength between resin cement and dentin surfaces after temporary cement application. Int J Prosthodont 1999; 12: 230-235.

30. Kaneshima T, Yatani H, Kasai T, Watanabe EK, Yamashita A. The influence of blood contamination on bond strengths between dentin and an adhesive resin cement. Oper Dent 2000; 25: 195-201.

31. Kasai T, Ishikawa K, Suzuki K, Yatani H. Initial evaluation of a ceramic form as a reconstructive material for bone defect. Dent Mater J 2000; 4: 381-388.

32. Kamisaka M, Yatani H, Kuboki T, Matsuka Y, Minakuchi H. Four-year longitudinal course of TMD symptoms in adult population and the estimation of risk factors in relation to the symptoms. J Orofac Pain 2000; 14: 224-232.

33. Watanabe EK, Yatani H, Ishikawa K, Suzuki K, Yamashita A. A pilot study of conditioner/primer effects on resin-dentin bonding after provisional cement contamination using SEM, energy dispersing X-ray spectroscopy, and bond strength evaluation measures. J Prosthet Dent 2000; 83: 349-355.

34. Kuboki T, Suzuki K, Maekawa K, Inoue M, Acero Jr CO, Yanagi Y, Wakasa T, Kishi K, Yatani H, Clark GT. Relationship between signal intensity in T2-wighted MR images and near-infrared spectroscopy signals of the human masseter muscle. Arch Oral Biol 2001; 46: 721-727.

35. Inoue-Minakuchi M, Maekawa K, Kuboki T, Suzuki K, Yamashita A, Yatani H, Clark GT. Intramuscular haemodynamic responses to different durations of sustained muscle extension in normal human masseter muscle. Arch Oral Biol 2001; 46: 661-666.

36. Minakuchi H, Kuboki T, Matsuka Y, Maekawa K, Yatani H, Yamashita A. Randomized controlled evaluation of non-surgical treatments for temporomandibular joint anterior disk displacement without reduction. J Dent Res 2001; 80: 924-928.

37. Eguchi T, Kubota S, Kondo S, Shimo T, Hattori T, Nakanishi T, Kuboki T, Yatani H, Takigawa M. Regulatory mechanism of human connective tissue growth factor (ctgf/hcs24) gene expression in a human chondrocytic cell line, HCS-2/8. J Biochem 2001; 130: 79-87.

38. Eguchi T, Kubota S, Kondo S, Kuboki T, Yatani H, Takigawa M. A novel cis-element that enhances connective tissue growth factor gene expression in chondrocytic cells. Biochem Biophys Res Commun 2002; 295: 445-451.

39. Watanabe K, Ohnishi E, Kaneshima T, Mine A, Yatani H. Porcelain veneer bonding to enamel with plasma-arc light resin curing. Dent Mater J 2002; 21: 61-68.

論文・著書

40. Sonoyama W, Kuboki T, Okamoto S, Suzuki H, Arakawa H, Kanyama M, Yatani H. Yamashita A. Quality of life assessment in patients with implant-supported or resin-bonded fixed prosthesis for bounded edentulous spaces. Clin Oral Impl Res 2002; 13: 359-364.

41. Yatani H, Studts J, Cordova M, Carlson CR, Okeson JP. Comparison of sleep quality, clinical and psychological characteristics in patients with temporomandibular disorders. J Orofac Pain 2002; 16: 221-228.

42. Nawachi K, Inoue M, Kubota S, Nishida T, Yoshimichi G, Nakanishi T, Kanyama M, Kuboki T, Yatani H, Yamaai T, Takigawa M. Tyrosine kinase-type receptor ErbB4 in chondrocytes：Interaction with connective tissue growth factor and distribution in cartilage. FEBS Lett 2002; 528: 109-113.

43. Inoue-Minakuchi M, Kuboki T, Maekawa K, Yanagi Y, Inoue E, Wakasa T, Kishi K, Yatani H, Clark GT. Signal intensity changes in T2-Weighted MR image of the human trapezius muscle to cold pressor stimulation. Dent Maxillofac Radiol 2002; 31: 350-354.

44. Maekawa K, Kuboki T, Inoue E, Inoue-Minakuchi M, Suzuki K, Yatani H, Clark GT. Function of beta-adrenergic receptors in chronic localized myalgia. J Orofac Pain 2002; 17: 140-144.

45. Nakazawa Y, Yatani H, Minakuchi H, Matsuka Y. Gender differences in neuroselective current perception thresholds of the trigeminal and median nerves. Prosthodont Res Pract 2003; 2: 72-75.

46. Okamoto M, Mine A, Watanabe K, Kawahara D, Yatani H. Porcelain veneer bonding to dentin and the curing performance of plasma-arc light with respect to porcelain thickness. Dent Mater J 2003; 23: 313-320.

47. Kanyama M, Kuboki T, Akiyama K, Nawachi K, Miyauchi FM, Yatani H, Kubota S, Nakanishi T, Takigawa M. Connective tissue growth factor expressed in rat alveolar bone regeneration sites after tooth extraction. Arch Oral Biol 2003; 48: 723-730.

48. Fujisawa T, Kuboki T, Kasai T, Sonoyama W, Kojima S, Uehara J, Komori C, Yatani H, Hattori T, Takigawa M. A repetitive, steady mouth opening induced an osteoarthritis-like lesion in the rabbit temporomandibular joint. J Dent Res 2003; 82: 731-735.

49. Maekawa K, Kuboki T, Inoue E, Inoue-Minakuchi M, Suzuki K, Yatani H, Clark GT. Function of beta 2-adrenergic receptors in chronic localized myalgia. J Orofac Pain 2003; 17: 140-144.

50. Kuboki T, Kanyama M, Nakanishi T, Akiyama K, Nawachi K, Yatani H, Yamashita K, Takano-Yamamoto T, Takigawa M. Cbfa1/Runx2 gene expression in articular chondrocytes of the mice temporomandibular and knee joints in vivo. Arch Oral Biol 2003; 48: 519-525.

51. Uehara J, Kuboki T, Fujisawa T, Kojima S, Maekawa K, Yatani H. Soluble tumor necrosis factor receptors in synovial fluids from temporomandibular joints with painful anterior disc displacement without reduction and osteoarthritis. Arch Oral Biol 2004; 49: 133-142.

52. Minakuchi H, Kuboki T, Maekawa K, Matsuka Y, Yatani H. Self-reported remission, difficulty, and satisfaction with nonsurgical therapy used to treat anterior disc displacement without reduction. Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod. 2004; 98: 435-440.

53. Sohmura T, Wakabayashi K, Lowmunkong R, Hojo H, Kusumoto N, Okuda H, Kojima T, Nakamura T, Yatani H, Takahashi J. 3D shape measurement of dental casts using medical X-ray CT. Dent Mater J 2004; 23: 121-128.

54. Waki T, Nakamura T, Wakabayashi K, Mutobe Y, Yatani H. Adhesive strength between fiber-reinforced composites and veneering composites and fracture load of combinations of these materials. Int J Prosthodont 2004; 17: 364-368.

55. Ichida F, Nishimura R, Hata K, Matsubara T, Ikeda F, Hisada K, Yatani H, Cao X, Komori T, Yamaguchi A, Yoneda T. Reciprocal roles of MSX2 in regulation of osteoblast and adipocyte differentiation. J Biol Chem 2004; 279: 34015-34022.

論文・著書

56. Tsuchimoto Y, Yoshida Y, Takeuchi M, Mine A, Yatani H, Tagawa Y, Meerbeek BV, Suzuki K, Kuboki T. Effect of surface pre-treatment on durability of resin-based cements bonded to titanium. Dent Mater 2005; 22: 545-552.

57. Nakamura T, Ohyama T, Kinuta S, Wakabayashi K, Takano N, Yatani H. Finite element analysis of fiber-reinforced fixed partial dentures. Dent Mater J 2005; 24: 275-279.

58. Wakabayashi K, Sohmura T, Nakamura T, Kojima T, Kinuta S, Takahashi J, Yatani H. New evaluation method by microfocus radiograph CT for 3D assessment of internal adaptation of all-ceramic crowns. Dent Mater J 2005; 24: 362-367.

59. Nakamura T, Tanaka H, Kinuta S, Akao T, Okamoto K, Yatani H. In vitro study on marginal and internal fit of CAD/CAM all-ceramic crowns. Dent Mater J 2005; 24: 456-459.

60. Kinuta S, Wakabayashi K, Sohmura T, Kojima T, Mizumori T, Nakamura T, Takahashi J, Yatani H. Measurement of masticatory movement by a new jaw tracking system using a home digital camcorder. Dent Mater J 2005; 24; 661-666.

61. Egusa H, Nikawa H, Makihira S, Jewett A, Yatani H, Hamada T. Intercellular adhesion molecule 1-dependent activation of interleukin 8 expression in Candida albicans-infected human gingival epithelial cells. Infect Immun 2005; 73: 622-626.

62. Kusumoto N, Sohmura T, Yamada S, Wakabayashi K, Nakamura T, Yatani H. Application of virtual reality force feedback haptic device for oral implant surgery. Clin Oral Implants Res 2006; 17: 708-713.

63. Egusa H, Nikawa H, Makihira S, Yatani H, Hamada T. In vitro mechanisms of interleukin-8-mediated responses of human gingival epithelial cells to Candida albicans infection. Int J Med Microbiol 2006; 296: 301-311.

64. Mine A, Yoshida Y, Suzuki K, Nakayama Y, Yatani H, Kuboki T. Spectroscopic characterization of enamel surfaces irradiated with Er:YAG laser. Dent Mater J 2006; 25: 214-218.

65. Nakamura T, Ohyama T, Waki T, Kinuta S, Wakabayashi K, Mutobe Y, Takano N, Yatani H. Stress analysis of endodontically treated anterior teeth restored with different types of post material. Dent Mater J 2006; 25: 145-150.

66. Waki T, Nakamura T, Nakamura T, Kinuta S, Wakabayashi K, Yatani H. Fracture resistance of inlay-retained fixed partial dentures reinforced with fiber-reinforced composite. Dent Mater J 2006; 25: 1-6.

67. Ishigaki S, Kurozumi T, Morishige E, Yatani H. Occlusal interference during mastication can cause pathological tooth mobility. J Periodontal Res 2006; 41: 189-192.

68. Morishige E, Ishigaki S, Yatani H, Hirokawa M. Clinical effectiveness of cognitive behavior therapy in the management of TMD. Int J Prosthodont 2006; 19: 31-33.

69. Nikawa H, Egusa H, Makihira S, Okamoto T, Kurihara H, Shiba H, Amano H, Murayama T, Yatani H, Hamada T. An in vitro evaluation of the adhesion of Candida species to oral and lung tissue cells. Mycoses 2006; 49: 14-17.

70. Mizumori T, Arai K, Tsubaki T, Yatani H. Chewing side continuity and masticatory performance. Prosthodont Res Prac 2006; 5: 10-14.
平成 18 年度日本補綴歯科学会中堅優秀論文賞

71. Sato Y, Higashi K, Mizumori T, Yatani H. The relationship between mandibular position and sole pressure. Prosthdont Res Pract 2007; 6: 14-19.

72. Nakano T, Eguchi S, Hisada K, Ichida F, Yamashita K, Yamada S, Yatani H. Immediate loading of implants in a completely edenturous maxilla using flapless surgery. Prosthdont Res Pract 2007; 6: 57-62.

論文・著書

73. Yan-zhen Z, Yan-chun Z, Li L, Yang L, Yatani H. Stabilization of an abutment under a rigidly fixed bridge by holographical-speckle interferometry. J Zhejiang Univ SCIENCE B 2007; 8: 416-421.

74. Suzuki K, Maekawa K, Minakuchi H, Yatani H, Clark GT, Matsuka Y, Kuboki T. Responses of the hypothalamic-pituitary-adrenal axis and pan threshold changes in the orofacial region upon cold pressor stimulation in normal volunteers. Arch Oral Biol 2007; 52: 797-802.

75. Hamada Y, Egusa H, Kaneda Y, Hirata I, Kawaguchi N, Hirao T, Matsumoto T, Yao M, Daito K, Suzuki M, Yatani H, Daito M, Okazaki M, Matsuura N. Synthetic osteopontin-derived peptide SVVYGLR can induce neovascularization in artificial bone marrow scaffold biomaterilas. Dent Mater J 2007; 26: 487-492.

76. Nakamura T, Nishida H, Sekino T, Nawa M, Wakabayashi K, Kinuta S, Mutobe Y, Yatani H. Electrophoretic deposition behavior of ceria-stabilized zirconia/alumina powder. Dent Mater J 2007; 26: 623-627.

77. Matsumoto T, Sasaki J, Alsberg E, Egusa H, Yatani H, Sohmura T. Three-dimensional cell and tissue patterning in a strained fibrin gel system. PLoS ONE 2007; 21; 2: e1211.

78. Watamoto T, Mizumori T, Egusa H, Yashiro K, Takada K, Yatani H. The influence of single molar crown placement on the smoothness of masticatory movement. J Oral Rehabil 2007; 6: 35: 440-445.

79. Nakamura T, Wakabayashi K, Kawamura Y, Kinuta S, Mutobe Y, Yatani H. Analysis of internal defects in all-ceramic crowns using micro-focus X-ray computed tomography. Dent Mater J 2007; 26: 598-601.

80. Egusa H, Watamoto T, Abe K, Kobayashi M, Kaneda Y, Ashida S, Matsumoto T, Yatani H. An analysis of the persistent presence of opportunistic pathogens on patient-derived dental impressions and gypsum casts. Int J Prosthodont 2008; 21: 62-68.

81. Watamoto T, Mizumori T, Egusa H, Yashiro K, Takada K, Yatani H. The influence of single molar crown placement on the smoothness of masticatory movement. J Oral Rehabil 2008; 35: 440-445.

82. Uchida M, Yatani H, Ishigaki S, Toda M, Kanehisa M. Relations among TMD, bruxism, lifestyle, and psychological stress. Prosthodont Res Pract 2008; 7: 171-173.

83. Inano S, Mizumori T, Kobayashi Y, Sumiya M, Yatani H. Usability of an ambulatory bruxism recording system with sleep-stage analyzing function. Prosthdont Res Pract 2008; 7: 183-185.

84. Egusa H, Ko N, Shimazu T, Yatani H. Suspected association of an allergic reaction with titanium dental implants: a clinical report. J Prosthet Dent 2008; 100: 344-347.

85. Watamoto T, Egusa H, Mizumori T, Yashiro K, Takada K, Yatani H. Restoration of occlusal and proximal contacts by a single molar crown improves the smoothness of the masticatory movement. J Dent 2008; 36: 984-992.

86. Iida T, Egusa H, Saeki M, Yatani H, Kamisaki Y. PICK1 binds to calcineurin B and modulates the NFAT activity in PC12 cells. Biochem Biophys Res Commun 2008; 375: 655-659.

87. Itsuki Y, Saeki M, Nakahara H, Egusa H, Irie Y, Terao Y, Kawabata S, Yatani H, Kamisaki Y. Molecular cloning of novel Monad binding protein containing tetratricopeptide repeat domains. FEBS Lett 2008; 582: 2365-2370.

88. Ishigaki S, Kurozumi T, Morishige E, Yatani H. Non-working contact does not initiate primary occlusal trauma. Prosthodont Res Pract 2008; 7: 49-54.
平成 20 年度日本補綴歯科学会中堅優秀論文賞

89. Egusa H, Watamoto T, Matsumoto T, Abe K, Kobayashi M, Akashi Y, Yatani H. Clinical evaluation of the efficacy of removing microorganisms to disinfect patient-derived dental impressions. Int J Prosthodont 2008; 21: 531-538.

論文・著書

90. Nakamura T, Wakabayashi K, Kinuta S, Nishida H, Miyamae M, Yatani H. Mechanical properties of new self-adhesive resin-based cement. J Prosthodont Res 2009; 54: 59-64.

91. Tokunaga J, Kojima T, Kinuta S, Wakabayashi K, Nakamura T, Yatani H, Sohmura T. Large-area electron beam irradiation for surface polishing of cast titanium. Dent Mater J 2009; 28: 571-577.

92. Egusa H, Kaneda Y, Akashi Y, Hamada Y, Matsumoto T, Saeki M, Thakor DK, Tabata Y, Matsuura N, Yatani H. Enhanced bone regeneration via multimodal actions of synthetic peptide SVVYGLR on osteoprogenitors and osteoclasts. Biomaterials 2009; 30: 4676-4686.
日本補綴歯科学会平成 21 年度特定推進研究優秀論文賞

93. Mizumori T, Inano S, Sumiya M, Kobayashi Y, Watamoto T, Yatani H. Ambulatory bruxism recording system with sleep-stage analyzing function. J Prosthodont Res 2009; 53: 150-154.

94. Watamoto T, Samaranayake LP, Jayatilake JA, Egusa H, Yatani H, Seneviratne CJ. Effect of filamentation and mode of growth on antifungal susceptibility of Candida albicans. Int J Antimicrob Agents 2009; 34: 333-339.

95. Nakamura T, Wakabayashi K, Zaima C, Nishida H, Kinuta S, Yatani H. Tensile bond strength between tooth-colored porcelain and sandblasted zirconia framework. J Prosthodont Res 2009; 53: 116-119.

96. Ohtani T, Kusumoto N, Wakabayashi K, Yamada S, Nakamura T, Kumazawa Y, Yatani H, Sohmura T. Application of haptic device to implant dentistry--accuracy verification of drilling into a pig bone. Dent Mater J 2009; 28: 75-81.

97. Sohmura T, Kusumoto N, Otani T, Yamada S, Wakabayashi K, Yatani H. CAD/CAM fabrication and clinical application of surgical template and bone model in oral implant surgery. Clin Oral Implants Res 2009; 20: 87-93.

98. Hirata T, Nakamura T, Wakabayashi K, Yatani H. Study of surface roughness and marginal fit using a newly developed microfinishing bur and new preparation technique. Int J Micro-Dent 2009; 1: 61-64.

99. Kobayashi Y, Hiraga T, Ueda A, Wang L, Matsumoto-Nakano M, Hata K, Yatani H, Yoneda T. Zoledronic acid delays wound healing of the tooth extraction socket, inhibits oral epithelial cell migration, and promotes proliferation and adhesion to hydroxyapatite of oral bacteria, without causing osteonecrosis of the jaw, in mice. J Bone Miner Metab 2010; 28: 165-175.
国際骨代謝学会（IBMS）・日本骨代謝学会（JSBMR) 第２回合同国際会議 JBMM 論文賞

100. Kawahara D, Mine A, De Munck J, Kuboki T, Yoshida Y, Suzuki K, Van Meerbeek B, Yatani H. The quasi-three-dimensional marginal leakage of full-coverage crowns: resin coating versus sodium hypochlorite treatment. Int J Prosthodont 2010; 23: 406-409.

101. Hikasa T, Matsuka Y, Mine A, Minakuchi H, Hara ES, Van Meerbeek B, Yatani H, Kuboki T. A 15-year clinical comparative study of the cumulative survival rate of cast metal core and resin core restorations luted with adhesive resin cement. Int J Prosthodont 2010; 23: 397-405.

102. Egusa H, Okita K, Kayashima H, Yu G, Fukuyasu S, Saeki M, Matsumoto T, Yamanaka S, Yatani H. Gingival fibroblasts as a promising source of induced pluripotent stem cells. PLoS One 2010; 14; 5: e12743.
大阪大学歯学会平成 22 年度弓倉学術奨励賞

103. Nakamura S, Hayashi K, Iwasaki K, Fujioka T, Egusa H, Yatani H, Sobue K. Nuclear import mechanism for myocardin family members and their correlation with vascular smooth muscle cell phenotype. J Biol Chem 2010; 285: 37314-37323.

104. Suzuki E, Ishigaki S, Yatani H, Morishige E, Uchida M. Mean power frequency during speech in myalgia patients. J Oral Rehabil 2010; 37: 692-697.

論文・著書

105. Sasaki J, Asoh TA, Matsumoto T, Egusa H, Sohmura T, Alsberg E, Akashi M, Yatani H. Fabrication of three-dimensional cell constructs using temperature-responsive hydrogel. Tissue Eng Part A 2010; 16: 2497-2504.

106. Sasaki J, Matsumoto T, Egusa H, Nakano T, Ishimoto T, Sohmura T, Yatani H. In vitro engineering of transitional tissue by patterning and functional control of cells in fibrin gel. Soft Matter 2010; 6: 1662-1667.
大阪大学歯学会平成 21 年度優秀研究奨励賞

107. Watamoto T, Samaranayake LP, Egusa H, Yatani H, Samaranayke YH, Seneviratne CJ. Susceptibility of Candida albicans filamentation-defective mutants to clinical biocides. J Hosp Infect 2010; 74: 189-191.

108. Nakamura T, Nishida H, Sekino T, Tang H, Yatani H. Ceria-stabilized zirconia/alumina nanocomposite suitable for electrophoretic deposition in the fabrication of dental restorations. Ceramic Transactions 2010; 210: 407-412.

109. Nakamura T, Wakabayashi K, Kinuta S, Nishida H, Miyamae M, Yatani H. Mechanical properties of new self-adhesive resin-based cement. J Prosthodont Res 2010; 54: 59-64.

110. Nakamura T, Usami H, Ohnishi H, Takeuchi M, Nishida H, Sekino T, Yatani H. The effect of adding silica to zirconia to counteract zirconia's tendency to degrade at low temperatures. Dent Mater J 2011; 30: 330-335.

111. Egusa H, Doi M, Saeki M, Fukuyasu S, Akashi Y, Yokota Y, Yatani H, Kamisaki Y. The small molecule harmine regulates NFATc1 and Id2 expression in osteoclast progenitor cells. Bone 2011; 49: 264-274.

112. Watamoto T, Samaranayake LP, Egusa H, Yatani H, Seneviratne CJ. Transcriptional regulation of drug-resistance genes in Candida albicans biofilms in response to antifungals. J Med Microbiol 2011; 60: 1241-1247.

113. Mizumori T, Kobayashi Y, Inano S, Sumiya M, Murashima F, Yatani H. No effect of conscious clenching on simple arithmetic task in healthy participants. J Prosthodont Res 2011; 55: 189-192.

114. Honma S, Kato A, Shi L, Yatani H, Wakisaka S. Vesicular glutamate transporter immunoreactivity in the periodontal ligament of the rat incisor. Anat Rec (Hoboken) 2012; 295: 160-166.

115. Yamanishi Y, Yamaguchi S, Imazato S, Nakano T, Yatani H. Influences of implant neck design and implant-abutment joint type on peri-implant bone stress and abutment micromovement: Three-dimensional finite element analysis. Dent Mater 2012; 28: 1126-1133.

116. Sasaki J, Matsumoto T, Egusa H, Matsusaki M, Nishiguchi A, Nakano T, Akashi M, Imazato S, Yatani H. In vitro reproduction of endochondral ossification using a 3D mesenchymal stem cell construct. Integr Biol (Camb) 2012; 4: 1207-1214.

117. Tang X, Tan Z, Nakamura T, Yatani H. Effects of ageing on surface textures of veneering ceramics for zirconia frameworks. J Dent 2012; 40: 913-920.

118. Kuboki T, Ichikawa T, Baba K, Hideshima M, Sato Y, Wake H, Nagao K, Kodaira-Ueda Y, Kimura-Ono A, Tamaki K, Tsuga K, Sakurai K, Sato H, Ishibashi K, Yatani H, Ohyama T, Akagawa Y, Hirai T, Sasaki K, Koyano K. A multi-centered epidemiological study evaluating the reliability of the treatment difficulty indices developed by the Japan Prosthodontic Society. J Prosthodont Res 2012; 56: 71-86.

119. Tang X, Nakamura T, Usami H, Wakabayashi K, Yatani H. Effects of multiple firings on the mechanical properties and microstructure of veneering ceramics for zirconia frameworks. J Dent 2012; 40: 372-380.

120. Nakamura T, Usami H, Ohnishi H, Nishida H, Tang X, Wakabayashi K, Sekino T, Yatani H. The relationship between milling a new silica-doped zirconia and its resistance to low-temperature degradation (LTD): a pilot study. Dent Mater J 2012; 31: 106-112.

論文・著書

121. Hisada K, Hata K, Ichida F, Matsubara T, Orimo H, Nakano T, Yatani H, Nishimura R, Yoneda T. Retinoic acid regulates commitment of undifferentiated mesenchymal stem cells into osteoblasts and adipocytes. J Bone Miner Metab 2013; 31: 53-63.

122. Matsumoto M, Miura J, Takeshige F, Yatani H. Mechanical and morphological evaluation of the bond-dentin interface in direct resin core build-up method. Dent Mater 2013; 29: 287-293.
平成 25 年度日本歯科保存学会奨励賞

123. Egusa H, Kobayashi M, Matsumoto T, Sasaki JI, Uraguchi S, Yatani H. Application of cyclic strain for accelerated skeletal myogenic differentiation of mouse bone marrow-derived mesenchymal stromal cells with cell alignment. Tissue Eng Part A 2013; 19: 770-782.

124. Ono S, Yamaguchi S, Kusumoto N, Nakano T, Sohmura T, Yatani H. Optical impression method to measure three-dimensional position and orientation of dental implants using an optical tracker. Clin Oral Implants Res 2013; 24: 1117-1122.

125. Watamoto T, Egusa H, Sawase T, Yatani H. Clinical evaluation of chlorine dioxide for disinfection of dental instruments. Int J Prosthodont 2013; 26: 541-544.

126. Inano S, Mizumori T, Kobayashi Y, Sumiya M, Yatani H. Identification of sleep bruxism with an ambulatory wireless recording system. Int J Prosthodont 2013; 26: 527-535.

127. Kamano Y, Saeki M, Egusa H, Kakihara Y, Houry WA, Yatani H, Kamisaki Y. PIH1D1 interacts with mTOR complex 1 and enhances ribosome RNA transcription. FEBS Lett 2013; 587: 3303-3308.

128. Saeki M, Egusa H, Kamano Y, Kakihara Y, Houry WA, Yatani H, Noguchi S, Kamisaki Y. Exosome-bound WD repeat protein Monad inhibits breast cancer cell invasion by degrading amphiregulin mRNA. PLoS One 2013; 8: e67326.

129. Mizumori T, Sumiya M, Kobayashi Y, Inano S, Yatani H. Prediction of sleep bruxism events by increased heart rate. Int J Prosthodont. 2013; 26: 239-243.

130. Hisada K, Hata K, Ichida F, Matsubara T, Orimo H, Nakano T, Yatani H, Nishimura R, Yoneda T. Retinoic acid regulates commitment of undifferentiated mesenchymal stem cells into osteoblasts and adipocytes. J Bone Miner Metab 2013; 31: 53-63.

131. Nagao S, Goto T, Kataoka S, Toyono T, Joujima T, Egusa H, Yatani H, Kobayashi S, Maki K. Expression of neuropeptide receptor mRNA during osteoblastic differentiation of mouse iPS cells. Neuropeptides 2014; 48: 399-406.

132. Tang X, Tang C, Su H, Luo H, Nakamura T, Yatani H. The effects of repeated heat-pressing on the mechanical properties and microstructure of IPS e.max press. J Mech Behav Biomed Mater 2014; 40: 390-396.

133. Mine A, De Munck J, Cardoso MV, Van Landuyt KL, Poitevin A, Van Ende A, Matsumoto M, Yoshida Y, Kuboki T, Yatani H, Van Meerbeek B. Dentin-smear remains at self-etch adhesive interface. Dent Mater 2014; 30: 1147-1153.

134. Yamanishi Y, Yamaguchi S, Imazato S, Nakano T, Yatani H. Effects of the implant design on peri-implant bone stress and abutment micromovement: three-dimensional finite element analysis of original computer-aided design models. J Periodontol 2014; 85: e333-338.

135. Toyoda H, Saito M, Sato H, Tanaka T, Ogawa T, Yatani H, Kawano T, Kanematsu T, Hirata M, Kang Y. Enhanced desensitization followed by unusual resensitization in GABAA receptors in phospholipase C-related catalytically inactive protein-1/2 double-knockout mice. Pflugers Arch 2014; 467: 267-284.

136. Minamino T, Mine A, Omiya K, Matsumoto M, Nakatani H, Iwashita T, Ohmi M, Awazu K, Yatani H. Nondestructive observation of teeth post core space using optical coherence tomography: a pilot study. J Biomed Opt 2014; 19: 046004.

137. Egusa H, Kayashima H, Miura J, Uraguchi S, Wang F, Okawa H, Sasaki JI, Saeki M, Matsumoto T, Yatani H. Comparative analysis of mouse induced pluripotent stem cells and mesenchymal stem cells during osteogenic differentiation in vitro. Stem Cells Dev 2014; 23: 2156-2169.

論文・著書

138. Nakamura T, Sugano T, Usami H, Wakabayashi K, Ohnishi H, Sekino T, Yatani H. Shear bond strength of veneering porcelain to porous zirconia. Dent Mater J 2014; 33: 220-225.
平成 27 年度日本接着歯学会論文賞

139. Sumiya M, Mizumori T, Kobayashi Y, Inano S, Yatani H. Suppression of sleep bruxism: Effect of electrical stimulation of the masseter muscle triggered by heart rate elevation. Int J Prosthodont 2014; 27: 80-86.

140. Kaminaka A, Nakano T, Shinji O, Kato T, Yatani H. Cone-beam computed tomography evaluation of horizontal and vertical dimensional changes in buccal peri-implant alveolar bone and soft tissue: A 1-year prospective clinical study. Clin Implant Dent Relat Res 2015; 17 Suppl 2: e576-585.

141. Toyoda H, Saito M, Sato H, Kawano T, Kawakami S, Yatani H, Kanematsu T, Hirata M, Kang Y. Enhanced lateral inhibition in the barrel cortex by deletion of phospholipase C-related catalytically inactive protein-1/2 in mice. Pflugers Arch 2015; 467: 1445-1456.

142. Watamoto T, Egusa H, Sawase T, Yatani H. Screening of pharmacologically active small molecule compounds identifies antifungal agents against Candida biofilms. Front Microbiol 2015; 6: 1453.

143. Wang F, Okawa H, Kamano Y, Niibe K, Kayashima H, Osathanon T, Pavasant P, Saeki M, Yatani H, Egusa H. Controlled osteogenic differentiation of mouse mesenchymal stem cells by tetracycline-controlled transcriptional activation of amelogenin. PLoS One 2015; 10: e0145677.

144. Minamino T, Mine A, Matsumoto M, Sugawa Y, Kabetani T, Higashi M, Kawaguchi A, Ohmi M, Awazu K, Yatani H. Nondestructive observation of teeth post core-space using optical coherence tomography: comparison with microcomputed tomography and live images. J Biomed Opt 2015; 20: 107001.

145. Tang X, Luo H, Bai Y, Tang H, Nakamura T, Yatani H. Influences of multiple firings and aging on surface roughness, strength and hardness of veneering ceramics for zirconia frameworks. J Dent 2015; 43: 1148-1153.

146. Nakamura T, Sugano T, Usami H, Wakabayashi K, Ohnishi H, Sekino T, Yatani H. Fitting accuracy and fracture resistance of crowns using a hybrid zirconia frame made of both porous and dense zirconia. Dent Mater J 2015; 34: 257-262.

147. Moriwaki H, Yamaguchi S, Nakano T, Yamanishi Y, Imazato S, Yatani H. Influence of implant length and diameter, bicortical anchorage, and sinus augmentation on bone stress distribution: Three-dimensional finite element analysis. Int J Oral Maxillofac Implants 2016; 31: e84-91.

148. Okawa H, Kayashima H, Sasaki J, Miura J, Kamano Y, Kosaka Y, Imazato S, Yatani H, Matsumoto T, Egusa H. Scaffold-free fabrication of osteoinductive cellular constructs using mouse gingiva-derived induced pluripotent stem cells. Stem Cells Int 2016; 2016: 6240794.

149. Oka Y, Sasaki J, Wakabayashi K, Nakano Y, Okamura SY, Nakamura T, Imazato S, Yatani H. Fabrication of a radiopaque fit-testing material to evaluate the three-dimensional accuracy of dental prostheses. Dent Mater 2016; 32: 921-928.

150. Luo H, Tang X, Dong Z, Tang H, Nakamura T, Yatani H. The influences of accelerated aging on mechanical properties of veneering ceramics used for zirconia restorations. Dent Mater J 2016; 35: 187-193.

151. Kawaguchi A, Matsumoto M, Higashi M, Miura J, Minamino T, Kabetani T, Takeshige F, Mine A, Yatani H. Bonding effectiveness of self-adhesive and conventional-type adhesive resin cements to CAD/CAM resin blocks. Part 2: Effect of ultrasonic and acid cleaning. Dent Mater J 2016; 35: 29-36.

152. Higashi M, Matsumoto M, Kawaguchi A, Miura J, Minamino T, Kabetani T, Takeshige F, Mine A, Yatani H. Bonding effectiveness of self-adhesive and conventional-type adhesive resin cements to CAD/CAM resin blocks. Part 1: Effects of sandblasting and silanization. Dent Mater J 2016; 35: 21-28.

論文・著書

153. Nakamura T, Nakano Y, Usami H, Wakabayashi K, Ohnishi H, Sekino T, Yatani H. Translucency and low-temperature degradation of silica-doped zirconia: A pilot study. Dent Mater J 2016; 35: 571-577.

154. Yu G, Okawa H, Okita K, Kamano Y, Wang F, Saeki M, Yatani H, Egusa H. Gingival fibroblasts as autologous feeders for induced pluripotent stem cells. J Dent Res 2016; 95: 110-118.

155. Matsuka Y, Hagiwara Y, Tamaki K, Takeuchi H, Fujisawa M, Ono T, Tsukiyama Y, Nagao K, Tsuga K, Aita H, Kondo H, Fueki K, Tsukasaki H, Nishigawa K, Ozawa S, Kuwatsuru R, Minakuchi H, Iinuma T, Matsuura T, Ishibashi K, Fujii S, Hirai T, Sasaki K, Yatani H, Igarashi Y, Sato Y, Ichikawa T, Yamamori T, Kuboki T, Baba K, Koyano K, Sato H, Matsumura H. Reliability and validity of the patient disability-oriented diagnostic nomenclature system for prosthetic dentistry. J Prosthodont Res 2017; 61: 20-33.

156. Matsumoto M, Mine A, Miura J, Minamino T, Iwashita T, Nakatani H, Nishida T, Takeshige F, Yatani H. Bonding effectiveness and multi-interfacial characterization of two direct buildup resin core systems bonded to post-space dentin. Clin Oral Investig 2017; 21: 309-317.

157. Mine A, De Munck J, Van Ende A, Poitevin A, Matsumoto M, Yoshida Y, Kuboki T, Van Landuyt KL, Yatani H, Van Meerbeek B. Limited interaction of a self-adhesive flowable composite with dentin/enamel characterized by TEM. Dent Mater 2017; 33: 209-217.
平成 29 年度岡山歯学会優秀論文賞

158. Carbajal Mejía JB, Wakabayashi K, Nakamura T, Yatani H. Influence of abutment tooth geometry on the accuracy of conventional and digital methods of obtaining dental impressions. J Prosthet Dent 2017; 118: 392-399.

159. Minamino T, Mine A, Shintani A, Higashi M, Kawaguchi-Uemura A, Kabetani T, Hagino R, Imai D, Tajiri Y, Matsumoto M, Yatani H. Advanced statistical analyses to reduce inconsistency of bond strength data. J Dent Res 2017; 96: 1400-1405.
平成 30 年度大阪大学歯学会優秀研究奨励賞

160. Takaoka R, Ishigaki S, Yatani H, Ogata S, Hayakawa K. Evaluation of genetic factors involved in nocturnal electromyographic activity of masticatory muscles in twins. Clin Oral Investig 2017; 21: 319-325.

161. Nakatani H, Mine A, Matsumoto M, Kabetani T, Kawaguchi-Uemura A, Higashi M, Tajiri Y, Imai D, Hagino R, Minamino T, Miura J, Yatani H. Effectiveness of sodium hypochlorite and sulfinic acid sodium salt treatment on dentin-resin bonding: Long-term durability of one-step self-etching adhesive. Dent Mater J 2017; 36: 842-850.
平成 30 年度日本接着歯学会論文賞

162. Kato T, Toyota R, Haraki S, Yano H, Higashiyama M, Ueno Y, Yano H, Sato F, Yatani H, Yoshida A. Comparison of rhythmic masticatory muscle activity during non-rapid eye movement sleep in guinea pigs and humans. J Sleep Res 2018; 27: e12608.

163. Kuboki T, Ichikawa T, Baba K, Fujisawa M, Sato H, Aita H, Koyama S, Hideshima M, Sato Y, Wake H, Kimura-Ono A, Nagao K, Kodaira-Ueda Y, Tamaki K, Sadamori S, Tsuga K, Nishi Y, Sawase T, Koshino H, Masumi SI, Sakurai K, Ishibashi K, Ohyama T, Akagawa Y, Hirai T, Sasaki K, Koyano K, Yatani H, Matsumura H. A multi-centered epidemiological study evaluating the validity of the treatment difficulty indices developed by the Japan Prosthodontic Society. J Prosthodont Res 2018; 62: 162-170.

164. Kawaguchi-Uemura A, Mine A, Matsumoto M, Tajiri Y, Higashi M, Kabetani T, Hagino R, Imai D, Minamino T, Miura J, Yatani H. Adhesion procedure for CAD/CAM resin crown bonding: Reduction of bond strengths due to artificial saliva contamination. J Prosthodont Res 2018; 62: 177-183.
平成 30 年度日本補綴歯科学会奨励論文賞

165. Carbajal Mejía JB, Wakabayashi K, Nakamura T, Yatani H. Fracture resistance of computer-aided design/computer-assisted manufactured glass-ceramic incisor crowns fabricated on reverse-tapered preparations. Int J Prosthodont 2018; 31: 478-480.

166. Kato T, Nakano T, Fujita Y, Kobayashi T, Yatani H. Influence of different implant operative procedures on morphologic changes in peri-implant alveolar bone and soft tisse: A one-year prospective clinical study. J Prosthodont Res 2018; 62: 490-496.

論文・著書

167. Nakamura T, Okamura S, Nishida H, Usami H, Nakano Y, Wakabayashi K, Sekino T, Yatani H. Fluorescence of thulium-doped translucent zirconia. Dent Mater J 2018; 37: 1010-1016.

168. Iwashita T, Mine A, Matsumoto M, Nakatani H, Higashi M, Kawaguchi-Uemura A, Kabetani T, Tajiri Y, Imai D, Hagino R, Miura J, Minamino T, Yatani H. Effects of three drying methods of post space dentin bonding used in a direct resin composite core build-up method. J Prosthodont Res 2018; 62: 449-455.

169. Tsujisaka A, Haraki S, Nonoue S, Mikami A, Adachi H, Mizumori T, Yatani H, Yoshida A, Kato T. The occurrence of respiratory events in young subjects with a frequent rhythmic masticatory muscle activity: a pilot study. J Prosthodont Res 2018; 62: 317-323.

170. Kamano Y, Watanabe J, Iida T, Kondo T, Okawa H, Yatani H, Saeki M, Egusa H. Binding of PICK1 PDZ domain with calcineurin B regulates osteoclast differentiation. Biochem Biophys Res Commun 2018; 496: 83-88.

171. Carbajal Mejía JB, Yatani H, Wakabayashi K, Nakamura T. Marginal and internal fit of CAD/CAM crowns fabricated over reverse tapered preparations. J Prosthodont 2019; 28: e477-e484.

172. Yoshida T, Kurosaki Y, Mine A, Kimura-Ono A, Mino T, Osaka S, Nakagawa S, Maekawa K, Kuboki T, Yatani H, Yamashita A. Fifteen-year survival of resin-bonded vs full-coverage fixed dental prostheses. J Prosthodont Res 2019; 63: 374-382.

173. Haraki S, Tsujisaka A, Nonoue S, Nochino T, Kamimura M, Adachi H, Ishigaki S, Yatani H, Taniike M, Kato T. Sleep quality, psychologic profiles, cardiac activity, and salivary biomarkers in young subjects with different degrees of rhythmic masticatory muscle activity: A polysomnography study. J Oral Facial Pain Headache 2019; 33: 105-113.

■ Editorial papers ■

174. Yatani H. Inaugural address by the new president of the Japan Prosthodontic Society--Promoting prosthetic dental practice as a contributor to society. J Prosthodont Res 2013; 57: 233-235.

175. Yatani H. Esthetic prosthodontic treatment - The state-of-the-art. J Prosthodont Res 2015; 59: 216-219.

■ Position papers ■

176. Sasaki K, Yatani H, Kuboki T. Basic position of the Japan Prosthodontic Society with respect to the policy statement on TMD by the American Association for Dental Research (AADR). J Prosthodont Res 2010; 54: 151-152.

■ Case report ■

177. Yatani H, Kuboki T, Amano Y, Yamashita A. A case report of a patient with unilateral anterior disk displacement (reciprocal clicking) finalized by occlusal porcelain bonding. Front Oral Physiol 1990; 7: 27-33.

論文・著書

日本語論文

■総説論文■

1. 矢谷博文 . 顎関節内障の治療効果の判定基準としての顎関節部骨改造．日顎誌 1994; 6: 116-119.

2. 矢谷博文 . 顎関節部の画像診査による診断．補綴誌 1999; 43: 27-36.

3. 松香芳三 , 木庭茂治 , 矢谷博文 . いびきに関する文献的考察．顎頭蓋誌 1999: 12: 19-26.

4. 矢谷博文 . 顎関節症治療のエビデンス . 阪大歯学誌 2004; 49: 15-19.

5. 矢谷博文 . 8020 に対する歯科補綴学的文献レビュー . 補綴誌 2005; 49: 190-198.

6. 矢谷博文 . 補綴装置失敗のリスクファクターに関する文献的レビュー . 補綴誌 2007; 51: 206-221.

7. 矢谷博文 . 接着の応用による MI の実現 . 日歯医会誌 2008; 27: 81-84.

8. 江草　宏，萱島浩輝，于　冠男，矢谷博文 . iPS 細胞研究の進展と歯科医学への拡がり . 阪大歯誌 2010; 55: 11-29.

9. 矢谷博文 . 顎関節症と咬合との関係　根拠に基づく考察 . 日歯医師会誌 2010; 63: 403-410.

10. 佐々木淳一 , 松本卓也 , 江草　宏 , 矢谷博文 . ハイドロゲルを応用した三次元配向組織の in vitro 構築 . 阪大歯学誌 2011; 55: 83-89.

11. 矢谷博文 . 補綴歯科領域における顎関節症治療法の歴史的変遷 . 日補綴会誌 2012; 4: 229-245.

12. 矢谷博文 . 世界の潮流から考えるこれからの顎関節症治療：分類，診断基準の変革がもたらすもの　新たに改訂された日本顎関節学会による顎関節症の病態分類（2013 年）と診断基準 . 日顎誌 2015; 27: 76-86.

13. 矢谷博文 . 顎関節症と咬合の関係に関する up-to-date な見解 . 日顎誌 2018; 30: 36-43.

14. 矢谷博文 . メタルフレームを用いたカンチレバーブリッジの生存率と合併症：文献的レビュー . 日補綴会誌 2019; 11: 193-205.

15. 矢谷博文．オールセラミックカンチレバーブリッジの生存率と合併症：文献的レビュー．日補綴会誌 2020; 12: 209-224.

■原著論文■

16. 矢谷博文 , 濱田泰三 . 筋電図積分値と咬合力の関係からみた咀嚼筋の疲労に関する研究 . 下顎機能と EMG 論文集 1984; 1: 105-110.

17. 玉本光弘 , 名原行徳 , 矢谷博文 , 小谷博夫 , 濱田泰三 . 義歯性口内炎診断用簡易培地（ストマスタット）による義歯洗浄剤の評価 . 補綴誌 1985; 28: 1018-1022.

18. 矢谷博文 . 顎機能障害患者の咀嚼筋筋疲労に関する筋電図学的研究 . 広大歯誌 1985; 17: 170-194.

19. 山下　敦 , 近藤康弘 , 矢谷博文 . 貴金属に対する Sn 電析処理法の接着強さと耐久性ならびに臨床応用について . 接着歯学 1985: 2: 55-66.

20. 赤木昭子 , 前田　裕 , 矢谷博文 , 山下　敦 . 前歯接着ブリッジのリテーナーデザインおよび金属の種類が接着力におよぼす影響　その 1 . 補綴誌 1986; 30: 830-839.

21. 三島信好 , 藤田元英 , 近藤康弘 , 矢谷博文 , 山下　敦 . クラウンに用いられる各種装着材の辺縁漏洩について . 補綴誌 1987; 31: 88-100.

論文・著書

22. 岩藤健太 , 近藤康弘 , 矢谷博文 , 山下　敦 , 貞金雄治 , 間庭秀世 , 大塚昌助 . 接着ブリッジ, スプリント用試作金合金の特性と接着力について . 補綴誌 1987; 31: 305-315.

23. 永木孝典 , 赤瀬公計 , 矢谷博文 , 山下　敦 . 環境湿度、温度および被着歯面乾燥方法の違いが歯科接着性レジン，パナビア EX の接着強さに及ぼす影響について．補綴誌 1987; 31: 316-328.

24. 村井正剛 , 近藤康弘 , 矢谷博文 , 山下　敦 . 接着性レジン・パナビアの金属色遮蔽効果と接着強さについて．補綴誌 1988; 32: 1056-1062.

25. 矢谷博文 , 窪木拓男 , 岡　延綱 , 山下　敦 . 簡易型筋電計 EM-2 を用いて記録した顎関節症患者の筋電図所見について . 顎頭蓋誌 1988; 1: 6-7.

26. 窪木拓男 , 矢谷博文 , 山下　敦 . ＭＫＧデータの読み方，特に円板前方転位について . 顎頭蓋誌 1988; 1: 30-31.

27. 矢谷博文 , 岡　延綱 , 山下　敦 . EM-2 の使用法とデータの読み方 . 顎頭蓋誌 1988; 1: 32-33.

28. 天野洋一 , 矢谷博文 , 窪木拓男 , 松香芳三 , 山下　敦 . ヒト顎関節関節円板の肉眼解剖学的研究 . 顎頭蓋誌 1989; 2: 25-31.

29. 赤瀬公計 , 矢谷博文 , 近藤康弘 , 山下　敦 . 装着材の違いが全部被覆冠の適合精度ならびに維持力に及ぼす影響　－従来型歯科用セメントと接着性レジンの比較－ . 補綴誌 1989; 33: 8-16.

30. 三島信好 , 矢谷博文 , 近藤康弘 , 横山智子 , 山下　敦 . 簡易型イオン導入器による象牙細管封鎖効果について . 補綴誌 1989; 33: 466-474.

31. 大森　潤 , 佐藤正喜 , 今井　誠 , 近藤康弘 , 矢谷博文 , 山下　敦 . 試作簡易型電析装置による Sn 電析処理が各種歯科用合金と接着性レジンとの接着強さに及ぼす効果．岡山歯誌 1989; 8: 81-86.

32. 加藤丈晴 , 酒井秀之 , 野村尚代 , 近藤康弘 , 矢谷博文 , 山下　敦 . 金属被着面にマイクロビーズを付与した接着技法　その１．基礎的検討 . 補綴誌 1989; 33:1398-1407.

33. 土山孝彦 , 矢谷博文 , 近藤康弘 , 藤田栄伸 , 山下　敦 . リン酸カルシウム系結晶化ガラス (CMP) の接着に有効な被着面処理法の検討 . 補綴誌 1989; 33: 1408-1418.

34. 池田直美 , 近藤康弘 , 矢谷博文 , 山下　敦 . イオン交換法による陶材強化に関する実験的研究 . 補綴誌 1989; 33: 1512-1520.

35. 矢谷博文 , 松香芳三 , 窪木拓男 , 天野洋一 , 山下　敦 . 各種頭蓋顎関節エックス線規格撮影装置により得られた顎関節像の比較 . 顎頭蓋誌 1990; 3: 57-65.

36. 天野洋一 , 矢谷博文 , 窪木拓男 , 松香芳三 , 山下　敦 . ヒト顎関節の形態学的特徴と関節円板転位の関連に関する肉眼解剖学的研究 . 日顎誌 1991; 39: 23-34.

37. 松香芳三 , 矢谷博文 , 近藤康弘 , 窪木拓男 , 天野洋一 , 山下　敦 . オクルーザルボンディング法に関する実験的研究　ポーセレンアンレーの厚みと支台歯形態が圧縮強度に及ぼす影響 . 顎頭蓋誌 1991; 4: 15-23.

38. 窪木拓男 , 木尾正人 , 矢谷博文 , 山下　敦 . 片側咀嚼時咬合相のバイオメカニクス. 日顎誌 1991; 3: 66-78.

39. 中野浩輔 , 矢谷博文 , 藤田栄伸 , 藤原正治 , 近藤康弘 , 山下　敦 . コンポジットレジンによる支台築造の実験的研究　第 1 報　メタルポストによる築造体の補強効果およびメタルポストの長さと太さが築造体の維持力に及ぼす影響 . 補綴誌 1991; 35: 1408-1418.

40. 窪木拓男 , 矢谷博文 , 山下　敦 . 顎関節症の歯科矯正・補綴コンビネーション療法. 日顎誌 1991; 4: 93-106.

41. 窪木拓男 , 矢谷博文 , 天野洋一 , 山下　敦 . 持続片側噛みしめによって惹起される下顎変位 . 顎頭蓋誌 1992; 5: 31-39.

42. 酒井秀之 , 矢谷博文 , 近藤康弘 , 山下　敦 . 前歯接着ブリッジのリテーナーデザインおよび金属の種類が接着力に及ぼす影響　その 2. 補綴誌 1992; 36: 15-25.

論文・著書

43. 鈴木一臣 , 水野良司 , 近藤康弘 , 矢谷博文 , 中井宏之 , 山下　敦 . 象牙質とレジンの接着 － HEMA 水溶液処理による被着面の形態変化および接着耐久性－ . 歯材器 1993; 12: 637-647.

44. 藤田栄伸 , 矢谷博文 , 山下　敦 . コンポジットレジンによる支台築造の実験的研究　その２．根管象牙質処理法がレジンコアの維持力と辺縁封鎖性に及ぼす影響 . 補綴誌 1993; 37: 1022-1030.

45. 今井　誠 , 近藤康弘 , 矢谷博文 , 山下　敦 . 新規歯科用接着性レジンセメント「TPN-S」の臨床試用試験 . 岡山歯誌 1993; 12: 247-255.

46. 辻　清薫 , 矢谷博文 , 山下　敦 . 顎関節内障における全身姿勢の分析 . 補綴誌 1994; 38: 1-8.

47. 松香芳三 , 矢谷博文 , 山下　敦 . 顎関節の症型分類による疫学的研究 －有症群の解析－ . 日顎誌 1994; 6: 13-24.

48. 矢谷博文 , 窪木拓男 , 神　桂二 , 山下　敦 . 新しいアプライアンス（スプリント）用光重合型複合レジンの臨床評価 . 岡山歯誌 1994; 13: 127-134.

49. 矢谷博文 , 山下　敦 . 顎関節症の臨床統計に関する文献的考察 . 顎頭蓋誌 1994; 6: 53-63.

50. 水野良司 , 鈴木一臣 , 近藤康弘 , 矢谷博文 , 中井宏之 , 山下　敦 . 象牙質とレジンの接着（第２報）HEMA 溶液処理による被着面 の形態変化および接着性について . 歯材器 1994; 13: 475-482.

51. 武並康史 , 東　義晴 , 廣岡徹彦 , 窪木拓男 , 矢谷博文 , 山下　敦 . 顎関節断層エックス線写真の自動二値化処理による画像解析の再現性 . 顎頭蓋誌 1994; 7: 47-56.

52. 鷲尾誠一 , 木尾正人 , 高橋　智 , 矢谷博文 , 山下　敦 . PSD を使った下顎の三次元運動計測装置の開発 . 計測自動制御学会論文集 1995; 31: 1279-1287.

53. 野崎真弘 , 矢谷博文 , 前川賢治 , 山下　敦 . 臨床症状による顎関節内障の診断精度 . 顎頭蓋誌 1995; 8: 43-52.

54. 辻　清薫 , 山下　敦 , 松香芳三 , 窪木拓男 , 矢谷博文 . 咀嚼筋痛と頭頚背部慢性疼痛との関連に関する疫学調査 . 顎頭蓋誌 1996; 9: 31-39.

55. 武並康史 , 窪木拓男 , 東　義晴 , 矢谷博文 , 山下　敦 . 開口に伴う矢状断断層エックス線写真上の顎関節空隙分布変化 . 補綴誌 1996; 40: 702-709.

56. 渡辺和美エリゼッテ , 鈴木一臣 , 山下　敦 , 繁田真人 , 今井　誠 , 矢谷博文 , 中井宏之 . 象牙質と接着性レジンセメントの接着における仮封材の影響 . 歯材器 1996; 15: 187-191.

57. 水口　一 , 窪木拓男 , 松香芳三 , 矢谷博文 , 山下　敦 . 質問表を用いた顎関節症の咬合治療に関する遠隔予後調査　第一報　顎関節症患者全体における咬合治療の有効性 . 補綴誌 1997; 41: 552-559.

58. 水口　一 , 矢谷博文 , 山下　敦 , 窪木拓男 , 松香芳三 . 質問表を用いた咬合処置の有効性に関する顎関節内障患者の遠隔予後調査 . 日顎誌 1997; 9: 397-409.

59. 若林　元 , 山下　敦 , 鈴木一臣 , 今井　誠 , 矢谷博文 . 水平および垂直状態の歯質被着面へのプライマー処理が接着性レジンセメントの接着強さに及ぼす影響 . 岡山歯誌 1997; 16: 139-146.

60. 吉本彰夫 , 山下　敦 , 近藤康弘 , 矢谷博文 . 新規金属プライマーの歯科用合金に対する接着特性 . 接着歯学 1998; 16: 7-17.

61. 松香芳三 , Merrill RL, Urbach A, 窪木拓男 , 矢谷博文 , 山下　敦 . 顎顔面慢性疼痛患者に対する治療法　第 1 報　頭痛の診断. 顎頭蓋誌 1998; 11: 11-18.

62. 松香芳三 , Merrill RL, Urbach A, 窪木拓男 , 矢谷博文 , 山下　敦 . 顎顔面慢性疼痛患者に対する治療法　第 2 報　顎顔面慢性疼痛科における頭痛の治療. 顎頭蓋誌 1998; 11: 19-27.

論文・著書

63. 藤木　敏 , 矢谷博文 . 埼玉県における顎関節症の臨床統計的調査　健康保険診療報酬請求書を通した検査・治療動向について . 顎頭蓋誌 1998; 11: 39-49.

64. 清水明美 , 大橋敏雄 , 山崎太士 , 杉　典子 , 塩見伸行 , 竹内加珠 , 村内利光 , 岡本慎治 , 前田武将 , 窪木拓男 , 矢谷博文 , 山下　敦 , 高柴正悟 , 村山洋二 . Supportive Periodontal Treatment（SPT）期にある歯周病患者の根面う蝕症の実態 . 岡山歯誌 2001; 20: 119-127.

65. 峯　篤史 , 藤田栄伸 , 渡邊和美 , 大西栄史 , 金島拓史 , 矢谷博文 . 深層象牙質に対する接着に及ぼす次亜塩素酸処理の効果　－ NaOCl 水溶液と増粘剤添加 NaOCl ゲルとの比較－ . 接着歯学 2001; 19: 125-132.

66. 山下和夫 , 宮脇正一 , 井上雅秀 , 片山 朗 , 窪木拓男 , 前川賢治 , 水口　一 , 矢谷博文 , 山本照子 . 卒後臨床研修における顎関節 MRI 読影トレーニングの一方法 . 日矯歯会誌 2001; 60: 256-259.

67. 荒川　光 , 窪木拓男 , 完山　学 , 園山　亘 , 小島俊司 , 矢谷博文 , 植野高章 , 高木　慎 , 菅原利夫 , 真野隆充 , 松村智弘 . オッセオインテグレーションの獲得と維持からみた口腔インプラントの生存に関する疫学調査 . 日口腔インプラント会誌 2002; 15: 66-74.

68. 西村真紀 , 景山正登 , 松家芳三 , 畑中乾志 , 吉田栄介 , 水口　一 , 窪木拓男 , 矢谷博文 . 一般歯科医院の受診患者における顎関節症の症状と徴候の変動 . 顎頭蓋誌 2002; 14: 23-31.

69. 鈴木康司 , 前川賢治 , 窪木拓男 , 矢谷博文 . 初診時アンケートにおける顎関節症患者の訴えと細病態分類 . 補綴誌 2002; 46: 332-340.

70. 宮本　学 , 窪木拓男 , 高務朋将 , 西谷佳浩 , 鷲尾憲文 , 水口　一 , 若狭　亨 , 多田　徹 , 原　哲也 , 高木　愼 , 福永城司 , 真野隆充 , 山田庸介 , 尾形小霧 , 松尾龍二 , 永井教之 , 矢谷博文 , 滝川正春 , 山本照子 . 岡山大学歯学部におけるチュートリアル教育（２）－５年次生に導入された「Evidence-based medicine (EBM) に基づく歯科医療」の解析と評価－. 岡山歯誌 2002; 21: 247-253.

71. 二川浩樹 , 牧平清超 , 江草　宏 , 福島整 , 川端涼子 , 浜田泰三 , 矢谷博文 . 口腔カンジダの付着およびバイオフィルム形成 . 真菌誌 2005; 46: 233-242.

72. 瑞森崇弘 , 中村隆志, 矢谷博文 . 本学歯学部 4 年次学生でのデジタル・デバイド . 日歯教誌 2005; 20: 339-345.

73. 瑞森崇弘, 山田真一 , 石垣尚一 , 中村隆志, 矢谷博文 . 本学 2003 年度 4 年次学生に対する IT 関連チュートリアル演習の効果 . 日歯教誌 2006; 22: 121-126.

74. 瑞森崇弘, 山田真一 , 石垣尚一 , 中村隆志, 矢谷博文 . 問題解決型チュートリアル演習に学生が感じた問題点の KJ 法による分析と活用 . 日歯教誌 2007; 23: 350-356.

75. 山田真一 , 瑞森崇弘, 石垣尚一 , 中村隆志, 矢谷博文 . 問題解決型チュートリアル演習に学生が感じた問題点解決の試み . 日歯教誌 2007; 23: 357-362.

76. 中江佳代 , 矢谷博文 , 石垣尚一 , 内田昌範 , 角谷誠和 , 稲野眞治 . 顎関節症患者における歯ぎしりの自覚を用いた睡眠時ブラキシズム判定の妥当性 . 日顎誌 2009; 21: 209-215.

77. 石垣尚一 , 廣川雅之 , 矢谷博文 . 三叉神経領域における温度刺激に対する知覚および疼痛閾値の性差について . 日口腔顔面痛会誌 2009; 2: 15-19.

78. 綿本隆生 , Seneviratne CJ, 江草　宏 , Samaranayake LP, 矢谷博文 . 耐性菌 , 難治性感染症とバイオフィルム Candida albicans の菌糸およびバイオフィルム形成が抗真菌剤感受性に及ぼす影響 . BACTERIAL ADHERENCE & BIOFILM 2010; 23: 51-55.

79. 村田比呂司 , 水口俊介 , 鱒見進一 , 矢谷博文 , 西村正宏 , 黒木唯文 , 飼馬祥頼 , 有田正博. 義歯安定剤を用いた補綴歯科治療および義歯管理のガイドラインに関するプロジェクト研究 . 日歯医会誌 2012; 31: 74-78.

80. 松下　登 , 石垣尚一 , 内田昌範 , 宇野浩一郎 , 矢谷博文 . 口腔内における冷・温知覚閾値を用いた定量的感覚検査プロトコールの確立 . 顎機能誌 2014; 20: 140-141.

81. 江草　宏 , 于　冠男 , 鎌野優弥 , 大川博子 , 山本治毅 , 矢谷博文 . 歯肉を用いた医療応用に安全な iPS 細胞の開発　新たな再生歯科医療技術の創成に向けて . 日歯医会誌 2014; 33: 54-58.

82. 大倉一夫 , 大川周治 , 藤澤政紀 , 櫻井　薫 , 馬場一美 , 小川　匠 , 矢谷博文 , 窪木拓男 , 松香芳三 . ブラキシズムに対する診断と対策に関するプロジェクト研究　睡眠時ブラキシズムの簡便な診断法の確立と対処法の検討 . 日歯医会誌 2015; 34: 79-83.

論文・著書

83. 峯　篤史 , 南野卓也 , 松本真理子 , 矢谷博文 . OCT の臨床診断と新しい展開 OCT の歯科補綴学分野への応用 . 日レーザー医会誌 2015; 35: 416-423.

84. 加藤隆史 , 原木真吾 , 辻阪亮子 , 東山　亮 , 矢谷博文 . チェアサイドとベッドサイドをつなぐ睡眠時ブラキシズムの診断と治療 睡眠医学は睡眠時ブラキシズムの診断・治療に必要か？ 日補綴会誌 2016; 8: 145-152.

85. 近藤尚知 , 尾澤昌悟 , 澤瀬　隆 , 横山敦郎 , 関根秀志 , 舞田健夫 , 鮎川保則 , 中野　環 , 久保隆靖 , 細川隆司 , 友竹偉則 , 城戸寛史 , 越智守生 , 塩田　真 , 尾関雅彦 , 西村正宏 , 前田芳信 , 會田英紀 , 玉置勝司 , 笛木賢治 , 塚崎弘明 , 小野高裕 , 松下恭之 , 松香芳三 , 水口　一 , 桑鶴利香 , 山下秀一郎 , 飯塚知明 , 馬場一美 , 藤澤政紀 , 古谷野潔 , 矢谷博文 . 下顎大臼歯欠損に対しインプラント支持固定性補綴装置による治療介入時に付与すべき咬合様式 . 日補綴会誌 2016; 8: 1-9.

86. 大川周治 , 岡本和彦 , 河野文昭 , 田中昌博 , 村田比呂司 , 北川　昇 , 槙原絵里 , 矢谷博文 . 日本補綴歯科学会第 124 回学術大会（大宮）基礎実習改善のための情報交換に関する報告 . 日補綴会誌 2017; 9: 163-166.

87. 田尻裕子 , 峯　篤史 , 松本真理子 , 上村明日香 [川口], 東　真未 , 中谷早希 , 三浦治郎 , 二瓶智太郎 , 矢谷博文 . 新規シラン処理フィラー含有コンポジットレジンの象牙質接着能評価　異なる水中保存方法による長期耐久性の検討 . 接着歯学 2017; 35: 6-12.

88. 岩下太一 , 峯　篤史 , 松本真理子 , 田尻裕子 , 東　真未 , 今井　大 , 萩野僚介 , 弓立真広 , 上村明日香 [川口], 中谷早希 , 南野卓也 , 矢谷博文 . 直接法レジン支台築造法における光照射用補助器具の効果 . 接着歯学 2018; 36: 14-22.

■解　説■

89. 山下　敦 , 矢谷博文 . 顎関節症の補綴学的治療 . 薬事新報 1987; 1448: 865-870.

90. 矢谷博文 . 歯冠補綴物と歯周 . 岡山大学歯学部同窓会誌 1988; 2: 26-29.

91. 矢谷博文 . 顎関節症と補綴 . 岡山大学歯学部同窓会誌 1989; 3: 7-10.

92. 矢谷博文 . 顎関節症をいかに治療するか －症型分類と治療法－ . 鳥取県歯科医学雑誌 1989; 7: 1-29.

93. 矢谷博文 . 顎関節症の診断と保存的治療 . 香川県歯科医師会雑誌 1990; 1-31.

94. 鈴木一臣 , 矢谷博文 . 歯質象牙質と接着性レジンの接着界面．表面技術 1998; 49: 702-707.

95. 矢谷博文 . 顎関節症に対する咬合治療を再考する –science transfer の失敗から－．日臨矯会報 2000; 12: 24-28，2000.

96. 矢谷博文 .《誌上ディベイト　鋳造コアかレジンコアか》を終えて . 補綴誌 2003; 47: 625-627.

97. 矢谷博文 . クラウン・ブリッジによる補綴的対応 . DE 2006; 159: 3-5.

98. 矢谷博文 . 一般開業医は顎関節症にどうアプローチするか . 銀杏（大阪大学歯学部京都府同窓会誌）2006; 33: 4-5.

99. 佐々木啓一 , 矢谷博文 , 窪木拓男 . 米国歯科研究学会 (AADR) による TMD 基本声明に対する社団法人日本補綴歯科学会の基本姿勢 . 補綴誌 2010; 2: 前付け .

100. 矢谷博文 , 佐藤博信 . 第 120 回記念学術大会／シンポジウム　補綴歯科治療に潜むドグマ . 日補綴会誌 2011; 3: 313-314.

101. 矢谷博文 , 赤川安正 . 咬合・咀嚼は健康長寿にどのように貢献しているのか . 日補綴会誌 2012; 4: 372-374.

102. 矢谷博文 . 理事長就任にあたって－社会に貢献する補綴歯科臨床の推進 . 日補綴会誌 2013; 5: 363-368.

論文・著書

103. 峯　篤史, 松本真理子, 南野卓也, 東　真未, 川口明日香, 壁谷知茂, 岩下太一, 中谷早希, 今井　大, 田尻裕子, 江崎良真, 矢谷博文. 臨床接着歯学 2015 年におけるトレンド. 歯界月報 2015; 770: 47-53.

104. 矢谷博文. 顎関節症の新病態分類と初期治療ガイドライン. 歯界月報 2016; 775: 40-46.

105. 若林一道, 矢谷博文. バイオニック BoneNavi システムの特徴と臨床の現状. 日歯理工誌 2017; 36: 165-168.

106. 矢谷博文. 関節円板整位療法. 日顎誌 2018; 30(Supplement): 94-100.

107. 南野卓也, 峯　篤史, 新谷　歩, 東　真未, 川口明日香 [上村], 壁谷知茂, 萩野僚介, 今井　大, 田尻裕子, 松本真理子, 矢谷博文. 接着強さ測定値のばらつきを軽減する高度な統計分析. 阪大歯学誌 2018; 63: 5-7.

■症例報告■

108. 石田　浩, 矢谷博文, 玉本光弘, 濱田泰三. 義歯に起因した Oral Dyskinesia の 1 症例. 広大歯学誌 1985; 17: 411-415.

109. 矢谷博文, 窪木拓男, 山下　敦. 咬合再構成後に円板復位を認めた非復位性関節円板前方転位の 2 症例. 口科誌 1993; 42: 159-166.

110. 窪木拓男, 井上真実, 古野勝志, 松香芳三, 前川賢治, 矢谷博文, 山下　敦. 歯科治療に関連して発症した持続性神経障害性疼痛　－非定型性歯痛－. 補綴誌 1999; 43: 970-976.

111. 小島俊司, 窪木拓男, 古野勝志, 松香芳三, 前川賢治, 助政安伸, 上原淳二, 矢谷博文, 山下　敦. 顎関節症類似の症状を呈した間代性神経障害性疼痛　－血中カルバマゼピン濃度測定－. 補綴誌 1999: 43: 977-982.

112. 谷本裕子, 宮脇正一, 荒木佳子, 片山　朗, 山本照子, 前川賢治, 窪木拓男, 矢谷博文. 中心咬合位付近で下顎の左方偏位を示した顎関節症患者の顎関節形態と顎口腔機能分析所見. 岡山歯誌 2001; 20: 235-242.

113. 田村彰規 , 真野隆充 , 上山吉哉 , 岸本晃治 , 山田庸介 , 完山　学 , 荒川　光 , 園山　亘 , 窪木拓男 , 矢谷博文 . 外傷による歯牙欠損に対しインプラント治療を施行した症例の検討 . 岡山歯誌 2001; 20: 201-208.

114. 井上栄徳 , 窪木拓男 , 前川賢治 , 土井郁世 , 矢谷博文 , 宮脇卓也 , 佐藤俊樹 . 閉塞性睡眠時無呼吸症候群に対し口腔アプライアンス療法が奏功した症例 . 補綴誌 2002; 46: 649-654.

115. 石垣尚一 , 高岡亮太 , 常藤洋平 , 矢谷博文 . 口唇口蓋裂に伴う前歯部欠損による審美障害を接着ブリッジで改善した一症例 . 歯科審美 2011; 24：8-12.

■商業誌・新聞等への寄稿■

116. 田坂隆幸 , 矢谷博文 , 川添和幸 , 濱田泰三 , 山田早苗 . 頤部叩打による下顎下制と咀嚼筋筋活動との関係 . 歯科ジャーナル 1982; 15: 233-234.

117. 矢谷博文 , 川添和幸 , 濱田泰三 . Slow ramp および Ballistic contraction 時の咀嚼筋筋活動と咬合力との関係 . 歯科ジャーナル 1982; 15: 488-489.

118. 矢谷博文 . 一口腔単位としてみたブリッジの役割　－咬合の不調和とブリッジによる対応－. 日歯評論 1994; 623: 89-101.

119. 矢谷博文 . 顎関節症における補綴治療の再考と今後の治療の位置づけ . デンタルダイヤモンド 2000; 25: 29-34.

120. 矢谷博文，梶　龍兒，和気裕之 .「口腔領域←→全身」という眼 . デンタルダイヤモンド 2000; 25: 42-49.

121. 峯　篤史 , 窪木拓男 , 矢谷博文 . 歯科用金属材料によるアレルギー . 茨城保険医新聞 2002; 285: 8.

122. 矢谷博文 . 歯科大学における患者と医者関係の教育　POS への取り組みとその現状 . 日歯評論 2003; 63: 193-195.

論文・著書

123. 矢谷博文 . 日本補綴歯科学会第 9 回認定医研修会　ブラキシズム・オーラルジスキネジア・睡眠時無呼吸　①補綴認定医の役割と今回の企画意図 . 補綴臨床 2004; 37: 160-161.

124. 矢谷博文 . 歯科補綴の未来④ 明るい歯科補綴の未来を目指して . 補綴臨床 2004; 37: 670-671.

125. 矢谷博文 . 21 世紀の戦略的補綴 寿命の長いクラウンブリッジ製作に向けての新しい考え方を探る . ザ・クインテッセンス 2005; 24: 56-64.

126. 森重恵美子 , 石垣尚一 , 矢谷博文 . 見過ごされているコロナルリーケージ . 日歯評論 2005; 753: 167-169.

127. 絹田宗一郎 , 中村隆志 , 矢谷博文 . 歯科用 CAD/CAM システムによる補綴装置の長期臨床成績 . 日歯評論 2005; 754: 181-183.

128. 中野　環 , 矢谷博文 . インプラントによる再建 . 特集 歯科と骨粗鬆症 〜骨生物学と歯科医学の融合点〜，米田俊之編 , Clinical Calcium 2006; 17: 256-262.

129. 矢谷博文 . 最小限の生体侵襲による効果的な少数歯欠損補綴法－接着ブリッジ－①　第 1 回　接着ブリッジの歴史と臨床的意義 . 大阪歯科保険医新聞 2008 年 10 月 5 日 , 989 号.

130. 矢谷博文 . 最小限の生体侵襲による効果的な少数歯欠損補綴法－接着ブリッジ－②　第 2 回　接着ブリッジの基本デザイン . 大阪歯科保険医新聞 2008 年 11 月 5 日 , 992 号.

131. 矢谷博文 . 最小限の生体侵襲による効果的な少数歯欠損補綴法－接着ブリッジ－③　第 3 回　接着ブリッジの製作法と接着法 . 大阪歯科保険医新聞 2008 年 12 月 5 日 , 995 号 .

132. 江草　宏 , 綿本隆生 , 阿部桂子 , 矢谷博文 . 印象体の消毒をどうしていますか？　歯界展望 2008; 112: 341-347.

133. 矢谷博文 . Q&A 矢谷博文先生にここが聞きたい . 安易に咬合治療を行うことは愚行と知るべし . 日歯評論 2012; 834: 13-15.

134. 矢谷博文 . 生活歯における 2 種類のラミネートベニア形成デザインの比較.（翻訳および解説）ザ．クインテッセンス 2014; 33: 179-184.（原論文）Comparison of two different veneer preparation designs in vital teeth. Beier US, Dhima M, Koka S, Salinas TJ, Dumfahrt H. Quintessence Int 2012; 43: 835-839.

135. 矢谷博文 . 非う蝕性歯頚部疾患，非機能性習癖および顎関節症診断の関係の臨床評価 .（翻訳および解説）ザ．クインテッセンス 2013; 32: 163-170.（原論文）Clinical evaluation of the association of noncaries cervical lesions, prafunctional habits, and TMD diagnosis. (Brandini DA, Pedrini D, Panzarini SR, Benete IM, Trevisan CL.) Quinteeesnce Int 2012;43:255-262.

136. 矢谷博文 . 3．顎関節症発症に咬合因子はどのように位置づけられるか . 日歯評論 2014; 855: 49-54.

137. 矢谷博文 . 一般社団法人日本顎関節学会 顎関節症の症型分類の改訂 . 補綴臨床 2014; 47: 261-267.

138. 矢谷博文 , 要　智子 , 若林一道 . CAD/CAM 冠大臼歯適用における長期的耐久性の予測－破壊強度評価に基づく将来展望 . 補綴臨床 2016; 49: 477-494.

139. 峯　篤史 , 矢谷博文 . 補綴処置から考える支台築造へのアプローチ　支台築造法にみる歯根破折防止の臨床ポイント . 特集　いま、支台築造に求められるもの－歯をまもり、補綴装置を長持ちさせるための接着時代の支台築造 . 日歯評論 2016; 76: 59-72.

140. 矢谷博文 . 学会ニュース・トピックス　接着歯学の動向 , 歯学の行方 . 日歯評論 2016; 76: 11-13.

141. 峯　篤史 , 矢谷博文 . 2017 年における支台築造法のエビデンス . デンタルダイヤモンド 2017; 42: 74-79.

論文・著書

著　書

■編集・監訳■

142. 古谷野潔 , 矢谷博文編 . 目で見る咬合の基礎知識 . 東京 : 医歯薬出版 ; 2002, 1-224.

143. 石橋寛二 , 川添堯彬 , 川和忠治 , 福島俊士 , 矢谷博文編 . クラウンブリッジ補綴学　第 3 版 . 東京 : 医歯薬出版 ; 2004, 1-315.

144. 赤川安正 , 松浦正朗 , 矢谷博文 , 渡邉文彦編 . よくわかる口腔インプラント学 第 1 版 . 東京 : 医歯薬出版 ; 2005, 1-315.

145. 矢谷博文，和嶋浩一監訳 . Okeson TMD 原著第 5 版（Management of Temporomandibular Disorders and Occlusion, Jeffrey P. Okeson, Mosby, St. Louis, 2003）東京 : 医歯薬出版 ; 2006, 1-493.

146. 石橋寛二 , 川添堯彬 , 川和忠治 , 福島俊士 , 三浦宏之 , 矢谷博文編 . クラウンブリッジ補綴学　第 4 版 . 東京 : 医歯薬出版 ; 2009, 1-315.

147. 矢谷博文 , 前田芳信編 . 歯科補綴学模型実習マニュアル . 大阪 : 大阪大学出版会 ; 2010, 1-194.

148. 赤川安正 , 松浦正朗 , 矢谷博文 , 渡邉文彦編 . よくわかる口腔インプラント学 第 2 版 . 東京 : 医歯薬出版 ; 2011, 1-315.

149. 古谷野潔 , 玉置勝司 , 馬場一美 , 矢谷博文 , 和嶋浩一編 . TMD YEAR BOOK 2011 アゴの痛みに対処するその原因, 検査, 鑑別診断, 歴史と患者説明 . 東京 : クインテッセンス出版 ; 2011, 1-186.

150. 古谷野潔 , 玉置勝司 , 馬場一美 , 矢谷博文 , 和嶋浩一編 . TMD YEAR BOOK 2012 アゴの痛みに対処する　AADR の基本声明から現代の TMD 臨床を読み解く . 東京: クインテッセンス出版 ; 2012, 1-207.

151. 矢谷博文 , 松村英雄編 . プロソドンティクス第 I 巻 . 総論 : 咬合・咀嚼障害の診断と治療, 歯質欠損の治療 . 京都 : 永末書店 ; 2012, 1-301.

152. 古谷野潔 , 玉置勝司 , 馬場一美 , 矢谷博文 , 和嶋浩一編 . TMD YEAR BOOK 2013 AAOP の提案する新しいガイドラインと世界の動き . 東京 : クインテッセンス出版 ; 2013, 1-147.

153. 古谷野潔 , 玉置勝司 , 馬場一美 , 矢谷博文 , 和嶋浩一編 . TMD YEAR BOOK 2014 世界標準の新しい TMD 診断基準「DC/TMD の全貌」. 東京 : クインテッセンス出版 ; 2014, 1-156.

154. 矢谷博文 , 三浦宏之 , 細川隆司 , 小川　匠編 . クラウンブリッジ補綴学　第 5 版 . 東京 : 医歯薬出版 ; 2014, 1-315.

155. 矢谷博文 , 前田芳信編 . 歯科補綴学模型実習マニュアル 改訂版 . 大阪 : 大阪大学出版会 ; 2014, 1-194.

156. 矢谷博文 , 峯　篤史 , 中島純子 , 市川哲男編 . 補綴装置及び歯の延命のための最新治療指針. 東京 : 医歯薬出版 ; 2016, 1-156.

157. 矢谷博文 , 峯　篤史 , 奈良陽一郎 , 坪田有史 , 木本克彦 , 二瓶智太郎 , 星　憲幸編 . 接着歯学のための重要 13 キーワード　ベスト 240 論文 . 東京 : クインテッセンス出版 ; 2017, 1-187.

158. 矢谷博文 , 井上富雄 , 小林　馨 , 柴田考典 , 玉置勝司 , 濱田　傑 , 馬場一美 , 山田一尋編 . 日本顎関節学会学術用語集　第 1 版 . 東京 : クインテッセンス出版 ; 2017, 1-127.

159. 赤川安正 , 松浦正朗 , 矢谷博文 , 渡邉文彦編 . よくわかる口腔インプラント学 第 3 版 . 東京 : 医歯薬出版 ; 2017, 1-315.

論文・著書

■著　書■

160.　山下　敦，矢谷博文 . 顎運動分析装置（2）－ MKG － .「カラーアトラス歯科臨床講座別巻・器材編」，東京 : 医歯薬出版 ; 1987, 51-54.

161.　山下　敦，矢谷博文 . 機能的咬合系の成り立ち . 豊田静夫，松本直之，森谷良彦編 ,「標準補綴学総論コンプリートデンチャー」，東京 : 医学書院 ; 1989, 18-31.

162.　矢谷博文 . 美と咬合　2．補綴の立場から .「‘９０年代の医療：審美歯科」，東京 : デンタルダイヤモンド社 ; 1989, 72-81.

163.　山下　敦, 矢谷博文 . 顎関節症 －今､考えること－ .「日常臨床の中で顎関節症を考える」，東京 : クインテッセンス出版 ; 1989, 77-86.

164.　山下　敦, 矢谷博文 . 顎関節内障に対するわれわれの保存的療法 . 岡　達 , 藍　稔編 .「顎関節治療のポイント５０」, 東京 : 医歯薬出版 ; 1990, 110-120.

165.　矢谷博文，山下　敦 . 開業医が行う顎関節症のスプリント療法 .「咬合改善への効果的技法 スプリント療法」, 東京 : デンティスト社 ; 1991, 49-86.

166.　矢谷博文，山下　敦 . 顎機能障害診断システムと診断のチャート 2．補綴科の立場から . 石川達也 , 内田安信 , 稗田豊治 , 平沼謙二監修 , 坂東永一 , 三谷英夫 , 上村修三郎 , 中沢勝宏編 .「顎機能障害　新しい診断システムと治療指針」, 東京 : 医歯薬出版 ; 1993, 157-162.

167.　矢谷博文 . 顎関節腔パンピングマニピュレーション法による非復位性関節円板前方転位症例の治療 . 顎関節セミナー実行委員会編 .「臨床マニュアル顎関節腔穿刺療法の実際とその応用」，東京 : 日本歯科評論社 ; 1994, 30-34.

168.　矢谷博文 . 咬合再構成が必要な顎関節症患者におけるインフォームド・コンセント . 佐藤田鶴子 , 小林俊三 , 野口俊英 , 目澤修二 , 村岡秀明 , 和気裕之編 .「症例別インフォームド・コンセント　－こんなときどうする－」，　東京 : デンタルダイヤモンド社 ; 1994, 122-123.

169. 矢谷博文 . 実験データと臨床の実際 . 中尾勝彦 , 飯島國好編 .「接着・合着」, 東京 : 医歯薬出版 ; 1995, 47-54.

170. 矢谷博文, 水口　一 . タッピング運動を利用したスタビリゼーション型スプリントの製作と調整法 . 福島俊士, 杉崎正志編 .「スプリント療法の実際」, 東京 : 日本歯科評論社 ; 1999, 67-82.

171. 矢谷博文 . 関節雑音やブラキシズムを有する患者の経過観察 .「臨床現場の悩み 55 の Q & A」, 東京 : 日本歯科評論社 ; 2000, 190-193.

172. 矢谷博文 . 疫学的研究方法 . 杉崎正志 , 山下　敦編集主幹 , 窪木拓男 , 小林　馨 , 湯浅秀道編 .「より良いエビデンスを求めて」, 京都 : 永末書店 ; 2001, 89-101.

173. 矢谷博文 . 咬合治療の考え方 . 森本俊文 , 松矢篤三 , 野首孝祠 , 小林義典編 .「顎関節症入門」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2001, 210-218.

174. 矢谷博文 . 咬合診査 . 黒崎紀正 , 小野瀬英雄 , 住友雅人 , 櫻井　薫 , 井上　宏 , 古郷幹彦, 寺下正道編 .「イラストレイテッド・クリニカルデンティストリー　①患者の診かたと歯科診療」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2001, 122-127.

175. 矢谷博文 . 咬合と TMD の関連のエビデンス .「the Quintessence Year Book 2000」, 東京 : クインテッセンス出版 ; 2001, 219-220.

176. 矢谷博文 . 臨床編 7 章 歯の欠損 1 . 少数歯欠損〔3〕適応症・処置法 1 . 接着ブリッジ 2）接着性レジンを用いた間接法ブリッジ . 日本接着歯学会編 .「接着歯学 Minimal Intervention を求めて」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2001, 76-80.

177. 矢谷博文 . 11. 咬合採得 (1) 少数歯欠損 . 覚道健治, 平井義人, 前田芳信編 .「歯科臨床研修マニュアル 起こりうる問題点と解決法」, 京都 : 永末書店 ; 2001, 96-97.

178. 矢谷博文 . 4 . 各論　3）咬合回復 : 欠損補綴, ブリッジ (1) 歯質欠損 . 覚道健治 , 平井義人 , 前田芳信編 .「歯科臨床研修マニュアル 起こりうる問題点と解決法」, 京都 : 永末書店 ; 2002, 198-201.

論文・著書

179. 矢谷博文 . 咬合と TMD の関連のエビデンス .「Quintessence Year Book 2001」, 東京 : クインテッセンス出版 ; 2002, 264-265.

180. 矢谷博文 . 顎関節の構造 . 古谷野潔 , 矢谷博文編 .「目で見る咬合の基礎知識」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2002, 46-47.

181. 矢谷博文 . 顎関節症 . 古谷野潔 , 矢谷博文編 .「目で見る咬合の基礎知識」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2002, 48-49.

182. 矢谷博文 . 顎関節内障 . 古谷野潔 , 矢谷博文編 .「目で見る咬合の基礎知識」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2002, 50-51.

183. 矢谷博文 . 咬合性外傷 . 古谷野潔 , 矢谷博文編 .「目で見る咬合の基礎知識」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2002, 90-91.

184. 矢谷博文 . 咬合接触 . 古谷野潔 , 矢谷博文編 .「目で見る咬合の基礎知識」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2002, 92-95.

185. 矢谷博文 . 咬合調整 . 古谷野潔 , 矢谷博文編 .「目で見る咬合の基礎知識」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2002, 96-99.

186. 窪木拓男 , 矢谷博文 . 下顎のバイオメカニクス . 古谷野潔 , 矢谷博文編 .「目で見る咬合の基礎知識」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2002, 28-31.

187. 窪木拓男 , 矢谷博文 . 診断用ワックスアップ . 古谷野潔 , 矢谷博文編 .「目で見る咬合の基礎知識」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2002, 126-129.

188. 窪木拓男 , 矢谷博文 . 生物学的幅径 . 古谷野潔 , 矢谷博文編 .「目で見る咬合の基礎知識」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2002, 144-145.

189. 完山　学 , 矢谷博文 . アンテの法則 . 古谷野潔 , 矢谷博文編 .「目で見る咬合の基礎知識」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2002, 6-7.

190. 完山　学 , 矢谷博文 . 咬合彎曲 . 古谷野潔 , 矢谷博文編 .「目で見る咬合の基礎知識」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2002, 110-113.

191. 笠井昭夫 , 矢谷博文 . グループファンクション . 古谷野潔 , 矢谷博文編 .「目で見る咬合の基礎知識」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2002, 56-57.

192. 藤沢拓生 , 矢谷博文 . 犬歯誘導咬合 . 古谷野潔 , 矢谷博文編 .「目で見る咬合の基礎知識」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2002, 58-61.

193. 園山　亘 , 矢谷博文 . 歯冠歯根比 . 古谷野潔 , 矢谷博文編 .「目で見る咬合の基礎知識」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2002, 124-125.

194. 水口　一 , 矢谷博文 . 審美補綴 . 古谷野潔 , 矢谷博文編 .「目で見る咬合の基礎知識」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2002, 130-133.

195. 前川賢治 , 矢谷博文 . ドーソンテクニック . 古谷野潔, 矢谷博文編 .「目で見る咬合の基礎知識」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2002, 170-171.

196. 前川賢治 , 矢谷博文 . ドロップオンテクニック . 古谷野潔, 矢谷博文編 .「目で見る咬合の基礎知識」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2002, 172-175.

197. 小島俊司 , 矢谷博文 . 被蓋 . 古谷野潔 , 矢谷博文編 .「目で見る咬合の基礎知識」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2002, 186-187.

198. 荒川　光 , 矢谷博文 . プロビジョナルレストレーション , 古谷野潔 , 矢谷博文編 ,「目で見る咬合の基礎知識」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2002, 192-195.

199. 鈴木康司 , 矢谷博文 , 皆木省吾 , 太田圭二 . リマウント法 . 古谷野潔 , 矢谷博文編 .「目で見る咬合の基礎知識」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2002, 210-213.

200. 矢谷博文 . ポーセレンアンレーの製作法および長期臨床予後成績 .「歯冠色修復とその技法」, 東京 : ヒョーロン・パブリッシャーズ ; 2003: 21-33.

201. 峯　篤史 , 鈴木一臣 , 矢谷博文 , 窪木拓男 . レーザーを用いたう蝕治療 . 吉山昌宏 , 桃井保子監修 .「う蝕の治療のミニマルインターベンション　象牙質 - 歯髄を守るために」, 東京 : クインテッセンス出版 ; 2004, 180-183.

論文・著書

202. 石垣尚一 , 矢谷博文 . 顎関節症 I 型の診断 . 飯塚忠彦監修 .「顎関節症　診断・治療マニュアル」, 京都 : 永末書店 ; 2004, 22-29.

203. 矢谷博文 , 石垣尚一 , 森重恵美子 , 中江佳代 , 戸田雅裕 , 森本兼曩 . 顎関節症患者の細病態別に見た気分プロフィールの特徴 . 横山和仁編 .「POMS 短縮版　手引きと事例解説」東京 : 金子書房 ; 2004, 39-49.

204. 矢谷博文 . 治療計画を左右する因子 . 石橋寛二 , 川添堯彬 , 川和忠治 , 福島俊士 , 矢谷博文編 .「クラウンブリッジ補綴学 第 3 版」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2004, 19-25.

205. 矢谷博文 . クラウンブリッジの経過 . 石橋寛二 , 川添堯彬 , 川和忠治 , 福島俊士 , 矢谷博文編 .「クラウンブリッジ補綴学 第 3 版」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2004, 57-63.

206. 矢谷博文 . 接着ブリッジ . 石橋寛二 , 川添堯彬 , 川和忠治 , 福島俊士 , 矢谷博文編 .「クラウンブリッジ補綴学 第 3 版」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2004, 211-222.

207. 矢谷博文 , 中村隆志 . オールセラミッククラウン . 石橋寛二 , 川添堯彬 , 川和忠治 , 福島俊士 , 矢谷博文編 .「クラウンブリッジ補綴学 第 3 版」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2004, 200-210.

208. 山田真一 , 矢谷博文 . フレーム変形の少ない陶材前装法 . 歯科技工別冊「インプラントの技工」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2004, 131.

209. 矢谷博文 , 中村隆志 , 瑞森崇弘 , 石垣尚一 , 山田真一 . 顎口腔機能再建に向けた取り組み . 浜田茂幸 , 米田俊之編 .「先端歯科医学の創生」, 大阪 : 大阪大学出版会 ; 2005, 145-153.

210. 中村隆志 , 大山龍男 , 脇 智典 , 矢谷博文 . 審美修復－ベニアとオールセラミックスについて－ .「ザ・クインテッセンス　イヤーブック」, 東京 : クインテッセンス出版 ; 2005, 190-191.

211. 矢谷博文 . 第Ⅴ章　学会および関連団体の活動　2．関連学会の活動　3）生涯教育 . 日本歯科医学教育学会歯科医学教育白書作成委員会編 .「歯科医学教育白書 2005 年版 (2003 ～ 2005 年)」, 東京 : 口腔保健協会 ; 2006, 152-153.

212. 石垣尚一 , 矢谷博文 . 第 2 章　治療･術式，10．ブリッジ，（2）多数歯にわたるブリッジ . 覚道健治ほか編 .「歯科臨床研修マニュアル　アドバンス編　ひとつ上を目指す研修医のために」, 京都 : 永末書店 ; 2007, 101-105.

213. 矢谷博文 . 第 2 章　治療･術式，10．ブリッジ，（3）接着ブリッジ . 覚道健治ほか編 .「歯科臨床研修マニュアル　アドバンス編　ひとつ上を目指す研修医のために」, 京都 : 永末書店 ; 2007, 106-110.

214. 大山龍男 , 矢谷博文 . 第 2 章　治療・術式，10．ブリッジ，（4）メタルフリーブリッジ .「歯科臨床研修マニュアル　アドバンス編　ひとつ上を目指す研修医のために」, 京都 : 永末書店 ; 2007, 111-114.

215. 中野　環 , 矢谷博文 . 第 1 章　インプラント補綴，3．インプラントの種類と選択，⑥矯正用インプラント . 古谷野潔，市川哲雄編 . 補綴臨床別冊「審美歯科，インプラントワードブック」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2008, 38-39.

216. 絹田宗一郎 , 中村隆志 , 矢谷博文 . 第 2 章　審美補綴，2．審美修復の器材，① CAD/CAM の種類と特徴 . 古谷野潔，市川哲雄編 . 補綴臨床別冊「審美歯科，インプラントワードブック」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2008, 84-85.

217. 若林一道 , 矢谷博文 . 第 2 章　審美補綴，2．審美修復の器材，② CAD/CAM 使用時の注意点 . 古谷野潔，市川哲雄編 . 補綴臨床別冊「審美歯科，インプラントワードブック」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2008, 86-87.

218. 中村隆志 , 矢谷博文 . 第 2 章　審美補綴，2．審美修復の器材，③メタルフリーのマテリアルセレクション . 古谷野潔，市川哲雄編 . 補綴臨床別冊「審美歯科，インプラントワードブック」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2008, 88-89.

219. 矢谷博文 . 第 2 章　審美補綴，2．審美修復の器材，④接着の基礎知識 . 古谷野潔，市川哲雄編 . 補綴臨床別冊「審美歯科，インプラントワードブック」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2008, 90-91.

220. 江草　宏 , 矢谷博文 . 第 2 章　審美補綴，2．審美修復の器材，⑤セメンテーション，トライアルセメント . 古谷野潔，市川哲雄編 . 補綴臨床別冊「審美歯科，インプラントワードブック」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2008, 92-93.

論文・著書

221. 楠本直樹 , 矢谷博文 . 第２章　審美補綴, ３. 審美修復の実際, ②修復材料とプレパレーション古谷野潔，市川哲雄編 . 補綴臨床別冊「審美歯科，インプラントワードブック」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2008, 96-97.

222. 瑞森崇弘 , 矢谷博文 . 第２章　審美補綴，３．審美修復の実際，④充填材料 . 古谷野潔，市川哲雄編 . 補綴臨床別冊「審美歯科，インプラントワードブック」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2008, 102-103.

223. 石垣尚一 , 矢谷博文 . 第２章　審美補綴, ３. 審美修復の実際, ⑤プロビジョナルレストレーション . 古谷野潔，市川哲雄編 . 補綴臨床別冊「審美歯科，インプラントワードブック」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2008, 104-105.

224. 矢谷博文 , 中村隆志 , 瑞森崇弘 , 石垣尚一 , 山田真一 , 江草　宏 . 第３章「はなす，かむ」機能と「口」の美の回復をめざして . 米田俊之編 .「生命歯科医学のカッティングエッジ」, 大阪：大阪大学出版会 ; 2008, 167-179.

225. 鱒見進一 , 矢谷博文 . 第２章　口腔顔面痛患者の一般的評価 . de Leeuw R 編, 杉崎正志 , 今村佳樹監訳 .「口腔顎顔面痛の最新ガイドライン　改訂第４版　－米国 AAOP 学会による評価，診断，管理の指針－」, 東京 : クインテッセンス出版 ; 2009, 39-62.

226. 矢谷博文 . 第２章　補綴歯科治療の基礎知識，４－咬合様式と顎運動 . 全国歯科衛生士教育協議会監修 .「最新歯科衛生士教本　咀嚼障害・咬合異常１　歯科補綴」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2009, 18-23.

227. 矢谷博文 . 第Ⅴ章　学会および関連団体の活動，２．関連学会の活動，３）生涯教育 . 日本歯科医学教育学会白書作成委員会編 .「歯科医学教育白書 2008 年版(2006 ～ 2008 年)」, 東京 : 口腔保健協会 ; 2009, 193.

228. 矢谷博文 . 第 25 章　顎関節内障 . 小出　馨 監訳 .「Dawson Functional Occlusion」, Peter E. Dawson 著 , 東京 : 医歯薬出版 ; 2010, 243-274.

229. 矢谷博文 . 第 19 章　睡眠不足と疼痛の相互のメカニズム . 古谷野潔監訳 .「歯科医師のための睡眠医学　その実践的概要 Gilles J.Lavigne, Peter A. Cistulli, Michael T. Smith 著」, 東京 : クインテッセンス出版 ; 2010, 155-165.

230. 矢谷博文 . 1 章　TMD とその周辺にある疾病を理解する .　各論 2　咬合と TMD との関連を理解する . 古谷野潔 , 玉置勝司 , 馬場一美 , 矢谷博文 , 和嶋浩一編 . 別冊 the Quintessence「TMD YEAR BOOK 2011 アゴの痛みに対処する」, 東京 : クインテッセンス出版 ; 2011, 20-22.

231. 矢谷博文 . 3 章　TMD 治療の Classic Evidence　その歴史的・学術的背景から現在の治療の根拠を学ぶ . TMD の歴史的変遷と Classic Evidence. 古谷野潔 , 玉置勝司 , 馬場一美 , 矢谷博文 , 和嶋浩一編 . 別冊 the Quintessence「TMD YEAR BOOK 2011 アゴの痛みに対処する」, 東京 : クインテッセンス出版 ; 2011, 115-132.

232. 矢谷博文 . 1 章　AADR の基本声明から TMD の基本を読み解く . 各論 4　TMD 患者に対する心理テスト　標準化され，妥当性の検証された方法とは？古谷野潔 , 玉置勝司 , 馬場一美 , 矢谷博文 , 和嶋浩一編 . 別冊 the Quintessence「TMD YEAR BOOK 2012 アゴの痛みに対処する」, 東京 : クインテッセンス出版 ; 2011, 29-34.

233. 矢谷博文 . 2 章　TMD の症状に対する正しい検査・診断を学ぶ . 1　筋痛，別冊 the Quintessence「TMD YEAR BOOK 2012 アゴの痛みに対処する」, 東京 : クインテッセンス出版 ; 2012, 52-62.

234. 矢谷博文 , 稲野眞治 (翻訳) , 矢谷博文 (解説) . 4 章　世界の最新潮流を読む　「JOURNAL OF OROFACIAL PAIN より」. 1 女性における顎関節症による疼痛と片頭痛：予備的双生児研究, 別冊 the Quintessence「TMD YEAR BOOK 2013 アゴの痛みに対処する」, 東京 : クインテッセンス出版 ; 2013, 124-133.

235. 矢谷博文 . Ⅰ . 顎関節症の疾患概念 , 1-2. 顎関節症の病態分類 , 日本顎関節学会編 ,「新編　顎関節症」, 京都 : 永末書店 ; 2013, 4-12.

236. 矢谷博文 . Ⅳ. 顎関節症の診断, 1. 顎関節症の病態, 日本顎関節学会編 ,「新編　顎関節症」, 京都 : 永末書店 ; 2013, 95-99.

237. 矢谷博文 . 5 章 口腔疾患各論 5.2 歯の欠損と機能障害に対する治療 1 クラウン・ブリッジによる歯科欠損治療（1）診査・診断・治療計画の立案 . 戸塚靖則 , 高戸　毅監修 ,「口腔科学」, 東京 : 朝倉書店 ; 2013, 465-467.

論文・著書

238. 矢谷博文 . 5 章 口腔疾患各論 5.2 歯の欠損と機能障害に対する治療 1 クラウン・ブリッジによる歯科欠損治療（4）固定性ブリッジ . 戸塚靖則 , 高戸　毅 監修 ,「口腔科学」, 東京 : 朝倉書店 ; 2013, 470-473.

239. 矢谷博文 . 第 3 部　疼痛治療各論　1．非歯原性歯痛 . 日本口腔顔面痛学会編 .「口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2013, 135.

240. 矢谷博文 . 第 3 部　疼痛治療各論　2．歯原性歯痛 2　非歯原性歯痛の原疾患 . 日本口腔顔面痛学会編 .「口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2013, 144-147.

241. 矢谷博文 . 第 3 部　疼痛治療各論　1．非歯原性歯痛 3　非歯原性歯痛はなぜ起こる？－発生のメカニズム . 日本口腔顔面痛学会編 .「口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2013, 148-149, 東京 .

242. 矢谷博文 . 第 3 部　疼痛治療各論　5．その他の口腔顔面痛　OFP の鑑別診断と治療の総論 . 日本口腔顔面痛学会編 .「口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2013, 195.

243. 矢谷博文 . 第 1 章 総論　I クラウンブリッジ補綴学の意義と目的 . 矢谷博文 , 三浦宏之 , 細川隆司 , 小川　匠編 ,「クラウンブリッジ補綴学　第 5 版」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2014, 1-7.

244. 矢谷博文 . 2) クラウンブリッジ補綴学 第 1 章 総論　II クラウンブリッジおよびインプラントの臨床成績 . 矢谷博文 , 三浦宏之 , 細川隆司 , 小川　匠編 ,「クラウンブリッジ補綴学 第 5 版」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2014, 8-17.

245. 矢谷博文 . 3) クラウンブリッジ補綴学 第 1 章 総論　V 治療計画を左右する因子 . 矢谷博文 , 三浦宏之 , 細川隆司 , 小川　匠編 ,「クラウンブリッジ補綴学　第 5 版」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2014, 53-59.

246. 矢谷博文, 中村隆志 . 4) クラウンブリッジ補綴学 第 6 章 各論　IV オールセラミック修復 . 矢谷博文 , 三浦宏之 , 細川隆司 , 小川　匠編 ,「クラウンブリッジ補綴学　第 5 版」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2014, 282-291.

247. 矢谷博文 . 5) クラウンブリッジ補綴学 第 6 章 各論　V ブリッジ　［2］接着ブリッジ. 矢谷博文 , 三浦宏之 , 細川隆司 , 小川　匠編 ,「クラウンブリッジ補綴学　第 5 版」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2014, 301-312.

248. 矢谷博文（翻訳および解説）. 4 章 世界の最新潮流を読む 3　疲労は持続性口腔顔面痛患者における疼痛干渉と心理障害の関係を仲介する , 別冊 the Quintessence「TMD YEAR BOOK 2014　アゴの痛みに対処する」, 古谷野潔 , 玉置勝司 , 馬場一美 , 矢谷博文 , 和嶋浩一編 . 東京 : クインテッセンス出版 ; 2014, 133-143.

249. 矢谷博文 . 第 3 章　クラウン・ブリッジ . クラウン・ブリッジの生存率とリスク因子 Dental Diamond 増刊号「修復と補綴の Longevity　治療の Re にサヨナラしよう」,　東京 : デンタルダイヤモンド社 ; 2015, 58-63.

250. 矢谷博文 . 臨床編　6 章 間接法修復における接着 1 概説 1）間接法接着性修復材料の発展 1 . セメント材料の発展 . 日本接着歯学会編 .「接着歯学第 2 版」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2015, 36-40.

251. 矢谷博文 . 臨床編　9 章 間接法修復における接着 1 修復材料の発展 . 日本接着歯学会編 .「接着歯学第 2 版」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2015, 80-84.

252. 矢谷博文 , 上中彰浩 . CAD/CAM で製作するクラウンに適した形成・接着の臨床ポイント . 東京 : 株式会社ジーシー ; 2015, 1-22.

253. 矢谷博文 . 第 2 部 6 章 顎関節症 . Martin Gross 著 , 古谷野潔監訳 .「咬合のサイエンスとアート」, 東京 : クインテッセンス出版 ; 2016, 89-112.

254. 矢谷博文 . 第 5 部 口腔顔面痛の管理 4 章 顎関節痛障害 . 日本口腔顔面痛学会編 .「口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック 第 2 版」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2016, 89-112.

255. 矢谷博文 . 第 5 部 口腔顔面痛の管理 5 章 顎関節円板障害 . 日本口腔顔面痛学会編 .「口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック 第 2 版」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2016, 89-112,　医歯薬出版

256. 矢谷博文 . CQ29　試適時に接着を阻害する因子とは何か？接着ブリッジの試適から装着まで . 松村英雄 , 二階堂徹編 . 日本歯科評論増刊「接着の論点　臨床の疑問に答える」, 東京 : ヒョーロン・パブリッシャーズ ; 2016, 122-125.

論文・著書

257. 峯　篤史 , 矢谷博文 . 第 3 章 補綴関連の接着　3 レジンブロックへの接着 . 柵木寿男, 小峰　太編 , Dental Diamond 増刊号「もう悩まない！　時代が求める接着臨床」, 東京 : デンタルダイヤモンド社 ; 2018, 76-82.

258. 峯　篤史 , 矢谷博文 . 1 章 研究 2018 年における支台築造法のエビデンス . 坪田有事, 川本善和編 . Dental Diamond ムック「これから始める・さらに深める　ファイバーポストレジンコアの臨床」, 東京 : デンタルダイヤモンド社 ; 2018, 033-038.

259. 峯　篤史 , 壁谷知茂 , 矢谷博文 . CAD/CAM レジン冠の臨床エビデンス . 坪田有史編 . 日本歯科評論増刊 2018「CAD/CAM レジン冠　失敗しない保険治療のために抑えておきたいポイント」, 東京 : ヒョーロン・パブリッシャーズ ; 2018, 24-34.

■ガイドライン■

260. 皆木省吾 , 山崎要一 , 矢谷博文 , 志賀　博 , 山口泰彦 , 服部佳功 , 吉田教明 , 石垣尚一 , 加藤　均 , 三浦宏之 , 荒川一郎 , 岡本和彦 , 小野高裕 , 横山正起 , 岡田和樹 , 小川　徹 , 菅沼岳史 , 藤澤政紀 , 沖　和広 , 坂口　究 , 重本修伺 , 瑞森崇弘 , 小見山道 , 田中恭恵 , 堀　一浩 , 渡邉　明 , 宮脇正一 , 山田一尋 , 斉藤一誠 , 長谷川信乃 , 早崎治明 , 井上富雄 , 井上　誠 , 大川周治 , 川良美佐雄 , 祇園白信仁 , 小林　博 , 古谷野潔 , 佐々木啓一 , 田中昌博 , 田村康夫 , 野村修一 , 藤村哲也 , 増田裕次 , 鱒見進一 , 倉持淳子 , 昆はるか , 櫻井直樹 , 山本早織 . 顎関節症患者の機能評価のガイドライン (2016 改訂版). 顎口腔機能誌 ; 2017, 23: E37-E109.

261. 皆木省吾 , 山崎要一 , 矢谷博文 , 志賀　博 , 山口泰彦 , 服部佳功 , 吉田教明 , 石垣尚一 , 加藤　均 , 三浦宏之 , 荒川一郎 , 岡本和彦 , 小野高裕 , 横山正起 , 岡田和樹 , 小川　徹 , 菅沼岳史 , 藤澤政紀 , 沖　和広 , 坂口　究 , 重本修伺 , 瑞森崇弘 , 小見山道 , 田中恭恵 , 堀　一浩 , 渡邉　明 , 宮脇正一 , 山田一尋 , 斉藤一誠 , 長谷川信乃 , 早崎治明 , 井上富雄 , 井上　誠 , 大川周治 , 川良美佐雄 , 祇園白信仁 , 小林　博 , 古谷野潔 , 佐々木啓一 , 田中昌博 , 田村康夫 , 野村修一 , 藤村哲也 , 増田裕次 , 鱒見進一 , 倉持淳子 , 昆はるか , 櫻井直樹 , 山本早織 . 有床義歯装着者の機能評価のガイドライン (2016 改訂版). 顎口腔機能誌 ; 2017, 23: E3-E35.

■ビデオ■

262. 矢谷博文 . エビデンスに基づいた顎関節症の診断と治療の進め方. 平成 23 年度日歯生涯研修ライブラリー（No. 1106）. 東京 : 日本歯科医師会 ; 2011

263. 矢谷博文（動画監修，解説），上中彰浩（動画デモンストレーション）CAD/CAM 冠　基本術式のポイント . 東京 : 株式会社ジーシー ; 2015

■その他■

264. 窪木拓男 , 武並康史 , 矢谷博文 , 山下　敦 . 日本ザル顎関節の形態計測学的研究 . 京都大学霊長類研究所年報 1992; 22: 63-64.

265. 松香芳三，飯島輝明，鈴木康司，窪木拓男，矢谷博文，山下　敦，上月生也，鈴木秀典 . ニホンザル顎関節の形態計測学的研究 . 京都大学霊長類研究所年報 ; 1996, 26: 81.

266. 瀬戸皖一 , 相馬邦道 , 覚道健治 , 矢谷博文 . 座談会　顎関節症の診療ガイドラインつくりに向けて . 日本口腔外科学会編 .「一般臨床家 , 口腔外科医のための口腔外科ハンドマニュアル '07」，東京 : クインテッセンス出版 ; 2007, 66-76.

267. 石橋寛二 , 平井敏博 , 市川哲男 , 川良美佐雄 , 矢谷博文 , 五十嵐順正 . 補綴歯科診療の現状と課題 ―新執行部に今後の方向性を聞く―. 補綴臨床 ; 2007, 40: 422-427.

268. 井上裕子，高橋喜見子，矢谷博文，伊藤　中：新春座談会　患者の生活背景を見据えた歯科医療への提言　－小児期から将来を見据えた健康を獲得するために歯科医師がすべきこと－．ザ．クインテッセンス　2011; 30: 35-74.

269. 矢谷博文 . 日経 MOOK　よくわかる歯科治療 2014　Part 1 むし歯の治療，(特集) あなたは歯の健康にいくらかける？費用でみる歯科治療 . 東京：日本経済新聞出版社 ; 2013, 23-41.

270. 矢谷博文．日経 MOOK　よくわかる歯科治療 2014　補綴歯科治療 . 東京：日本経済新聞出版社 ; 2013, 130.

論文・著書

271. 矢谷博文 . 理事長就任にあたって - 社会に貢献する補綴歯科臨床の推進 . 日補綴会誌 2013; 5: 363-368.

272. 矢谷博文 . 特集　補綴臨床イノベーションのための若手研究者の挑戦 . 企画趣旨 . 歯界展望 2014; 123: 740.

273. 矢谷博文 . 特集 いま、顎関節症にどう取り組むべきか . 日歯評論 2014; 855: 34-35.

274. 矢谷博文 . みんなの健康相談室　歯科　顎関節症の受診目安と治療内容を教えてください .「素晴らしい一日　4 月号」, 東京 : プレジデント社 ; 2014, 108.

275. 矢谷博文 . 審美と機能を高レベルで回復するインプラント治療 .「週刊新潮 1 月 2・9 日新年特大号」, 東京 : 新潮社 ; 2014, 162.

276. 大久保力廣 , 佐藤博信 , 矢谷博文 , 谷田部優 . 第 2 章 入れ歯・ブリッジ . 週刊朝日 MOOK「いい歯医者 2014」, 東京 : 朝日新聞出版 ; 2014, 65-79.

277. 矢谷博文 . 歯を正確に補修する補綴歯科治療 . 週刊朝日 MOOK「いい歯医者 2014」, 東京 : 朝日新聞出版 ; 2014, 25.

278. 矢谷博文 . 口の機能を回復させるクラウン，ブリッジ，入れ歯 .「安心の歯科治療ガイド 2015」, 東京 : 学研パブリッシング ; 2014, 68-73.

279. 矢谷博文 . 補綴歯科治療 . 日経 MOOK「よくわかる歯科治療 2015」, 東京 : 日本経済新聞出版社 ; 2014, 58-59.

280. 興地隆史 , 宮崎真至 , 矢谷博文 . 症状からわかる Q&A60　歯が染みる，歯が痛い . 週刊朝日 MOOK「いい歯医者 2015」, 若さと健康を保つ歯科治療，東京：朝日新聞出版；2015，58-67.

281. 矢谷博文 . PART 2 歯科治療の基本と最新技術補綴歯科治療　クラウン，ブリッジ，入れ歯で口の機能と全身の健康を守る本気で探す　頼りになるいい歯医者さん 2016，東京：株式会社学研プラス；2015，82-87.

282. 矢谷博文 . 名医のセカンドオピニオン 「MI」とデジタル化が歯科医療を変える新「名医」の最新治療 2016，東京：朝日新聞出版 ; 2015，221.

283. 矢谷博文 . Part 1 むし歯の治療 . 日経 MOOK「あなたに合った歯医者さん 2016 年版」, 東京 : 日本経済新聞出版社 ; 2016, 25-36.

284. 興地隆史 , 宮崎真至 , 矢谷博文 . 歯のトラブル完全ガイド ②むし歯 . 週刊朝日 MOOK いい歯医者 2016　歯科治療ではじめる " 長生き健康 " 生活，東京 : 朝日新聞出版 ; 2016, 52-61.

285. 矢谷博文 . 巻頭言 . 矢谷博文 , 峯　篤史 , 中島純子 , 市川哲雄編 . 歯界展望別冊「補綴装置および歯の延命のための最新治療指針」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2016, 1.

286. 矢谷博文 . 序文 . 日本口腔顔面痛学会編 .「口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック第 2 版」, 東京 : 医歯薬出版 ; 2016, 1.

287. 矢谷博文 . 日本接着歯学会が歯科理工学に期待すること . 日本歯科理工学会誌 ; 2017, 36: 11-12.

288. 矢谷博文 . 連載を始めるにあたって , 新連載　失敗から学ぶ補綴歯科治療〜 Evidence Based でその原因を紐解く〜 . 日歯評論 ; 2017, 899: 79-80.

289. 矢谷博文，興地隆史，宮崎真至 . むし歯 . 週刊朝日 MOOK「いい歯医者 2017」, 東京 : 朝日新聞出版 ; 2017, 100-107.

290. 中谷早希 , 峯　篤史 , 矢谷博文 . 根管治療時の薬剤は接着に影響する（Q & A）. Dental Diamond ; 2018, 43: 117-119.

291. 松村英雄 , 矢谷博文 , 大久保力廣 , 古谷野潔 , 市川哲雄 , 佐々木啓一 . 公益社団法人日本補綴歯科学会のこれまでの 10 年間を振り返り補綴のアイデンティティと将来像を語る（座談会）. 日補綴会誌 ; 2018, 10: 271-289.

292. 末瀬一彦 , 矢谷博文 , 高橋英登 . 特別座談会　保険適用大臼歯 CAD/CAM レジン冠をいかに活用するか . 日歯評論 ; 2018, 78: 95-102.

知的財産権（特許）

1) 歯科用金属部材の表面処理方法および表面処理された歯科用金属部材と歯科用レジンとの接着方法
発明者等：土本洋平，吉田靖弘，峯　篤史，窪木拓男，矢谷博文，鈴木一臣
権 利 者：同上
番　　号：特願 2003-35688

2) 口腔粘膜由来細胞を利用した誘導多能性幹細胞の効率的な製造方法
国際特許出願 2010 年 6 月 23 日（PCT/JP2010/60680）
江草　宏，萱島浩輝，矢谷博文

3) 口腔粘膜由来細胞を利用した誘導多能性幹細胞（iPS 細胞）の効率的な製造方法
江草　宏，萱島浩輝，矢谷博文
優先権主張番号：特願 2009-200932（JP）（2009 年 8 月 31 日）
国際出願番号：PCT/JP2010/60680（2010 年 6 月 23 日）（JST 特許出願支援制度採択）
公開番号：WO2011/024550（2011 年 3 月 3 日）
指定国移行手続：米国，英国，ドイツ，フランス（JST 特許出願支援制度採択）
特許実施許諾契約：iPS アカデミアジャパン株式会社

4) Mesenchymal cell proliferation promoter and skeletal system biomaterial
江草　宏，濱田吉之輔，金田善俊，岡崎正之，松浦成昭，矢谷博文
米国特許第 8222216 号（2012 年 7 月 17 日）

5) 破骨細胞が関与する疾患の予防剤又は治療剤
江草　宏，佐伯万騎男，上崎善規，矢谷博文
特願 2012-266070（2012 年 12 月 5 日）

6) 破骨細胞が関与する疾患の予防剤又は治療剤
江草　宏，佐伯万騎男，上崎善規，矢谷博文
国際出願 PCT/JP2013/81948（2013 年 11 月 27 日）

7) 歯科用ジルコニア質焼結体，クラウン用フレーム，ブリッジ用フレーム
中村隆志，菅野　剛，若林一道，矢谷博文，大西宏司，中　博道，関野　徹
国内出願 /JP2014/008068(2014 年 1 月 20 日)

知的財産権（特許）

8) 口腔粘膜由来細胞を利用した誘導多能性幹細胞の効率的な製造方法
江草　宏，萱島浩輝，矢谷博文
日本　特許第 5514215 号（2014 年 4 月 4 日）

9) Method for efficient production of induced pluripotent stem cells utilizing cells derived from oral mucosa
江草　宏，萱島浩輝，矢谷博文
米国　特許第 8748179 号（2014 年 6 月 10 日）

10) 歯科用ジルコニア質焼結体，クラウン用フレーム，ブリッジ用フレーム
中村隆志，菅野　剛，若林一道，矢谷博文，大西宏司，中　博道，関野　徹
特願 2014-008068（2014 年 1 月 20 日）、特開 2015-137187（2015 年 7 月 30 日）

11) 口腔粘膜由来細胞を利用した誘導多能性幹細胞の効果的な製造法
江草　宏，萱島浩輝，矢谷博文
日本　特許第 5514215 号

12) Method for efficient production of induced pluripotent stem cells utilizing cells derived from oral mucosa
江草　宏，萱島浩輝，矢谷博文
米国　特許第 8748179 号

13) iPS 細胞の腫瘍化を抑制することが可能な分化誘導方法
江草　宏，矢谷博文
日本　特許第 5935224 号（2016 年年 5 月 20 日）

14) 歯科用ジルコニア質焼結体，クラウン用フレーム，ブリッジ用フレーム
中　博道，大西宏司，中村隆志，菅野　剛，若林一道，矢谷博文，関野　徹
株式会社ニッカトー＜ 5367 ＞
特許第 6218617 号（2017 年 10 月 25 日）

15) 歯科用仮着材除去材
岡田圭秀，川名麻梨子，樫木信介，田尻裕子，峯　篤史，矢谷博文
2018P00619（2018 年 11 月 20 日出願）

学位取得者

2000 年

1. 笠井昭夫
   論文名：三次元骨梁型連続気孔性多孔体の作製とその組織親和性の検討

2002 年

2. 峯　篤史
   論文名：Er:YAG レーザー照射歯質被着体の性質と接着に関する研究

3. 縄稚久美子
   論文名：1. チロシンキナーゼ型レセプター ErbB4 遺伝子の軟骨における発現 : 結合組織成長因子 (CTGF/Hcs24) との関連と軟骨細胞での分布　2. マクロファージコロニー刺激因子受容体遺伝子 (m-csfr/c-fms) の軟骨細胞における発現

4. 江口傑徳
   論文名：1. ヒト軟骨細胞様細胞株 HCS-2/8 におけるヒト結合組織成長因子 CTGF/Hcs24 遺伝子の発現制御機構　2. 軟骨細胞様細胞において結合組織成長因子の遺伝子発現を増強する新規シスエレメント

2003 年

5. 吉村義孝
   論文名：発語時下顎運動の矢状面分析による下顎の前後的位置の評価

6. 石　磊
   論文名：Effect of occlusal force on the development and maintenance of periodontal mechanoreceptors of the rat incisor

7. 六人部慶彦
   論文名：オールセラミッククラウンの光透過性を高める PFM コアに関する臨床的研究

学位取得者

8. 絹田宗一郎
論文名：DV カメラとモーションキャプチャーを応用した簡易型顎運動測定システムの開発

9. 佐藤順康
論文名：下顎位と身体の重心との関連性に関する臨床的研究

10. 脇　智典
論文名：グラスファイバーを用いたメタルフリーインレーブリッジの力学的研究

11. 岡本　啓
論文名：顎関節症患者における顔面非対称の写真計測による評価

2004 年

12. 張　イ
論文名：An Involvement of Trigeminal Mesencephalic Neurons in Regulation of Occlusal Vertical Dimension in the Guinea Pig

13. 尾松青爾
論文名：顎間スプリントによるかみしめ時の閉口筋筋活動抑制に関する実験的研究

14. 綿本隆生
論文名：大臼歯部の歯冠補綴装置が咀嚼に及ぼす影響

15. 市田文孝
論文名：ホメオボックス遺伝子 Msx2 による未分化間葉系細胞の分化制御

2005 年

16. 小野一行
論文名：咬頭干渉部位のチェアサイドにおける検出

17. 岡本憲明
論文名：顎関節症の知覚閾値と痛覚閾値に対する精神的因子と身体的因子の影響

18. 久田邦博
論文名：レチノイン酸 (RA) による未分化間葉系細胞の分化制御メカニズム

19. 藤田豊大
論文名：ラット三叉神経脊髄路核でのグルタミン酸遊離機構たんぱく質の修飾とニューロパシックペイン発症・維持の関わりについて

2006 年

20. 下田隆史
論文名：神経切断ラットの三叉神経節電気刺激が誘導する三叉神経感覚核における c-Fos 発現の変化

21. 西田尚敬
論文名：電気泳動堆積法（EPD）に最適化したジルコニア系ナノ複合材料の開発

22. 小林靖宜
論文名：ビスフォスフォネートの抜歯窩治癒に対する影響に関する研究

23. 廣川雅之
論文名：顎関節症患者の三叉神経支配領域における痛覚閾値に及ぼす精神的因子の影響

2007 年

24. 中江佳代
論文名：唾液中ストレス応答ホルモンと睡眠時ブラキシズムレベルの解析による顎関節症発症機序の検討

学位取得者

25. 賀　剣飛
論文名：Differential responses of mesencephalic trigeminal neurons and trigeminal motoneurons after masseteric nerve axotomy in adult and neonatal mice

26. 蘆田俊二
論文名：マウス骨髄間葉系幹細胞の骨系分化への DNA メチル化の関与

27. 飯田　務
論文名：RANKL による破骨細胞分化における Calcineurin 結合タンパク質 PICK1 の関与

28. 伊月悠貴
論文名：Monad 結合蛋白質 Monad binding protein 1 の機能解析

29. 大谷恭史
論文名：インプラント術前シミュレーションシステムの開発および手術支援システムの開発と精度検証

30. 小川丈夫
論文名：PRIP-1/2 ノックアウトマウス大脳皮質バレル野錐体細胞における GABA(A) 電流の特性

31. 加藤亜季子
論文名：三叉神経支配領域における小胞性グルタミン酸輸送体の局在

32. 金田善俊
論文名：機能性ペプチド SVVYGLR が間葉系細胞および破骨細胞に及ぼす影響

33. 酒井勇介
論文名：リゾホスファチジン酸の小脳延髄槽への投与が三叉神経感覚核における侵害受容反応に及ぼす効果

34. 鈴木英史
論文名：発話時平均周波数を用いた筋痛の評価法

35. 徳永絢子
論文名：電子ビームを用いた歯科用金属の表面研磨法の開発

2008 年

36. 岩田　淳
論文名：PRIP-1/2 ノックアウト三叉神経中脳路核一次感覚ニューロンにおける GABA(A) 電流の特性

37. 内田昌範
論文名：顎関節症と睡眠時ブラキシズムの寄与因子の検討－特に情動ストレスとの関係－

38. 小林宗正
論文名：周期的伸展刺激が骨髄由来間質細胞の骨格筋分化に及ぼす影響

39. 佐々木淳一
論文名：フィブリンゲル材料の高次機能化と骨芽細胞操作への応用

40. 土居正典
論文名：Orphan Ligand ライブラリーを用いた破骨細胞分化関連物質の探索

41. 中村誠志
論文名：転写調節因子 myocardin の核内移行制御

2009 年

42. 上橋大輔
論文名：ラットの口唇または舌へのホルマリン注射が誘導する疼痛関連行動および三叉神経核の c-Fos 発現におよぼすビククリンまたはモルヒネの全身投与の影響

学位取得者

2010 年

43. 明石喜裕
論文名：周期的圧縮刺激に対する口腔粘膜由来線維芽細胞の細胞応答が破骨細胞活性に及ぼす影響

44. 稲野眞治
論文名：ウェアラブル生体センサを用いた睡眠時ブラキシズムの同定

45. 宇佐美博文
論文名：低温劣化を抑制したジルコニアセラミックスの歯科への応用

46. 小野真司
論文名：高精度インプラント光学印象システムの開発

47. 角谷誠和
論文名：心拍数変動をトリガーとする電気刺激を用いた能動的睡眠時ブラキシズム抑制効果

2011 年

48. 宮内鉄平
論文名：噛みしめは疼痛抑制効果を発現する

49. 小野清美
論文名：定量的感覚検査法を用いた歯科インプラント埋入手術に伴う疼痛閾値の経時的変化の測定

50. 萱島浩輝
論文名：マウス歯肉線維芽細胞由来 iPS 細胞の骨芽細胞分化能の解析

51. 湯　学華
論文名：焼成回数がジルコニア用陶材の物性や微細構造に及ぼす影響

2012 年

52. 福田修二
論文名：定量的感覚検査を用いた顎関節症患者における疼痛認知の歪みの検討

53. 福安　翔
論文名：化合物ライブラリーを用いた骨形成促進作用を有する小分子化合物の探索

54. 松本真理子
論文名：デュアルキュア型レジンコア材料を用いた直接法支台築造システムの接着界面および築造体内部の多面的評価

55. 山西康文
論文名：インプラントデザインの差異が周囲骨と補綴装置に及ぼす力学的影響

2013 年

56. 裏口真也
論文名：Id2 欠損マウス由来 iPS 細胞を用いた骨芽細胞分化機構の解析

57. 上中彰浩
論文名：Cone Beam CT を用いたインプラント体周囲組織の経時的変化の検討

58. 菅野　剛
論文名：ポーラス / 緻密 2 層構造ジルコニアセラミックスの歯科への応用

59. 高岡亮太
論文名：双生児研究による睡眠時ブラキシズムの発現に関与する遺伝要因と環境要因の相対的重要度

60. 松下　登
論文名：定量的感覚検査を用いた口腔内における冷・温知覚閾値の評価

学位取得者

61. 于　冠男
論文名：Virus-Free and Autologous Culture System for Human Gingiva-Derived iPS Cells

2014年

62. 宇野浩一郎
論文名：睡眠・覚醒状態及び身体活動状態が慢性疼痛に及ぼす影響

63. 岡　雄造
論文名：マイクロフォーカスX線CTを用いた歯冠補綴装置の三次元的評価法の開発

64. 加藤時規
論文名：インプラント体埋入術式が周囲組織の経時的変化および審美性に及ぼす影響

65. 鎌野優弥
論文名：PIH1D1 interacts with mTOR complex 1 and enhances ribosome RNA transcription

66. 中川敬史
論文名：前歯部CAD/CAMクラウンに適した支台歯形態の三次元分析

67. 東山　亮
論文名：レム睡眠中の錐体路電気刺激に対する顎筋の応答特性

68. 森脇大善
論文名：上顎臼歯欠損部顎堤に埋入したショートインプラントが周囲骨に及ぼす力学的影響

69. 王　放放
論文名：テトラサイクリン依存性のAmelogenin転写制御による幹細胞の分化制御

2015 年

70. 岩下太一
論文名：直接法レジンコア築造法におけるエタノール乾燥法および補助器具を用いた光照射の検討

71. 大川博子
論文名：シンバスタチンがマウス iPS 細胞の骨組織再生および腫瘍化に及ぼす影響

72. 要　智子
論文名：CAD/CAM ハイブリッドレジンを用いた大臼歯クラウンの破折様相と破壊強度

73. 下元拓哉
論文名：角化粘膜の存在がインプラント周囲組織の健康状態に及ぼす影響

74. 辻阪亮子
論文名：若年睡眠時ブラキシズム患者で発生する無呼吸・低呼吸イベントの発現特性

75. 中谷早希
論文名：根管象牙質接着の前処理としてのリン酸処理，次亜塩素酸ナトリウム処理およびスルフィン酸ナトリウム処理の効果の多面的検討

76. 松岡　隆
論文名：審美領域におけるインプラント間歯槽骨の維持にアバットメント連結様式と埋入条件が及ぼす力学的影響

77. 南野卓也
論文名：非破壊試験を応用した象牙質接着の評価　－ポスト孔象牙質接着の非破壊観察ならびに象牙質接着強さに影響を及ぼす因子の解明－

78. 山本治毅
論文名：iPS 由来骨補填材料の開発

学位取得者

2016年

79. 荒木　悠
論文名：骨量の不足した下顎臼歯部におけるインプラント体の選択に関する力学的検討

80. 中野芳郎
論文名：低温劣化を抑制した高透光性ジルコニアの開発

81. 藤田祐也
論文名：骨および軟組織造成術を併用した上顎前歯部インプラント治療における唇側組織の経時的定量評価

82. 盛林昭仁
論文名：α7ニコチン性アセチルコリン受容体が骨芽細胞分化に及ぼす影響

2017年

83. 上村明日香
論文名：唾液汚染がCAD/CAM冠用レジンの接着能に及ぼす影響とその除去法の検討

84. 壁谷知茂
論文名：3次元デジタルデータを利用したCAD/CAMレジン冠の失敗要因の統計学的解析
－後向きコホート研究－

85. 小林友幸
論文名：前歯部インプラント治療に伴う結合組織移植術がインプラント周囲組織形態に及ぼす影響

86. 原木真吾
論文名：リズム性咀嚼筋活動を有する若年成人における心理学的及び睡眠生理学的特性

87. 東　真未
論文名：レジン支台築造法の違いがヒト根管象牙質の接着能に与える影響

88. 松岡　秀
論文名：プロテインキナーゼ C 阻害剤 iso-H-7 が骨芽細胞分化に与える影響

89. Jeison B. CARBAJAL MEJIA
論文名：CAD/CAM restorations fabricated over intraoral-scan-aided reverse tapered preparations「口腔内スキャナー支援によるリバーステーパー型支台歯形成での CAD/CAM 歯冠修復」

2018 年

90. 天羽康介
論文名：審美歯冠補綴装置の光学的シミュレーション解析

91. 井上将樹
論文名：歯科補綴学的及び外科学的因子がインプラント周囲組織の健康状態に及ぼす影響
―多変量解析を用いた評価―

92. 今井　大
論文名：ファイバーポストと支台築造用コンポジットレジンの接着強さの検討

93. 江崎良真
論文名：アコースティックエミッション法を応用した接着界面の新規非破壊評価

94. 仙﨑勇輝
論文名：関節円板の位置と動態ならびに下顎頭骨変化と joint effusion との関連の MRI による評価

95. 田尻裕子
論文名：カルボキシレート系仮着材の残存が接着性レジンセメントの象牙質接着能に及ぼす影響とその除去法の検討

96. 松村淳史
論文名：インプラントガイデッドサージェリーに生じるインプラント体埋入位置の誤差に影響を及ぼす因子の検討

学位取得者

97. 渡邊翔太
論文名：インプラント体連結部デザインがジルコニアアバットメントの強度に及ぼす因子の検討

2019年

98. 小石由紀子
論文名：変形性顎関節症に認められる下顎頭の Subchondral cyst の横断的ならびに縦断的観察

99. 小西祥子
論文名：分光イメージング装置を用いたマルチレイヤー型ジルコニアと天然歯のグラデーションの評価

100. 萩野僚介
論文名：MMA 含有プライマー処理が CAD/CAM 冠用レジンブロックに対する長期接着性に与える影響

101. 森口大輔
論文名：中枢性感作の評価法としての Dynamic Quantitative Sensory Test の臨床的有用性の検討

102. 水野圭一朗
論文名：唇側歯槽骨に裂開が存在する上顎前歯部領域への抜歯即時インプラント治療の有効性

103. 山田周平
論文名：断面形態別にみたインプラント体唇側組織の経時的変化

研究経費

1991 年

【区　　分】科学研究費　試験研究（B）（3 年）
【課題番号】03557083
【題　　名】顎口腔機能総合審査システムの開発
【研究機関】岡山大学
【代 表 者】山下　敦
【分 担 者】川上浩司，馬場 充，矢谷博文，小西忠孝，鷲尾誠一
【交 付 金】1,520 万円（1 年目 940 万円，2 年目 220 万円，3 年目 360 万円）（直接経費）

1992 年

【区　　分】科学研究費　一般研究（C）（ 1 年）
【課題番号】04671183
【題　　名】成人顎関節の骨改造能に関する研究研究
【研究機関】岡山大学
【代 表 者】矢谷博文
【分 担 者】窪木拓男
【交 付 金】190 万円（1 年目 190 万円）（直接経費）

1995 年

【区　　分】科学研究費　基盤研究（C）（ 2 年）
【課題番号】07672110
【題　　名】変形性顎関節症の発症機序とその治癒機構
【研究機関】岡山大学
【代 表 者】窪木 拓男，矢谷 博文
【分 担 者】山下　敦，松香芳三
【交 付 金】230 万円（1 年目 40 万円，2 年目 190 万円）（直接経費）

研究経費

1998 年

【区　　分】科学研究費　基盤研究（C）一般（２年）
【課題番号】10671827
【題　　名】多数歯補綴を行った患者におけるプロセス治療の効果に関する研究
【研究機関】岡山大学
【代 表 者】荒川　光，鈴木康司
【分 担 者】鈴木康司，矢谷博文，荒川　光，岡本壮一郎，松香芳三，山下　敦
【交 付 金】330 万円（1 年目 310 万円，２年目 20 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　萌芽的研究（3 年）
【課題番号】10877314
【題　　名】歯面へ析出させた金属イオンによる接着力強化法：予備的検討
【研究機関】岡山大学
【代 表 者】矢谷博文
【分 担 者】金島 拓史，鈴木一臣，松香芳三
【交 付 金】210 万円（1 年目 90 万円，２年目　100 万円，３年目 20 万円）（直接経費）

1999 年

新規採択なし

2000 年

【区　　分】科学研究費　基盤研究（C）（２年）
【課題番号】12671883
【題　　名】アドレナリンβ２受容体機能異常からみた慢性筋痛の病態解明に関する分子生物学的研究
【研究機関】岡山大学
【代 表 者】前川賢治
【分 担 者】水口　一，鈴木康司，窪木拓男，矢谷博文
【研究協力者】Clark GT
【交 付 金】340 万円（1 年目 230 万円，２年目 110 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　基盤研究（B）展開（3 年）
【課題番号】12557169
【題　　名】重度変形性顎関節症治療のための軟骨由来軟骨成長因子 (CTGF) の遺伝子導入
【研究機関】岡山大学
【代 表 者】窪木拓男
【分 担 者】中西　徹，滝川正春，藤澤拓生，笠井昭夫，矢谷博文，完山　学
【交 付 金】1,200 万円（1 年目 420 万円，2 年目 430 万円，3 年目 350 万円）（直接経費）

2001 年

【区　　分】科学研究費　基盤研究（C）（2 年）
【課題番号】13672031
【題　　名】チェアーサイドで行うインプラント周囲の歯槽骨破壊のリスク診断
【研究機関】岡山大学
【代 表 者】荒川　光
【分 担 者】笠井昭夫，矢谷博文，窪木拓男，完山　学
【交 付 金】400 万円（1 年目 310 万円，2 年目 90 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　基盤研究（B）（2 年）
【課題番号】13470413
【題　　名】顎顔面部の疼痛認知ならびに疼痛感受性に関する国際比較研究
【研究機関】岡山大学
【代 表 者】矢谷博文
【分 担 者】前川 賢治
【研究協力者】Okeson JP，Carlson Cr
【交 付 金】920 万円（1 年目 830 万円，2 年目 90 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　基盤研究（B）（3 年）
【課題番号】13470412
【題　　名】アミノ酸誘導体による歯質とレジンの界面制御
【研究機関】岡山大学
【代 表 者】鈴木一臣
【分 担 者】田仲持郎，入江正郎，吉田靖弘，西山典弘，矢谷博文，石川邦夫
【交 付 金】1,620 万円（1 年目 1,250 万円，2 年目 170 万円，3 年目 200 万円）（直接経費）

研究経費

【区　　分】科学研究費　萌芽研究（２年）
【課題番号】13877327
【題　　名】血管径調節関連遺伝子多型からみた慢性筋痛の分子遺伝学的検討
【研究機関】岡山大学
【代 表 者】窪木拓男
【分 担 者】矢谷博文，鈴木康司，前川賢治
【交 付 金】200 万円（1 年目 140 万円，２年目 60 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　基盤研究（C）（２年）
【課題番号】13672033
【題　　名】MMP-3 転写調節部位遺伝子多型からみた顎関節症の予後に関する分子遺伝学
【研究機関】岡山大学
【代 表 者】水口　一
【分 担 者】矢谷博文，窪木拓男，藤澤拓生
【交 付 金】400 万円（1 年目 260 万円，２年目 140 万円）（直接経費）

2002 年

【区　　分】科学研究費　基盤研究（C）（２年）
【課題番号】14571844
【題　　名】生物学的に修復象牙質を形成促進するための分子クローニングとその応用法に関する研究
【研究機関】岡山大学
【代 表 者】園山 亘
【分 担 者】滝川正春，高柴正悟，窪木拓男，矢谷博文
【交 付 金】390 万円（1 年目 250 万円，２年目 140 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　基盤研究（C）（２年）
【課題番号】14571843
【題　　名】変形性顎関節症の分子病態メカニズムならびに分子細胞治療に関する研究
【研究機関】岡山大学
【代 表 者】藤澤拓生
【分 担 者】滝川正春，西田　崇，窪木拓男，前川賢治，矢谷博文
【交 付 金】400 万円（1 年目 220 万円，２年目 180 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　基盤研究（B）（３年）
【課題番号】14370632
【題　　名】歯周組織・歯槽骨再生のための自己間葉系幹細胞を用いた細胞移植治療の確立
【研究機関】岡山大学
【代 表 者】窪木拓男
【分 担 者】上田　実，滝川正春，高柴正悟，前川賢治，吉田靖弘，中西　徹，矢谷 博文
【交 付 金】1,480 万円（1 年目 720 万円，2 年目 370 万円，3 年目 390 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　萌芽研究（２年）
【課題番号】14657502
【題　　名】Er:YAG レーザーによる光学的感染歯質滅菌法とその後の歯質欠損部再建法の検討
【研究機関】岡山大学 (2002 年)，大阪大学（2003 年）
【代 表 者】矢谷博文
【分 担 者】鈴木一臣
【交 付 金】330 万円（1 年目 140 万円，2 年目 190 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　萌芽研究（２年）
【課題番号】14657501
【題　　名】内分秘撹乱作用に対応した歯科用レジンの開発
【研究機関】岡山大学
【代 表 者】鈴木一臣
【分 担 者】吉田靖弘，田仲持郎，入江正郎，矢谷博文
【交 付 金】330 万円（1 年目 230 万円，2 年目 100 万円）（直接経費）

2003 年

新規採択なし

研究経費

2004 年

【区　　分】科学研究費　基盤研究（C）（２年）
【課題番号】16591945
【題　　名】ヘッドマウントディスプレイを用いたインプラント手術支援システムの構築
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】山田真一
【分 担 者】矢谷博文，古郷幹彦，荘村奏治，中村隆志，瑞森崇弘
【交 付 金】240 万円（1 年目 1,50 万円，２年目 90 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　基盤研究（C）（２年）
【課題番号】16591944
【題　　名】電子ビームによる歯科用金属の表面改質
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】六人部慶彦
【分 担 者】矢谷博文，中村隆志，荘村奏治，絹田 宗一郎，高橋純造
【交 付 金】360 万円（1 年目 290 万円，２年目 70 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　基盤研究（C）（２年）
【課題番号】16591943
【題　　名】精神神経免疫的手法を用いた顎関節症における慢性疼痛および顎関節痛の解析
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】石垣尚一
【分 担 者】矢谷博文，戸田雅裕，森本兼曩
【交 付 金】320 万円（1 年目 230 万円，２年目 90 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　基盤研究（C）（２年）
【課題番号】16591942
【題　　名】頭頚部慢性疼痛に対する認知行動療法の有効性の確立に向けた生体ストレス反応解析
【研究機関】広島大学
【代 表 者】井上俊二
【分 担 者】石垣尚一，矢谷博文，瑞森崇弘，濱田泰三，貞森紳丞，戸田雅裕
【交 付 金】320 万円（1 年目 250 万円，２年目 70 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　基盤研究（C）（２年）
【課題番号】16591941
【題　　名】パターン認識技術を応用した簡易型顎運動測定システムの開発
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】瑞森崇弘
【分 担 者】矢谷博文，中村隆志，石垣尚一，荘村泰治，絹田宗一郎
【交 付 金】360 万円（1 年目 160 万円，２年目 200 万円）

【区　　分】科学研究費　基盤研究（B）（３年）
【課題番号】16390554
【題　　名】成人幹細胞の分化誘導時に働く選択的遺伝子抑制機構の解明
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】矢谷博文
【分 担 者】江草　宏
【交 付 金】1,420 万円（1 年目 860 万円，２年目 440 万円，３年目 120 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　萌芽研究（２年）
【課題番号】16659531
【題　　名】3D プリンティング迅速成形法による組織再生・欠損補填用材料の創製
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】荘村泰治
【分 担 者】寺岡文雄，矢谷博文，中村隆志，高橋純造
【交 付 金】270 万円（1 年目 210 万円，２年目 60 万円）（直接経費）

2005 年

【区　　分】科学研究費　基盤研究（C）（２年）
【課題番号】17592022
【題　　名】マイクロフォーカス X 線 CT を用いた歯冠補綴装置の非破壊的三次元分析
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】中村隆志
【分 担 者】矢谷博文，古川惣平，荘村奏治，絹田宗一郎
【交 付 金】350 万円（1 年目 200 万円，２年目 150 万円）（直接経費）

研究経費

【区　　分】科学研究費　基盤研究（C）（２年）
【課題番号】17592020
【題　　名】頭頸肩部慢性筋痛に対する認知行動療法の無作為化臨床比較試験
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】森重恵美子
【分 担 者】石垣尚一，矢谷博文
【交 付 金】330 万円（1 年目 190 万円，２年目 140 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　基盤研究（C）（２年）
【課題番号】17592019
【題　　名】睡眠時ブラキシズムの重症度に関する臨床的診断基準の確立
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】佐藤順康
【分 担 者】矢谷博文，瑞森崇弘，石垣尚一
【交 付 金】370 万円（1 年目 330 万円，２年目 40 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　基盤研究（B）（３年）
【課題番号】17390515
【題　　名】補綴主導型・フラップレス・即時負荷を実現する高次インプラント手術システム
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】荘村泰治
【分 担 者】矢谷博文，中村隆志，山田真一，楠本直樹
【交 付 金】1,580 万円（1 年目 1,280 万円，２年目 150 万円，３年目 150 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　萌芽研究（２年）
【課題番号】17659610
【題　　名】合成ペプチドを用いた骨 / 血管新生誘導型インプラント材料の開発
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】矢谷博文
【分 担 者】高橋純造，濱田吉之輔，江草　宏
【交 付 金】330 万円（1 年目 170 万円，２年目 160 万円）（直接経費）

【区　　分】財団法人 8020 推進財団　平成 17 年度 8020 研究事業
【課題番号】なし
【題　　名】補綴治療による咬合回復が高齢者の QOL・ADL に与えるインパクト
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】矢谷博文
【交 付 金】70 万円

2006 年

【区　　分】科学研究費　基盤研究（C）(2 年)
【課題番号】18592119
【題　　名】電気泳動を使用したジルコニア系ナノ複合材料の歯冠修復への応用
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】六人部慶彦（2006 年），中村隆志（2007 年）
【分 担 者】荘村泰治，関野徹，矢谷博文
【交 付 金】340 万円（1 年目 100 万円，2 年目 240 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費補　基盤研究（C）(2 年)
【課題番号】18592118
【題　　名】ウェアラブル睡眠センサによる睡眠時ブラキシズムの予測と能動的抑制
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】瑞森崇弘
【分 担 者】矢谷博文，絹田宗一郎，佐藤順康
【交 付 金】330 万円（1 年目 90 万円，2 年目 240 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　萌芽研究（2 年）
【課題番号】18659570
【題　　名】顎顔面部の慢性疼痛管理のための実験的生体ストレスモデルにおける性差の評価
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】石垣尚一
【分 担 者】矢谷博文，森重恵美子
【交 付 金】330 万円（1 年目 280 万円，2 年目 50 万円）（直接経費）

研究経費

2007 年

【区　　分】科学研究費　萌芽研究（2 年）
【課題番号】19659505
【題　　名】咀嚼筋・舌組織の再生に向けた筋系細胞分化促進技術の開発
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】江草　宏
【分 担 者】矢谷博文
【交 付 金】320 万円（1 年目 110 万円，2 年目 210 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　萌芽研究（2 年）
【課題番号】19659504
【題　　名】5-HTT 遺伝子型および認知行動療法を用いた難治性 TMD 患者のスクリーニング
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】矢谷博文
【分 担 者】江草　宏，石垣尚一
【交 付 金】320 万円（1 年目 190 万円，2 年目 130 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費補　基盤研究（C）（2 年）
【課題番号】19592235
【題　　名】インプラント頚部骨吸収を抑制するためのインプラント体およびアッバトメントデザイン
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】中野　環
【分 担 者】山田真一，矢谷博文
【交 付 金】330 万円（1 年目 140 万円，2 年目 190 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　基盤研究（C）(2 年）
【課題番号】19592234
【題　　名】2D/3D レジストレーション法を用いたステントレスインプラント手術システムの開発
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】山田真一
【分 担 者】若林一道，山崎隆治，荘村泰治，矢谷博文
【交 付 金】340 万円（1 年目 200 万円，2 年目 140 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　基盤研究（B）（3 年）
【課題番号】19390495
【題　　名】ヒト口腔・顔面領域における神経因性疼痛発症動向の解明に向けた前向き研究
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】石垣尚一
【分 担 者】矢谷博文，内田昌範
【交 付 金】1,200 万円（1 年目 860 万円，2 年目 190 万円，3 年目 150 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　基盤研究（B）（3 年）
【課題番号】19390494
【題　　名】骨／血管新生誘導因子徐放化システムを組込んだインプラントによる迅速的周囲骨再生
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】矢谷博文
【分 担 者】江草　宏，田畑泰彦
【交 付 金】1,490 万円（1 年目 870 万円，2 年目 430 万円，3 年目 190 万円）（直接経費）

【区　　分】研究助成金 (タカラベルモント) (1 年)
【課題番号】なし
【題　　名】患者由来の印象体を用いた肝炎ウイルス汚染の実態解明およびその消毒法の検討
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】矢谷博文
【分 担 者】江草　宏，綿本隆生
【交 付 金】80 万円

2008 年

【区　　分】科学研究費　挑戦的萌芽研究（2 年）
【課題番号】20659299
【題　　名】発話時平均周波数を用いた咀嚼筋痛・筋疲労評価法の確立
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】石垣尚一
【分 担 者】矢谷博文
【交 付 金】330 万円（1 年目 280 万円，2 年目 500 万円）（直接経費）

研究経費

【区　　分】科学研究費　基盤研究（C）（3 年）
【課題番号】20592262
【題　　名】オールセラミックレストレーションに最適な多機能調和型ナノ複合セラミックスの開発
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】中村隆志
【分 担 者】若林一道，関野　徹，荘村泰治，矢谷博文
【交 付 金】350 万円（1 年目　170 万円，2 年目　90 万円，3 年目　90 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　基盤研究（C）（3 年）
【課題番号】20592261
【研究機関】大阪大学
【題　　名】睡眠時ブラキシズムの能動的抑制システム開発
【代 表 者】瑞森崇弘
【分 担 者】矢谷博文，絹田宗一郎
【連携研究者】稲野眞治，角谷誠和
【交 付 金】340 万円（1 年目　130 万円，2 年目　140 万円，3 年目　70 万円）（直接経費）

【区　　分】平成 20 年度厚生労働科学研究費補助金
【題　　名】成人期における歯科疾患のスクリーニング体制の構築に関する研究
【研究機関】岡山大学
【代 表 者】森田　学
【分 担 者】川浪雅光，矢谷博文，花田信弘，高柴正悟，野村義明
【交 付 金】90 万円

2009 年

【区　　分】科学研究費　挑戦的萌芽研究（2 年）
【課題番号】21659444
【題　　名】酸化チタンナノチューブ構造制御による新しい生体活性型インプラントの開発
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】矢谷　博文
【分 担 者】江草　宏，関野　徹
【交 付 金】300 万円（1 年目　170 万円，2 年目　130 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　基盤研究（C）（３年）
【課題番号】21592494
【題　　名】骨梁細線化モデルを用いたインプラント周囲骨における波の伝播に関する研究
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】若林一道
【分 担 者】中村隆志，中野　環
【連携研究者】矢谷博文，荘村泰治，中野貴由
【交 付 金】350 万円（1 年目 230 万円，2 年目 70 万円，3 年目 50 万円）（直接経費）

2010 年

【区　　分】科学研究費　挑戦的萌芽研究（2 年）
【課題番号】22659356
【題　　名】Id2 欠損マウスを活用した低分子化合物ハルミンの骨組織再生作用の解析
【代 表 者】江草　宏
【分 担 者】矢谷博文，佐伯万騎男
【連携研究者】横田義史
【交 付 金】280 万円（1 年目　140 万円，2 年目　140 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　基盤研究（B）（3 年）
【課題番号】22390364
【題　　名】ケミカルバイオロジーに基づいた骨形成促進剤の開発に向けた戦略的研究
【代 表 者】矢谷博文
【分 担 者】江草　宏，佐伯万騎男
【連携研究者】福安　翔
【交 付 金】1,510 万円（1 年目　790 万円，2 年目　280 万円，3 年目　340 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　基盤研究（B）（３年）
【課題番号】22390363
【題　　名】双生児研究による睡眠時ブラキシズムの発現に関与する遺伝要因・環境要因の解明
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】石垣尚一
【分 担 者】矢谷博文，早川和生
【交 付 金】1,230 万円（1 年目 550 万円，2 年目 400 万円，3 年目 280 万円）（直接経費）

研究経費

2011 年

【区　　分】科学研究費　若手研究（B）（３年）
【課題番号】23792227
【題　　名】接着性および従来型ブリッジの超長期予後調査と次世代臨床データ蓄積システムの構築
【研究機関】岡山大学，大阪大学
【代 表 者】峯　篤史 (2011 岡山大学，2012-2013 大阪大学)
【連携研究者】矢谷博文，窪木拓男，大野　彩
【研究協力者】吉田利正，黒崎陽子，三野卓哉
【交 付 金】230 万円（1 年目 100 万円，２年目 50 万円，３年目 80 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　挑戦的萌芽研究（2 年）
【課題番号】23659896
【題　　名】歯肉を用いた動物細胞／ウイルス・フリーの iPS 細胞技術・安全な移植医療に向けて
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】矢谷博文
【分 担 者】江草　宏
【研究協力者】于 冠男
【交 付 金】280 万円（1 年目 170 万円，２年目 110 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　基盤研究（C）（3 年）
【課題番号】23592840
【題　　名】ポーラスサーフェスを有するジルコニア系ナノ複合型二層構造ブロックの開発
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】中村隆志 .
【分 担 者】若林一道、関野　徹、矢谷博文
【交 付 金】400 万円（1 年目　200 万円，２年目　90 万円，３年目 110 万円）（直接経費）

2012 年

【区　　分】科学研究費　挑戦的萌芽研究（2 年）
【課題番号】24659858

【題　　名】iPS 細胞技術を基盤とした歯槽骨吸収リスクの術前診断法の創生
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】江草　宏
【分 担 者】矢谷博文，中野　環
【交 付 金】290 万円（1 年目 130 万円，2 年目 160 万円（直接経費）

【区　　分】科学研究費　挑戦的萌芽研究（2 年）
【課題番号】24659856
【題　　名】難治性顎関節症診断のための疼痛感覚の歪みを応用した定量的感覚検査方法の確立
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】石垣尚一
【分 担 者】矢谷博文
【交 付 金】270 万円（1 年目 110 万円，2 年目 160 万円）（直接経費）

2013 年

【区　　分】科学研究費　挑戦的萌芽研究（2 年）
【課題番号】25670817
【題　　名】骨 - 神経系に作用する受容体を標的とする新たな歯槽骨吸収抑制方法の開発
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】矢谷博文
【分 担 者】江草　宏，佐伯万騎男
【交 付 金】290 万円（1 年目 150 万円，2 年目 140 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　基盤研究（B）（3 年）
【課題番号】25293395
【題　　名】小分子化合物を利用した iPS 細胞の腫瘍化抑制技術による歯槽骨増生法の確立
【研究機関】東北大学
【代 表 者】江草　宏
【分 担 者】矢谷博文
【連携研究者】松本卓也，佐伯万騎男
【交 付 金】1,360 万円（1 年目 590 万円，2 年目 430 万円，3 年目 340 万円）（直接経費）

研究経費

【区　　分】科学研究費　基盤研究（B）（３年）
【課題番号】25293393
【題　　名】睡眠時ブラキシズムの phenotype に応じた発生機序の解明と症型分類指標の開発
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】加藤隆史
【分 担 者】瑞森崇弘，谷池雅子，石垣尚一，三上章良，佐藤文彦，矢谷博文，吉田　篤
【交 付 金】1,340 万円（1 年目 630 万円，2 年目 360 万円，3 年目 350 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　基盤研究 (B)（３年）
【課題番号】25293392
【題　　名】慢性筋痛を有する顎関節症患者における睡眠障害と概日リズム変化の解
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】石垣 尚一
【分 担 者】矢谷博文，加藤隆史
【連携研究者】内田昌範，宮内鉄平，小野清美，福田修二，高岡亮太，松下　登，宇野浩一郎
【交 付 金】1,280 万円（1 年目 630 万円，2 年目 360 万円，3 年目 290 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　基盤研究（B）（３年）
【課題番号】25293391
【題　　名】体外設置式睡眠時ブラキシズム発現前抑制システムの開発
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】瑞森崇弘
【分 担 者】矢谷博文，加藤隆史，小林靖宜，稲野眞治，角谷誠和
【連携研究者】辻阪 亮子，原木 真吾
【交 付 金】1,200 万円（1 年目 710 万円，2 年目 410 万円，3 年目 80 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　基盤研究（A）（4 年）
【課題番号】25253102
【題　　名】テーラーメイド補綴歯科医療の確立に向けた新規術前診断法の開発
【代 表 者】矢谷博文
【分 担 者】江草　宏，加藤隆史 , 萱島浩輝 , 峯　篤史
【交 付 金】3,470 万円 (1 年目 1,406 万円, 2 年目 800 万円, 3 年目 470 万円，4 年目 740 万円)
（直接経費）

2014年

【区　　分】科学研究費　基盤研究（C）（3年）
【課題番号】26462949
【題　　名】粒子法を用いたインプラントのマイクロギャップによる組織液の拡散に関する研究
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】若林一道
【分 担 者】中村隆志，山口　哲，中野　環，小林靖宜，宇佐美博文
【連携研究者】矢谷博文
【研究協力者】翟　智豪
【交 付 金】370万円（1年目180万円，2年目60万円，3年目130万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　挑戦的萌芽研究（2年）
【課題番号】26670835
【題　　名】iPS細胞を原材料とするバイオミメティック骨再生剤の開発
【研究機関】東北大学
【代 表 者】江草　宏
【連携研究者】矢谷博文，福本　敏
【交 付 金】280万円（1年目150万円，2年目130万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　挑戦的萌芽研究（2年）
【課題番号】26670834
【題　　名】プラスαステップによる1ステップセルフエッチングシステムの象牙質接着能向上
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】峯　篤史
【分 担 者】矢谷博文
【交 付 金】280万円（1年目130万円，2年目1530万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　挑戦的萌芽研究（3年）
【課題番号】26670832
【題　　名】周辺構造モデルを用いた顎関節症患者の長期予後解析による予防・治癒寄与要因の解明
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】石垣尚一
【分 担 者】矢谷博文，新谷　歩
【交 付 金】280万円（1年目80万円，2年目80万円，3年目120万円）（直接経費）

研究経費

【区　　分】科学研究費　基盤研究（C）（３年）
【課題番号】26462917
【題　　名】水熱劣化抑制と半透明グラデーションを有するジルコニア系ナノ複合セラミックスの開発
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】中村隆志
【分 担 者】関野　徹，若林一道，矢谷博文
【交 付 金】370 万円（1 年目 170 万円，2 年目 90 万円，3 年目 110 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　基盤研究（B）
【課題番号】26293410
【題　　名】非破壊試験法を駆使した第二世代接着評価法の確立
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】峯　篤史
【分 担 者】矢谷博文
【交 付 金】1,260 万円（1 年目 810 万円，2 年目 260 万円，3 年目 190 万円）（直接経費）

2015 年

【区　　分】科学研究費　挑戦的萌芽研究（2 年）
【課題番号】15K15705
【題　　名】デジタルデザインを応用した iPS 細胞の新たな垂直的歯槽骨造成術の開発
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】矢谷博文
【分 担 者】江草　宏 , 萱島浩輝
【交 付 金】280 万円（1 年目　160 万円，2 年目　120 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　基盤研究（C）（３年）
【課題番号】15K11156
【題　　名】インプラント体周囲組織の四次元評価法を用いた縦断研究
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】中野　環
【分 担 者】山西康文，小野真司，矢谷博文
【交 付 金】370 万円（1 年目 170 万円，2 年目 100 万円，3 年目 100 万円）（直接経費）

2016 年

新規採択なし

2017 年

【区　　分】科学研究費　研究活動スタート支援（２年）
【課題番号】17H06849
【題　　名】レジン支台築造における直接法 / 間接法の選択基準確立～非破壊観察的３次元定量評価～
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】南野卓也
【研究協力者】矢谷 博文，峯　篤史，東　真未
【交 付 金】210 万円（1 年目 110 万円，2 年目 100 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　基盤研究（B）（4 年）
【課題番号】A17H043890
【題　　名】メタルフリー治療普及のための臨床・基礎総合研究
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】峯　篤史
【分 担 者】矢谷博文
【交 付 金】1,200 万円（1 年目 360 万円，2 年目 480 万円，3 年目 190 万円，4 年目 170 万円）
（直接経費）

【区　　分】科学研究費　挑戦的研究（萌芽）（2 年）
【課題番号】17K19755
【題　　名】サイズコントロールした iPS 細胞スフェロイドの自己組織化を応用する骨再生法の 開発
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】矢谷博文
【分 担 者】江草　宏，萱島浩輝
【交 付 金】480 万円（1 年目 240 万円，2 年目 240 万円）（直接経費）

研究経費

【区　　分】科学研究費　基盤研究（C）（3 年）
【課題番号】T17K117810
【題　　名】マルチスケールモデルを用いた歯の光学的シミュレーションに関する研究
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】木林博之
【分 担 者】矢谷博文，中村隆志，酒井英樹，若林一道
【交 付 金】350 万円（1 年目 140 万円，2 年目 160 万円，3 年目 50 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　基盤研究（C）（3 年）
【課題番号】T17K117800
【題　　名】ポーラスサーフェスと低温劣化抑制能を有するカラードジルコニアインプラントの開発
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】若林一道
【分 担 者】矢谷博文，関野　徹，中村隆志，中野　環，萱島浩輝
【交 付 金】350 万円（1 年目 195 万円，2 年目 130 万円，3 年目 130 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　基盤研究（C）（3 年）
【課題番号】T17K117450
【題　　名】蛍光性及び水熱劣化抑制能を有するマルチファンクションジルコニアセラミックスの開発
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】中村隆志
【分 担 者】関野　徹，若林一道，西田尚敬，矢谷博文
【交 付 金】350 万円（1 年目 160 万円，2 年目 80 万円，3 年目 110 万円）（直接経費）

【区　　分】科学研究費　基盤研究 B（3 年）
【課題番号】17H04390
【題　　名】口腔顔面領域の慢性疼痛に対するテーラーメイド治療に向けた遺伝的リスク予知法の開発
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】矢谷博文
【分 担 者】江草　宏，加藤隆史 , 萱島浩輝 , 高岡亮太 , 石垣尚一
【交 付 金】1,290 万円（1 年目 570 万円，2 年目 470 万円，3 年目 250 万円）（直接経費）

2018 年

【区　　分】科学研究費　基盤研究（C）（3 年）
【課題番号】18K09659
【題　　名】予知性の高い垂直的骨造成に向けた外側性欠損における骨代謝機構の解析
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】萱島浩輝
【分 担 者】江草宏，矢谷博文
【交 付 金】340 万円（1 年目 130 万円，2 年目 120 万円，3 年目 90 万円）（直接経費）

2019 年

【区　　分】科学研究費　基盤研究（C）（3 年）
【課題番号】19K10204
【題　　名】中枢性感作による Nociplastic pain を評価するバイオマーカーの確立
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】石垣尚一
【分 担 者】矢谷博文
【交 付 金】300 万円（1 年目 150 万円，2 年目 90 万円，3 年目 60 万円）（直接経費）

2020 年

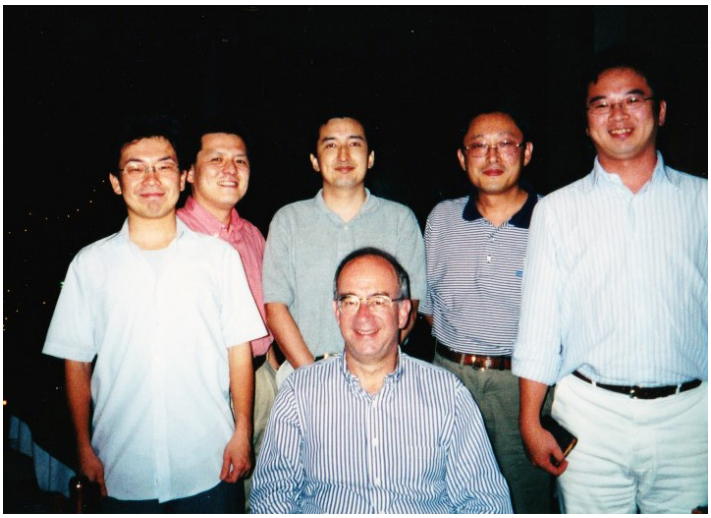
【区　　分】科学研究費　基盤研究（C）（3 年）
【課題番号】19K10204
【題　　名】睡眠時ブラキシズムの脈波センサによる発生前検出と発生抑制システムの開発
【研究機関】大阪大学
【代 表 者】瑞森 崇弘
【分 担 者】原木真吾，矢谷博文
【交 付 金】330 万円（1 年目 150 万円，2 年目 90 万円，3 年目 90 万円）（直接経費）

思い出の写真
(教授就任以降)

2000 年 - 2002 年

2000年
岡山大学大学院
医歯学総合研究科
教授就任祝賀会

2001年 第105回日本補綴歯科学会（東京）に参加



2001年 稀代の論客 Prof. Charles Greene をお迎えして

2001年 79th IADR（幕張）にて

2003 年

Dr. Thuan Dao 来学
後列の紳士はendodontist
でご主人のProf. Simon
Friedman

チュートリアル演習

送別会での集合写真

2004 年，2005 年

2004年度
送別会

2004年度 同門会

2005年度 教室旅行
三重県鳥羽市

2006 年，2007 年

2006年度
送別会

2007年度 教室旅行
（京都府宮津市 天橋立）

2007年度
送別会

2007年度
教室事務官
中川千裕さん
退局

2008 年

教室旅行
（三重県志摩市 賢島）

新入局員
歓迎会

インドからの留学生 Gopi Chander 先生と一緒の医局集合写真

2009 年

2009年度 第118回日本補綴歯科学会学術大会 主催

2010 年

医局集合写真

2010年度 第28回日本接着歯学会学術大会 主催

2011 年

上海にて
石磊先生との
食事会

新入局員
歓迎会

教室事務官
井原貴代美さん
退局

2012 年

矢谷邸 新年会

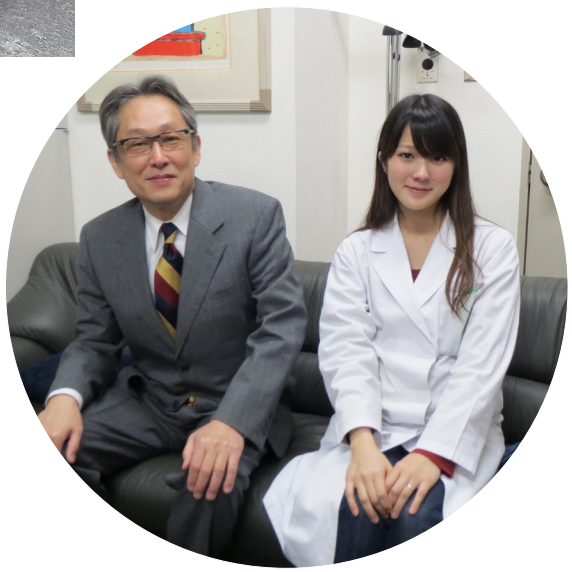
教室旅行
（兵庫県洲本市 淡路島）

忘年会

2013 年

大学院特別講義
Jeffrey P. OKESON 先生

教室旅行
（三重県鳥羽市 答志島）



教室事務官
金山麻美さん
退局

2014 年

インドネシア補綴学会とのジョイントミーティング（バリ島の日本領事館にて）

新入歓迎会

１補・２補　合同食事会

9th AAP（台北）にて

2014年度 第55回日本顎口腔機能学会 主管

2015 年

新入局員
歓迎会

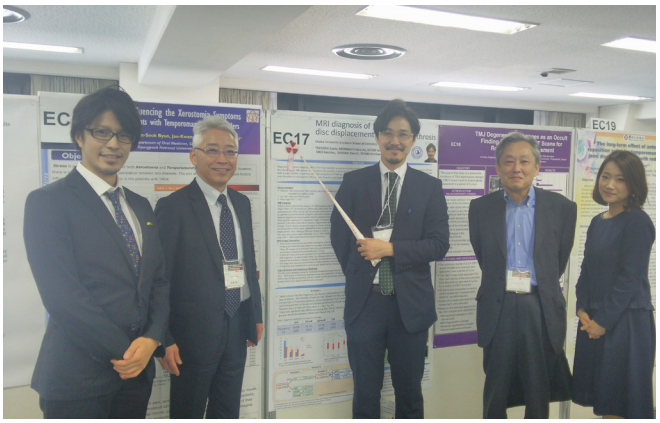
第124回
日本補綴歯科学会

39th EPA（プラハ）での
懇親会

16th ICP（ソウル）にて

2016 年

大阪大学歯学部同窓会　臨床研修会



ICOP（横浜）にて

送別会

2017 年

教室旅行（香川県小豆郡 小豆島）

第47回 日本口腔インプラント学会（仙台）での記念写真

第8回 日本デジタル歯科学会（鶴見）にて

2018 年

第37回 日本接着歯学会（新潟）にて

第127回 日本補綴歯科学会
（岡山）にて

第9回 日本デジタル歯科学会
（盛岡）にて

大阪府北部地震後の診療室

中村隆志先生
送別会

2019 年

医局集合写真

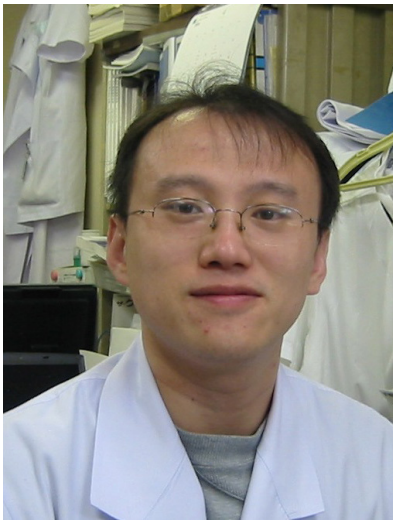
教室旅行（三重県鳥羽市 答志島）

令和元年度 日本歯科医学会会長賞授賞式にて

留学生

石　磊
(1999-2005)
大学院生

張　イ
(1999-2004)
大学院生



賀剣飛
(2004-2007)
大学院生

湯学華
(2008-2011)
大学院生

于冠男
(2010-2013)
大学院生

王放放
(2011-2014)
大学院生

Jeison Carbajal
(2014-2019)
大学院生

翟智豪
(2016-)
大学院生

林暁雨
(2017-)
大学院生

王展越
(2018-)
大学院生

姬芳芳
(2018-)
大学院生

陳宇明
(2019-)
大学院生

留学生

短期研修

Deeksha Arya
(2013)

Naveen Gopi Chander
(2009)

葉少友
(2009-2010)
招聘研究員

章燕珍
(2014)

Prof. Young Jun Lim
(2018)
招聘研究員

JICA

Mitsue Kamiya
(2004)

Leticia Nagashima
(2007)

Clarissa Furuta
(2006-2007)

Ayumi Hoshi
(2006)

Elena Matsubara
(2008)

主な学内・学外役職

学内役職

2005 年

歯学研究科・歯学部・同附属病院レクリエーション委員：委員長
歯学部附属病院歯科技工士学校：校長
総合技工室運営委員：委員長

2006 年

歯学研究科・歯学部・同附属病院レクリエーション委員会：委員長
歯学会：副会長
歯学部附属病院：副病院長
医療情報室：室長
総合技工室　：室長
総合技工室運営委員会：委員長
歯学部附属病院諸料金検討委員会：委員長
医員配分検討委員会：委員長

2007 年

歯学会：副会長
歯学部附属病院：副病院長
医療情報室：室長
総合技工室：室長
総合技工室運営委員：委員長
歯学部附属病院諸料金検討委員会：委員長
医員配分検討委員会：委員長
医療安全管理委員会：委員長

主な学内・学外役職

2008年

歯学会：副会長
インプラントセンター設置ワーキング：座長

2009年

大阪大学大学院歯学研究科：副研究科長
歯学会：副会長
医療安全管理部：副部長
防災・安全管理委員会：副委員長

2010年

歯学会：副会長

2011年

歯学部附属技工士学校：校長
歯学会：副会長

2013年

歯学研究科・歯学部・歯学部附属病院情報管理委員会：委員長

2014年

歯学研究科・歯学部・歯学部附属病情報管理委員会：委員長

2017 年

歯学研究科・歯学部・同附属病院交通安全対策委員会：委員長

学外役職

2003 年

日本補綴歯科学会：認定審議会委員長，理事，評議員
日本補綴歯科学会関西支部：理事 , 評議員
日本顎関節学会：評議員
日本歯科理工学会：評議員
日本接着歯学会：評議員，企画・将来構想委員
日本顎頭蓋機能学会：理事
日本口腔顔面痛学会：財務担当理事
大阪大学歯学会：理事 , 評議員
Asian Academy of Craniomandibular Disorders：Board Member

2004 年

日本補綴歯科学会：認定審議会委員長，理事，評議員
日本補綴歯科学会関西支部：理事，評議員
日本顎関節学会：評議員
日本歯科理工学会：評議員
日本接着歯学会：常任理事，評議員，研究委員会委員長
日本顎口腔機能学会：評議員
日本顎頭蓋機能学会：理事
JAOP：財務担当理事
大阪大学歯学会：理事，評議員
Asian Academy of Craniomandibular Disorders：Board Member

主な学内・学外役職

2005 年

日本補綴歯科学会：庶務担当理事，代議員
日本補綴歯科学会関西支部：理事，評議員
日本顎関節学会：評議員
日本歯科理工学会：評議員
日本接着歯学会：常任理事，評議員，研究委員会委員長
日本顎口腔機能学会：評議員
日本顎頭蓋機能学会：理事
JAOP：副会長
大阪大学歯学会：会計担当理事，評議員
Asian Academy of Craniomandibular Disorders：Membership promotion
Asian Academy of Prosthodontics：Secretary

2006 年

日本補綴歯科学会：庶務担当理事，代議員
日本補綴歯科学会関西支部：関西支部理事，評議員
日本顎関節学会：理事，編集査読委員，法人化準備委員
JPS ＆　Greater New York Academy of Prosthodontics Joint Meating Organizing Comunitee：副委員長
日本歯科理工学会：評議員
日本インプラント口腔インプラント学会：評議員
日本接着歯学会：常任理事，評議員，研究委員会委員長
日本顎口腔機能学会：理事
日本顎頭蓋機能学会：理事
Japan Academy of Orofacial Pain：副会長
大阪大学歯学会：会計担当理事，評議員
Asian Academy of Craniomandibular Disorders：Membership promotion
Asian Academy of Prosthodontics：Secretary

2007 年

日本補綴歯科学会：総務担当理事，代議員
日本補綴歯科学会関西支部：副支部長，理事，評議員
日本顎関節学会：理事
JPS ＆ Greater New York Academy of Prosthodontics Joint Meeting Organizing Committee：副委員長
日本歯科理工学会：評議員
日本口腔インプラント学会：評議員
日本接着歯学会：常任理事，評議員，臨床研究委員会委員長
日本顎口腔機能学会：理事
日本顎頭蓋機能学会：理事
口腔顔面痛学会：理事，ガイドライン委員会委員長
Japan Academy of Orofacial Pain：副会長
大阪大学歯学会：副会長，評議員，優秀研究奨励賞選考委員会委員長
Asian Academy of Craniomandibular Disorders：Membership promotion
Asian Academy of Prosthodontics：Secretary
日本歯科医学会：評議員
北京首都医科大学：客員教授

2008 年

日本補綴歯科学会：総務担当理事，代議員
日本補綴歯科学会関西支部：理事，評議員
日本顎関節学会：理事，編集査読委員，法人化準備委員
日本歯科理工学会：評議員
日本口腔インプラント学会：評議員
日本接着歯学会：常任理事，評議員，臨床研究委員会委員長
日本顎口腔機能学会：理事（学術担当）
日本顎頭蓋機能学会：理事
口腔顔面痛学会：理事，ガイドライン委員会委員長
Japan Academy of Orofacial Pain：副会長

主な学内・学外役職

大阪大学歯学会：副会長，評議員，優秀研究奨励賞選考委員会委員長
Japan Prosthodontic Society：editorial board
Asian Academy of Craniomandibular Disorders：Membership promotion
Asian Academy of Prosthodontics：Secretary
日本歯科医学会：評議員，顎関節症の補綴学的治療の指針策定 WG 委員長
北京首都医科大学：客員教授

2009 年

大阪大学歯学会：副会長，評議員，優秀研究奨励賞選考委員会委員長
日本補綴歯科学会：理事，学術委員会委員長，第 118 回学術大会大会長，第 118 回学術大会プログラム委員会副委員長，第 118 回学術大会課題口演コンペティション審査委員会副委員長
日本補綴歯科学会関西支部：副支部長，理事，評議員
日本顎関節学会：理事，代議員，編集査読委員，法人化準備委員
日本歯科理工学会：評議員
日本口腔インプラント学会：評議員
日本接着歯学会：常任理事，評議員，臨床研究委員会委員長
日本顎口腔機能学会：理事（学術担当）
日本顎頭蓋機能学会：理事
口腔顔面痛学会：副理事長，理事，ガイドライン委員会委員長
Japan Prosthodontic Society：Editorial Board
Asian Academy of Craniomandibular Disorders：Membership Promotion
Asian Academy of Prosthodontics：Secretary
北京首都医科大学：客員教授

2010 年

大阪大学歯学会：副会長，評議員，優秀研究奨励賞選考委員会委員長
日本補綴歯科学会：理事，学術委員会委員長，第 119 回学術大会プログラム委員会委員長，第 119 回学術大会課題口演コンペティション審査委員会委員長
日本補綴歯科学会関西支部：副支部長，理事，評議員

日本顎関節学会：理事，代議員，編集査読委員，学術委員会委員，会則検討委員会委員，用語検討委員会委員，倫理委員会委員
日本歯科理工学会：評議員
日本歯科理工学会近畿・中四国支部：評議員
日本口腔インプラント学会：評議員
日本接着歯学会：理事，評議員，臨床研究委員会委員長
日本顎口腔機能学会：理事（学術担当）
日本顎頭蓋機能学会：理事，評議員
日本口腔顔面痛学会：副理事長，理事，ガイドライン委員会委員長
日本歯科 CAD/CAM 学会：評議員
Japan Prosthodontic Society：Editorial Board
Asian Academy of Craniomandibular Disorders：Membership Promotion
Asian Academy of Prosthodontics：Secretary
厚生労働省：歯科医師試験委員（ブラッシュアップ委員会副委員長）
北京首都医科大学：客員教授

2011 年

日本補綴歯科学会：副理事長，理事，平成２３年度特別功労賞推薦委員会委員長，平成２３年度優秀論文賞推薦委員会委員長
日本補綴歯科学会関西支部：副支部長，理事，評議員
日本顎関節学会：理事，代議員，編集査読委員，学術委員会委員，会則検討委員会委員，用語検討委員会委員，倫理委員会委員，学会症型分類と RDC/TMD 分類の検証委員会委員長
日本歯科理工学会：評議員
日本歯科理工学会近畿・中四国支部：評議員
日本口腔インプラント学会：評議員
日本接着歯学会：理事，評議員，臨床研究委員会委員長，認定審議会委員
日本顎口腔機能学会：学術担当理事
日本口腔リハビリテーション学会：理事，評議員
日本口腔顔面痛学会：副理事長，理事，ガイドライン作成委員会委員長
日本歯科 CAD/CAM 学会：評議員
Japan Prosthodontic Society：Editorial Board

主な学内・学外役職

Asian Academy of Craniomandibular Disorders：Membership Promotion
Asian Academy of Prosthodontics：Vice President
厚生労働省：歯科医師試験委員（ブラッシュアップ委員会副委員長）
日本歯科医学会：評議員
全国歯科技工士教育協議会：理事
関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会：会長

2012 年

日本補綴歯科学会：副理事長，理事，第 121 回学術大会プログラム委員会副委員長，平成２４年度特別功労賞推薦委員会委員長，平成２４年度優秀論文賞推薦委員会委員長
日本補綴歯科学会関西支部：副支部長，理事，評議員
日本顎関節学会：理事，代議員，学会症型分類と RDC/TMD 分類の検証委員会委員長
日本接着歯学会：常任理事，理事，評議員
日本顎口腔機能学会：理事
日本口腔リハビリテーション学会：理事，評議員
日本口腔顔面痛学会：副理事長，理事，評議員，ガイドライン作成委員会委員長
日本歯科 CAD/CAM 学会：評議員
Japan Prosthodontic Society：Editorial Board
Asian Academy of Craniomandibular Disorders：Country Representatives (Japan)
Asian Academy of Prosthodontics：Vice President
厚生労働省：歯科医師試験委員（ブラッシュアップ委員会副委員長）
日本歯科医学会：評議員
日本歯学系学会協議会：理事（研究・医療政策提言担当）
北京首都医科大学：客員教授

2013 年

日本補綴歯科学会：理事長，理事
日本補綴歯科学会関西支部：副支部長，理事，評議員
日本顎関節学会：理事，代議員，学会症型分類と RDC/TMD 分類の検証委員会委員長

日本歯科理工学会：評議員
日本歯科理工学会近畿・中四国支部：評議員
日本口腔インプラント学会：評議員
日本接着歯学会：常任理事，理事，評議員
日本顎口腔機能学会：理事
日本口腔リハビリテーション学会：理事，評議員
日本口腔顔面痛学会：理事，評議員，ガイドライン作成委員会委員長，国際協議委員会委員長
日本デジタル歯科学会：評議員
Asian Academy of Craniomandibular Disorders：Country Representatives (Japan)
Asian Academy of Prosthodontics：Vice President
International College of Prosthodontists: Board of Conuncilors
厚生労働省：歯科医師試験委員（副委員長）
日本歯科医学会：理事
日本歯学系学会協議会：理事（研究・医療政策提言担当）
北京首都医科大学：客員教授

2014 年

日本補綴歯科学会：理事長，理事，代議員
日本補綴歯科学会関西支部：理事，評議員
日本顎関節学会：理事，代議員，用語検討委員会委員長，学会症型分類と DC/TMD 分類の検証委員会委員長
日本歯科理工学会：評議員
日本歯科理工学会近畿・中四国支部：評議員
日本口腔インプラント学会：評議員
日本接着歯学会：副会長，理事，評議員，研究倫理委員会委員長，企画・将来構想委員会委員
日本顎口腔機能学会：理事
日本口腔リハビリテーション学会：評議員
日本口腔顔面痛学会：理事，評議員，ガイドライン作成委員会委員長，国際協議委員会委員長，教育啓発委員会委員
日本デジタル歯科学会：評議員
Asian Academy of Craniomandibular Disorders：Country Representatives (Japan)

主な学内・学外役職

Asian Academy of Prosthodontics：Regional Representatives
International College of Prosthodontists: Board of Conuncilors
厚生労働省：歯科医師試験委員委員長
日本歯科医学会：理事
日本歯学系学会協議会：常任理事（企画担当）
北京首都医科大学：客員教授

2015 年

日本補綴歯科学会：理事，代議員，研究企画推進委員会委員長，日中韓 3 カ国合同補綴歯科学会大会長，若手研究者交流助成制度委員会委員長
日本補綴歯科学会関西支部：理事，評議員
日本顎関節学会：理事，代議員，用語検討委員会委員長，学会症型分類と DC/TMD 分類の検証委員会委員長
日本歯科理工学会：代議員
日本歯科理工学会近畿・中四国支部：評議員
日本接着歯学会：副会長，理事，評議員，研究倫理審査委員会委員長
日本顎口腔機能学会：理事
日本口腔リハビリテーション学会：評議員
日本口腔顔面痛学会：副理事長（総務総括），評議員，ガイドブック作成委員会委員長
日本デジタル歯科学会：評議員
Asian Academy of Craniomandibular Disorders：Country Representatives (Japan)
Asian Academy of Prosthodontics：Vice President
International College of Prosthodontists: Board of Councilors
日本歯科医学会：理事，英文雑誌編集委員会委員
日本歯学系学会協議会：常任理事（企画担当），専門医制検討委員会委員

2016 年

日本補綴歯科学会：理事，代議員，研究企画推進委員会委員長，若手研究者交流助成制度委員会委員長
日本補綴歯科学会関西支部：理事，代議員

日本顎関節学会：常任理事，代議員，用語検討委員会委員長，病態分類委員会委員長
日本歯科理工学会：代議員
日本歯科理工学会近畿・中四国支部：評議員
日本接着歯学会：理事長，代議員
日本顎口腔機能学会：理事
日本口腔リハビリテーション学会：代議員
日本口腔顔面痛学会：副理事長（総務総括），評議員，ガイドブック委員会委員長
日本デジタル歯科学会：代議員
Asian Academy of Craniomandibular Disorders：Country Representatives (Japan)
Asian Academy of Prosthodontics：Vice President
International College of Prosthodontists: Board of Councilors
厚生労働省：医道審議会歯科医師分科会出題基準改定部会部会長，医道審議会歯科医師分科会歯科医師国家試験制度改善検討部会部会長代理
日本歯科医学会：理事
日本歯科医学会連合：代表者
日本歯学系学会協議会：常任理事（企画担当）

2017 年

日本補綴歯科学会：理事（～ 6 月），代議員，研究企画推進委員会委員長（～ 6 月），若手研究者交流助成制度委員会委員長
日本補綴歯科学会関西支部：理事（～ 6 月），理事長（7 月～），代議員
日本顎関節学会：常任理事，代議員，用語検討委員会委員長，病態分類委員会委員長
日本歯科理工学会：代議員
日本歯科理工学会近畿・中四国支部：評議員
日本接着歯学会：理事長，代議員
日本顎口腔機能学会：理事
日本口腔リハビリテーション学会：代議員
日本口腔顔面痛学会：副理事長（総務総括）（～ 7 月），評議員，ガイドブック委員会委員長（～ 7 月），顧問（ 8 月～），選挙管理委員会委員長（ 8 月～）
日本デジタル歯科学会：代議員
Asian Academy of Craniomandibular Disorders：Country Representatives (Japan)

主な学内・学外役職

Asian Academy of Prosthodontics：Vice President
International College of Prosthodontists: Board of Councilors（～ 9 月）
厚生労働省：医道審議会歯科医師分科会出題基準改定部会部会長，医道審議会歯科医師分科会歯科医師国家試験制度改善検討部会部会長代理
日本歯科医学会：理事（～ 6 月），The Japanese Dental Science review（Editorial Board Directors）（～ 6 月）
日本歯科医学会連合：代表者
日本歯学系学会協議会：常任理事（企画担当）

2018 年

日本補綴歯科学会：代議員
日本補綴歯科学会関西支部：支部長，代議員
日本顎関節学会：理事，代議員，病態分類委員会委員長日本歯科理工学会：代議員
日本歯科理工学会近畿・中四国支部：評議員
日本接着歯学会：監事，代議員
日本顎口腔機能学会：理事
日本口腔リハビリテーション学会：名誉会員
日本口腔顔面痛学会：顧問，選挙管理委員会委員長
日本デジタル歯科学会：理事，代議員
Asian Academy of Craniomandibular Disorders：Country Representatives (Japan)
Asian Academy of Prosthodontics：Vice President
厚生労働省：医道審議会歯科医師分科会出題基準改定部会部会長，医道審議会歯科医師分科会歯科医師国家試験制度改善検討部会部会長代理

2019 年

日本補綴歯科学会：代議員
日本補綴歯科学会関西支部：支部長，代議員
日本顎関節学会：理事，代議員，病態分類委員会委員長日本歯科理工学会：代議員
日本歯科理工学会近畿・中四国支部：評議員

日本接着歯学会：監事，代議員
日本顎口腔機能学会：理事
日本口腔リハビリテーション学会：名誉会員
日本口腔顔面痛学会：顧問，選挙管理委員会委員長
日本デジタル歯科学会：理事，代議員
Asian Academy of Craniomandibular Disorders：Country Representatives (Japan)
Asian Academy of Prosthodontics：Vice President

講演・発表

■講演■

1）学会講演（特別講演，教育講演，シンポジウム等）

1. 1990 年 7 月 1 日　平成 2 年度日本歯科医学会学術講演会（和歌山）
   シンポジウム「顎関節症の基礎と臨床 －日常臨床における対応－」
   顎関節症の診断と治療 －咬合学の立場から－

2. 1993 年 7 月 3 日　第 6 回日本顎関節学会（倉敷）
   シンポジウム「顎関節症治療の評価基準－何をもって終診とするか－」
   保存療法により顎関節構成体の骨改造を生じた症例から

3. 1994 年 11 月 3 日　第 92 回日本補綴歯科学会学術大会（鹿児島）
   ナイトセッション「TMD をどうとらえるべきか － TMD の補綴学的診断－」当科における TMD 診断の現状とその問題点

4. 1995 年 6 月 9 日　第 93 回日本補綴歯科学会学術大会（横浜）
   ナイトセッション「TMD をどうとらえるべきか －歯科補綴学的治療と TMD シリーズのまとめ―」

5. 1995 年 9 月 9 日　第 3 回日本顎頭蓋機能学会（大阪）
   教育講演
   「臨床医のための顎関節症の治療法　－二次治療（咬合治療）－」

6. 1998 年 5 月 29 日
   第 99 回日本補綴歯科学会学術大会（仙台）
   シンポジウム「日常臨床における検査・診断方法に関する検討－画像診断」
   顎関節部の画像検査による診断

7. 1998 年 7 月 23 日　第 1 回臨床研究計画法研究会（共催：第 11 回日本顎関節学会総会）（東京）
   イブニングワークショップ
   臨床研究立案法：データの質の管理

講演・発表

8. 1998 年 9 月 6 日　第 12 回日本顎頭蓋機能学会（大阪）
   教育講演
   日本歯科医師会による顎関節症のガイドラインに基づく治療と実際（Ⅰ・Ⅱ型）

9. 1999年7月22日　第2回臨床研究計画法研究会(共催:第12回日本顎関節学会総会)(京都)
   イブニングワークショップ
   臨床疫学研究方法の種類とそれぞれに求められること

10. 1999 年 8 月 29 日　平成 11 年度日本補綴歯科学会中国・四国支部学術大会（呉）
    シンポジウム「高齢者における歯科補綴治療を考える」
    咬耗への対応

11. 1999 年 10 月 23 日　第 102 回日本補綴歯科学会学術大会（名古屋）
    シンポジウム
    TMD のためのスプリント療法の実際

12. 2000 年 6 月 27 日　第 28 回日本臨床矯正歯科医会（神戸）
    特別講演Ⅱ
    顎関節症に対する咬合を再考する 〜 scientific transfer の失敗から〜

13. 2000 年 6 月 29 日　第 13 回日本顎関節学会（福岡）
    教育講演Ⅱ
    スプリント治療の成果と展望

14. 2000 年 10 月 29 日　第 21 回岡山歯学会総会（岡山）
    特別講演
    補綴領域における接着歯学の進歩

15. 2001 年 6 月 3 日　第 105 回日本補綴歯科学会学術大会（東京）
    臨床教育研修
    咬合治療の基本〜 Cr/Br の立場から

16. 2001 年 7 月 1 日　TMD/EBM シンポジウム 2001（東京）
顎関節症のエビデンス
－当科の後向きフォローアップ研究とランダム化比較試験から－

17. 2001 年 9 月 2 日　第 27 回日本補綴歯科学会中国・四国支部学術大会（高松）
特別講演
医療概念の変革が顎関節症の診断と治療に何をもたらしたか

18. 2001 年 10 月 19 日　第 44 回秋季日本歯周病学会（岡山）
シンポジウム「歯科疾患と EBM」
顎関節症に対する EBM の現状

19. 2002 年 9 月 15 日　第 16 回日本顎頭蓋機能学会（大阪）
シンポジウム「TMD 患者が訴える痛みへの対応」
TMD 患者の痛みの評価と効果的な治療法

20. 2002 年 10 月 19 日　第 4 回日本国際歯科大会（横浜）
シンポジウム「いわゆる顎関節症の治療はどうあるべきか，その実際は」
日本における顎関節症の診断と治療上の問題点を考える

21. 2002 年 11 月 1 日　The 13th International Alexandria Dental Congress
（Alexandria, Egypt）
Invitation Special Lecture
Long-term clinical evaluation of occlusal porcelain onlays

22. 2002 年 11 月 30 日　第 50 回国際歯科研究学会日本支部（JADR）（仙台）
シンポジウム「接着材料を用いた修復物と補綴装置の臨床成績」
ポーセレンアンレーの長期臨床予後成績

23. 2003 年 7 月 10 日　The 10th meeting of International College of Prosthodontists
(Halifax, Canada)
Key Note Lecture
Minimum invasive bridge work Pin-bridge

講演・発表

24. 2004 年 6 月 7 日　Kyungpook National University School of Dentisry（韓国）
特別講演
Minimum invasive bridge work - Pin-bridge -

25. 2004 年 5 月 22-23 日　第 111 回日本補綴歯科学会学術大会（東京）
シンポジウム「8020 と補綴臨床」
8020 に対する補綴学的文献レビュー

26. 2004 年 6 月 19 日　第 5 回日本歯科麻酔学会関西地方会（大阪）
米国の Orofacial Pain Center における顎顔面痛疾患に対する取り組み

27. 2004 年 7 月 8 日　第 100 回大阪大学歯学会例会特別講演（大阪，大阪大学）
顎関節症のエビデンス　－後ろ向きコホート研究とランダム化比較試験から－

28. 2004 年 8 月 28 日　平成 16 年度日本補綴歯科学会九州支部学術講演会（福岡）
シンポジウム「補綴治療に必要なチャアーサイドでできる顎機能検査とは」
顎機能検査の信頼性と妥当性

29. 2004 年 9 月 11 日　第 18 回日本顎頭蓋機能学会学術大会（大阪）
教育講演
「受療者の心理的側面を知る」

30. 2004 年 11 月 29 日　日本学術会議咬合学研究連絡委員会 19 期（東京）
シンポジウム「咬合・咀嚼が創る健康長寿」

31. 2005 年 11 月 9 日　第 1 回社会環境医学セミナー（大阪，大阪大学医学部）
Biopsychosocial model に立脚した顎関節症の理解

32. 2006 年 7 月 8 日　第 115 回日本補綴歯科学会学術大会（札幌）
シンポジウム 1　「時間軸からみたリスクファクターと補綴歯科治療」
補綴装置失敗のリスクファクターに関する文献レビュー

33. 2006 年 10 月 13 日　第 5 回日本国際歯科大会（横浜）
シンポジウム「21 世紀の戦略的補綴」
クラウンブリッジを長寿命にする戦略

34. 2007 年 5 月 13 日　第 21 回日本顎関節学会学術講演会 (大阪)
ブラキシズムと顎関節症

35. 2007 年 9 月 1 日　日本歯科医学会平成 19 年度学術講演会 (仙台)
ニーズに応える 21 世紀最新歯科医療　－ MI (Minimal Intervention: 最小限の侵襲) に基づく歯科治療－
欠損補綴と MI

36. 2008 年 3 月 15 日　日本歯科医学会平成 19 年度学術講演会 (京都市)
欠損補綴と MI ニーズに応える 21 世紀最新歯科医療　－ MI(Minimal Intervention：最小限の侵襲) に基づく歯科治療－

37. 2008 年 5 月 24 日　日本接着歯学会緊急シンポジウム「接着ブリッジによる欠損補綴」(東京)
接着ブリッジ　－文献からわかること－

38. 2008 年 9 月 2 日　平成 20 年度社会保険指導者研修会講演 (東京)
新規に導入された接着ブリッジ等の補綴新規歯科治療の新技術

39. 2009 年 4 月 11 日　第 42 回日本顎口腔機能学会学術大会（新潟）
シンポジウム　「顎口腔系の機能評価のガイドライン策定に向けて」
接着ブリッジのガイドライン策定の経験

40. 2009 年 9 月 27 日　第 39 回日本口腔インプラント学会学術大会（大阪）
日本学術会議共催シンポジウム「咀嚼の脳科学」
インプラント治療による咀嚼機能回復と QOL 向上

41. 2010 年 4 月 24 日　第 44 回日本顎口腔機能学会学術大会（広島）
シンポジウム「顎口腔機能評価のガイドライン」
固定性義歯装着者の機能評価のガイドライン

講演・発表

42. 2010 年 6 月 12 日　第 119 回日本補綴歯科学会学術大会（東京）
メインシンポジウム 2「咬合・咀嚼が生体に及ぼす影響を考える　－咬合・咀嚼と睡眠－」
咬合と睡眠時ブラキシズムの関係

43. 2010 年 11 月 13 日　平成 22 年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会（大阪）
歯科医療応用に向けた iPS 細胞研究～歯肉がもつ可能性～
萱島浩輝，江草　宏，矢谷博文

44. 2011 年 7 月 24 日　第 24 回日本顎関節学会学術大会 (広島)
シンポジウム 2　「最新の顎関節治療体系」
2．補綴歯科の立場から

45. 2011 年 9 月 9 日　The 14th Biennial Meeting of International College of Prosthodontists (Hawaii, USA)
Adhesive dental cement

46. 2011 年 10 月 2 日　第 25 回日本口腔リハビリテーション学会学術大会 (横浜)
特別公演
「顎関節症と咬合との関係　－根拠に基づく考察－」

47. 2012 年 7 月 14 日　第 25 回日本顎関節学会学術大会 (札幌)
主題講演
顎関節症の症型分類を再考する

48. 2012 年 12 月 2 日　第 5 回日本総合歯科協議会学術大会 (大阪)
特別講演 II
顎関節症と咬合の関係　－根拠に基づく考察－

49. 2012 年 12 月 8 日　The 8th Biennial Meeting of the Asian Academy of Prosthodontics (Chennai, India)
Resin-bonded Fixed Partial Denture: Minimally Invasive Prosthesis

50. 2013 年 4 月 14 日　2013 Biennial Joint Congress of CPS-JPS-KAP (Jeju Island, Korea)
Conceptual changes of prosthodontic approach for temporomandibular disorders

51. 2013 年 5 月 19 日　日本補綴歯科学会設立 80 周年記念大会 122 回学術大会（福岡）
理事長講演
社会に貢献する補綴歯科臨床の推進

52. 2013 年 6 月 15 日　The 15th International Congress on Adhesive Dentistry (Philadelphia, USA)
Interfacial adhesion between adhesive resin and root canal dentin

53. 2013 年 7 月 20 日　第 26 回日本顎関節学会学術大会（東京）
教育講演
新たな顎関節症の概念とは

54. 2013 年 10 月 23 日　Colloquium on Oral Rehabilitation China 2013 (Beijing, China)
Fixed prosthodontic rehabilitation of oral function

55. 2014 年 5 月 11 日　第 35 回日本顎関節学会学術講演会（大阪）
顎関節症の治療法の歴史的変遷　－咬合治療を中心として－

56. 2014 年 6 月 19 日　日本歯科保存学会 2014 年度春季学術大会（大津）
シンポジウム「これからの日本歯科保存学会に求めること」
健康科学としての歯科保存学への脱皮を望む

57. 2014 年 7 月 19 日　第 27 回日本顎関節学会学術大会（福岡）
メインシンポジウム「世界の潮流から考えるこれからの顎関節症治療：分類，診断基準の変革がもたらすもの」
新たに改訂された日本顎関節学会による顎関節症の病態分類（2013）と診断基準

58. 2016 年 7 月 17 日　第 29 回日本顎関節学会学術大会（箱根町湯本）
メインシンポジウム「顎関節症分類 2013 の実施と検証」
顎関節症病態分類 2013

講演・発表

59. 2016 年 8 月 26 日　第 58 回歯科基礎医学会学術大会（札幌）
日本学術会議シンポジウム「歯科研究における基礎と臨床のシグナル伝達」
口腔顔面痛疾患に対する治療の将来に向けた方向性　基礎研究からのフィードバックに希望はあるか？

60. 2016 年 9 月 24 日　2016 International Congress on Orofacial Pain (Yokohama)
Conceptual changes in the therapeutic approach for temporomandibular disorders in Japan

61. 2017 年 7 月 29 日　日本顎関節学会 30 周年記念シンポジウム（横浜）
関節円板整位療法

62. 2017 年 11 月 11 日　第 45 回日本頭痛学会総会（大阪）
Opening Remarks
日本口腔顔面痛学会共催サテライト企画 「Headache Academy for Dentists」

63. 2018 年 4 月 15 日　第 9 回日本デジタル歯科学会学術大会（岩手）
特別講演
セラミック補綴と接着の現状

64. 2019 年 2 月 10 日　第 46 回日本顎関節学会学術講演会（東京）
顎関節症の病態分類と診断

65. 2020 年 1 月 26　岡山大学歯学部同窓会新年会特別講演（岡山）
私の 35 年の臨床経験から辿り着いた現代の顎関節症の臨床

66. 2020 年 2 月 2 日　令和元年度日本補綴歯科学会関西支部専門医研修会（大阪）
患者中心主義に立脚した顎関節症の臨床

2）特別講義，セミナー

67. 1989 年 9 月 10 日　第 3 回日本顎頭蓋機能学会（大阪）
テーブルデモンストレーション
顎関節症Ⅳ型（骨関節症）の診断と治療

68. 1990 年 4 月 28 日　大阪歯科衛生研究財団主催講演会（大阪）
第 3 の歯科疾患 , 顎関節症が増えている！－その病態の正しい理解と備えのために－
その病態と原因は何か

69. 1990 年 7 月 26 日　香川県歯科医師会主催第 5 回郡市学術研修会（善通寺）
顎関節症の治療法

70. 1990 年 11 月 25 日　富士市歯科医師会学術講演会（富士）
症型分類に基づいた顎関節症の診断と治療

71. 1991 年 1 月 17 日　香川県歯科医師会主催平成 2 年度郡市学術研修会（高松）
顎関節の治療法

72. 1991 年 1 月 20 日　京都府歯科医師会第 6 回学術講演・実習会（京都）
症型分類に基づいた顎関節症の診断と治療

73. 1991 年 2 月 23 日　富士市歯科医師会学術講演会（富士）
症型分類に基づいた顎関節症の診断と治療

74. 1991 年 3 月 1-2 日　徳島大学歯学部歯科放射線学講座セミナー（徳島）
顎関節症の保存的療法

75. 1991 年 3 月 14 日　香川県歯科医師会主催平成 2 年度郡市学術研修会（観音寺）
顎関節の治療法

76. 1992 年 12 月 6 日　岡山大学歯学部同窓会学術講演会（岡山）
顎関節症の保存療法

講演・発表

77. 1993 年 10 月 17 日　広島大学歯学部同窓会卒後研修会（広島）
顎関節症最終処置と予後

78. 1994 年 7 月 7 日　日本顎関節学会主催顎関節セミナー（松本）
「顎関節腔穿刺法の実際とその応用」
顎関節腔パンピングマニピュレーション法による非復位性関節円板前方転位症例の治療

79. 1994 年 9 月 11 日　第 2 回日本顎頭蓋機能学会（大阪）
テーブルデモンストレーション
顎関節雑音を主症状とした顎関節症への対応（症型Ⅲ -1）

80. 1994 年 11 月 20 日　岡山大学歯学部同窓会卒後研修会（岡山）
顎関節症の保存療法

81. 1994 年 11 月 22 日　朝日大学歯学部研修会（岐阜）
顎関節内障の診断と保存療法 －復位性関節円板前方転位－

82. 1995 年 7 月 15 日　日本顎関節学会主催顎関節セミナー（横浜）
「顎関節腔穿刺法の実際とその応用」
顎関節腔パンピングマニピュレーション法による非復位性関節円板前方転位症例の治療

83. 1995 年 9 月 9 日　第 3 回日本顎頭蓋機能学会（大阪）
テーブルデモンストレーション
顎関節症Ⅲ型（相反性クリック）の診断と治療

84. 1995 年 11 月 12 日　新潟大学歯学部同窓会学術講演会（新潟）
顎関節症の補綴的治療法

85. 1998 年 1 月 11 日　岡山大学歯学部歯科補綴学第 1 講座第 9 回同門会総会（岡山）
帰朝報告

86. 1998 年 2 月 12 日　広島大学歯学部第一補綴科教室セミナー（広島）
ケンタッキー大学歯学部 Orofacial Pain Center に学んで

87. 1998 年 2 月 22 日　東京医科歯科大学歯科同窓会第 2 回学術講演会（東京）
顎関節症へのアプローチ
－補綴の立場から－

88. 1998 年 9 月 6 日　第 12 回日本顎頭蓋機能学会（大阪）
テーブルデモンストレーション
日本歯科医師会による顎関節症のガイドラインに基づく治療と実際（Ⅰ・Ⅱ型）

89. 1999 年 6 月 11 日　九州大学歯学部顎関節セミナー（福岡）
顎関節症治療 －将来に向けてなすべきこと，考えるべきこと－

90. 1999 年 6 月 25 日　第 28 回日本口腔外科学会中・四国地方会（岡山）
モーニングセミナー
顎関節症に対するスーパーライザーの使用経験

91. 1999 年 7 月 22 日　第 12 回日本顎関節学会（京都）
ランチョンセミナー
外科医に必要な咬合と顎運動の知識

92. 1999 年 9 月 12 日　第 13 回日本顎頭蓋機能学会（大阪）
テーブルデモンストレーション
咀嚼筋障害（顎関節症Ⅰ型）の診断治療

93. 2000 年 1 月 22 日　北海道大学歯学部例会（札幌）
臨床疫学 ～エビデンスの高い研究結果を得るために～

94. 2000 年 1 月 23 日　北海道大学歯学部歯科補綴学第 1 講座平成 12 年度同門会講演（札幌）
顎関節症の診断と治療

95. 2000 年 4 月 23 日　平成 12 年度岡山大学歯学部同窓会岡山県支部学術講演（岡山）
顎関節症治療の新しい流れ

96. 2000 年 5 月 21 日　広島大学歯学部岡山県支部同窓会・霞会平成 12 年度学術講演（岡山）
最近の顎関節症に対する考え方 ～一般臨床との接点を中心に～

講演・発表

97. 2000 年 7 月 14 日　九州大学歯学部 JICA 研修プログラム（福岡）
Management of Temporomandibular Disorders

98. 2000 年 7 月 14 日　九州大学歯学部顎関節セミナー（福岡）
痛みについて

99. 2000 年 9 月 2 日　第 14 回日本顎頭蓋機能学会プレセミナー（大阪）
触診を学ぶ

100. 2000 年 11 月 14 日　平成 12 年度広島大学歯学部大学院セミナー（広島）
臨床疫学の基本的知識 〜良い臨床研究を行うために〜

101. 2001 年 8 月 17 日　九州大学歯学部 JICA 研修プログラム
Management of Temporomandibular Disorders

102. 2001 年 11 月 18 日　大阪大学歯学部同窓会第 60 回学術講演会（大阪）
一般臨床医が取り組む顎関節症の診断と治療

103. 2001 年 12 月 7 日　平成 13 年度福岡歯科大学大学院講義（福岡）
EBD の現状　歯学における臨床研究のデザインと前向き研究

104. 2001 年 12 月 18 日　平成 13 年度広島大学歯学部大学院セミナー（広島）
臨床疫学の基本的知識 良い臨床研究を行うために

105. 2002 年 9 月 13 日　桃太郎フォーラム　2002（岡山）
歯学教育モデル・コア・カリキュラム

106. 2002 年 12 月 6 日　福岡歯科大学大学院セミナー（福岡）
臨床疫学の基本的知識 －よい臨床研究を行うために－

107. 2002 年 12 月 10 日　広島大学大学院特別講義（広島）
臨床疫学の基本的知識 －よい臨床研究を行うために－

108. 2003 年 7 月 23 日　東京歯科大学大学院セミナー（東京）
顎関節症を正しく理解する

109. 2003 年 8 月 20 日　平成 15 年九州大学大学院歯学研究院 JICA 研修プログラム講義(福岡)
Paradigm shift in dental education Case-based learning

110. 2003 年 12 月 2 日　第 51 回国際歯科研究学会日本部会 公開市民シンポジウム（大阪）
「口の悩みを科学する」あごがごりごり痛い－顎関節症

111. 2004 年 1 月 15 日　福岡歯科大学特別講義（福岡）
臨床疫学の基本的知識　－よい臨床研究を行うために－

112. 2004 年 7 月 29 日　広島大学歯学部特別講義（広島）
オーラルリハビリテーションの適応と臨床

113. 2004 年 8 月 16 日　JICA 講義（九州）
Paradigm Shift in Dental Education Case -Based Learning

114. 2004 年 12 月 5 日　大阪大学歯学部同窓会第 66 回学術講演会（）
接着歯学が拓く明日の臨床－ミニマムインターベンションとロンジェビティーを求めて－

115. 2004 年 12 月 15 日　岡山大学歯学部顎口腔機能制御学分野特別講義（岡山）
接着歯学　基礎編

116. 2005 年 1 月 18 日　福岡歯科大学特別講義（福岡）
臨床疫学の基本的知識　－よい臨床研究を行うために－

117. 2005 年 2 月 20 日　平成 16 年度接着歯学会臨床セミナー（大阪）
ラミネートベニアの基礎と臨床
矢谷博文，六人部慶彦

118. 2005 年 7 月 14 日　広島大学歯学部特別講義（大阪）
オーラルリハビリテーションの適応と臨床

講演・発表

119. 2005 年 8 月 17 日　九州大学 JICA 講義（福岡）
Paradigm Shift in Dental Education Case-Based Learning

120. 2005 年 11 月 20 日　大阪大学歯学部同窓会臨床研修セミナー（大阪）
ラミネートベニアの基礎と臨床
矢谷博文，中村隆志，六人部慶彦

121. 2005 年 12 月 14 日　岡山大学歯学部特別講義（岡山）
接着歯学　基礎編

122. 2006 年 1 月 29 日　平成 17 年度（社）日本補綴歯科学会関西支部学術大会（京都）
生涯学習公開セミナー「補綴治療における咬合」
咬合と顎関節症

123. 2006 年 2 月 12 日　接着歯学会平成 17 年度臨床セミナー＜ベーシックコース＞
ラミネートベニア修復の基礎と臨床
矢谷博文，六人部慶彦

124. 2006 年 7 月 27 日　広島大学歯学部特別講義（広島）
オーラルリハビリテーションの適応と臨床

125. 2006 年 8 月 22 日　九州大学歯学部 JICA 講義（福岡）
Paradigm Shift in Dental Education, Case-Based Learning

126. 2006 年 12 月 13 日　岡山大学歯学部特別講義（岡山）
接着歯学　基礎編

127. 2007 年 9 月 26 日　北京首都医科大学口腔医学院学術講演会 (北京)
Prosthodontic Treatment Based on Minimal Intervention

128. 2007 年 7 月 5 日　広島大学歯学部特別講義 (広島)
オーラルリハビリテーションの適応と臨床

129. 2007 年 8 月 10 日　九州大学歯学部 JICA 講義 (福岡)
Paradigm Shift in Dental Education, Case-Based Learning

130. 2007 年 12 月 19 日　岡山大学歯学部特別講義 (岡山)
接着歯学　基礎編

131. 2008 年 7 月 9 日　九州大学大学院歯学研究院講義（福岡）
チュートリアル教育

132. 2008 年 9 月 26 日　北京首都医科大学口腔医学院学術講演会 (北京)
Prosthodontic treatment based on minimal intervention

133. 2008 年 11 月 6 日　広島大学歯学部特別講義（広島）
オーラルリハビリテーションの適応と臨床

134. 2008 年 12 月 17 日　岡山大学歯学部特別講義（岡山）
接着歯学　基礎編

135. 2009 年 10 月 17 日　大阪大学大学院歯学研究科　第 7 回市民フォーラム（大阪）
「口福への誘い　歯科診療の新展開」
顎関節症ってどんな病気

136. 2009 年 12 月 16 日　岡山大学歯学部特別講義（岡山）
接着歯学　基礎編

137. 2010 年 1 月 28 日　広島大学歯学部特別講義（広島）
接着ブリッジ

138. 2010 年 1 月 28 日　九州大学大学院講義（福岡）
歯科臨床研究をデザインする　－質の高い研究をめざして－

139. 2010 年 9 月 12 日　大阪大学歯学部同窓会第 72 回学術研修会（大阪）
補綴の治療オプションを広げよう！　－接着ブリッジ・スプリント－

講演・発表

140. 2010 年 12 月 15 日　岡山大学歯学部特別講義（岡山）
接着歯学　基礎編

141. 2011 年 1 月 13　広島大学歯学部特別講義（広島）
接着ブリッジ

142. 2011 年 10 月 16 日　大阪大学歯学部創立 60 周年記念　オープンフェスタ in Suita(大阪)
顎関節症に診断と治療は難しくない

143. 2011 年 11 月 16 日　北京首都医科大学口腔医学院学術講演会 (Beijing, China)
Resin-bonded fixed partial dentures

144. 2011 年 12 月 14 日　岡山大学歯学部特別講義（岡山）
接着歯学

145. 2012 年 2 月 2 日　広島大学歯学部特別講義（広島）
顎関節症

146. 2012 年 2 月 19 日　大阪大学歯科補綴学第 2 教室同門会特別講演 (大阪)
睡眠時ブラキシズム

147. 2012 年 4 月 1 日　東北大学大学院歯学研究科口腔機能形態学講座口腔システム補綴学分野同門会「綴友会」特別講演（仙台）
接着ブリッジの臨床

148. 2012 年 9 月 2 日　平成 24 年度日本補綴歯科学会中国・四国・九州支部合同学術大会（広島）
生涯学習公開セミナー　「接着ブリッジを極める」
接着ブリッジ　－最小限の生体侵襲による効果的な少数歯欠損補綴法－

149. 2012 年 11 月 15 日　長崎大学歯学部特別講義 (長崎)
エビデンスに基づいた患者中心の顎関節症の臨床

150. 2012 年 12 月 25 日　九州大学歯学研究院特別講義（福岡）
TMD 治療法の歴史的変遷をたどる

151. 2013 年 1 月 9 日　広島大学大学院医歯薬保健学研究科先端歯科補綴学教室勉強会（広島）
接着ブリッジの臨床

152. 2013 年 1 月 10 日　広島大学歯学部特別講義（広島）
接着ブリッジ

153. 2013 年 1 月 30 日　岡山大学歯学部特別講義（岡山）
非歯原性歯痛

154. 2013 年 1 月 26 日　日本歯学系学会協議会第 6 回シンポジウム「社会が求める歯科における専門医制のあり方」（東京）
日本補綴歯科学会における取り組みを通して考えた歯科医療の専門医制度のあり方

155. 2013 年 3 月 30 日　平成 24 年度日本接着歯学会認定医研修会（大阪）
保険導入された臼歯接着ブリッジの臨床　－設計と支台歯形成の要点－

156. 2014 年 1 月 21 日　九州大学歯学部特別講義（福岡）
非歯原性歯痛

157. 2014 年 1 月 26 日　日本補綴歯科学会　疫学調査委員会･学術委員会合同シンポジウム（横浜）
シンポジウム「補綴歯科学が担う口腔の健康と健康長寿　－明るい超高齢社会の実現－」
公益社団法人 日本補綴歯科学会のめざす疫学調査研究

158. 2014 年 1 月 29 日　岡山大学歯学部特別講義（岡山）
非歯原性歯痛

159. 2014 年 1 月 30 日　長崎大学歯学部特別講義（長崎）
質の高い歯科臨床研究をデザインする

160. 2014 年 3 月 27 日　神奈川歯科大学特別講義（横須賀）
新たな顎関節症の概念

161. 2014 年 10 月 1 日　日本歯科大学新潟生命歯学部歯科補綴学第２講座同門会特別講演（新潟）
臨床エビデンスに基づいた歯科臨床をめざして

講演・発表

162. 2014 年 10 月 6 日　東北大学歯学部特別講義（仙台）
接着ブリッジ

163. 2014 年 10 月 7 日　広島大学歯学部特別講義（広島）
Resin-bonded Fixed Partial Denture Minimally Invasive Prosthesis

164. 2015 年 10 月 5 日　東北大学歯学部特別講義（仙台）
接着ブリッジ

165. 2015 年 10 月 16 日　九州大学大学院特別講義（福岡）
CAD / CAM システムを用いた審美補綴歯科治療

166. 2015 年 11 月 5 日　徳島大学歯学部特別講義（徳島）
接着歯学

167. 2015 年 11 月 17 日　広島大学大学院特別講義（広島）
Resinn-bonded Fixed Partial Denture : Minimally Invasive Prosthesis

168. 2016 年 1 月 20 日　岡山大学歯学部特別講義（岡山）
接着歯学

169. 2016 年 9 月 1 日　鶴見大学歯学部特別講義（神奈川）
顎関節症の診断と治療の歴史的変遷をたどる

170. 2016 年 10 月 3 日　東北大学歯学部特別講義（仙台）
接着ブリッジ

171. 2016 年 11 月 15 広島大学歯学部特別講義（広島）
Resin-bonded Fixed Partial Denture: Minimally Invasive Prosthesis

172. 2016 年 11 月 21 九州大学大学院特別講義（福岡）
接着支台築造－術後トラブルのない支台築造をめざして－

173. 2016 年 11 月 24 徳島大学特別講義（徳島）
接着歯学

174. 2017 年 9 月 29 日　鶴見大学歯学部特別講義（横浜）
接着ブリッジの臨床 －設計から装着まで－

175. 2017 年 10 月 6 日　大阪大学大学院 PBL プログラム（吹田）
口腔顔面痛学総論

176. 2017 年 11 月 8 日　徳島大学キャリアアップ講演会（徳島）
CAD/CAM 冠の臨床　－ CAD/CAM 冠の材料特性と臨床上の要点－

177. 2017 年 11 月 9 日　徳島大学特別講義（徳島）
接着歯学

178. 2017 年 11 月 12 日　九州大学歯学部特別講義（福岡）
接着歯学

179. 2017 年 11 月 27 日　東北大学歯学部特別講義（仙台）
接着歯学と固定性補綴

180. 2017 年 11 月 29 日　岡山大学歯学部特別講義（岡山）
接着歯学

181. 2018 年 9 月 7 日　鶴見大学歯学部特別講義（横浜）
接着ブリッジの臨床 －設計から装着まで－

182. 2018 年 10 月 19 日　大阪大学大学院 PBL プログラム（吹田）
口腔顔面痛学総論

183. 2018 年 11 月 5 日　東北大学歯学部特別講義（仙台）
接着歯学と固定性補綴

講演・発表

184. 2018 年 11 月 8 日　徳島大学歯学部特別講義（徳島）
接着歯学

185. 2018 年 11 月 27 日　九州大学歯学部特別講義（福岡）
接着歯学

186. 2018 年 11 月 28 日　岡山大学歯学部特別講義（岡山）
接着歯学

187. 2019 年 9 月 13 日　鶴見大学歯学部特別講義（横浜）
カンチレバー接着ブリッジの勧め

188. 2019 年 10 月 11 日　大阪大学大学院 PBL プログラム（吹田）
口腔顔面痛学総論

189. 2019 年 11 月 14 日　徳島大学歯学部特別講義（徳島）
接着歯学

190. 2019 年 11 月 18　東北大学歯学部特別講義（仙台）
接着歯学と固定性補綴

191. 2019 年 11 月 26 日　九州大学歯学部特別講義（福岡）
接着歯学

192. 2019 年 12 月 3 日　岡山大学歯学部特別講義（岡山）
接着歯学

3）歯科医師会，スタディグループ，企業等での講演

193. 1990 年 2 月 22 日　松風デンタルサロン第 115 回例会（京都）
顎関節症の診断と治療

194. 1991 年 4 月 14 日　モリタ友の会 CLINICULTURE SEMINAR（静岡）
顎関節症に取り組む－症型分類に基づくアプローチ－

195. 1991 年 10 月 6 日　モリタ友の会 CLINICULTURE SEMINAR（京都）
顎関節症に取り組む －症型分類に基づくアプローチ－

196. 1992 年 2 月 16 日　岳洋会学術研修会（名古屋）
臨床家にもできるわかりやすい顎関節症の治療法について

197. 1992 年 2 月 23 日　今治市歯科医師会学術講演会（今治）
顎関節症について

198. 1992 年 3 月 8 日　金沢市歯科医師会学術講演会（金沢）
顎関節症の保存療法

199. 1992 年 6 月 21 日　モリタ友の会 CLINICULTURE SEMINAR（宮崎）
顎関節症に取り組む 一症型分類に基づくアプローチ－

200. 1993 年 1 月 23-24 日 , 4 月 17-18 日 , 8 月 22 日　西日本 MKG ゼミナール学術研修会（福岡）
顎関節症の診断および治療のすべて

201. 1993 年 2 月 7 日　京都府歯科医師会丹後支部講演会（宮津）
症型分類に基づいた顎関節症の診断と治療

202. 1993 年 3 月 6-7 日 , 4 月 10-11 日　SDRG 学術研修会（鹿児島）
顎関節症の症型分類に基づく診断と治療法について

203. 1993 年 7 月 17-18 日　愛媛県歯科医師会学術研修会（松山）
顎関節症治療の実際

204. 1993 年 11 月 13 日　KDR 学術研修会（高知）
顎関節症の診断と治療

講演・発表

205. 1994 年 2 月 20 日　第 36 回福岡県西地区歯科医学会（福岡）
日常臨床における顎関節症 －診査・診断法を中心に－

206. 1995 年 9 月 30 日　府中市歯科医師会学術講演会（府中）
臨床医のための TMD の診断と治療

207. 1998 年 2 月 28 日　岡山市歯科医師会学術臨床放談会（岡山）
顎関節症の正しい理解を求めて

208. 1999 年 8 月 22 日　岐阜県保険医協会学術講演会（岐阜）
慢性顎顔面部疼痛を理解する －鑑別診断と治療の考え方－

209. 1999 年 9 月 19 日　岡山市歯科医師会第 169 回学術臨床放談会（岡山）
顎関節症の保存療法の現在
矢谷博文，水口　一，園山　亘，神坂　学，川端秀治

210. 2000 年 8 月 7 日　岡山健康講座 2000 〜高齢化社会の保健と健康〜（岡山）
かみあわせと健康

211. 2001 年 2 月 17 日　今治歯科医師会学術講演会（今治）
顎関節症の診断と治療の新しい流れ　－ Evidence-Based Dentistry の立場から―

212. 2001 年 4 月 14 日　岡山県歯科医師会第 128 回学術集談会（岡山）
顎関節症におけるスプリント療法

213. 2001 年 7 月 11 日　岡山県歯科医師会スプリント調整法実習セミナー（岡山）
スタビライゼーション型スプリントの製作方法

214. 2001 年 10 月 21 日　岡山県歯科医師会平成 13 年度秋季歯科医学大会（岡山）
顎関節症・口腔顔面痛み外来（仮称）の概要

215. 2001 年 11 月 11 日　平成 13 年度鳥取県歯科医学会（鳥取）
一般臨床医が取り組む顎関節症

216. 2002 年 9 月 29 日　第 41 回広島県歯科医学大会学術講演会（広島）
顎関節症を理解しなおす

217. 2002 年 12 月 7 日　京都府歯科医師会東山支部学術講演会（京都）
プライマリケアとしての顎関節症への取り組み

218. 2003 年 5 月 24 日　岡山大学歯学部同窓会兵庫県支部学術講演会（神戸）
最近の接着歯学の進歩を日常臨床に取り入れる

219. 2003 年 6 月 22 日　第 20 回兵庫県歯科医学大会（神戸）
患者中心主義に立脚した顎関節症の治療

220. 2003 年 11 月 14 日　平成 15 年度　阪大歯学部一補同門会総会（大阪）
私の研究履歴と一補の運営指針

221. 2003 年 11 月 22 日　三田市歯科医師会学術講演会（三田）
接着の導入による日常臨床のグレードアップ

222. 2003 年 11 月 29 日　池田市歯科医師会平成 15 年度第 2 回学術講演会（池田）
一般臨床医が取り組む顎関節症の診断と治療

223. 2004 年 2 月 28 日　金沢スタディーグループ（金沢）
一般臨床医が取り組む顎関節症の診断と治療

224. 2005 年 7 月 10 日　Club GP 講演（大阪）
顎関節症と睡眠時ブラキシズム　－最新の理解－

225. 2005 年 10 月 16 日　平成 17 年度香川県歯科医師会ポストグラジュエートセミナー(高松)
顎関節症に開業医はどう対応するか

226. 2006 年 6 月 24 日　平成 18 年度大阪大学歯学部京都府同窓会講演　（京都）
一般開業医は顎関節症にどうアプローチするか

講演・発表

227. 2006 年 11 月 12 日　平成 18 年度静岡県歯科医師会第 2 回学術大会（静岡）
一般臨床医が取り組む顎関節症の診断と治療

228. 2006 年 12 月 10 日　第 22 回 Club GP 学術講演会（吹田）
ブラキシズム　－真実と神話－

229. 2007 年 2 月 1 日　平成 18 年度滋賀県歯科医師会第 2 回学術講演会 (大津)
一般臨床医は顎関節症にどう取り組むか
－咬合とのかかわりについて－

230. 2007 年 2 月 8 日　平成 18 年度大阪大学歯学部同窓会愛媛県支部講演会 (松山)
ブラキシズム　－神話と真実－

231. 2007 年 4 月 15 日　NPO 口に関する顔の健康づくりフォーラム講演会 (大阪)
一般開業医のためのインプラント講習会―ハンズオン　～インプラント治療の導入を検討されている先生方へ～
矢谷博文，中野　環，楠本直樹

232. 2007 年 7 月 12 日　平成 18 年度滋賀県甲賀支部歯科医師会学術講演会 (滋賀)
一般臨床医は顎関節症にどう取り組むか　－咬合とのかかわりについて－

233. 2007 年 12 月 3 日　第 3 回青空塾講演 (箕面)
私の考える顎関節と咬合の関係

234. 2008 年 2 月 2 日　枚方市歯科医師会平成 19 年度学術講演会 (枚方)
ブラキシズム　－神話と真実－

235. 2008 年 5 月 18 日　大阪府歯科保険医協会学術講演会 (大阪)
接着ブリッジ

236. 2008 年 6 月 8 日　テレビドクター　第 1674 回
～あごの悩みを科学する～

237. 2009 年 5 月 24 日　平成 21 年度沖縄県歯科保険医協会学術講演会（那覇）
接着ブリッジの技法

238. 2009 年 7 月 12 日　Club GP　8 周年記念大会（大阪）
補綴装置の生存率と失敗のリスクファクター

239. 2009 年 10 月 25 日　第 61 回近畿北陸地区歯科医学大会（金沢）
咬合と顎関節症

240. 2010 年 2 月 7 日　平成 21 年度愛媛県歯科医師会学術講演会（愛媛）
一般開業医が取り組む顎関節症の診断と治療

241. 2010 年 5 月 15 日　TDSG 講演会（大阪）
咬合と顎関節症

242. 2010 年 5 月 27 日　西宮市歯科医師会学術講演会（兵庫）
咬合と顎関節症

243. 2010 年 9 月 12 日　西宮市歯科医師会学術講演会（兵庫）
一般臨床医が取り組む顎関節症の診断と治療

244. 2010 年 11 月 20 日　貝塚市歯科医師会学術講演会（大阪）
補綴の治療オプションを広げよう！　－接着ブリッジ・スプリント－

245. 2010 年 12 月 11 日　アサヒスタディグループ講演会（大阪）
咬合と顎関節症

246. 2010 年 12 月 12 日　岡賢二先生主催セミナー（大阪）
咬合と顎関節症

247. 2011 年 2 月 5 日　兵庫県広島大学同窓会学術講演会（神戸）
睡眠時ブラキシズム　－神話と真実－

講演・発表

248. 2011 年 11 月 13 日　平成 23 年度 GC 友の会セミナー（大阪）
実践　顎関節症セミナー

249. 2011 年 11 月 20 日　倉敷市歯科医師会平成 23 年度学術講演会（倉敷）
エビデンスに基づいた患者中心の顎関節症の臨床

250. 2012 年 2 月 12 日　GC 友の会／セミナー（大阪）
実践　顎関節症セミナー　～診断と治療のポイントを学ぶ～

251. 2012 年 4 月 22 日　大阪府歯科保険医協会学術講演会 (大阪)
最小限の生体侵襲による接着ブリッジ

252. 2012 年 5 月 22 日　日本銀行大阪支店第 2 回ランチョンセミナー (大阪)
顎関節症について

253. 2012 年 6 月 16 日　枚方市歯科医師会学術講演（枚方）
接着ブリッジ　－補綴治療オプションを拡げよう！－

254. 2012 年 7 月 29 日　GC 友の会／セミナー（大阪）
実践　顎関節症セミナー　～診断と治療のポイントを学ぶ～

255. 2012 年 9 月 1 日　南あわじ市歯科医師会学術講演会（南あわじ）
エビデンスに基づく顎関節症の臨床アップデート

256. 2012 年 9 月 9 日　三重県保険医協会学術講演会 (津)
最小限の生体侵襲による接着ブリッジ

257. 2012 年 10 月 27 日　神戸市中央区・灘区・東灘区歯科医師会合同学術講演会 (神戸)
接着ブリッジ　―最小限の生体侵襲による効果的な少数歯欠損補綴法―

258. 2012 年 11 月 20 日　2012 DENTSPLY Corporate Clinical Education Advisory Board Meeting (San Francisco, USA)
Trends in Dental Education in Japan

259. 2012 年 12 月 1 日　岸和田市歯科医師会学術講演会（岸和田）
　　接着ブリッジ　－最小限の生体侵襲による効果的な少数歯欠損補綴法－

260. 2013 年 1 月 13 日　和田精密歯研株式会社新春特別講演（大阪）
　　顎関節症

261. 2013 年 2 月 2 日　福山市歯科医師会学術講演会（大阪）
　　エビデンスに基づいた患者中心の顎関節症の臨床

262. 2013 年 3 月 10 日　GC 友の会／セミナー（大阪）
　　実践　顎関節症セミナー　～診断と治療のポイントを学ぶ～

263. 2013 年 4 月 21 日　朋来会（岡山）
　　特別講演「補綴の未来」

264. 2013 年 5 月 11 日　2013 年兵庫県保険医協会歯科部会 5 月歯科定例研究会（神戸）
　　接着ブリッジ　－最小限の生体侵襲による効果的な少数歯欠損補綴法－

265. 2013 年 8 月 7 日　2013 年淡路市歯科医師会学術講演会（淡路）
　　接着ブリッジ　－最小限の生体侵襲による効果的な少数歯欠損補綴法－

266. 2013 年 8 月 25 日　GC 友の会／セミナー（大阪）
　　実践　顎関節症セミナー　～診断と治療のポイントを学ぶ～

267. 2013 年 9 月 8 日　第 447 回大阪大学歯学部臨床談話会（大阪）
　　接着ブリッジ　－最小限の生体侵襲による効果的な少数歯欠損補綴法－

268. 2013 年 12 月 4 日　GC 友の会／セミナー（大阪）
　　実践　顎関節症セミナー　～診断と治療のポイントを学ぶ～

269. 2014 年 3 月 1 日　池田市歯科医師会（池田）
　　顎関節症

講演・発表

270. 2015 年 3 月 29 日　平成 27 年度 GC 友の会セミナー（大阪）
実践　顎関節症セミナー　－診断と治療のポイントを学ぶ－

271. 2015 年 11 月 14 日　平成 27 年度篠山市歯科医師会学術講演会（丹羽篠山）
エビデンスに基づいた患者中心の顎関節症の臨床

272. 2015 年 11 月 29 日　平成 27 年度 GC 友の会セミナー（大阪）
実践　顎関節症セミナー　－診断と治療のポイントを学ぶ－

273. 2016 年 1 月 17 日　平成 28 年度大阪府歯科保険医協会講演会（大阪）
ファイバーポストを用いた接着支台築造法

274. 2016 年 3 月 4 日　平成 28 年度堺市歯科医師会学術講演会 (堺)
ファイバーポストを用いた接着支台築造法　－術後トラブルのない支台築造をめざして－

275. 2016 年 3 月 12 日　平成 28 年度兵庫県歯科医師会学術講演会 (神戸)
顎関節症の新病態分類と初期治療ガイドライン

276. 2016 年 3 月 27 日　平成 28 年度 GC 友の会セミナー (大阪)
実践　顎関節症セミナー　－診断と治療のポイントを学ぶ－

277. 2016 年 5 月 14 日　平成 28 年度第 1 回山口県歯科医師会学術研修会 (宇部)
顎関節症の新病態分類と初期治療ガイドライン

278. 2016 年 6 月 12 日　大阪大学歯学部同窓会第 83 回臨床研修会（大阪）
顎関節症とスプリント治療－正しい診断に基づいた臨床応用－概念の変遷，診察・診断，治療

279. 2016 年 9 月 4 日　平成 28 年度 GC 友の会セミナー (大阪)
実践　顎関節症セミナー　－診断と治療のポイントを学ぶ－

280. 2016 年 10 月 1 日　宮城県保険医協会第 238 回歯学学術講演会 (仙台)
現在の顎関節症治療の考え方

281. 2017 年 3 月 15 日　松風歯科クラブ臨床講座（東京）
日常臨床に接着を生かす

282. 2017 年 3 月 27 日　平成 28 年度 GC 友の会セミナー（大阪）
実践　顎関節症セミナー　－診断と治療のポイントを学ぶ－

283. 2017 年 4 月 1 日　和歌山市歯科医師会前期学術講演会（和歌山）
接着ブリッジの臨床　－設計から装着まで－

284. 2017 年 4 月 2 日　大阪大学歯学部同窓会和歌山県支部学術講演会（和歌山）
CAD/CAM 冠の臨床

285. 2017 年 7 月 9 日　平成 28 年度 GC 友の会セミナー（大阪）
実践　顎関節症セミナー　－診断と治療のポイントを学ぶ－

286. 2018 年 1 月 28 日　平成 28 年度 GC 友の会セミナー（大阪）
実践　顎関節症セミナー　－診断と治療のポイントを学ぶ－

287. 2018 年 8 月 19 日　第 97 回大阪大学歯学部同窓会学術講演会（大阪）
失敗から学ぶ歯冠補綴歯科治療　－ Evidence-Based でその原因を紐解く－
矢谷博文，木林博之，黒住琢磨，大谷恭史，高岡亮太

288. 2018 年 11 月 12 日　クラレノリタケデンタル新潟工場講演（新潟）
教室の最新の研究から

289. 2019 年 1 月 27 日　平成 31 度 GC 友の会セミナー（大阪）
実践　顎関節症セミナー　－診断と治療のポイントを学ぶ－

290. 2019 年 10 月 20 日　令和元年度 GC 友の会セミナー（大阪）
実践　顎関節症セミナー　－診断と治療のポイントを学ぶ－

291. 2020 年 2 月 15 日　令和元年度西宮歯科医師会学術講演会（西宮）
歯科医院で取り組む顎関節症の臨床

講演・発表

292. 2020 年 2 月 16 日　令和元年度 GC 友の会セミナー（大阪）
実践　顎関節症セミナー　－診断と治療のポイントを学ぶ－

■発表■

1. 1985 年 7 月 6 日　第 6 回顎関節研究会（東京）
   新しい顎運動解析装置 K6 Diagnostic System について
   ○矢谷博文，近藤康弘，山見敏明，山下　敦

2. 1985 年 9 月 8 日　昭和 60 年度日本補綴歯科学会中国・四国支部学術大会（岡山）
   義歯に起因した Oral Dyskinesia の一症例
   ○石田　博，玉本光弘，浜田泰三，矢谷博文

3. 1985 年 9 月 22 日　The 4th International College of Craniomandibular Orthopedics (Kyoto)
   New MKG “K6 Diagnostic System” developed for quantitative analysis of the jaw movements
   ○ Yatani H, Yamashita A

4. 1985 年 10 月 5 日　第 6 回岡山歯学会総会（岡山）
   筋疲労に伴う下顎偏位に関する実験的研究
   ○矢谷博文，山下　敦，穴吹昇三，中村慶男，浜田泰三

5. 1985 年 10 月 26 日　第 74 回日本補綴歯科学会学術大会（東京）
   接着ブリッジのリテーナーデザインおよび金属の種類が接着力に及ぼす影響
   その 1．前歯接着ブリッジのリテーナーデザイン
   ○赤城昭子，前田　裕，矢谷博文，山下　敦

6. 1986 年 5 月 29 日　第 77 回日本補綴歯科学会学術大会（盛岡）
   電柱法によりメタルコーピング作製に関する基礎的研究
   その 1．電流密度の変化がコーピング瘡に与える影響
   ○渡辺浩通，十河陽治，矢谷博文，山下　敦，富岡健太郎，京谷郁男

7. 1986 年 6 月 7 日　第 4 回日本接着歯学研究会（東京）
   シリコーターシステムによる接着性レジンの接着強さについて
   ○藤田元英，吉井哲之，矢谷博文，山下　敦

講演・発表

8. 1986 年 7 月 4 日　第 7 回顎関節研究会（大阪）
顎関節症の発症機転解明のための症例別にみた咬合および MKG 所見について
1．復位を伴う片側性関節円板転位症例
○矢谷博文，三島信好，織田和博，柏田聰明，山下　敦

9. 1986 年 9 月 7 日　昭和 61 年度日本補綴歯科学会中国・四国支部学術大会（呉）
簡易型筋電計 EM-2 の臨床応用の可能性に関する基礎的研究
○作田篤代，矢谷博文，三島信好，窪木拓男，山下　敦

10. 1986 年 10 月 24-25 日　第 76 回日本補綴歯科学会学術大会（東京）
筋疲労によって惹起される下顎偏位に関する実験的研究
○窪木拓男，矢谷博文，三島信好，土山孝彦，十河陽治，山下　敦

11. 1986 年 10 月 24-25 日　第 76 回日本補綴歯科学会学術大会（東京）
接着ブリッジのリテーナーデザインおよび金属の種類が接着力に及ぼす影響
その 2．非機能運動が前歯接着ブリッジに及ぼす影響
○赤木昭子，今井誠，近藤康弘，矢谷博文，山下　敦

12. 1987 年 3 月 22 日　The 5th International College of Craniomandibular Orthopedics (Hawaii, USA)
Diagnosis and treatment of TMJ pain dysfunction syndrome based on new concept
○ Yatani H, Kondo Y, Kuboki T, Yamashita A

13. 1987 年 4 月 26 日　第 5 回日本接着歯学研究会（京都）
陶材被着面処理の違いによる接着強さならびに耐久性について
○今井　誠，近藤康弘，矢谷博文，山下　敦

14. 1987 年 7 月 4 日　第 8 回顎関節研究会（新潟）
歯科接着性レジンを用いた顎関節症患者の craniomandibular repositioner と咬合再構成について
○山下　敦，矢谷博文，窪木拓男

15. 1987 年 7 月 4 日　第 8 回顎関節研究会（新潟）
顎関節症の発症機転解明のための症例別にみた咬合および MKG 所見について
２．復位を伴わない片側性関節円板転位症例
○矢谷博文，窪木拓男，山下　敦

16. 1987 年 8 月 30 日　昭和 62 年度日本補綴歯科学会中国・四国支部学術大会（松江）
簡易型筋電計 EM-2 の臨床応用の可能性に関する基礎的研究　その２
○西山則子，矢谷博文，大森　潤，佐藤正喜，山下　敦

17. 1987 年 9 月 12 日　第 1 回日本顎頭蓋機能研究会（大阪）
簡易型筋電計 EM-2 を用いて記録した顎関節症患者の筋電図所見について
○矢谷博文，窪木拓男，岡　延綱，山下　敦

18. 1987 年 9 月 12 日　第 1 回日本顎頭蓋機能研究会（大阪）
テーブルデモンストレーション
MKG データの読み方，特に円板前方転位について
○窪木拓男，矢谷博文，山下　敦

19. 1987 年 9 月 12 日　第 1 回日本顎頭蓋機能研究会（大阪）
テーブルデモンストレーション
EM-2 の使用法とデータの読み方
○矢谷博文，岡　延綱，山下　敦

20. 1987 年 10 月 30 日　第 78 回日本補綴歯科学会学術大会（東京）
筋作業によって惹起される下顎偏位に関する実験的研究 －その２－
○窪木拓男，矢谷博文，天野洋一，岡　延綱，山下　敦

21. 1988 年 5 月 22 日　第 6 回日本接着歯学会学術大会（新潟）
コンポジットレジンによる支台築造の実験的研究
その２．根管内面処理がレジンコアの維持力と辺縁漏洩に及ぼす影響
○中野浩輔，徳村和明，酒井秀之，前田　裕，矢谷博文，山下　敦

講演・発表

22. 1988 年 5 月 26 日　第 79 回日本補綴歯科学会学術大会（東京）
陶材被着面処理の違いによる接着強さに関する基礎的研究
―フッ化物の効果について―
○今井　誠，近藤康弘，矢谷博文，山下　敦

23. 1988 年 5 月 26 日　第 79 回日本補綴歯科学会学術大会（東京）
ビデオセッション
MKG K6 Diagnostic System の利用による関節円板転位の一治験例
―接着技法による咬合再構成―
○矢谷博文，窪木拓男，岡　延綱，山下　敦

24. 1988 年 7 月 1 日　第 1 回日本顎関節学会（名古屋）
顎関節症の発症機転解明のための症例別にみた咬合および MKG 所見について
３．両側性関節円板転位症例
○矢谷博文，窪木拓男，岡　延綱，天野洋一，山下　敦

25. 1988 年 9 月 10-11 日　第 2 回日本顎頭蓋機能学会（大阪）
ヒト関節円板の解剖学的研究
○天野洋一，矢谷博文，窪木拓男，山下　敦

26. 1988 年 9 月 10-11 日　第 2 回日本顎頭蓋機能学会（大阪）
テーブルデモンストレーション
MKG による顎関節内障の鑑別診断について
○窪木拓男，矢谷博文，山下　敦

27. 1988 年 9 月 10-11 日　第 2 回日本顎頭蓋機能学会（大阪）
テーブルデモンストレーション
EM-2 の使用法とデータの読み方
○矢谷博文，岡　延綱，山下　敦

28. 1988 年 9 月 26 日　第 8 回岡山歯学会総会（岡山）
過去 6 年間に装着した接着技法による補綴物の予後成績
○土山孝彦，渡辺浩通，加藤丈晴，近藤康弘，矢谷博文，山下　敦

29. 1988 年 10 月 23 日　第 80 回日本補綴歯科学会学術大会（岐阜）
筋作業によって惹起される下顎偏位に関する実験的研究 －その３－
○窪木拓男，矢谷博文，天野洋一，松香芳三，山下　敦

30. 1988 年 11 月 19 日　第 9 回岡山歯学会総会（岡山）
金属被着面にマイクロリテンションビーズを用いた接着技法について
○加藤丈晴，酒井秀之，野村尚代，近藤康弘，矢谷博文，山下　敦

31. 1989 年 4 月 22 日　The 6th International College of Craniomandibular Orthopedics (Florence, Italy)
Case report of a patient with unilateral anterior disk displacement (reciprocal clicking) treated by MKG K6 Diagnostic System and occlusal bonding porcelain inlays
Yamashita A, ○ Yatani H, Kuboki T

32. 1989 年 5 月 27 日　第 81 回日本補綴歯科学会学術大会（長野）
前歯接着ブリッジのリテーナーデザインおよび金属の種類が接着力に及ぼす影響　その３.
○酒井秀之，野村尚代，近藤康弘，矢谷博文，山下　敦

33. 1989 年 6 月 3 日　第 7 回日本接着歯学会学術大会（東京）
顎関節症の終末治療としてのオクルーザルボンディング
○松香芳三，矢谷博文，窪木拓男，天野洋一，山下　敦

34. 1989 年 7 月 7 日　第 2 回日本顎関節学会（広島）
顎関節内障の保存的治療により生じた顎関節硬組織のリモデリング
○矢谷博文，窪木拓男，天野洋一，山下　敦

35. 1989 年 8 月 27 日　平成元年度日本補綴歯科学会中国・四国支部学術大会（徳島）
接着技法における象牙質被着面処理が接着強さに及ぼす影響
－特にサリチル酸誘導体プライマーを併用した効果について－
○高田由紀，野村尚代，加藤丈晴，近藤康弘，矢谷博文，山下　敦

講演・発表

36. 1989年9月10日　第3回日本顎頭蓋機能学会（大阪）
顎関節症の保存的治療により生じた顎関節硬組織のリモデリング
○窪木拓男，矢谷博文，天野洋一，山下　敦

37. 1989年9月10日　第3回日本顎頭蓋機能学会（大阪）
相反性クリッキングに対する下顎前方整位型スプリントの効果について
○岡　延綱，矢谷博文，山下　敦

38. 1989年9月10日　第3回日本顎頭蓋機能学会（大阪）
テーブルデモンストレーション
顎関節症Ⅲ型（相反性クリッキング）の診断と治療
○窪木拓男，矢谷博文，山下　敦

39. 1989年10月1日　第10回岡山歯学会総会（岡山）
当科における過去8年間の補綴予後成績に関する臨床統計的観察
○近藤康弘，土山孝彦，加藤丈晴，今井　誠，矢谷博文，山下　敦

40. 1989年10月22日　第82回日本補綴歯科学会学術大会（横須賀）
生物学的近似モデルによる顎関節部負荷に関する研究
その1．片側噛みしめ時の左右顎関節部負荷について
○窪木拓男，矢谷博文，天野洋一，松香芳三，岡　延綱，横山智子，山下　敦

41. 1990年5月26日　第83回日本補綴歯科学会学術大会（郡山）
生物力学的近似モデルによる顎関節部負荷に関する研究 その2
－片側咀嚼時の左右顎関節部負荷－
○窪木拓男，矢谷博文，岡　延綱，徳村和明，天野洋一，松香芳三，山下　敦

42. 1990年6月9日　第8回日本接着歯学会学術大会（福岡）
歯科用ポーセレンの被着面処理がレジンの接着強さに及ぼす影響について
○今井　誠，板坂宗生，佐藤正喜，近藤康弘，矢谷博文，山下　敦

43. 1990年7月20日　第3回日本顎関節学会（東京）
実験的顎関節負荷が顎関節構成体に及ぼす影響
○窪木拓男，矢谷博文，天野洋一，松香芳三，山下　敦

44. 1990 年 7 月 20 日　第 3 回日本顎関節学会（東京）
ヒト顎関節の肉眼解剖学的研究
－下顎窩の形態学的特徴と関節円板異常との関連－
○天野洋一，矢谷博文，窪木拓男，Jimenez LF，松香芳三，山下　敦

45. 1990 年 8 月 26 日　平成 2 年度日本補綴歯科学会中国・四国支部学術大会（岩国）
当科における顎関節症の臨床統計的観察
○横山智子 , 矢谷博文 , 窪木拓男 , 天野洋一 , 岡　延綱 , 松香芳三 , 金田貴哲 , 山下　敦

46. 1990 年 9 月 9 日　第 4 回日本顎頭蓋機能研究会（大阪）
スプリント療法とそれに続く下顎位修正により治癒をみた顎関節内障の 2 症例
○矢谷博文，窪木拓男，岡　延綱，天野洋一，松香芳三，木尾正人，山下　敦

47. 1990 年 9 月 9 日　第 4 回日本顎頭蓋機能研究会（大阪）
顎関節症Ⅳ型（変形性顎関節症）の診断と治療
○窪木拓男，矢谷博文，山下　敦

48. 1990 年 10 月 13 日　第 11 回岡山歯学会（岡山）
23 歳台における顎関節症状の疫学的研究
○松香芳三，矢谷博文，窪木拓男，天野洋一，岡　延綱，横山智子

49. 1990 年 10 月 26 日　第 84 回日本補綴歯科学会学術大会（大阪）
新しい少数歯欠損補綴法 －ピンブリッジテクニック－
その 1　ピンホール形成について
○山下　敦，矢谷博文，加藤丈晴，今井　誠

50. 1991 年 5 月 25 日　第 85 回日本補綴歯科学会学術大会（福岡）
顎関節内障患者の下顎運動に関する研究
○木尾正人，矢谷博文，窪木拓男，天野洋一，松香芳三，山下　敦

51. 1991 年 6 月 15 日　第 9 回日本接着歯学会学術大会（千葉）
繰り返し荷重試験によるポーセレンと接着性レジンの接着強さの検討
○今井　誠，松香芳三，近藤康弘，矢谷博文，山下　敦

講演・発表

52. 1991 年 7 月 11-12 日　第 4 回日本顎関節学会（名古屋）
画像重心を用いた下顎頭位に関する研究
○天野洋一，矢谷博文，窪木拓男，松香芳三，畑上雄大，山下　敦

53. 1991 年 7 月 11-12 日　第 4 回日本顎関節学会（名古屋）
顎口腔系の機能と姿勢との関連
第 1 報　正常顎機能者群の直立位における姿勢の角度的分析
○辻　清薫，大森　潤，松香芳三，矢谷博文，窪木拓男，天野洋一，武並康史，山下　敦

54. 1991 年 9 月 1 日　平成 3 年度日本補綴歯科学会中国・四国支部学術大会（倉敷）
新しい少数歯欠損補綴法－ピンブリッジテクニック－
その 2.　臼歯部ピンホール領域およびピンの維持力について
○白井知恵子，今井　誠，加藤丈晴，矢谷博文，山下　敦

55. 1991 年 9 月 7-8 日　第 7 回国際顎頭蓋機能研究会・第 5 回日本顎頭蓋機能研究会（大阪）
顎関節症の最終治療としての咬合再構成と MTM（Minor Tooth Movement）
○窪木拓男，矢谷博文，山下　敦

56. 1991 年 9 月 7-8 日　第 7 回国際顎頭蓋機能研究会・第 5 回日本顎頭蓋機能研究会（大阪）
新たに開発された光重合レジンを用いた各種バイトスプリントの作製法と顎関節症治療への応用
○窪木拓男，矢谷博文，山下　敦

57. 1991 年 9 月 7-8 日　第 7 回国際顎頭蓋機能研究会・第 5 回日本顎頭蓋機能研究会（大阪）
オクルーザルボンディング法により咬合再構成を行った顎関節症患者の遠隔成績
○武並康史，矢谷博文，窪木拓男，山下　敦

58. 1991 年 9 月 21-22 日　World Congress on Prosthodontics. Hiroshima,'91 (Hiroshima)
Prevalence of craniomandibular dysfunction in adult populations of Okayama city, Japan
○ Matsuka Y, Yatani H, Kuboki T, Amano Y, Yamashita A

59. 1991 年 9 月 21-22 日　World Congress on Prosthodontics. Hiroshima,'91 (Hiroshima)
Temporomandibular joint remodeling after conservative treatment of patients with disk displacement
○ Yatani H, Kuboki T, Amano Y, Matsuka Y, Yamashita A

60. 1991 年 10 月 26 日　第 17 回日本歯科医学会総会（大阪）
新たに開発された光重合レジンによるバイトスプリントの作製法
○窪木拓男，矢谷博文，山下　敦

61. 1992 年 6 月 6-7 日　第 87 回日本補綴歯科学会学術大会（徳島）
顎関節症の症型分類による疫学的研究
第 1 報　臨床的症型分類の発症頻度
○松香芳三，窪木拓男，矢谷博文，山下　敦

62. 1992 年 6 月 6-7 日　第 87 回日本補綴歯科学会学術大会（徳島）
新しい少数歯欠損補綴法ピンブリッジについて
○山下　敦，白井知恵子，今井　誠，加藤丈晴，矢谷博文

63. 1992 年 6 月 12 日　第 10 回日本接着歯学会学術大会（札幌）
CAD/CAM 用ポーセレンの被着面処理が接着強さに及ぼす影響
○今井　誠，近藤康弘，矢谷博文，山下　敦

64. 1992 年 7 月 2 日　第 5 回日本顎関節学会（甲府）
顎口腔系の機能と姿勢との関連
第 2 報　顎機能異常者の直立位における姿勢の角度的分析
○辻　清薫，矢谷博文，山下　敦

65. 1992 年 7 月 3 日　The 70th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Glasgow, Scotland)
Prevalence of masticatory muscle and temporomandibular joint disorder in Japan
○ Matsuka Y, Yatani H, Kuboki T, Yamashita A

講演・発表

66. 1992 年 8 月 30 日　平成 4 年度日本補綴歯科学会中国・四国支部学術大会（丸亀）
顎関節牽引療法に関する実験的研究
その 1．スタビライゼーションアプライアンスとリポジショニングアプライアンスの牽引効果
○廣岡徹彦，窪木拓男，矢谷博文，山下　敦

67. 1992 年 9 月 12 日　第 6 回日本顎頭蓋機能研究会（大阪）
下顎位 CR の変遷と顎関節症加療後の下顎位
○山下　敦，矢谷博文，窪木拓男，松香芳三

68. 1992 年 9 月 12 日　第 6 回日本顎頭蓋機能研究会（大阪）
顎関節内障の臨床統計的観察
その 1．復位を伴う関節円板前方転位症例
○矢谷博文，窪木拓男，天野洋一，松香芳三，山下　敦

69. 1992 年 9 月 12 日　第 6 回日本顎頭蓋機能研究会（大阪）
顎関節内障の臨床統計的観察
その 2．復位を伴わない関節円板前方転位症例の治療成績
○矢谷博文，窪木拓男，天野洋一，松香芳三，山下　敦

70. 1992 年 9 月 12 日　第 6 回日本顎頭蓋機能研究会（大阪）
テーブルデモンストレーション
関節雑音を主症状とした顎関節症への対応
○窪木拓男，矢谷博文，山下　敦

71. 1992 年 10 月 23-24 日　第 88 回日本補綴歯科学会学術大会（東京）
コンポジットレジンによる支台歯築造の実験的研究
その 6．繰り返し荷重試験後のレジンコアの維持力
○藤田栄伸，若林　元，近藤康弘，矢谷博文，山下　敦

72. 1992 年 10 月 23-24 日　第 88 回日本補綴歯科学会学術大会（東京）
顎関節症の症型分類による疫学的研究
第 2 報　症型別発症要因の予測
○松香芳三，矢谷博文，山下　敦

73. 1992 年 10 月 31 日　第 13 回岡山歯学会総会（岡山）
画像重心法を用いた下顎位の三次元的把握
○天野洋一，矢谷博文，窪木拓男，松香芳三，畑上雄大，山下　敦

74. 1993 年 3 月 10 日　The 71st General Session and Exhibition of the IADR (Chicago, USA)
Effect of unilateral sustained clenching on the temporomandibular joint
○ Kuboki T, Yamashita A, Yatani H, Matsuka Y

75. 1993 年 4 月 1 日　第 21 回日本歯科理工学会（広島）
象牙質とレジンの接着
－被着面の TEM 観察および接着強さについて－
○水野良司，今井　誠，近藤康弘，矢谷博文，山下　敦，鈴木一臣，中井宏之

76. 1993 年 5 月 28 日　第 89 回日本補綴歯科学会学術大会（札幌）
顎関節牽引療法に関する実験的研究
○窪木拓男，矢谷博文，山下　敦，東　義晴

77. 1993 年 6 月 12-13 日　第 11 回日本接着歯学会学術大会（横浜）
次亜塩素酸ナトリウムを用いた新しい象牙質被着面処理法の歯冠補綴治療への応用
○藤田栄伸，若林　元，今井　誠，矢谷博文，山下　敦

78. 1993 年 6 月 12-13 日　第 11 回日本接着歯学会学術大会（横浜）
セレック CAD/CAM 用ポーセレンの被着面処理法の検討
○今井　誠，佐々木ミッシェル，矢谷博文，山下　敦

79. 1993 年 6 月 12-13 日　第 11 回日本接着歯学会学術大会（横浜）
歯質とレジンの接着
－酸処理象牙質に対する HEA および HEMA 系プライマーの役割－
○鈴木一臣，水野良司，近藤康弘，矢谷博文，山下　敦

80. 1993 年 7 月 2-3 日　第 6 回日本顎関節学会（倉敷）
保存的療法後顎関節断層エックス線写真に二重外形像の出現を認めた顎関節内障患者の短期的予後調査
○天野洋一，畑上雄大，矢谷博文，山下　敦

講演・発表

81. 1993 年 7 月 2-3 日　第 6 回日本顎関節学会（倉敷）
顎関節症の症型分類による疫学的研究
第 3 報　適応群の解析
○松香芳三，矢谷博文，窪木拓男，山下　敦

82. 1993 年 9 月 2 日　第 22 回日本歯科理工学会（北九州）
象牙質とレジンの接着
－被着面の TEM 観察および接着強さについて（その 2）－
○水野良司，近藤康弘，矢谷博文，山下　敦，鈴木一臣，中井宏之

83. 1993 年 9 月 11-12 日　第 1 回日本顎頭蓋機能学会（大阪）
関節円板の復位による周波数スペクトラムの変化
○金田貴哲，窪木拓男，矢谷博文，山下　敦

84. 1993 年 9 月 11-12 日　第 1 回日本顎頭蓋機能学会（大阪）
顎関節内障患者の MR 画像所見と臨床症状との関連
○完山　学，矢谷博文，窪木拓男，山下　敦

85. 1993 年 9 月 11-12 日　第 1 回日本顎頭蓋機能学会（大阪）
テーブルデモンストレーション
咀嚼筋筋電図の読み方とマイオモニターの効果
○松香芳三，矢谷博文，山下　敦

86. 1993 年 9 月 19 日　平成 5 年度日本補綴歯科学会中国・四国支部学術大会（米子）
顎関節内障患者における関節円板位置と下顎頭位との関連の分析
○畑上雄大，天野洋一，矢谷博文，山下　敦

87. 1993 年 9 月 19 日　平成 5 年度日本補綴歯科学会中国・四国支部学術大会（米子）
新規接着レジンセメント「パナビア 21」のシステムと象牙質に対する接着強さの検討
○繁田真人，今井　誠，矢谷博文，山下　敦

88. 1993 年 10 月 9 日　The 8th Annual International College of Craniomandibular Orthopedics (Banff, Canada)
The epidemiological investigation of the relation of biting force acid occlusal contact area to craniomandibular disorder
○ Matsuka Y, Yatani H, Yamashita A

89. 1993 年 10 月 9 日　The 8th Annual International College of Craniomandibular Orthopedics (Banff, Canada)
The conception of appliance for treatment of craniomandibular disorders and effective application of the newly developed material for the appliances
Part 1: the conception of craniomandibular orthopedic (CMO) appliances and their effective applications
Part 2: the treatment outcome after appliance therapy for craniomandibular disorders
○ Yamashita A, Yatani H, Kuboki T, Matsuka Y

90. 1993 年 10 月 9 日　The 8th Annual International College of Craniomandibular Orthopedics (Banff, Canada)
Effect of wearing stabilization and mandibular anteriorly repositioning appliance on the joint space distribution of the temporomandibular joint
○ Kuboki T, Yamashita A Yatani H, Azuma Y

91. 1993 年 10 月 28-29 日　第 90 回日本補綴歯科学会学術大会（北九州）
コンポジットレジンによる支台築造の実験的研究
その 7．繰り返し荷重試験後のレジンコアの維持力
○藤原正治，藤田栄伸，若林　元，今井　誠，矢谷博文，山下　敦

92. 1993 年 10 月 28-29 日　第 90 回日本補綴歯科学会学術大会（北九州）
開口に伴うヒト顎関節空隙量の変化
○武並康史，窪木拓男，矢谷博文，山下　敦，東　義晴

93. 1993 年 12 月 2 日　The 41st Annual Meeting of the Japanese Association for Dental Research (JADR) (Okayama)
Indentability of articular soft tissue in the pig temporomandibular joint
○ Shinoda K, Kuboki T, Yatani H, Yamashita A

講演・発表

94. 1993 年 12 月 2 日　The 41st Annual Meeting of the Japanese Association for Dental Research (JADR) (Okayama)
Effect of sustained incisal clenching on the temporomandibular joint
○ Takenami Y, Kuboki T, Yatani H, Yamashita A, Azuma Y

95. 1994 年 6 月 3-4 日　第 91 回日本補綴歯科学会学術大会（新潟）
ピンブリッジの維持部に形状記憶合金を用いた場合の形態と維持力について
白井知恵子，○今井　誠，矢谷博文，山下　敦

96. 1994 年 6 月 3-4 日　第 91 回日本補綴歯科学会学術大会（新潟）
開口時の顎関節負荷に関する生物力学的研究
○武並康史，篠田一樹，窪木拓男，Orsini MG，矢谷博文，山下　敦

97. 1994 年 6 月 3-4 日　第 91 回日本補綴歯科学会学術大会（新潟）
非接触式 6 自由度下顎運動計測装置の開発
○木尾正人，矢谷博文，山下　敦

98. 1994 年 6 月 11 日　第 12 回日本接着歯学会学術大会（神戸）
新規接着性レジンセメントパナビア 21 の使用条件の違いが接着強さに及ぼす影響について
○若林　元，鈴木一臣，今井　誠，近藤康弘，矢谷博文，山下　敦

99. 1994 年 7 月 17-18 日　第 7 回日本学関節学会（松本）
顎関節内障患者の MR 画像所見と臨床症状との関連性
○矢谷博文，Orsini MG，完山　学，窪木拓男，山下　敦

100. 1994 年 7 月 17-18 日　第 7 回日本学関節学会（松本）
咬合治療により下顎位を変更した顎関節症患者の予後調査
○矢谷博文，松香芳三，窪木拓男，山下　敦

101. 1994 年 8 月 28 日　平成 6 年度日本補綴歯科学会中国・四国支部学術大会（高知）
形状記憶合金を用いたピンブリッジの形態と維持力について
○今井　誠，白井知恵子，矢谷博文，山下　敦

102. 1994 年 9 月 3 日　Osaka International Oral Physiology Symposium 1994 (Osaka)
The influence of occlusal change using onlays on chewing cycle times and masticatory muscle EMG activities during chewing in the rabbits
○ Matsuka Y, Kitada Y, Jitsunari N, Mitoh Y, Yatani H, Yamashita A

103. 1994 年 9 月 10-11 日　第 2 回日本顎頭蓋機能学会（大阪）
顎関節内障診断のための各種臨床症状の発現頻度の調査
○野崎真弘，矢谷博文，前川賢治，山下　敦

104. 1994 年 9 月 10-11 日　第 2 回日本顎頭蓋機能学会（大阪）
咬合は TMD の発症因子か？文献的考察と私たちの考え方
○山下　敦，松香芳三，窪木拓男，矢谷博文

105. 1994 年 9 月 10-11 日　第 2 回日本顎頭蓋機能学会（大阪）
6 自由度下顎運動計測装置の開発
○木尾正人，矢谷博文，山下　敦

106. 1994 年 10 月 15 日　第 15 回岡山歯学会総会（岡山）
顎関節内障に対するパンピングマニピュレーションの適応と治療成績
○矢谷博文，松香芳三，木尾正人，辻　清薫，野崎真弘，廣岡徹彦，山下　敦

107. 1994 年 11 月 3-4 日　第 92 回日本補綴歯科学会学術大会（鹿児島）
顎関節牽引療法に関する実験的研究
その 2．顎関節内障患者における appliance の作用
○廣岡徹彦，武並康史，窪木拓男，矢谷博文，山下　敦，東　義晴

108. 1994 年 11 月 3-4 日　第 92 回日本補綴歯科学会学術大会（鹿児島）
硬質レジン前装冠におけるレジン前装部の接着強さに及ぼすメタルプライマーの効果
○山崎章弘，今井　誠，矢谷博文，山下　敦

109. 1994 年 12 月 10 日　The 42nd Annual Meeting of the Japanese Association for Dental Research (JADR) (Osaka)
Comparison of accompanying symptoms between subjects with and without TMD
○ Tsuji K, Matsuka Y, Yatani H, Yamashita A

講演・発表

110. 1995 年 3 月 10 日　The 24th General Session of the AADR (San Antonio, USA)
Influence of bite raising appliances on masticatory behavior in rabbits
○ Matsuka Y, Kitada Y, Mitoh Y, Yatani H, Adachi A, Yamashita A

111. 1995 年 3 月 10 日　The 24th General Session of the AADR (San Antonio, USA)
Biomechanical modeling of TMJ loading in an open jaw position
○ Takenami Y, Shinoda M, Kuboki T, Yatani H, Yamashita A, Clark GT

112. 1995 年 6 月 9-10 日　第 93 回日本補綴歯科学会学術大会（横浜）
顎関節症診断における顎運動および筋電図診査の有効性の検討
○寺田昌平，矢谷博文，松香芳三，山下　敦

113. 1995 年 6 月 9-10 日　第 93 回日本補綴歯科学会学術大会（横浜）
牛歯深層部象牙質と各種接着性レジンセメントの接着力に関する研究
○藤田栄伸，矢谷博文，山下　敦，鈴木一臣

114. 1995 年 7 月 13 日　第 8 回日本顎関節学会（横浜）
復位性関節円板前方転位にみられる間欠性ロック発生に及ぼす因子の検討
○矢谷博文，前川賢治，松香芳三，山下　敦

115. 1995 年 7 月 13 日　第 8 回日本顎関節学会（横浜）
機能的関節円板前方転位と臨床症状の関連
○矢谷博文，Orsini MG，松香芳三，山下　敦

116. 1995 年 7 月 13 日　第 8 回日本顎関節学会（横浜）
顎機能の正常者群と異常者群における随伴症状のアンケート調査による比較
○辻　清薫，松香芳三，矢谷博文，山下　敦

117. 1995 年 9 月 3 日　平成 7 年度日本補綴歯科学会中国・四国支部学術大会（徳島）
接着性レジンを用いて合着した全部鋳造冠の辺縁漏洩度の測定
○山本道代，福井隆夫，今井　誠，矢谷博文，山下　敦，李　梓鳳

118. 1995 年 9 月 3 日　平成 7 年度日本補綴歯科学会中国・四国支部学術大会（徳島）
顎関節症の臨床症状と側方運動時における歯の接触パターンの関連
○渡辺和美エリゼッテ，矢谷博文，松香芳三，寺田昌平，山下　敦

119. 1995 年 9 月 9 日　第 3 回日本顎頭蓋機能学会（大阪）
顎関節症の治療脱落例および無治療症例の予後調査
○金島拓史，吉本彰夫，松香芳三，矢谷博文，山下　敦

120. 1995 年 9 月 9 日　第 3 回日本顎頭蓋機能学会（大阪）
当科において終診した顎関節症患者のアンケートによる予後調査
○水口　一，藤沢拓生，辻　清薫，松香芳三，矢谷博文，山下　敦

121. 1995 年 10 月 13 日　The 9th International Co11ege of Craniomandibular Orthopedics (Toulouse, France)
The relationship between temporomandibular dysfunction and body posture
○ Tsuji K, Yatani H, Yamashita A

122. 1995 年 10 月 27 日　第 94 回日本補綴歯科学会学術大会（倉敷）
当科で開発した非接触式 6 自由度下顎運動計測装置の改良
○篠田一樹，木尾正人，矢谷博文，山下　敦

123. 1995 年 11 月 26 日　第 18 回日本歯科医学会総会（東京）
第四世代の歯科接着性レジンの臨床応用
○山下　敦，矢谷博文，今井　誠，藤田栄伸，若林　元

124. 1995 年 12 月 16 日　第 8 回日本顎口腔機能学会（名古屋）
スタビライゼーションアプライアンスと下顎前方整位型アプライアンスの顎関節牽引効果
○廣岡徹彦，山下　敦，東　義晴，半井紀昭，武並康史，窪木拓男，矢谷博文

125. 1996 年 3 月 12-17 日　The 74th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (San Francisco, USA)
Age-related, macroscopic hard tissue change in Macaque temporomandibular joint
○ lijima T, Yamashita A, Matsuka Y, Suzuki K, Kuboki T, Yatani H

講演・発表

126. 1996 年 3 月 12-17 日　The 74th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (San Francisco, USA)
The inf1uence of attrition on the Macaque temporomandibular joint
○ Matsuka Y, Iijima T, Suzuki K, Kuboki T, Yatani H, Yamashita A

127. 1996 年 3 月 12-17 日　The 74th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (San Francisco, USA)
Long-term follow-up study on drop-out TMD patients with se1f-administered questionnaires
○ Kaneshima T, Yatani H, Yoshimoto A, Matsuka Y, Kuboki T, Yamashita A

128. 1996 年 3 月 12-17 日　The 74th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (San Francisco, USA)
Effect of occlusal interventions on TMD patient's self-reported treatment outcomes
○ Minakuchi H, Yatani H, Fujisawa T, Matsuka Y, Kuboki T, Yamashita A

129. 1996 年 3 月 16 日　第 14 回日本接着歯学会学術大会（東京）
接着性レジンセメントパナビア 21 の使用条件の違いが接着強さに及ぼす影響について
○藤田　恵，山下　敦，若林　元，今井　誠，藤田栄伸，矢谷博文

130. 1996 年 3 月 16 日　第 14 回日本接着歯学会学術大会（東京）
硬質レジン前装冠前装部の接着強さならびに接着耐久性に及ぼすメタルプライマーの効果
○山崎章弘，今井　誠，矢谷博文，山下　敦

131. 1996 年 6 月 1 日　第 95 回日本補綴歯科学会学術大会（広島）
顎関節症の加療脱落例および無加療症例の予後調査
－ Patient Oriented System による加療の必要性の考察－
金島拓史，○吉本彰夫，松香芳三，窪木拓男，矢谷博文，山下　敦

132. 1996 年 6 月 1 日　第 95 回日本補綴歯科学会学術大会（広島）
咬合治療の有効性に関する顎関節症患者の遠隔予後調査
○水口　一，山下　敦，藤沢拓生，松香芳三，窪木拓男，矢谷博文

133. 1996 年 7 月 12 日　第 9 回日本顎関節学会（東京）
顎関節 MR 画像における関節円板前方転位の読影クライテリアと臨床症状
○寺田昌平，山下　敦，Orsini MG，松香芳三，窪木拓男，矢谷博文

134. 1996 年 7 月 24 日　第 35 回計測自動制御学会（鳥取）
PSD センサを用いた 3 次元下顎運動の計測
○篠田一樹，鷲尾誠一，高垣俊之，山下　敦，矢谷博文，高橋　智

135. 1997 年 3 月 20 日　The 75th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Orlando, USA)
Validity of clinical examination for diagnostic disc displacement without reduction
○ Yatani H, Suzuki K, Maekawa K, Sonoyama W, Kuboki T, Matsuka Y, Yamashita A

136. 1997 年 3 月 20 日　The 75th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Orlando, USA)
Validity of clinical examination for diagnostic disc displacement with reduction
○ Suzuki K, Yatani H, Maekawa K, Sonoyama W, Kuboki T, Matsuka Y, Yamashita A

137. 1997 年 3 月 20 日　The 75th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Orlando, USA)
Temporary cement remnants as an adhesion inhibiting factor in the interface between resin cements and bovine dentin
○ Watanabe EK, Yamashita A, Imai M, Yatani H, Suzuki K

138. 1997 年 10 月 4 日　第 18 回岡山歯学会総会（岡山）
顎関節症の発現に及ぼす遺伝因子の影響（一卵性双生児と二卵性双生児の比較）
○友成隆之，山下　敦，伊藤真午，松香芳三，窪木拓男，矢谷博文

139. 1997 年 11 月 23 日　The 7th Scientific Meeting of the Asian Academy of Craniomandibular Disorders (AACMD)（Sendai）
Diagnostic value of four criteria to interpret temporomandibular joint normal disc position on magnetic resonance images
Orsini MG, ○ Yatani H, Terada S, Kuboki T, Matsuka Y, Yamashita A

講演・発表

140. 1997 年 12 月 6 日　The 45th Annual Meeting of the Japanese Association for Dental Research (JADR)（Tokushima）
Heterodynamic response to cold pressor in chronically painful trapezius muscle
○ Acero Jr CO, Maekawa K, Kuboki T, Kawabata H, Shinoda M, Yatani H, Yamashita A

141. 1998 年 1 月 25 日　第 16 回日本接着歯学会学術大会（岡山）
接着技法における血液汚染の影響
○金島拓史，山下　敦，笠井昭夫，矢谷博文

142. 1998 年 1 月 25 日　第 16 回日本接着歯学会学術大会（岡山）
試作弾性接着性レジン その 1
試作弾性接着材の物理的特性ならびに接着特性について
○吉本彰夫，山下　敦，近藤康弘，鈴木一臣，矢谷博文

143. 1998 年 3 月 5 日　第 27 回慢性疼痛学会（京都）
歯科治療後に発症した Neuropathic Pain の一例
○窪木拓男，井上真実，前川賢治，矢谷博文，山下　敦

144. 1998 年 4 月 19 日　第 31 回日本歯科理工学会（横浜）
試作弾性接着性レジンその 2
歯質に対する接着特性について
○吉本彰夫，山下　敦，近藤康弘，鈴木一臣，矢谷博文

145. 1998 年 4 月 19 日　第 31 回日本歯科理工学会（横浜）
象牙質被着面の仮封材除去法と接着耐久性について
○渡邉和美エリゼッテ，山下　敦，矢谷博文，石川邦夫，鈴木一臣

146. 1998 年 5 月 30 日　第 99 回日本補綴歯科学会学術大会（仙台）
非復位性関節円板前方転位患者における各種の初期治療効果の比較
○水口　一，園山　亘，神坂　学，福田浩之，前川賢治，松香芳三，窪木拓男，矢谷博文，山下　敦

147. 1998 年 5 月 30 日　第 99 回日本補綴歯科学会（仙台）
接着性レジンと象牙質との接着における超音波振動の店用
○笠井昭夫，金島拓史，渡辺和美工リゼッテ，矢谷博文，山下　敦

148. 1998 年 6 月 24-27 日　The 76th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Nice, France)
Comparison of treatment outcome for TMJ disc displacement without reduction
○ Minakuchi H, Sonoyama W, Kamisaka M, Fukuda H, Maekawa K, Matsuka Y, Kuboki T, Yatani H, Yamashita A

149. 1998 年 6 月 24-27 日　The 76th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Nice, France)
Relation between sleep quality and clinical characteristics in TMD patients
○ Yatani H, Studts J, Cordova M, Carison CR, Okeson JP

150. 1998 年 6 月 24-27 日　The 76th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Nice, France)
Longitudinal survival rates of the resin bonded fixed restoration
○ Yamashita A, Tuji K, Kuboki T, Yatani H

151. 1998 年 6 月 24-27 日　The 76th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Nice, France)
MMPs and TIMPs in synovial fluids of TMJ osteoarthritis patients
○ Kanyama M, Kojima S, Fujisawa T, Kuboki T, Yatani H, Yamashita A

152. 1998 年 6 月 24-27 日　The 76th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Nice, France)
Effects of alpha-adrenergic blocker infusion on resting masseter muscle hemodynamics
○ Maekawa K, Kuboki T, Miyawaki T, Shinoda M, Yatani H,Yamashita A, Clark GT

153. 1998 年 6 月 24-27 日　The 76th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Nice, France)
Effects of beta-adrenergic blocker infusion on resting masseter muscle hemodynamics
○ Kuboki T, Maekawa K, Shinoda M, Yatani H, Yamashita A, Shimada M, Clark GT

講演・発表

154. 1998 年 6 月 24-27 日　The 76th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Nice, France)
QOL of dental Implant patients with unilateral lower edentualism
○Suzuki K, Okamoto S, Kuboki T, Kanyama M, Arakawa H, Fukuda H, Sonoyama W, Yatani H, Yamashita A

155. 1998 年 7 月 23 日　第 11 回日本顎関節学会（東京）
サーモグラフィを用いた筋筋膜性疼痛と体表面温度の関係
－冷却負荷に対する体表面温度変化－
○川端秀治，前川賢治，窪木拓男，篠田一樹，矢谷博文，山下　敦，岸　幹二

156. 1998 年 7 月 23 日　第 11 回日本顎関節学会（東京）
変形性顎関節症患者の滑液におけるマトリックスメタロプロテアーゼとそのインヒビターの解析
○完山　学，窪木拓男，小島俊司，水島恒尚，井上真実，矢谷博文，山下　敦

157. 1998 年 8 月 29 日　平成 10 年度日本補綴歯科学会中国・四国支部学術大会（松山）
顎関節症類似の症状を呈した神経障害性疼痛の一例
○小島俊司，窪木拓男，矢谷博文，山下　敦

158. 1998 年 8 月 29 日　平成 10 年度日本補綴歯科学会中国・四国支部学術大会（松山）
欠損歯列を有する患者の QOL 評価
アンケートの信頼性の検討
○岡本壮一郎，鈴木秀典，園山　亘，福田浩之，窪木拓男，矢谷博文，山下　敦

159. 1998 年 9 月 5 日　第 12 回日本顎頭蓋機能学会（大阪）
新しいスプリント材料（フォト CMO21, クラレ）の特徴
○助政安伸，水口　一，前川賢治，金島拓史，窪木拓男，矢谷博文，山下　敦

160. 1998 年 9 月 5 日　第 12 回日本顎頭蓋機能学会（大阪）
歯科治療後に発症した神経障害性疼痛の一例
○窪木拓男，井上真実，前川賢治，矢谷博文，山下　敦

161. 1998 年 9 月 5 日　第 12 回日本顎頭蓋機能学会（大阪）
初診時アンケートによる顎関節症患者の主訴と細病態分類
－形態ベースの分類による治療方針では対応できない主訴について－
○鈴木康司，窪木拓男，前川賢治，矢谷博文，山下　敦

162. 1998 年 11 月 7 日　第 19 回岡山歯学会（岡山）
変形性顎関節症患者の滑液における各種 MMPs と TIMPs の検出
○小島俊司，完山　学，窪木拓男，水島恒尚，園山　亘，矢谷博文，山下　敦

163. 1998 年 11 月 26 日　第 100 回日本補綴歯科学会学術大会（東京）
フッ素含有パナビアフルオロセメントの基礎的検討
－接着強さならびに耐齲蝕性についての評価－
○金島拓史，笠井昭夫，吉本彰夫，矢谷博文，山下　敦

164. 1998 年 11 月 29 日　The 46th Annual Meeting of the Japanese Association for Dental Research (JADR) (Chiba)
The influence of temporary cement remnants in the adhesion between adhesive resin cement to bovine dentin with the deproteination method
○ Watanabe EK, Yamashita A, Yatani H, Ishikawa K, Suzuki K

165. 1999 年 3 月 11 日　77th General Session and Exhibition of the IADR (Vancouver, Canada)
Influence of dentine blood contamination on the adhesive resin cement
○ Kaneshima T, Yatani H, Kasai T, Watanabe EK, Yamashita A

166. 1999 年 5 月 22 日　第 101 回日本補綴歯科学会学術大会（長崎）
咀嚼筋の伸展に伴う筋組織内血流変化に関する研究
○井上真実，前川賢治，鈴木康司，窪木拓男，矢谷博文，山下　敦

167. 1999 年 5 月 22 日　第 101 回日本補綴歯科学会学術大会（長崎）
象牙質と接着性レジンセメントの接着における仮着材の影響
○渡辺和美工リゼッテ，山下　敦，矢谷博文，鈴木一臣

講演・発表

168. 1999 年 7 月 23 日　第 12 回日本顎関節学会（京都）
非復位性関節円板前方転位患者に対する保存療法の短期的治療効果の比較
－無作為化比較対照臨床試験による評価－
○水口　一，窪木拓男，矢谷博文，園山　亘，前川賢治，松香芳三，山下　敦

169. 1999 年 7 月 23 日　第 12 回日本顎関節学会（京都）
軟骨細胞の基質代謝におよぼす周期的メカニカルストレスの影響
○藤沢拓生，服部高子，窪木拓男，矢谷博文，山下　敦，滝川正春

170. 1999 年 7 月 23 日　第 12 回日本顎関節学会（京都）
慢性僧帽筋痛患者の Cold Pressor に対する局所血流動態変化
○ Acero Jr CO，窪木拓男，前川賢治，矢谷博文，山下　敦，Clark GT

171. 1999 年 8 月 29 日　平成 11 年度日本補綴歯科学会中国・四国支部学術大会（呉）
深部象牙質に対する接着におよぼす NC 処理の効果
－ NaOCl 水溶液と増粘剤を添加したゲルとの比較－
○峯　篤史，藤田栄伸，渡辺和美エリゼッテ，大西栄史，金島拓史，矢谷博文

172. 1999 年 8 月 29 日　平成 11 年度日本補綴歯科学会中国・四国支部学術大会（呉）
超音波形成と音波形成の違いによるピンブリッジのピンホール形成精度について
○吉本彰夫，山下　敦，大西栄史，窪木拓男，矢谷博文

173. 1999 年 8 月 29 日　平成 11 年度日本補綴歯科学会中国・四国支部学術大会（呉）
少数歯中間欠損症例におけるインプラント義歯と接着ブリッジの満足度ならびに QOL の比較
○園山　亘，鈴木秀典，水口　一，半井雅昭，荒川　光，完山　学，窪木拓男，矢谷博文，山下　敦

174. 1999 年 9 月 11-12 日　第 13 回日本顎頭蓋機能学会（大阪）
非患者集団における顎関節症症状のリスク因子に関する疫学的検討
○畑中乾志，神坂　学，矢谷博文，松香芳三，Acero Jr CO，水口　一，吉田栄介

175. 1999 年 9 月 11-12 日　第 13 回日本顎頭蓋機能学会（大阪）
顎関節症類似の症状を呈したニューロパシックペインの一例
－血中カルバマゼピン濃度測定の応用－
○上原淳二，小島俊司，窪木拓男，松香芳三，前川賢治，助政安伸，矢谷博文，山下　敦，古野勝志

176. 1999 年 10 月 22-23 日　第 102 回日本補綴歯科学会学術大会（名古屋）
唾液中の齲蝕原性細菌に関する臨床検査の信頼性の比較ならびにクロルヘキシジンの効果
○杉山英樹，山下　敦，水口　一，上原淳二，大西栄史，畑中乾志，吉田栄介，半井雅昭，峯　篤史，縄稚久美子，江口傑徳，荒川　光，窪木拓男，矢谷博文

177. 1999 年 10 月 22-23 日　第 102 回日本補綴歯科学会学術大会（名古屋）
顎関節症状の自然経過ならびに症状発現に関連するリスク要因に関する長期予後調査
○神坂　学，矢谷博文，窪木拓男，松香芳三，水口　一

178. 1999 年 10 月 22-23 日　第 102 回日本補綴歯科学会学術大会（名古屋）
アデノウイルスを用いた顎関節への遺伝子導入の試み
○縄稚久美子，窪木拓男，完山　学，藤沢拓生，園山　亘，江口傑徳，上原淳二，矢谷博文，山下　敦

179. 2000 年 1 月 22 日　第 18 回日本接着歯学会学術大会（東京）
ポーセレンラミネートベニアの歯質との接着に関する研究
－従来型ハロゲン照射器とプラズマ照射器を用いた研究－
○大西栄史，金島拓史，峯　篤史，矢谷博文

180. 2000 年 4 月 7-8 日　The 78th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Washington DC, USA)
QOL assessment of dental implant patients with bounded edentulous spaces
○ Sonoyama W, Okamoto S, Suzuki H, Arakawa H, Kanyama M, Kuboki T, Yatani H, Yamashita A

181. 2000 年 4 月 7-8 日　The 78th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Washington DC, USA)
RCT of initial therapy for anterior disc displacement without reduction
○ Minakuchi H, Kuboki T, Matsuka Y, Maekawa K, Yatani H, Yamashita A

講演・発表

182. 2000年4月7-8日　The 78th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Washington DC, USA)
Four-year longitudinal study on risk factors of TMD symptoms
○ Yatani H, Kamisaka M, Matsuka Y, Hatanaka K, Minakuchi H, Yoshida E, Acero Jr CO

183. 2000年5月29日　第19回日本歯科医学会総会（東京）
ピンブリッジ
－最小の歯質侵襲を実現する接着を応用した新しい少数歯欠損補綴法－
○山下　敦，吉本彰夫，大西栄史，矢谷博文

184. 2000年6月30日　第13回日本顎関節学会（福岡）
Cold Pressor刺激により誘発されるストレス関連ホルモンの唾液中濃度変化
○鈴木康司，上原淳二，井上真実，前川賢治，完山　学，窪木拓男，矢谷博文

185. 2000年6月30日　第13回日本顎関節学会（福岡）
顎関節リモデリングの寄与因子とリモデリングの長期予後に及ぼす影響
○水口　一，神坂　学，吉田栄介，畑中乾志，窪木拓男，矢谷博文

186. 2000年8月5日　第9回硬組織生物学会（東京）
三次元骨梁型連続気孔セラミックフォームの調整とその骨伝導性の検討
○笠井昭夫，石川邦夫，鈴木一臣，矢谷博文

187. 2000年8月6日　第3回Er:YAGレーザー臨床研究会（京都）
Er:YAGレーザー照射歯面の形態学的検討
○峯　篤史，田仲持郎，鈴木一臣，矢谷博文

188. 2000年9月2-3日　第14回日本顎頭蓋機能学会（大阪）
非復位性関節円板前方転位症例の予後予測因子に関する研究
－初診時画像診断所見と臨床経過の関連について－
○神坂　学，畑中乾志，水口　一，窪木拓男，矢谷博文，東　義晴

189. 2000年9月2-3日　第14回日本顎頭蓋機能学会（大阪）
慢性僧帽筋痛患者における筋組織内血流動態に関する研究
－安静時の血流動態特性とそれに対するストレッチ刺激の効果－
○井上真実，Acero Jr CO，前川賢治，水口　一，窪木拓男，矢谷博文

190. 2000 年 9 月 3 日　平成 12 年度日本補綴歯科学会中国・四国支部学術大会（岡山）
ピンスプリント －最小の歯質侵襲を実現する接着を応用した新しいスプリント法－
○大西栄史，山下　敦，吉本彰夫，金島拓史，矢谷博文

191. 2000 年 9 月 3 日　平成 12 年度日本補綴歯科学会中国・四国支部学術大会（岡山）
市販のカリエスリスクテストを用いた唾液中齲蝕原性細菌に対するクロルヘキシジンの殺菌効果に関する臨床的研究
○杉山英樹，水口　一，上原淳二，大西栄史，畑中乾志，吉田栄介，半井雅昭，峯　篤史，縄稚久美子，江口傑徳，窪木拓男，矢谷博文，山下　敦

192. 2000 年 9 月 9 日　第 30 回日本口腔インプラント学会総会（東京）
口腔インプラント患者の分子生物学的マーカーによるリスク評価
－口腔インプラント周囲歯肉溝浸出液中の MMPs の検出－
○荒川　光，上原淳二，小島俊司，水島恒尚，園山　亘，完山　学，窪木拓男，矢谷博文

193. 2000 年 10 月 1 日　第 4 回日本頭蓋下顎障害学会（新潟）
非復位性関節円板前方転位症例における予後予測因子の検討
○友成隆之，水口　一，矢谷博文，西村真紀，畑中乾志，神坂　学，窪木拓男

194. 2000 年 10 月 14-15 日　第 36 回日本歯科理工学会（岡山）
三次元骨梁型連続気孔セラミックフォームの調整とその骨伝導性の検討
○笠井昭夫，石川邦夫，鈴木一臣，矢谷博文

195. 2000 年 10 月 14-15 日　第 36 回日本歯科理工学会（岡山）
歯科用レジンの物性改善
－ UDMA と酸性モノマーで構成される強重合体の諸物性－
○田仲持郎，峯　篤史，Stansbury JW，Antonucci JM，矢谷博文，鈴木一臣

196. 2000 年 10 月 29 日　第 21 回岡山歯学会総会（岡山）
一般市民における顎関節症のリスク要因に関する疫学的検討
○畑中乾志，神坂　学，水口　一，友成隆之，西村真紀，窪木拓男，矢谷博文

講演・発表

197. 2000 年 10 月 29 日　第 21 回岡山歯学会総会（岡山）
ポリマーのネットワーク構造に着目した歯科用レジンの物性改善
○田仲持郎，鈴木一臣，峯　篤史，矢谷博文

198. 2000 年 10 月 29 日　第 21 回岡山歯学会総会（岡山）
Supportive Periodontal Treatment 期にある歯周病患者の根面う蝕発症の実態
○山崎太士，杉　典子，清水明美，前田武将，岡本慎治，塩見信行，竹内加珠，村内利光，新井英雄，西村英紀，高柴正悟，窪木拓男，矢谷博文，村山洋二

199. 2000 年 10 月 29 日　第 21 回岡山歯学会総会（岡山）
外傷に対する歯牙欠損に対しインプラント治療を施行した症例の検討
○田村章規，真野隆充，上山吉哉，岸本晃治，山田庸介，新谷　悟，完山　学，荒川　光，園山　亘，窪木拓男，矢谷博文，松村智弘

200. 2000 年 10 月 29 日　21 回岡山歯学会総会（岡山）
睡眠時無呼吸症候群の治療における医科歯科チームアプローチの試み
○井上栄徳，窪木拓男，宮脇卓也，神　桂二，矢谷博文，佐藤俊樹

201. 2000 年 11 月 10-11 日　第 104 回日本補綴歯科学会学術大会（大阪）
歯面コーティング後の各種表面処理が接着性レジンとの接着に与える影響
○木下晴代，金島拓史，峯　篤史，渡辺和美エリゼッテ，藤田栄伸，矢谷博文

202. 2000 年 11 月 10-11 日　第 104 回日本補綴歯科学会学術大会（大阪）
オクルーザルポーセレンアンレーの臨床成績
○吉田栄介，矢谷博文，水口　一，神坂　学，畑中乾志，窪木拓男

203. 2000 年 11 月 10-11 日　第 104 回日本補綴歯科学会学術大会（大阪）
アデノウイルスベクターによる培養骨芽細胞と骨組織への結合組織成長因子の遺伝子導入
○完山　学，窪木拓男，江口傑徳，縄稚久美子，上原淳二，水島恒尚，園山　亘，藤沢拓生，矢谷博文

204. 2000 年 12 月 3 日　The 48th Annual Meeting of the Japanese Association for Dental Research (JADR)（Chiba）
Soluble TNF receptors detected in synovial fluids from osteoarthritic TMJs
○ Uehara J, Kuboki T, Fujisawa T, Kanyama M, Kojima S, Yatani H

205. 2000 年 12 月 3 日　The 48th Annual Meeting of the Japanese Association for Dental Research (JADR)（Chiba）
Disturbed hemodynamic responses in painful trapezius muscle
○ Acero Jr CO, Kuboki T, Inoue M, Yatani H, Clark GT

206. 2000 年 12 月 3 日　The 48th Annual Meeting of the Japanese Association for Dental Research (JADR)（Chiba）
Quantitative Evaluation of Er:YAG Laser-irradiated bovine teeth
○ Mine A, Tanaka J, Yatani H, Suzuki K

207. 2000 年 12 月 16 日　第 23 回日本分子生物学会（神戸）
ヒト軟骨細胞様培養細胞株 HCS-2/8 における結合組織成長因子 ctgf/ecogenin 遺伝子発現制御機構
○江口傑徳，久保田聡，近藤誠二，服部高子，中西　徹，窪木拓男，矢谷博文，滝川正春

208. 2001 年 1 月 27 日　第 19 回日本接着歯学会学術大会（東京）
深層象牙質に対する接着に及ぼす NC 処理の効果
－ NaOCl 水溶液と増粘剤添加 NaOCl ゲルとの比較－
○峯　篤史，藤田栄伸，渡辺和美エリゼッテ，大西栄史，金島拓史，矢谷博文

219. 2001 年 3 月 8 日　30th Annual Meeting of the AADR (Chicago, USA)
Immunohistochemical localization of connective tissue growth factor during reparative dentinogenesis
○ Sonoyama W, Kuboki T, Komori C, Fujisawa T, Kanyama M, Nakanishi T, Takashiba S, Yatani H, Takigawa M

210. 2001 年 3 月 8 日　30th Annual Meeting of the AADR (Chicago, USA)
Chondrocyte apoptosis in mechanical-stress-induced OA cartilage of the rabbit TMJ
○Fujisawa T, Kuboki T, Kasai T, Mizushima T, Sonoyama W, Nawachi K, Kanyama M, Yatani H, Takigawa M

211. 2001 年 3 月 8 日　30th Annual Meeting of the AADR (Chicago, USA)
Matrix metalloproteinases in gingival crevicular fluids of peri-implantitis patients
○Arakawa H, Kuboki T, Uehara J, Kojima S, Mizushima T, Sonoyama W, Kanyama M, Yatani H

講演・発表

212. 2001 年 3 月 8 日　30th Annual Meeting of the AADR (Chicago, USA)
Adenovirus-mediated CTGF gene delivery to cultured osteoblasts in vitro
○ Kanyama M, Kuboki T, Nakanishi T, Eguchi T, Nawachi K, Mizushima T, Sonoyama W, Fujisawa T, Yatani H, Takigawa M

213. 2001 年 3 月 8 日　30th Annual Meeting of the AADR (Chicago, USA)
Suppressed Cbfa1 expression in prehypertrophic TMJ articular chondrocytes in vitro
○ Kuboki T, Kanyama M, Nawachi K, Sonoyama W, Fujisawa T, Yamaai Y, Nakanishi T, Yatani H, Takigawa M

214. 2001 年 3 月 9 日　第 14 回日本軟骨代謝学会（岐阜）
チロシンキナーゼ型受容体 ErbB4 の軟骨組織における発現
○縄稚久美子，井上美穂，中西　徹，西田　崇，窪木拓男，矢谷博文，滝川正春

215. 2001 年 3 月 9 日　第 14 回日本軟骨代謝学会（岐阜）
ヒト軟骨様細胞における CTGF（結合組織成長因子）の遺伝子発現制御機構
○江口傑徳，久保田聡，近藤誠二，服部高子，窪木拓男，矢谷博文，滝川正春

216. 2001 年 3 月 23 日　The 26th American Academy of Orofacial Pain (Washington DC, USA)
Randomized controlled clinical trial on efficacy of initial treatments for temporomandibular joint disk displacement without reduction
○ Minakuchi H, Kuboki T, Matsuka Y, Maekawa K, Yatani H, Yamashita A

217. 2001 年 3 月 23 日　The 26th American Academy of Orofacial Pain (Washington DC, USA)
Intramuscular hemodynamic response to passive muscle stretching in chronic trapezius myalgia
○ Inoue-Minakuchi M, Maekawa K, Kuboki T, Yatani H, Clark GT

218. 2001 年 6 月 1-2 日　第 105 回日本補綴歯科学会学術大会（東京）
三次元骨梁型連続気孔性多孔体構造の骨補填材の開発とその組織学的評価
○笠井昭夫，石川邦夫，鈴木一臣，窪木拓男，矢谷博文

219. 2001 年 6 月 1-2 日　第 105 回日本補綴歯科学会学術大会（東京）
筋痛者における Cold Pressor 刺激に伴う僧帽筋内血液動態変化
Acero Jr CO，○水口真実，前川賢治，窪木拓男，矢谷博文，Clark GT

220. 2001 年 6 月 1-2 日　第 105 回日本補綴歯科学会学術大会（東京）
繊維性筋痛症患者のβ 2 アドレナリン受容体機能に関する検討
○前川賢治，水口真実，井上栄徳，窪木拓男，矢谷博文，Clark GT

221. 2001 年 6 月 8 日　The 22nd Conference Society of Oral Physiology (Switzerland)
Multivariate analysis of risk factors in relation to TMD symptoms
○ Yatani H, Hatanaka K, Matsuka Y, Minakuchi H, Tomonari T

222. 2001 年 6 月 28-29 日　The 79th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Makuhari)
Effect of CTGF/Hcs24 on proliferation/differentiation of articular chondrocytes in culture
○Mizushima T, Nishida T, Kuboki T, Komori C, Kanyama M, Sonoyama W, Fujisawa T, Nakanishi T, Yatani H, Takigawa M

223. 2001 年 6 月 28-29 日　The 79th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Makuhari)
Long-term clinical evaluation of occlusal porcelain onlays
○ Yatani H, Yoshida E, Minakuchi H, Hatanaka K, Kuboki T

224. 2001 年 6 月 28-29 日　The 79th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Makuhari)
Contralateral joint disc pathology in symptomatically unilateral TMJ ADDWoR patients
○ Minakuchi H, Arita CK, Nishimura M, Kuboki T, Yatani H

225. 2001 年 6 月 28-29 日　The 79th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Makuhari)
TMD signs and symptoms fluctuation among recall patients in clinic
○ Nishimura M, Kageyama T, Matsuka Y, Hatanaka K, Yoshida E, Minakuchi H, Kuboki T, Yatani H

講演・発表

226. 2001 年 6 月 28-29 日　The 79th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Makuhari)
Prevalence of signs and symptoms in patients with internal derangements
○ Arita CK, Yatani H, Nishimura M, Minakuchi H, Kuboki T

227. 2001 年 7 月 26-27 日　第 14 回日本顎関節学会（神戸）
非復位性関節円板前方転位症例の予後予測因子
－関節空隙分布画像と臨床経過の関連－
○水口　一，畑中乾志，西村真紀，窪木拓男，矢谷博文

228. 2001 年 7 月 26-27 日　第 14 回日本顎関節学会（神戸）
ウサギ変形性顎関節症モデルにおける軟骨細胞のアポトーシスの関与
○藤澤拓生，笠井昭夫，窪木拓男，矢谷博文，服部高子，滝川正春

229. 2001 年 7 月 26-27 日　第 14 回日本顎関節学会（神戸）
変形性顎関節症患者の滑液中に存在する腫瘍壊死因子の可溶性レセプター
○上原淳二，窪木拓男，藤澤拓生，完山　学，小島俊司，矢谷博文

230. 2001 年 7 月 26-27 日　第 14 回日本顎関節学会（神戸）
軟骨由来軟骨成長因子（CTGF/Hcs24）を用いた関節軟骨再生療法の検討
○小島俊司，西田　崇，小森千尋，藤澤拓生，窪木拓男，矢谷博文，中西　徹，滝川正春

231. 2001 年 7 月 26-27 日　第 14 回日本顎関節学会（神戸）
限局性筋痛者におけるβ 2 アドレナリン受容体機能
○井上栄徳，前川賢治，鈴木康司，水口真実，窪木拓男，矢谷博文

232. 2001 年 7 月 26-27 日　第 14 回日本顎関節学会（神戸）
卒後臨床研修医のための顎関節 MRI 読影トレーニング
○山下和夫，宮脇正一，井上雅秀，片山　朗，窪木拓男，前川賢治，水口　一，矢谷博文，山本照子

233. 2001 年 7 月 26-27 日　第 14 回日本顎関節学会（神戸）
Cold Pressor 刺激時の視床下部 - 脳下垂体 - 副腎調節ホルモンの血中濃度変化
○鈴木康司，前川賢治，水口真実，井上栄徳，窪木拓男，矢谷博文

234. 2001 年 7 月 28 日　第 4 回 Er:YAG レーザー臨床研究会（京都）
Er:YAG レーザー照射歯面の性状
－第 2 報：照射面の構造および接着強さについて－
○峯　篤史，鈴木一臣，渡辺和美エリゼッテ，矢谷博文

235. 2001 年 8 月 5 日　日本 IMZ・フリアリット -2 インプラント研究会第 7 回学術大会・症例検討会（倉敷）
インプラント周囲炎リスクマーカーとしての MMP-8 の可能性
荒川　光，窪木拓男，小島俊司，園山　亘，完山　学，矢谷博文

236. 2001 年 8 月 8-9 日　第 19 回日本骨代謝学会（名古屋）
ヒト軟骨肉腫由来軟骨様細胞株 HCS-2/8 における結合組織成長因子 CTGF/Hcs24 遺伝子のプロモーター活性決定因子
○江口傑徳，久保田聡，近藤誠二，志茂　剛，中西　徹，窪木拓男，矢谷博文，滝川正春

237. 2001 年 8 月 8-9 日　第 19 回日本骨代謝学会（名古屋）
CTGF/Hcs24 軟骨強制発現トランスジェニックマウスの解析
○縄稚久美子，中西　徹，吉道　玄，中田英二，服部高子，小守嘉文，滝川正春

238. 2001 年 9 月 2 日　平成 13 年度日本補綴歯科学会中国・四国支部学術大会（高松）
支台築造コンポジットレジンの重合率および物性に対するプラズマ照射の効果
○渡辺和美エリゼッテ，Arita CK，峯　篤史，田仲持郎，鈴木一臣，矢谷博文

239. 2001 年 9 月 2 日　平成 13 年度日本補綴歯科学会中国・四国支部学術大会（高松）
一般市民における顎関節症症状変動に関する疫学的検討
－多変量解析によるリスク要因解析－
○中澤義人，畑中乾志，水口　一，土井郁世，西村真紀，窪木拓男，矢谷博文

240. 2001 年 9 月 8-9 日　第 15 回日本顎頭蓋機能学会（大阪）
顎関節内障における顎関節痛と筋痛の関連
○吉田栄介，矢谷博文，水口　一，西村真紀，中澤義人，土井郁世，窪木拓男

241. 2001 年 9 月 8-9 日　第 15 回日本顎頭蓋機能学会（大阪）
一般歯科医院の受診患者における顎関節症の症状と徴候の変動
○西村真紀，景山正登，松香芳三，畑中乾志，吉田栄介，水口　一，窪木拓男，矢谷博文

講演・発表

242. 2001 年 9 月 21 日　第 43 回歯科基礎医学会（大宮）
ヒト軟骨様細胞株 HCS-2/8 における CTGF/Hcs24 遺伝子のプロモーター活性決定因子
○江口傑徳，久保田聡，近藤誠二，志茂　剛，中西　徹，窪木拓男，矢谷博文，滝川正春

243. 2001 年 9 月 21 日　第 43 回歯科基礎医学会（大宮）
マウス下顎頭軟骨における Cbfa1 遺伝子の発現
○秋山謙太郎，窪木拓男，完山　学，縄稚久美子，矢谷博文，山下和夫，山本照子，中西徹，滝川正春

244. 2001 年 9 月 22-23 日　第 31 回日本口腔インプラント学会（福岡）
早期発症型歯周炎患者におけるインプラント治療の経験
○加納みわ，沢木康一，水川展吉，植野高章，高木　慎，菅原利夫，荒川　光，窪木拓男，矢谷博文

245. 2001 年 9 月 22-23 日　第 31 回日本口腔インプラント学会（福岡）
オッセオインテグレーションの獲得と維持からみたオッセオインテグレーテッドインプラントの予後
○完山　学，荒川　光，園山　亘，小島俊司，秋山謙太郎，窪木拓男，矢谷博文

246. 2001 年 10 月 13 日　The 23rd Annual Meeting of the American Society for Bone and Mineral Research (Phoenix, USA)
Promoter activity determinant of human connective tissue growth factor (CTGF/Hcs24) gene in a human chondrocytic cell line, HCS-2/8
○ Eguchi T, Kubota S, Kondo S, Shimo T, Nakanishi T, Kuboki T, Yatani H, Takigawa M

247. 2001 年 10 月 18 日　The 9th Meeting of the International College of Prosthodontists (ICP) (Sydney, Australia)
Lymphocyte β -adrenergic receptor function chronic localized myalgia subjects
○ Maekawa K, Inoue E, Inoue-Minakuchi M, Suzuki K, Kuboki T, Yatani H

248. 2001 年 10 月 18 日　The 9th Meeting of the International College of Prosthodontists (ICP) (Sydney, Australia)
Chondrocyte apoptosis in mechanical-stress-induced OA cartilage of the rabbit TMJ
○ Fujisawa T, Kuboki T, Kasai T, Sonoyama W, Kanyama M, Yatani H, Takigawa M

249. 2001 年 10 月 26-27 日　第 106 回日本補綴歯科学会学術大会（盛岡）
歯面レジンコーティング後の各種表面処理が接着性レジンとの接着耐久性に与える影響
○木下晴代，渡辺和美エリゼッテ，峯　篤史，矢谷博文

250. 2001 年 10 月 26-27 日　第 106 回日本補綴歯科学会学術大会（盛岡）
関節軟骨細胞の増殖・基質合成・石灰化に対する結合組織成長因子の影響
○小森千尋，窪木拓男，園山　亘，藤澤拓生，矢谷博文

251. 2001 年 10 月 26-27 日　第 106 回日本補綴歯科学会学術大会（盛岡）
僧帽筋 MRI-T2 強調画像の Cold Pressor 刺激時信号強度変化
○水口真実，前川賢治，柳　文修，井上栄徳，鈴木康司，窪木拓男，矢谷博文，岸　幹二，Clark GT

252. 2001 年 10 月 26-27 日　第 106 回日本補綴歯科学会学術大会（盛岡）
修復象牙質形成促進時における結合組織成長因子の局在とその発現制御機構
○園山　亘，窪木拓男，江口傑徳，小森千尋，藤澤拓生，完山　学，矢谷博文

253. 2001 年 10 月 26-27 日　第 106 回日本補綴歯科学会学術大会（盛岡）
Minimal Intervention を少数歯欠損補綴法に応用した接着ブリッジの 15 年経過後の臨床的考察
○近藤康弘，山下　敦，矢谷博文

254. 2001 年 10 月 26-27 日　第 106 回日本補綴歯科学会学術大会（盛岡）
補綴治療後の継続管理における Dental Drag Delivery System の位置付け
○山下　敦，上原淳二，矢谷博文

255. 2001 年 11 月 18 日　第 22 回岡山歯学会総会（岡山）
中心咬合位付近で下顎の左方偏位を示した顎関節症患者の顎関節形態と顎口腔機能分析所見
○荒木佳子，宮脇正一，谷本裕子，片山　朗，山本照子，前川賢治，窪木拓男，矢谷博文

256. 2001 年 12 月 10 日　第 24 回日本分子生物学会（横浜）
結合組織成長因子 CTGF の軟骨細胞特異的転写調節因子の探索
○江口傑徳，久保田聡，森谷徳文，椋代義樹，窪木拓男，矢谷博文，滝川正春

講演・発表

257. 2002年3月7-8日　The 80th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (San Diego, USA)
Laser smear layer formed on Er:YAG laser irradiated tooth surfaces
○ Mine A, Suzuki K, Watanabe EK, Yatani H

258. 2002年3月7-8日　The 80th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (San Diego, USA)
CTGF upregulation observed in the rat tooth extraction sockets
○ Kanyama M, Kuboki T, Akiyama K, Miyauchi F, Nawachi K, Yatani H, Kubota S, Nakanishi T, Takigawa M

259. 2002年3月7-8日　The 80th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (San Diego, USA)
Cold-pressor-induced signal intensity change in the T2-weighted trapezius muscle MRI
○ Inoue-Minakuchi M, Yanagi Y, Maekawa K, Kuboki T, Inoue E, Kishi K, Yatani H, Clark GT

260. 2002年3月7-8日　The 80th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (San Diego, USA)
Effects of proinflammatory factors on CTGF expression in odontoblast-like cells
○ Sonoyama W, Kuboki T, Fujisawa T, Eguchi T, Uehara J, Takashiba S, Yatani H, Takigawa M

261. 2002年3月7-8日　The 80th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (San Diego, USA)
Temporomandibular joint space distribution and prognosis of ADDwor patients
○ Minakuchi H, Azuma Y, Maekawa K, Kuboki T, Yatani H

262. 2002年3月7-8日　The 80th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (San Diego, USA)
Beta-adrenergic receptor function in chronic localized myalgia subjects
○ Maekawa K, Inoue E, Inoue-Minakuchi M, Suzuki K, Kuboki T, Yatani H, Clark GT

263. 2002 年 3 月 7-8 日　The 80th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (San Diego, USA)
Disturbed hemodynamics responses in painful trapezius muscle to CP stimulation
○ Kuboki T, Acero Jr CO, Maekawa K, Inoue-Minakuchi M, Yatani H, Clark GT

264. 2002 年 3 月 7-8 日　The 80th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (San Diego, USA)
NO production in mechanical-stress-induced OA cartilage of the rabbit TMJ
○ Fujisawa T, Kuboki T, Kasai T, Sonoyama W, Kojima S, Uehara J, Yatani H

265. 2002 年 4 月 20-21 日　The 1st International Congress on Adhesive Dentistry (Tokyo)
Plasma-arc curing performance in restorative dentistry with respect to porcelain laminate veneer properties
○ Okamoto M, Watanabe K, Kawahara D, Yokomichi Y, Mine A, Yatani H

266. 2002 年 5 月 10 日　第 107 回日本補綴歯科学会学術大会（東京）
オッセオインテグレーションの獲得と維持からみた口腔インプラントの臨床予後評価
○荒川　光，窪木拓男，吹田　猛，園山　亘，完山　学，矢谷博文

267. 2002 年 6 月 22 日　第 12 回中国・四国骨代謝研究会（岡山）
軟骨細胞におけるチロシンキナーゼ型レセプター ErbB4 遺伝子の発現
○縄稚久美子，久保田聡，井上美穂，西田　崇，吉道　玄，中西　徹，完山　学，窪木拓男，矢谷博文，山合友一郎，滝川正春

268. 2002 年 6 月 28 日　第 15 回日本顎関節学会（東京）
顎関節ならびに膝関節の関節軟骨における Cbfa1/Runx2 遺伝子の発現
○窪木拓男，完山　学，中西　徹，秋山謙太郎，縄稚久美子，矢谷博文，山下和夫，山本照子，滝川正春

269. 2002 年 6 月 28 日　第 15 回日本顎関節学会（東京）
有痛性復位性関節円板前方転位患者に対する保存療法の短期的治療効果の比較
－ランダム化比較試験による評価－
○水口　一，矢谷博文，中澤義人，窪木拓男，前川賢治

講演・発表

270. 2002 年 7 月 20 日　第 43 回日本生化学会中国・四国支部例会（広島）
軟骨細胞におけるチロシンキナーゼ型レセプター ErbB4 遺伝子の発現
○縄稚久美子，久保田聡，井上美穂，西田　崇，吉道　玄，中西　徹，完山　学，窪木拓男，矢谷博文，山合友一郎，滝川正春

271. 2002 年 7 月 26 日　第 20 回日本骨代謝学会（岡山）
抜歯後歯槽骨再生時における結合組織成長因子の発現
○秋山謙太郎，完山　学，窪木拓男，中西　徹，縄稚久美子，江口傑徳，久保田聡，矢谷博文，滝川正春

272. 2002 年 8 月 19 日　The 10th World Congress on Pain (San Diego, USA)
Distributed β -adrenergic receptor function in female fibromyalgia patients
○ Maekawa K, Twe C, Chiappeffi E, Clark GT, Kuboki T, Yatani H

273. 2002 年 8 月 25 日　日本 IMZ・フリアリット -2 インプラント研究会第 8 回学術大会・症例検討会（新潟）
天然歯連結タイプとフリースタンドタイプの口腔インプラント上部構造の遠隔予後調査
○杉山英樹，荒川　光，窪木拓男，園山　亘，小島俊司，秋山謙太郎，吹田　猛，縄稚　梢，矢谷博文

274. 2002 年 8 月 30 日　岡山大学大学院医歯学総合研究科課題研究セミナー（岡山）
Er:YAG レーザーによる光学的歯質除去後の欠損部再建法の検討
○峯　篤史，鈴木一臣，矢谷博文

275. 2002 年 9 月 1 日　平成 14 年度日本補綴歯科学会中国・四国支部学術大会（福山）
変形性顎関節症患者の滑液に含まれる腫瘍壊死因子の可溶性レセプター濃度と臨床症状の関係
○上原淳二，窪木拓男，藤沢拓生，小島俊司，前川賢治，矢谷博文

276. 2002 年 9 月 1 日　平成 14 年度日本補綴歯科学会中国・四国支部学術大会（福山）
実際の患者の問題点に基づく少数歯欠損機能回復法に関するチュートリアル教育の試み
○窪木拓男，園山　亘，荒川　光，鈴木康司，藤沢拓生，小島俊司，笠井昭夫，上原淳二，杉山英樹，前川賢治，矢谷博文

277. 2002 年 9 月 15 日　第 16 回日本顎頭蓋機能学会（大阪）
三叉神経および正中神経領域における神経選択的電流知覚閾値（CPT）の性差
○中澤義人，水口　一，窪木拓男，矢谷博文

278. 2002 年 9 月 21-22 日　American Society for Bone and Mineral Research 24th annual meeting (San Antonio, USA)
Promoter activity determinant of human connective tissue growth factor（CTGF/Hcs2A）gene in a human chondrocytic cell line, HCS-2/8
○ Eguchi T, Kubota S, Kondo S, Shimo T, Nakanishi T, Kuboki T, Yatani H, Takigawa M

279. 2002 年 9 月 21-22 日　American Society for Bone and Mineral Research 24th annual meeting (San Antonio, USA)
Effects of IL-1beta and LPS on CTGF expression in mouse-derived odontoblast-like cells, MDPC-23
○ Sonoyama W, Kuboki T, Fujisawa T, Eguchi T, Uehara J, Yatani H, Takigawa M

280. 2002 年 9 月 22 日　第 32 回日本口腔インプラント学会（広島）
日本人を対象にした口腔インプラント生存に関するメタアナリシス
○吹田　猛，荒川　光，窪木拓男，秋山謙太郎，縄稚　梢，小島俊司，園山　亘，完山　学，矢谷博文

281. 2002 年 9 月 22 日　第 32 回日本口腔インプラント学会（広島）
骨膜下インプラント除去後にインプラント治療を行った 1 例
○真野隆充，上山吉哉，山田庸介，澤田誠司，園山　亘，窪木拓男，矢谷博文，松村智弘

282. 2002 年 10 月 4 日　第 44 回歯科基礎医学会（東京）
チロシンキナーゼ型レセプター ErbB4 遺伝子の軟骨細胞における発現
○縄稚久美子，久保田聡，西田　崇，吉道　玄，中西　徹，完山　学，窪木拓男，矢谷博文，山合友一郎，滝川正春

283. 2002 年 10 月 11-12 日　第 108 回日本補綴歯科学会学術大会（名古屋）
三叉神経および正中神経領域における神経選択的電流知覚閾値の性差の検討
○中澤義人，水口　一，窪木拓男，矢谷博文

講演・発表

284. 2002 年 10 月 11-12 日　第 108 回日本補綴歯科学会学術大会（名古屋）
Cold Pressor 刺激時の HPA 系調節ホルモンならびに内因性オピオイドの血中濃度変化
○鈴木康司，前川賢治，中澤義人，窪木拓男，矢谷博文

285. 2002 年 11 月 17 日　第 23 回岡山歯学会総会（岡山）
オッセオインテグレーション獲得を阻害するリスク因子の検討
○縄稚　梢，荒川　光，窪木拓男，杉山英樹，小島俊司，園山　亘，矢谷博文，植野高章，高木　慎，真野隆充，菅原利夫

286. 2002 年 12 月 1 日　The 50th Annual Meeting of the Japanese Association for Dental Research (JADR)（Sendai）
Composite resin cement curing through porcelain laminate using plasma light
○ Okamoto M, Watanabe K, Mine A, Kawahara D, Tsuchimoto Y, Kasai T, Suzuki K, Kondo Y, Yatani H

287. 2003 年 1 月 25 日　第 21 回日本接着歯学会学術大会（新潟）
歯面処理の違いが全部被覆冠の辺縁漏洩に及ぼす影響
○河原大三，近藤康弘，峯　篤史，岡本光晴，土本洋平，渡辺和美エリゼッテ，矢谷博文

288. 2003 年 3 月 14 日　The 32nd Annual Meeting and Exhibition of the AADR (San Antonio, USA)
RCT of treatments for painful anterior disk displacement with reduction
○ Minakuchi H, Nakazawa Y, Maekawa K, Kuboki T, Yatani H

289. 2003 年 4 月 25-26 日　The 2003 Annual Scientific Meeting of the Korean Academy of Prosthodontics and 1st Joint Academic Meeting with Japan Prosthodontic Society (Seoul, Korea)
Trigeminal sensory input and the effect of incisal contact appliance
○ Ishigaki S, Omatsu S, Morishige E, Kurozumi T, Nagayoshi H, Yatani H

290. 2003 年 4 月 25-26 日　The 2003 Annual Scientific Meeting of the Korean Academy of Prosthodontics and 1st Joint Academic Meeting with Japan Prosthodontic Society (Seoul, Korea)
Retrospective evaluation of the patient education in the management of TMD
○ Morishige E, Ishigaki S, Tanaka H, Nagayoshi H, Nakamura M, Yatani H

291. 2003 年 4 月 25-26 日　The 2003 Annual Scientific Meeting of the Korean Academy of Prosthodontics and 1st Joint Academic Meeting with Japan Prosthodontic Society (Seoul, Korea)
Direction of condylar movement during mastication in patients with anterior disc displacement
○ Daifu K, Tamari H, Higashi K, Ishigaki S, Nakamura T, Yatani H

292. 2003 年 5 月 9 日　第 109 回日本補綴歯科学会学術大会（東京）
チタン製補綴物の接着特性に及ぼす表面処理の影響
○土本洋平，吉田靖弘，峯　篤史，窪木拓男，矢谷博文，鈴木一臣

293. 2003 年 5 月 15-18 日　The 23rd Conference of Society of Oral Physiology (formers Store Kro Club) (Leuben, Belgium)
The sex difference of current perception thresholds in trigeminal and median nerve regions
○ Yatani H, Matsuka Y, Minakuchi H, Nakazawa Y

294. 2003 年 6 月 1 日　口腔顔面痛懇話会第 4 回研究会（東京）
持続性神経障害性疾痛患者の服薬状況に関する長期予後経過
○永松千代美，峯　篤史，前川賢治，窪木拓男，矢谷博文

295. 2003 年 6 月 26-28 日　The 81st General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Göteborg, Sweden)
Plasma β -endorphin concentration and pain threshold changes upon CP stimulation
○ Maekawa K, Suzuki K, Nakazawa Y, Kuboki T, Yatani H

296. 2003 年 6 月 26-28 日　The 81st General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Göteborg, Sweden)
Responses of Hypothalamic-Pituitary-Adrenal axis to cold pressor stimulation
○ Suzuki K, Maekawa K, Kuboki T, Yatani H

講演・発表

297. 2003 年 6 月 26-28 日　The 81st General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Göteborg, Sweden)
Fabrication and phase-composition analysis of a macroporous biodegradable ceramics
○ Kasai T, Ishikawa K, Kuboki T, Fujisawa T, Yoshida Y, Suzuki K, Yatani H

298. 2003 年 6 月 26-28 日　The 81st General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Göteborg, Sweden)
Effect of Er:YAG Laser irradiation on compressive properties of dental hard tissues
○ Mine A, Suzuki K, Kuboki T, Yatani H

299. 2003 年 6 月 26-28 日　The 81st General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Göteborg, Sweden)
Tyrosinekinase-type receptor serb84 and m-csfr/cfms gene expression in chondrocytes
○ Nawachi K, Kubota S, Inoue M, Nishida T, Kuboki T, Nakanishi T, Yatani H, Takigawa M

300. 2003 年 6 月 26-28 日　The 81st General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Göteborg, Sweden)
Daily activity limitation and subcategories of TMJ internal derangements
○ Kuroi T, Nakazawa Y, Maekawa K, Kuboki T, Yatani H

301. 2003 年 7 月 10 日　第 16 回日本顎関節学会（鹿児島）
顎関節関節円板転位と肩こりの自覚の関連
○大石浩司，前川賢治，水口　一，窪木拓男，矢谷博文

302. 2003 年 7 月 10 日　第 99 回大阪大学歯学会例会（吹田）
咬合面圧力分布測定システムを用いた咬頭干渉の臨床的評価（口演）
○小野一行，石垣尚一，井上俊二，森重恵美子，中村美紀，矢谷博文

303. 2003 年 7 月 10 日　第 99 回大阪大学歯学会例会（吹田）
行動療法を前提とした TMD のベースラインリスク評価（口演）
○森重恵美子，石垣尚一，長昌弘晃，矢谷博文

304. 2003 年 9 月 7 日　平成 15 年度日本補綴歯科学会中国・四国支部学会（鳥取）
歯根破折防止に繋がる？ファイバーポストの臨床
○山下　敦，Yoshiga S，峯　篤史，土本洋平，函城貴仁，園山　亘，大山龍男，矢谷博文，吉田靖弘，鈴木一臣，窪木拓男

305. 2003 年 9 月 7 日　平成 15 年度日本補綴歯科学会中国・四国支部学会（鳥取）
超音波洗浄や滅菌処置が歯科用金属アレルギーの非破壊的原因金属同定結果に及ぼす影響
○峯　篤史，窪木拓男，長岡紀幸，土本洋平，園山　亘，前川賢治，矢谷博文

306. 2003 年 9 月 7 日　第 42 回日本歯科理工学会学術講演会（盛岡）
チタンの接着に適した表面改質法の検討
○土本洋平，吉田靖弘，峯　篤史，窪木拓男，矢谷博文，鈴木一臣

307. 2003 年 9 月 21 日　第 25 回アメリカ骨代謝学会（ASBMR）(Minneapolis, USA)
A homeobox gene MSX2 stimulates the osteoblastic differentiation of mesenchymal cells in the absence of Cbfa1/Runx2
○ Ichida F, Hata K, Ikeda F, Yamashita K, Matsubara T, Hisada K, Yatani H, Yamaguchi A, Nishimura R, Yoneda T

308. 2003 年 10 月 24-25 日　第 110 回日本補綴歯科学会学術大会（長野）
ファイバーポストを用いた支台築造の応力解析（ポスター）
○大山龍男，中村俊雄，中村隆志，矢谷博文
優秀ポスター賞（デンツプライ賞）

309. 2003 年 10 月 24-25 日　第 110 回日本補綴歯科学会学術大会（長野）
Er:YAG レーザー照射象牙質の脆弱層（レーザースメア層）と接着強さ
○峯　篤史，鈴木一臣，矢谷博文，吉田靖弘，窪木拓男

310. 2003 年 10 月 24-25 日　第 110 回日本補綴歯科学会学術大会（長野）
歯牙削除量の少ないピンテクニック
○山下　敦，矢谷博文，窪木拓男，峯　篤史，土本洋平

講演・発表

311. 2003 年 11 月 7-8 日　The 10th Scientific Meeting of the Asian Academy of Craniomandibular Disorders（Sendai）
Clinical effectiveness of cognitive behavior therapy in the management of TMD
○ Ishigaki S, Morishige E, Yatani H

312. 2003 年 11 月 7-8 日　The 10th Scientific Meeting of the Asian Academy of Craniomandibular Disorders（Sendai）
Changes in head position and weight distribution at the feet during clenching
○ Yoshino G, Mizumori T, Ishigaki S, Yatani H

313. 2003 年 11 月 7-8 日　第 8 回日本頭蓋下顎障害学会学術大会（仙台）
下顎位と身体の重心との関連性に関する臨床的研究
○佐藤順康，吉野源吾，瑞森崇弘，石垣尚一，矢谷博文

314. 2003 年 12 月 3 日　第 12 回日本コンピュータ外科学会（名古屋）
Haptic Device を用いた歯科インプラント手術シミュレーション
○楠本直樹，荘村泰治，若林一道，山田真一，中村隆志，高橋純造，矢谷博文

315. 2003 年 12 月 5-6 日　Greater New York Academy of Prosthodontics 49th Scientific Meeting（New York, USA）
Surface modification of Ti alloy by electro-beam system
○Wakabayashi K, Nakamura T, Sohmura T, Kinuta S, Kojima T, Hirata T, Takahashi J, Yatani H

316. 2004 年 1 月 24-25 日　第 22 回日本接着歯学会学術大会（鹿児島）
グラスファイバーの補強位置がメタルフリー・インレーブリッジの破折強度に及ぼす影響（口演）
○脇　智典，中村隆志，西田尚敬，矢谷博文

317. 2004 年 2 月 29 日　平成 15 年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会（神戸）
咀嚼側の連続性と咀嚼能率の関係（口演）
○新井聖範，椋本美希，小林靖宜，綿本隆生，椿本貴昭，瑞森崇弘，矢谷博文

318. 2004 年 2 月 29 日　平成 15 年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会（神戸）
三叉神経支配領域における温度刺激に対する知覚ならびに疼痛閾値の左右側差（口演）
○廣川雅之，石垣尚一，岡本憲明，森重恵美子，黒住琢磨，井上俊二，矢谷博文

319. 2004 年 3 月 8-10 日　第 77 回日本薬理学会年会（大阪）
神経因性疼痛発症動物の三叉神経脊髄路核での興奮性アミノ酸遊離に関わる一酸化窒素の影響（ポスター）
○藤田豊大，米原典史，金幼虹，矢谷博文，上﨑善規

320. 2004 年 3 月 10-13 日　The 82nd IADR General Session（Honolulu, Hawaii）
Finite element analysis of fiber-reinforced fixed partial dentures（ポスター）
○ Nakamura T, Ohyama T, Nakamura T, Kinuta S, Yatani H

321. 2004 年 3 月 10-13 日　The 82nd IADR General Session（Honolulu, Hawaii）
Design of occlusal appliances suitable for suppressing masticatory muscle activities（ポスター）
○ Ishigaki S, Omatsu S, Morishige E, Kurozumi T, Yatani H

322. 2004 年 3 月 10-13 日　The 82nd IADR General Session（Honolulu, Hawaii）
Surface modification of titanium by electron-beam system（ポスター）
○ Kojima T, Sohmura T, Wakabayashi K, Nakamura T, Takahashi J, Yatani H, Hirata T, Kinuta S

323. 2004 年 3 月 10-13 日　The 82nd IADR General Session（Honolulu, Hawaii）
Function of new jaw-tracking system using a home digital camcorder（ポスター）
○ Kinuta S, Wakabayashi K, Sohmura T, Nakamura T, Yatani H, Takahashi J, Nagao M, Kojima T

324. 2004 年 4 月 11 日　第 43 回日本歯科理工学会学術講演会（千葉）
電子ビームを用いた歯科用金属の表面改質（第 1 報）－表面粗さの変化－（ポスター）
○若林一道，小島哲也，荘村泰治，中村隆志，平田哲也，絹田宗一郎，高橋純造，矢谷博文

講演・発表

325. 2004 年 4 月 11 日　第 43 回日本歯科理工学会学術講演会（千葉）
DV カメラとモーションキャプチャーを応用した簡易型顎運動測定システムの開発（ポスター）
○絹田宗一郎，若林一道，荘村泰治，中村隆志，高橋純造，矢谷博文

326. 2004 年 5 月 22-23 日　第 111 回日本補綴歯科学会学術大会（東京）
咀嚼運動の円滑性と咀嚼能率との関連性（口演）
○綿本隆生，瑞森崇弘，矢谷博文，社浩太郎，高田建治

327. 2004 年 5 月 22-23 日　第 111 回日本補綴歯科学会学術大会（東京）
Laterality in current perception and current pain thresholds of the trigeminal nerve(国際セッション口演)
○ Okamoto N, Ishigaki S, Morishige E, Hirokawa M, Kurozumi T, Yatani H

328. 2004 年 6 月 13 日　第 5 回口腔顔面痛懇談会（新潟）
三叉神経支配領域における温度および微弱電流刺激に対する知覚ならびに疼痛閾値の性差および左右差（ポスター）
○石垣尚一，森重恵美子，廣川雅之，岡本憲明，黒住琢磨，矢谷博文

329. 2004 年 6 月 13 日　第 5 回口腔顔面痛懇談会（新潟）
TMD 患者の初期対応における認知行動療法の臨床的効果（ポスター）
○森重恵美子，石垣尚一，黒住琢磨，岡本憲明，廣川雅之，矢谷博文

330. 2004 年 7 月 1 日　第 23 回日本歯科医学教育学会学術大会（新潟）
本学 2003 年度 4 年次学生のＩＴ能力　－年度開始時と終了時の比較－（ポスター）
○瑞森崇弘，山田真一，矢谷博文

331. 2004 年 7 月 3 日　第 18 回 Bacterial Adherence & Biofilm 学術集会（東京）
Candida albicans 感染時の口腔上皮細胞における Intercellular Adhesion Molecule 1 を介した Interleukin 8 の発現（口演）
○江草　宏，二川浩樹，牧平清超，矢谷博文，浜田泰三

332. 2004 年 7 月 8 日　第 100 回歯学会総会例会（大阪）
少数歯欠損機能回復教育への問題解決型チュートリアル演習の導入（口演）
○山田真一，瑞森崇弘，矢谷博文

333. 2004 年 7 月 8 日　第 100 回歯学会総会例会（大阪）
顎関節・咬合科のおけるインプラント治療に対する最近の取り組み（口演）
○中野　環，山下健二，市田文孝，久田邦博，豊永卓司，楠本直樹，山田真一，矢谷博文，丹羽　均

334. 2004 年 7 月 8-11 日　The 9th Singapore International Dental Exhibition & Conference（Singapore）
Development of precise tooth preparation technique and clinical tips for microscope enhanced dentistry（口演）
○ Hirata T, Nakamura T, Wakabayashi K, Yatani H

335. 2004 年 7 月 8-11 日　The 9th Singapore International Dental Exhibition & Conference（Singapore）
Effect of FRC loading position on fracture load of metal-free inlay-retained fixed partial dentures（口演）
○ Waki T, Nakamura T, Wakabayashi K, Nishida H, Yatani H

336. 2004 年 7 月 18 日　The 8th Asian Academy of Aesthetic Dentistry（Nagoya）
Dynamic facial analysis before and after smile training using motion capture system（ポスター）
○ Kawamura Y, Wakabayashi K, Kinuta S, Okamoto K, Nakamura T, Takahashi J, Yatani H

337. 2004 年 7 月 18 日　The 8th Asian Academy of Aesthetic Dentistry（Nagoya）
In vitro study on marginal and internal fit of CAD/CAM all-ceramic crowns（ポスター）
○ Tanaka H, Kinuta S, Dei N, Wakabayashi K, Akao T, Mutobe Y, Nakamura T, Yatani H

338. 2004 年 8 月 4-6 日　The SICE Annual Conference 2004（Sapporo）
Clinical validity of measuring jerk-cost of jaw movement during speech: Effect of mouthguard design on smoothness of jaw movements（口演）
○ Yashiro K, Nakamura T, Mizumori T, Yatani H, Takada K

339. 2004 年 9 月 11 日　第 18 回日本顎頭蓋機能学会学術大会（大阪）
顎関節症患者の細病態別にみた感情プロフィールの特徴（口演）
○黒住琢磨，矢谷博文，石垣尚一，森重恵美子，中江佳代

講演・発表

340. 2004 年 9 月 23-25 日　第 46 回歯科基礎医学会総会（広島）
骨髄由来幹細胞は遺伝子群の選択的抑制を介して分化する（ポスター）
○江草　宏，西村一郎，矢谷博文

341. 2004 年 9 月 23-25 日　第 46 回歯科基礎医学会総会（広島）
一酸化窒素は神経因性疼痛発症ラットの三叉神経脊髄路核での興奮性アミノ酸のレベルを上げる（ポスター）
○藤田豊大，米原典史，金 幼虹，矢谷博文，上﨑善規

342. 2004 年 9 月 23-25 日　第 46 回歯科基礎医学会総会（広島）
神経切断ラットにおける三叉神経節への電気刺激と三叉神経感覚野の c-Fos 発現との関連性（ポスター）
○下田隆史，阿部徹也，大下修弘，杉生真一，森谷正之，石垣尚一，矢谷博文，吉田　篤，竹村元秀

343. 2004 年 9 月 24 日　第 44 回日本歯科理工学会学術講演会（京都）
電子ビームを用いた歯科用金属の表面改質（第２報）－鋳造チタンへの応用－（ポスター）
○小島哲也，徳永絢子，荘村泰治，野村裕次郎，絹田宗一郎，若林一道，平田哲也，中村隆志，高橋純造，矢谷博文

344. 2004 年 10 月 15 日　第 112 回日本補綴歯科学会学術大会（横須賀）
骨髄由来幹細胞は遺伝子群の選択的抑制を介して分化する（口演）
○江草　宏，西村一郎，松香芳三，矢谷博文

345. 2004 年 10 月 15 日　第 112 回日本補綴歯科学会学術大会（横須賀）
下顎位と身体重心との関連性（口演）
○佐藤順康，瑞森崇弘，矢谷博文

346. 2004 年 10 月 23-27 日　Society For Neuroscience 34th Annual meeting（San Diego, California, USA）
Aberrant c-Fos induction in the trigeminal principal, oral and interpolar nuclei after electrical stimulation of the trigeminal ganglion in nerve transected rat（ポスター）
○ Shimoda T, Abe T, Ohshita M, Sugiyo S, Moritani M, Ishigaki S, Yatani H, Yoshida A, Takemura M

347. 2004 年 10 月 31 日　第 20 回日本歯科医学会総会（横浜）
TMD 患者の慢性筋痛に対する認知行動療法の有効性（ポスター）
○石垣尚一，廣川雅之，森重恵美子，矢谷博文

348. 2004 年 10 月 31 日　第 20 回日本歯科医学会総会（横浜）
ＤＶカメラとモーションキャプチャーを応用した簡易型顎運動測定システムの開発（ポスター）
○絹田宗一郎，若林一道，小島哲也，荘村泰治，中村隆志，高橋純造，矢谷博文

349. 2004 年 11 月 5 日　平成 16 年度日本薬理学会近畿部会（京都）
CalcineurinB の細胞死増強作用（口演）
○伊月悠貴，佐伯万騎男，吉田好紀，矢谷博文，上﨑善規

350. 2004 年 11 月 13 日　第 33 回日本顎口腔機能学会学術大会（大阪）
咬頭干渉部位のチェアサイドにおける検出（口演）
○小野一行，石垣尚一，井上俊二，森重恵美子，黒住琢磨，矢谷博文

351. 2004 年 11 月 13 日　第 33 回日本顎口腔機能学会学術大会（大阪）
大臼歯部への単冠補綴装置装着が咀嚼運動の円滑性に及ぼす影響（口演）
○綿本隆生，瑞森崇弘，矢谷博文，社浩太郎，高田建治

352. 2004 年 12 月 12 日　第 9 回日本口腔顔面痛学会学術大会（福岡）
Multidimensional Pain Inventory (MPI) 日本語版の内容および構成概念妥当性の検討（ポスター）
○岡本憲明，石垣尚一，森重恵美子，黒住琢磨，廣川雅之，中江佳代，鈴木英史，矢谷博文

353. 2005 年 1 月 23 日　平成 16 年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会（大阪）
顎関節症患者の細病態分類別にみた心理プロフィールの特徴　(口演)
○中江佳代，森重恵美子，石垣尚一，戸田雅裕，森本兼曩，矢谷博文

354. 2005 年 1 月 23 日　平成 16 年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会（大阪）
発話時筋電図記録による咀嚼筋の機能評価　第 1 報　再現性の検討　(口演)
○鈴木英史，石垣尚一，森重恵美子，尾松青爾，矢谷博文

講演・発表

355. 2005 年 1 月 23 日　平成 16 年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会（大阪）
審美性を考慮した Modified Ovate Pontic (Fingertip Pontic) の臨床術式 (口演)
○ Kamiya Patricia Mitsue，六人部慶彦，脇　智典，石垣尚一，中村隆志，矢谷博文

356. 2005 年 4 月 16-17 日　第 45 回日本歯科理工学会学術講演会（東京）
ボリュームデータを用いた 3 次元有限要素モデルによるインプラントの応力解析 (ポスター)
○若林一道，荘村泰治，楠本直樹，中野　環，山田真一，中村隆志，山口敦，熊澤洋一，高橋純造，矢谷博文

357. 2005 年 4 月 16-17 日　第 45 回日本歯科理工学会学術講演会（東京）
ニューラルネットワークを用いた顎運動測定システムの開発　第一報　口腔周囲の運動による運動の推定 (ポスター)
○絹田宗一郎，若林一道，小島哲也，徳永絢子，瑞森崇弘，荘村泰治，中村隆志，高橋純造，矢谷博文

358. 2005 年 4 月 16-17 日　第 45 回日本歯科理工学会学術講演会（東京）
歯科へのハプティックデバイスの応用（第 8 報） - フラップレスインプラント手術用サージカルテンプレートと即時負荷用プロビジョナルの作製 - (口演)
○大谷恭史，荘村泰治，楠本直樹，若林一道，中野　環，山田真一，中村隆志，矢谷博文，高橋純造，森島正治，樋口鎮央

359. 2005 年 4 月 16-17 日　第 45 回日本歯科理工学会学術講演会（東京）
電子ビームを用いた歯科用金属の表面改質（第 3 報）－鋳造チタン表面特性の変化－ (ポスター)
○徳永絢子，小島哲也，荘村泰治，野村祐次郎，絹田宗一郎，若林一道，平田哲也，中村隆志，高橋純造，矢谷博文

360. 2005 年 5 月 14-15 日　第 113 回日本補綴歯科学会学術大会（大阪）
性差が三叉神経領域における寒冷昇圧時の温度痛反応閾値と主観的疼痛認識に及ぼす影響 (一般口演)
○石垣尚一，廣川雅之，岡本憲明，尾松青爾，森重恵美子，矢谷博文

361. 2005 年 5 月 14-15 日　第 113 回日本補綴歯科学会学術大会（大阪）
炎症性サイトカイン TNF α の骨芽細胞の分化およびアポトーシスにおける役割　(口演)
○山下健二，市田文孝，久田邦博，田中良祐，豊永卓士，楠本直樹，中野　環，山田真一，矢谷博文

362. 2005 年 5 月 14-15 日　第 113 回日本補綴歯科学会学術大会（大阪）
大臼歯部への単冠補綴装置が咀嚼運動の円滑性に及ぼす影響　(口演)
○綿本隆生，瑞森崇弘，矢谷博文，社浩太郎，高田健治

363. 2005 年 5 月 14-15 日　第 113 回日本補綴歯科学会学術大会（大阪）
In vitro におけるオステオポンチン由来ペプチドの血管平滑筋細胞に及ぼす影響 (ポスター)
○小上典久，濱田吉之輔，松本卓也，中村隆志，矢谷博文

364. 2005 年 5 月 25-28 日　The 11th meeting of the International College of Prosthodontists (Crete, Greece)
Comntinuity of chewing side and masticatory efficiency (ポスター)
○ Mizumori, T, Yatani, H

365. 2005 年 5 月 25-28 日　The 11th meeting of the International College of Prosthodontists (Crete, Greece)
Sex difference and laterality in current perception and pain thresholds of the trigeminal nerve area (ポスター)
○ Ishigaki S, Okamoto N, Yatani H, Morishige E, Hirokawa M

366. 2005 年 5 月 25-28 日　The 11th meeting of the International College of Prosthodontists (Crete, Greece)
Clinical effectiveness of cognitive behavior therapy in the management of TMD (ポスター)
○ Morishige E, Ishigaki S, Yatani H, Hirokawa M

367. 2005 年 5 月 25-28 日　The 11th meeting of the International College of Prosthodontists (Crete, Greece)
The influence of a single crown placement on the smoothness of masticatory jaw movements(ポスター)
○ Watamoto T, Mizumori T, Yatani H, Yashiro K, Takada K

講演・発表

368. 2005 年 5 月 25-28 日　The 11th meeting of the International College of Prosthodontists (Crete, Greece)
Sex difference and laterality of thermal perception and pain thresholds in the trigeminal nerve area (ポスター)
○ Hirokawa M, Ishigaki S, Yatani H, Morishige E, Okamoto N

369. 2005 年 5 月 25-28 日　The 11th meeting of the International College of Prosthodontists (Crete, Greece)
Characteristics of psychological profile of TMD subgroups (ポスター)
○ Nakae K, Morishige E, Ishigaki S, Toda M, Morimoto K, Yatani H

370. 2005年6月2-5日　The society of oral physiology, 24th Store Kro meeting (Reykjavik, Iceland)
Characteristics of psychological profile of TMD subgroups (ポスター)
○ Yatani H, Nakae K, Morishige E, Ishigaki S, Toda M, Morimoto K

371. 2005 年 6 月 11-12 日　第 6 回口腔顔面痛懇談会，第 10 回 The Japan Academy of Orofacial Pain 共催学術集会（岡山）
三叉神経支配領域の知覚閾値と痛反応閾値に対する精神的因子と身体的因子の影響 (ポスター)
○岡本憲明，石垣尚一，森重恵美子，廣川雅之，中江佳代，矢谷博文

372. 2005 年 6 月 11-12 日　第 6 回口腔顔面痛懇談会，第 10 回 The Japan Academy of Orofacial Pain 共催学術集会（岡山）
神経損傷ラットにおける三叉神経節への電気刺激が誘導する三叉神経感覚核の異常な c-Fos 発現 (ポスター)
○下田隆史，阿部徹也，杉生真一，酒井勇介，石垣尚一，矢谷博文，吉田　篤，竹村元秀

373. 2005 年 6 月 11-12 日　第 6 回口腔顔面痛懇談会，第 10 回 The Japan Academy of Orofacial Pain 共催学術集会（岡山）
LPA(リゾフォスファチジン酸) の小脳延髄槽への投与がフォンフライテストと侵害刺激誘導 c-Fos 発現に及ぼす効果 (ポスター)
○酒井勇介，杉生真一，下田隆史，石垣尚一，森谷正之，吉田　篤，矢谷博文，竹村元秀

374. 2005 年 7 月 7-8 日　第 24 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会（徳島）
本学 2003 年度 6 年次学生の支台歯形成能力－ 年度開始時期と終了時期の比較 －（ポスター）
○佐藤順康，山田真一，瑞森崇弘，矢谷博文

375. 2005 年 7 月 21-23 日　第 23 回日本骨代謝学会（大阪）
BMP2 による未分化間葉系細胞の分化誘導に対するレチノイン酸 (RA) の作用（口演）
○久田邦博，松原琢磨，市田文孝，植田未央，矢谷博文，山口朗，西村理行，米田 俊之

376. 2005 年 7 月 23-24 日　第 25 回日本口腔インプラント学会近畿･北陸支部学術大会（金沢）
手術支援システムを用いたインプラント治療の一症例（口演）
楠本直樹，○吉田　真，大谷恭史，荘村泰治，山田真一，矢谷博文

377. 2005 年 7 月 23-24 日　第 25 回日本口腔インプラント学会近畿･北陸支部学術大会（金沢）
非切開即時負荷プロトコールに基づいて治療したインプラント症例（口演）
○江口壮壽，中野　環，山田真一，楠本直樹，山下健二，市田文孝，久田邦博，小林靖宜，大谷恭史，荘村泰治，矢谷博文

378. 2005 年 7 月 30-31 日　第 18 回日本顎関節学会学術大（松江）
Multidimensional Pain Inventory (MPI) 日本語版の信頼性と妥当性の検討（ポスター）
○岡本憲明，矢谷博文，石垣尚一，森重恵美子，廣川雅之，中江佳代，井上俊二

379. 2005 年 8 月 9-10 日　The 4th Biennial Congress of Asian Academy of Prosthodontics (Bangkok, Thailand)
Presumption of jaw movements from peri-oral tissue movements by a neural network（ポスター）
○ Kinuta S, Nakamura T, Mizumori T, Sohmura T, Yatani H

380. 2005 年 8 月 9-10 日　The 4th Biennial Congress of Asian Academy of Prosthodontics (Bangkok, Thailand)
Surface modification of dental alloy by electron-beam system　Effect on the surface properties of cast titanium（ポスター）
○ Tokunaga J, Nakamura T, Kojima T, Sohmura T, Yatani H

講演・発表

381. 2005 年 9 月 3 日　第 3 回日本再生歯科医学会（東京）
骨髄由来幹細胞の分化への DNA メチル化関与の可能性 (口演)
○蘆田俊二，江草　宏，小林宗正，中村誠志，矢谷博文，西村一郎

382. 2005 年 9 月 10-11 日　第 19 回日本顎頭蓋機能学会学術大会（大阪）
性差が三叉神経支配領域におけるストレス誘発鎮痛に及ぼす影響 (口演)
○石垣尚一，廣川雅之，矢谷博文，森重恵美子，岡本憲明

383. 2005 年 9 月 10-11 日　第 19 回日本顎頭蓋機能学会学術大会（大阪）
顎関節症患者における頭痛イベントの発症状況と関連因子 (ポスター)
○中江佳代，矢谷博文，石垣尚一，廣川雅之

384. 2005 年 9 月 15-16 日　第 46 回日本歯科理工学会学術講演会（長崎）
エレクトロ・レイヤード・セラミック製作時の通電量が強度に及ぼす影響 (ポスター)
○西田尚敬，若林一道，樋口鎮央，荘村泰治，関野　徹，中村隆志，矢谷博文

385. 2005 年 9 月 15-16 日　第 46 回日本歯科理工学会学術講演会（長崎）
歯科へのハプティックデバイスの応用（第 13 報）－歯科インプラント手術支援：インプラント体埋入までガイドするサージカルガイドと精度検証－ (口演)
○大谷恭史，荘村泰治，楠本直樹，若林一道，山田真一，中村隆志，森島正治，熊澤洋一，矢谷博文

386. 2005 年 9 月 15-16 日　第 46 回日本歯科理工学会学術講演会（長崎）
電子ビームを用いた歯科用金属の表面改質（第 4 報）- チタンおよび金銀パラジウム合金の表面解析 (ポスター)
○徳永絢子，小島哲也，荘村泰治，野村祐次郎，絹田宗一郎，若林一道，中村隆志，矢谷博文

387. 2005 年 9 月 22-24 日　第 16 回日本咀嚼学会学術大会（松本）
津雲貝塚発掘縄文人骨における歯の咬耗と歯頸部歯質欠損との関連 (口演)
○石垣尚一，森重恵美子，矢谷博文，鈴木英史，井上俊二

388. 2005 年 9 月 23-27 日　The American Society for Bone Mineral Research (ASBMR) 27th Annual Meeting (Nashville, USA)
Molecular regulation of differentiation of mesenchymal stem cells by retinoic acid (ポスター)
○ Hisada K, Matsubara T, Ichida F, Ueda M, Yamamoto H, Yatani H, Yamaguchi A, Nishimura R, Yoneda T

389. 2005 年 9 月 28-30 日　第 47 回歯科基礎医学会学術大会（仙台）
ラット三叉神経脊髄路核での SH 基の修飾は興奮性アミノ酸遊離を増加する (ポスター)
○藤田豊大，米原典史，金幼虹，竹村元秀，矢谷博文，上崎善規

390. 2005 年 9 月 28-30 日　第 47 回歯科基礎医学会学術大会（仙台）
ラットにおける下歯槽神経，眼窩下神経，咬筋神経切断後に三叉神経節への電気刺激が誘導する三叉神経感覚核の異常な c-Fos 発現 (ポスター)
○下田隆史，大下修弘，杉生真一，酒井勇介，正脇綾，矢谷博文，森谷正之，吉田　篤，竹村元秀

391. 2005 年 9 月 28-30 日　第 47 回歯科基礎医学会学術大会（仙台）
CalcineurinB の TNF- α誘導細胞死増強作用 (口演)
○伊月悠貴，飯田務，佐伯万騎男，江草　宏，矢谷博文，上崎善規

392. 2005 年 9 月 28-30 日　第 47 回歯科基礎医学会学術大会（仙台）
LPA(リゾフォスファチジン酸) の小脳延髄槽，三叉神経節，下歯槽神経への投与がフォンフライテストと侵害刺激誘導 c － Fos 発現に及ぼす効果 (ポスター)
○酒井勇介，杉生真一，下田隆史，山本雅章，常征，正脇綾，矢谷博文，森谷正之，吉田　篤，竹村元秀

393. 2005 年 10 月 1-2 日　第 114 回日本補綴歯科学会学術大会（新潟）
咬頭干渉部位のチェアサイドにおける検出方法の開発 (口演)
○小野一行，石垣尚一，森重恵美子，黒住琢磨，矢谷博文

394. 2005 年 10 月 1-2 日　第 114 回日本補綴歯科学会学術大会（新潟）
Homeobox gene Msx2 による未分化間葉系細胞の分化方向のスイッチング (口演)
○市田文孝，久田邦博，山下健二，楠本直樹，中野　環，山田真一，矢谷博文

講演・発表

395. 2005 年 10 月 8-9 日　第 16 回日本歯科審美学会学術大会（大阪）
マイクロフォーカスＸ線ＣＴを用いた CAD/CAM オールセラミッククラウンの内面の適合性の検討 (ポスター)
○田中英明，若林一道，川村芳子，絹田宗一郎，小島哲也，赤尾　剛，木林博之，出井庸喜，田中敏之，荘村泰治，中村隆志，矢谷博文

396. 2005 年 10 月 8-9 日　第 16 回日本歯科審美学会学術大会（大阪）
マイクロフォーカスＸ線ＣＴを用いたオールセラミッククラウンの内部欠陥に関する分析 (ポスター)
○川村芳子，若林一道，田中英明，絹田宗一郎，脇　智典，赤尾　剛，岡本啓，田中敏之，荘村泰治，中村隆志，矢谷博文

397. 2005 年 10 月 15-16 日　The 1st Asian Academy of Osseointegration (Seoul, Korea)
Immediate loading of implant using flapless surgery in the completely edentulous maxilla (ポスター)
○ Nakano T, Eguchi S, Kobayashi Y, Hisada K, Ichida F, Yamashita K, Yamada S, Yatani H

398. 2005 年 11 月 12-16 日　Society For Neuroscience 35th Annual Meeting, November (Washington DC, USA)
Intra cisterna magna injection of LPA enhances nociceptive stimulation induced-c-Fos in the trigeminal sensory nucleus (ポスター)
○ Sakai Y, Sugiyo S, Shimoda T, Ohshita N, Moritani M, Ishigaki S, YataniH, Takemura M

399. 2005 年 11 月 12-13 日　第 25 回日本口腔インプラント学会中国・四国支部学術大会（岡山）
骨髄由来幹細胞の分化への DNA メチル化関与の可能性（ポスター）
○蘆田俊二，江草　宏，小林宗正，金田善俊，矢谷博文，西村一郎

400. 2005 年 11 月 19-21 日　第 14 回日本コンピューター外科学会（東京）
Haptic Device を用いた歯科インプラント手術支援（第 3 報）（口演)
○大谷恭史，駕田恭子，中野　環，荘村泰治，楠本直樹，若林一道，山田真一，中村隆志，矢谷博文，森島正治，野村祐次郎，山口 敦，熊澤洋一

401. 2006 年 2 月 23-24 日　The 78th Annual Scientific Meeting, American Prosthodontic Society（Chicago, USA）
Inference of　masticatory jaw movements from peri-oral tissue movements（ポスター）
○ Kinuta S, Nakamura T, Mizumori T, Yatani H
2nd place of the table clinic

402. 2006 年 3 月 8-10 日　第 79 回日本薬理学会学術大会（横浜）
RANKL による破骨細胞分化におけるカルシニューリンの関与（ポスター）
○飯田　務，江草　宏，佐伯万騎男，伊月悠貴，矢谷博文，上崎善規

403. 2006 年 4 月 22-23 日　第 47 回日本歯科理工学会学術講演会（東京）
マイクロフォーカスＸ線ＣＴを用いたオールセラミッククラウンの３次元評価方法（ポスター）
○若林一道，中村隆志，絹田宗一郎，小島哲也，荘村泰治，矢谷博文

404. 2006 年 4 月 22-23 日　第 47 回日本歯科理工学会学術講演会（東京）
ニューラルネットワークを用いた顎運動測定システムの開発（第２報）咀嚼運動の測定（ポスター）
○絹田宗一郎，若林一道，小島哲也，瑞森崇弘，荘村泰治，中村隆志，矢谷博文

405. 2006 年 4 月 22-23 日　第 47 回日本歯科理工学会学術講演会（東京）
ジルコニア系ナノ複合粉末の電気泳動堆積挙動（口演）
○西田尚敬，中村隆志，武田真一，関野徹，名和正弘，西嶋茂宏，矢谷博文

406. 2006 年 4 月 22-23 日　第 47 回日本歯科理工学会学術講演会（東京）
歯科へのハプティックデバイスの応用（第 13 報）–歯科インプラント手術支援：インプラント体埋入までガイドするサージカルガイドと精度検証–（口演）
○大谷恭史，荘村泰治，楠本直樹，若林一道，山田真一，中村隆志，森島正治，熊澤洋一，矢谷博文

407. 2006 年 4 月 22-23 日　第 47 回日本歯科理工学会学術講演会（東京）
電子ビームを用いた歯科用金属の表面改質（第５報）–金銀パラジウム合金における結晶構造変化–（口演）
○徳永絢子，小島哲也，荘村泰治，野村祐次郎，絹田宗一郎，若林一道，六人部慶彦，中村隆志，矢谷博文

講演・発表

408. 2006 年 4 月 22-23 日　第 47 回日本歯科理工学会学術講演会（東京）
配向ハイドロゲルを用いた骨芽細胞様細胞の三次元培養（ポスター）
○佐々木淳一，松本卓也，江草　宏，矢谷博文

409. 2006 年 4 月 28-29 日　第 3 回大韓・日本補綴歯科学会合同学術大会 (Seoul, Korea)
The validity of a method for detecting　cuspal interferences during chewing function
（口演）
○ Ishigaki S, Ono K, Yatani H

410. 2006 年 4 月 28-29 日　第 3 回大韓・日本補綴歯科学会合同学術大会 (Seoul, Korea)
A protocol for implant therapy in completely edentulous jawbone using computer-aided navigation（ポスター）
○ Kagota K, Otani T, Kusumoto N, Nakano T, Yamada S, Yatani H

411. 2006 年 6 月 16-17 日　第 25 回日本歯科医学教育学会・学術大会（仙台）
学習者のアンケート分析と教育者の FD による問題解決型チュートリアル演習の学習目標検討　第 1 報　KJ 法による演習終了時の学生自由記入アンケート分析（口演）
○瑞森崇弘，山田真一，佐藤順康，石垣尚一，中村隆志，矢谷博文

412. 2006 年 6 月 16-17 日　第 25 回日本歯科医学教育学会・学術大会（仙台）
学習者のアンケート分析とＦＤによる問題解決型チュートリアル演習の学習目標設定
第２報　発送技法による学習目標設定（口演）
○山田真一，瑞森崇弘，佐藤順康，石垣尚一，中村隆志，矢谷博文

413. 2006 年 6 月 28-7 月 1 日　The 84th General Session and Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR)（Brisbane, Australia）
Sex difference in stress-induced analgesia（口演）
○ Ishigaki S, Hirokawa M, Yatani H, Morishige E

414. 2006 年 6 月 28-7 月 1 日　The 84th General Session and Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR)（Brisbane, Australia）
Psychological problems and pain perception thresholds in female TMD patients
（ポスター）
○ Hirokawa M, Ishigaki S, Yatani H, Morishige E

415. 2006 年 6 月 28-7 月 1 日　The 84th General Session and Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Brisbane, Australia)
Occurrence of headache in　TMD patients and its related factors（ポスター）
○ Nakae K, Yatani H, Ishigaki S, Morishige E

416. 2006 年 7 月 6-8 日　第 24 回日本骨代謝学会（東京）
ゾレドロン酸前投与による抜歯窩治癒遅延（口演）
○小林靖宜，上田晃己，西村理行，矢谷博文，米田俊之

417. 2006 年 7 月 7-8 日　第 20 回 Bacterial Adherence & Biofilm 研究会（東京）
Candida albicans 付着後の口腔上皮細胞の初期免疫応答（口演）
○江草　宏，二川浩樹，牧平清超，矢谷博文，浜田泰三

418. 2006 年 7 月 8-9 日　第 114 回日本補綴歯科学会学術大会（札幌）
レチノンサン（RA）による未分化間葉細胞の分化制御メカニズム（口演）
○久田邦博，市田文孝，小林靖宜，山下健二，楠本直樹，中野環，山田真一，矢谷博文

419. 2006 年 7 月 8-9 日　第 114 回日本補綴歯科学会学術大会（札幌）
破骨細胞分化における脱リン酸化酵素 Calcineurin の関与（ポスター）
○飯田　務，江草　宏，伊月悠貴，矢谷博文

420. 2006 年 7 月 13 日　第 100 回大阪大学歯学会（大阪）
学習者のアンケート分析と教育者の FD を基盤とした問題解決型チュートリアル演習における学習目標の検討（口演）
○佐藤順康，山田真一，瑞森崇弘，石垣尚一，中村隆志，矢谷博文

421. 2006 年 7 月 13 日　第 100 回大阪大学歯学会（大阪）
印象体および石膏模型における微生物汚染の実態（口演）
○綿本隆生，阿部桂子，高橋麻由子，江草　宏，福澤健次，松尾孝章，矢谷博文

422. 2006 年 7 月 13 日　第 100 回大阪大学歯学会（大阪）
ジルコニア系ナノ複合材料の歯冠修復への応用—EPD 法による成形（口演）
○西田尚敬，中村隆志，武田真一，関野徹，名和正弘，西嶋茂宏，矢谷博文

講演・発表

423. 2006 年 7 月 20 日　第 1 回日本セラミックス協会関西支部学術講演会（京都）
ジルコニア系ナノ複合材料の歯科への応用 - 電気泳動堆積法による成形 -（ポスター）
○西田尚敬，中村隆志，関野　徹，武田真一，名和正弘，西嶋茂宏，矢谷博文

424. 2006 年 9 月 8 日　第 9 回癌と骨病変研究会（淡路）
抜歯窩治癒と口腔内細菌に対するゾレドロン酸の影響（口演）
○小林靖宜，上田晃己，西村理行，矢谷博文，米田俊之

425. 2006 年 9 月 9-10 日　第 4 回日本再生歯科医学会学術大会（大阪）
機能性ペプチド SVVYGLR が歯周組織細胞に及ぼす影響（口演）
○金田善俊，江草　宏，濱田吉之輔，蘆田俊二，小林宗正，矢谷博文

426. 2006 年 9 月 13-16 日　The 5th Congress of the　European Federation of IASP Chapters (EFIC)（Istanbul, Turkey）
An increase in nociceptive pain perception threshold did not result in the decrease in subjective pain intensity in female（ポスター）
○ Ishigaki S, Hirokawa M, Yatani H, Morishige E

427. 2006 年 9 月 15-17 日　第 36 回日本口腔インプラント学会学術大会 (新潟)
ハプティックディバイス用いたインプラント手術シミュレーションシステム - 埋入窩形成の精度検証 -(口演)
○大谷恭史，楠本直樹，若林一道，山田真一，中村隆志，森島正治，熊沢洋一，矢谷博文，荘村泰治

428. 2006 年 9 月 17-18 日　第 28 回日本歯科技工学会学術大会（広島）
印象体および石膏模型における微生物汚染の実態（ポスター）
○阿部桂子，綿本隆生，江草　宏，福澤健次，松尾孝章，矢谷博文

429. 2006 年 9 月 19-21 日　第 19 回日本セラミックス協会秋季シンポジウム（山梨）
電気泳動堆積法によるジルコニア系ナノ複合材料の歯冠修復への応用（ポスター）
○西田尚敬，中村隆志，関野徹，武田真一，名和正弘，西嶋茂宏，矢谷博文

430. 2006 年 9 月 22-23 日　第 48 回歯科基礎医学会学術大会（横浜）
RANKL による破骨細胞分化における脱リン酸化酵素 calcineurin の関与（ポスター）
○飯田務，江草　宏，佐伯万騎男，土居正典，岡橋暢夫，天野敦雄，矢谷博文，上崎善規

431. 2006 年 9 月 22-23 日　第 48 回歯科基礎医学会学術大会（横浜）
機能性ペプチド SVVYGLR が歯周組織細胞に及ぼす影響（口演）
○金田善俊，江草　宏，濱田吉之輔，蘆田俊二，小林宗正，矢谷博文

432. 2006 年 9 月 23-24 日　第 20 回日本顎頭蓋機能学会学術大会（岡山）
咀嚼筋筋痛を有する顎関節症患者の発話時咬筋筋電図分析（ポスター）
○鈴木英史，石垣尚一，矢谷博文，森重恵美子，尾松青爾

433. 2006 年 10 月 5-7 日　European Association For Osseointegration 15th Annual Scientific Meeting (Zurich, Switzerland)
An accuracy verification of drilling by using BONE NAVI SYSTEM（ポスター）
○ Otani T, Kusumoto N, Wakabayashi K, Yamada S, Nakamura T, Yatani H, Sohmura T, Morishima M, Yamaguchi A, Kumazawa Y

434. 2006 年 10 月 6-8 日　第 55 回日本口腔衛生学会（大阪）
印象体および石膏模型における微生物汚染の実態（口演）
○綿本隆生，江草　宏，福澤健次，松尾孝章，矢谷博文

435. 2006 年 10 月 7-8 日　第 7 回口腔顔面痛学会学術集会（神奈川）
ラット三叉神経脊髄路核における興奮性アミノ酸遊離に対する SH 基修飾の影響（口演）
○藤田豊大，石垣尚一，矢谷博文

436. 2006 年 10 月 8-9 日　第 2 回大阪大学臨床医工学融合研究教育センターシンポジウム（大阪）
（第 7 回　in silico Human 研究学術集会）
ハプティックデバイスを用いたインプラント手術支援システムの開発（ポスター）
○若林一道，荘村泰治，太谷恭史，楠本直樹，山田真一，中村隆志，矢谷博文

437. 2006 年 10 月 13-14 日　第 8 回日本骨粗鬆症学会（東京）
抜歯窩治癒と口腔内細菌の動向に対するゾレドロン酸の影響（口演）
○小林靖宜，上田晃己，西村理行，矢谷博文，米田俊之

438. 2006 年 10 月 14-15 日　第 17 回日本歯科審美学会学術大会（東京）
隣接面ラミネートベニアにより歯冠乳頭を再建させた症例（ポスター）
○六人部慶彦，財間千晶，若林一道，中村隆志，矢谷博文
優秀ポスター発表賞

講演・発表

439. 2006 年 10 月 28-29 日　第 48 回日本歯科理工学会学術講演会（名古屋）
電子ビームを用いた歯科用金属の表面改質（第 6 報）–金銀パラジウム合金における微細構造の変化–（口演）
○徳永絢子，小島哲也，野村祐次郎，絹田宗一郎，若林一道，六人部慶彦，中村隆志，矢谷博文，荘村泰治

440. 2006 年 10 月 28-29 日　第 48 回日本歯科理工学会学術講演会（名古屋）
配向ハイドロゲル中での骨芽細胞様細胞分化に関する検討（口演）
○佐々木淳一，松本卓也，江草　宏，荘村泰治，矢谷博文

441. 2006 年 10 月 28-29 日　第 17 回日本咀嚼学会学術大会（横浜）
切歯接触型スプリントの装着が睡眠関連ブラキシズムにおける閉口筋筋活動および咬合圧に及ぼす影響（口演）
○尾松青爾，石垣尚一，廣川雅之，中江佳代，鈴木英史，内田昌範，矢谷博文

442. 2006 年 10 月 28-29 日　The 2nd Asian Academy of Osseointegration
An accuracy verification of drilling by using BoneNavi system（口演）
○ Otani T, Kusumoto N, Wakabayashi K, Yamada S, Nakamura T, Yatani H, Sohmura T, Morishima M, Yamaguchi A, Kumazawa Y

443. 2006 年 11 月 2-4 日　Academy of Microscope Enhanced Dentistry 5th Annual Meeting and Scientific Session（Arizona,USA）
The influence of microsurgical technique on perio-prosth procedures in microdentistry: Part 1: Wound healing　study under the water in vivo（口演）
○ Egusa H, Hirata T, McGregor A, Nakamura T, Yatani H

444. 2006 年 11 月 10 日　第 110 回日本薬理学会近畿部会（京都）
Monad 結合蛋白質 Monad binding protein 1 の機能解析（口演）
○伊月悠貴，佐伯万騎男，入江康至，岡村航，矢谷博文，上崎善規

445. 2007 年 5 月 4-6 日　5th World Congress of the International Federation of Esthetic Dentistry (Seoul, Korea)
Electrophoretic deposition behavior of Ce-TZP/Al2O3 powder (ポスター)
○ Nakamura T, Nishida H, Sekino T, Wakabayashi K, Kinuta S, Mutobe Y, Yatani H

446. 2007 年 5 月 12-13 日　第 49 回日本歯科理工学会学術講演会（札幌）
歯科へのハプティックデバイスの応用 (第 17 報) －オブジェクト間力覚感知システムの応用 (ポスター)
○若林一道，絹田宗一郎，宇高朋弘，中村隆志，矢谷博文，荘村泰治

447. 2007 年 5 月 12-13 日　第 49 回日本歯科理工学会学術講演会（札幌）
歯科へのハプティックディバイスの応用 (第 16 報) (口演)
○大谷恭史，中野　環，楠本直樹，若林一道，山田真一，中村隆志，森島正治，熊沢洋一，矢谷博文，荘村泰治

448. 2007 年 5 月 12-13 日　第 49 回日本歯科理工学会学術講演会（札幌）
電子ビームを用いた歯科用金属の表面改質 (第 7 報) - 耐食性の変化 (ポスター)
○徳永絢子，小島哲也，野村祐次郎，絹田宗一郎，若林一道，六人部慶彦，中村隆志，矢谷博文，荘村泰治

449. 2007 年 5 月 18-20 日　第 116 回日本補綴歯科学会学術大会（神戸）
印象体に潜在する病原微生物およびその消毒法 (口演)
○綿本隆生，江草　宏，阿部桂子，矢谷博文

450. 2007 年 5 月 18-20 日　第 116 回日本補綴歯科学会学術大会（神戸）
補綴歯科治療による咬合回復が高齢者の QOL・ADL に与えるインパクト (ポスター)
○内田昌範，矢谷博文，石垣尚一，戸田雅裕，森本兼曩

451. 2007年6月5-6日　The 6th International Symposium on Titanium in Dentistry(Kyoto)
Large area electron beam irradiation for surface polishing of Ti and Ti alloy (ポスター)
○ Tokunaga J, Kojima T, Kinuta S, Wakabayashi K, Nakamura T, Yatani H, Sohmura T

452. 2007 月 6 日 10 日　第 27 回日本口腔インプラント学会近畿・北陸支部学術大会（大津）
内部連結機構を有する陽極酸化処理インプラントの短期予後報告 (口演)
○樋口　茜，中野　環，江口壮寿，久田邦博，市田文孝，山下健二，楠本直樹，山田真一，矢谷博文

453. 2007 月 6 月 15-16 日　第 1 回日本エピジェネティクス研究会年会（大阪）
長期継代培養が骨髄間質細胞の骨系分化および DNA メチル化に及ぼす影響 (ポスター)
○江草　宏，蘆田俊二，小林宗正，矢谷博文

講演・発表

454. 2007 年 7 月 14 日　第 20 回日本顎関節学会学術大会（仙台）
顎関節症患者の細病態別にみた生体ストレス反応解析 (口演)
○中江佳代，石垣尚一，矢谷博文

455. 2007 年 7 月 19 日　第 104 回歯学会総会例会（大阪）
マウス骨髄間質細胞の骨系分化への DNA メチル化の関与 (口演)
○蘆田俊二，江草　宏，小林宗正，矢谷博文

456. 2007 年 7 月 19 日　第 104 回歯学会総会例会（大阪）
機能性ペプチド SVVYGLR が歯周組織細胞へ及ぼす影響 (口演)
○金田善俊，江草　宏，濱田吉之輔，松浦成昭，矢谷博文

457. 2007 年 7 月 19-21 日　第 25 回日本骨代謝学会（大阪）
骨髄間質細胞の骨系分化への DNA メチル化の関与 (ポスター)
○江草　宏，蘆田俊二，矢谷博文

458. 2007 年 8 月 25-26 日　第 18 回日本咀嚼学会学術大会（大阪）
筋電図周波数解析による筋疲労状態の定量的評価 (口演)
○鈴木英史，石垣尚一，矢谷博文

459. 2007 年 8 月 30-31 日　第 49 回歯科基礎医学会学術大会（札幌）
RANKL による破骨細胞分化における calcineurin 結合タンパク質 PICK1 の関与 (ポスター)
○飯田　務，江草　宏，佐伯万騎男，土居正典，矢谷博文，上﨑善規

460. 2007 年 8 月 30-31 日　第 49 回歯科基礎医学会学術大会（札幌）
破骨細胞分化における calpain の役割 (ポスター)
○土居正典，江草　宏，佐伯万騎男，飯田務，上崎善規，矢谷博文

461. 2007 年 9 月 5-7 日　The 12th meeting of the International College of Prosthodontists (Fukuoka)
Sex difference in thermal pain thresholds in the trigeminal nerve area (口演)
○ Ishigaki S, Hirokawa M, Yatani H

462. 2007 年 9 月 5-7 日　The 12th meeting of the International College of Prosthodontists (Fukuoka)
An Ambulatory Bruxism Recording System with Sleep-Stage Analyzing Function (ポスター)
○ Mizumori T, Sato Y, Yatani H

463. 2007 年 9 月 15 日　第 37 回日本口腔インプラント学会総会（熊本）
歯科インプラントによるチタンアレルギーの 1 症例 (ポスター)
○中野　環，高　永和，高理恵子，島津恒敏，江草　宏，山田真一，矢谷博文

464. 2007 年 9 月 15-16 日　第 8 回口腔顔面痛懇談会（長野）
神経切断ラットにおける三叉神経節への電気刺激と三叉神経感覚核における c-Fos 発現の変化の関連性 (ポスター)
○下田隆史，阿倍哲也，杉生真一，竹村元秀，石垣尚一，矢谷博文

465. 2007年9月19日　The 29th American society for Bone and Mineral Research (Hawaii, USA)
Zoledronic acid delayed the wound healing of tooth extraction socket but failed to cause osteonecrosis of the jaw in mice (ポスター)
○ Kobayashi Y, Hiraga T, Nishimura R, Ueda A, Yatani H, Yoneda T

466. 2007 年 9 月 22-23 日　第 5 回日本再生歯科学会（東京）
三次元的配向骨基質の構築 (ポスター)
○佐々木淳一，松本卓也，江草　宏，荘村泰治，矢谷博文

467. 2007 年 9 月 26-29 日　Biomedical Engineering Society Annual Meeting (Los Angeles, USA)
Cyclic strain induces mesenchymal stem cell alignment during myogenic differentiation (口演)
○ Egusa H, Kobayashi M, Matsumoto T, Yatani H

講演・発表

468. 2007 年 10 月 20-21 日　The 2nd Joint Meeting of the Japan Prosthodontic Society and the Greater New York Academy of Prosthodontics (Tokyo)
An Analysis of the Persistent Presence of Opportunistic Pathogens on Patient-Derived Dental Impressions and Gypsum Casts (口演)
○ Watamoto T, Egusa H, Abe K, Kobayashi M, Kaneda Y, Ashida S, Yatani H

469. 2007 年 10 月 20-21 日　The 2nd Joint Meeting of the Japan Prosthodontic Society and the Greater New York Academy of Prosthodontics (Tokyo)
Application of Haptic Device to Implant Dentistry (ポスター)
○ Ohtani T, Kusumoto N, Wakabayashi K, Yamada S, Nakamura T, Yatani H, Sohmura T, Morishima M, Kumazawa Y

470. 2007 年 10 月 20-21 日　The 2nd Joint Meeting of the Japan Prosthodontic Society and the Greater New York Academy of Prosthodontics (Tokyo)
Relations among TMD, bruxism, lifestyle, and psychological stress (ポスター)
○ Uchida M, Yatani H, Ishigaki S, Toda M, Morimoto K

471. 2007 年 10 月 20-21 日　The 2nd Joint Meeting of the Japan Prosthodontic Society and the Greater New York Academy of Prosthodontics (Tokyo)
Usability of an Ambulatory Bruxism Recording System with Sleep-Stage Analyzing Function (ポスター)
○ Inano S, Mizumori T, Kobayashi Y, Sumiya M, Yatani H

472. 2007 年 11 月 3-7 日　The 37th Annual Meeting of Society for Neuroscience (San Diego, USA)
Localization of vesicular glutamate transporter subunits in trigeminal neurons (ポスター)
○ Kato A, Honma S, Yatani H, Wakisaka S

473. 2007 年 11 月 9-10 日　第 21 回日本ストレス学会学術総会（東京）
ライフスタイル，性格的因子および心理学的因子が顎関節症患者の睡眠時ブラキシズムに及ぼす影響 (口演)
○内田昌範，矢谷博文，石垣尚一，戸田雅裕，森本兼曩

474. 2007 年 11 月 16 日　第 112 回日本薬理学会近畿部会（大阪）
Monad 結合蛋白質 Monad binding protein1/RPAP3 のアポトーシス増強作用 (口演)
○伊月悠貴，佐伯万騎男，入江康至，西條將文，田中亀代次，矢谷博文，上﨑善規

475. 2007 年 11 月 17-18 日　第 18 回日本歯科審美学会 第 26 回日本接着歯学会合同学術大会 (福岡)
ジルコニアフレームとジルコニア用陶材との焼付強度の検討（ポスター）
○財満千晶，若林一道，赤尾　剛，六人部慶彦，中村隆志，矢谷博文

476. 2007 年 11 月 22-24 日　International Dental Materials Congress (Bangkok, Thailand)
Development of powder metallurgical ZrO2/Al2O3 nanocomposite for electrophoretic deposition（ポスター）
○ Nakamura T, Nishida H, Usami H, Mutob Y, Wakabayashi K, Akao T, Yatani H

477. 2007 年 11 月 22-24 日　International Dental Materials Congress (Bangkok, Thailand)
The effect of color of a fiber post on the clinical handleability（ポスター）
○ Kinuta S, Wakabayashi K, Nakamura T, Sohmura T, Yatani H

478. 2007 年 11 月 22-24 日　International Dental Materials Congress (Bangkok, Thailand)
Application of haptic device to dentistry - inter-objects tactile force feedback system (ポスター)
○ Wakabayashi K, Takeshige F, Nakamura T, Noborio H, Yatani H, Sohmura T

479. 2007 年 11 月 22-24 日　International Dental Materials Congress (Bangkok, Thailand)
Dental Implant Surgery Support System using CAD/CAM Method (ポスター)
○ Otani T, Kusumoto N, Wakabayashi K, Yamada S, Nakamura T, Yatani H, Sohmura T, Morishima M

480. 2007 年 11 月 22-24 日　International Dental Materials Congress (Bangkok, Thailand)
内部連結機構を有する陽極酸化処理インプラントの短期予後報告 (口演)
○市田文孝，楠本直樹，中野　環，山田真一，矢谷博文

講演・発表

481. 2007 年 11 月 22-24 日　38. International Dental Materials Congress (Bangkok, Thailand)
三叉神経支配領域末梢感覚受容野における小胞性グルタミン酸輸送体 (口演)
○加藤亜季子，本間志保，矢谷博文，脇坂聡

482. 2007 年 11 月 22-24 日　International Dental Materials Congress (Bangkok, Thailand)
機能性ペプチド SVVYGLR が歯周組織細胞へ及ぼす影響 (口演)
○金田善俊，江草　宏，濱田吉之輔，松浦成昭，矢谷博文

483. 2007 年 11 月 26-27 日　第 29 回日本バイオマテリアル学会（大阪)
三次元ハイドロゲルを用いた骨芽細胞配向，機能制御 (口演)
○佐々木淳一，松本卓也，江草　宏，荘村泰治，矢谷博文

484. 2008 年 1 月 14-15 日　Mouth and Face Forum 2008 -In silico Dentistry（Osaka）
A new protocol of implant dentistry by using 'Bone Navi' system（ポスター）
○Nakamura, Ohtani T, Kusumoto N, Wakabayashi K, Yamada S, Yatani H, Sohmura T, Morishima M, Kumazawa Y

485. 2008 年 1 月 27 日　平成 19 年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会（大阪）
患者由来の印象体を用いた印象体消毒法の検討（口演）
○綿本隆生，江草　宏，阿部桂子，蘆田俊二，金田善俊，小林宗正，明石喜裕，矢谷博文

486. 2008 年 1 月 27 日　平成 19 年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会（大阪）
電気刺激による能動的ブラキシズム抑制の可能性の検討（ポスター）
○角谷誠和，瑞森崇弘，小林靖宜，稲野眞治，矢谷博文

487. 2008 年 1 月 27 日　平成 19 年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会（大阪）
クレンチングが三叉神経支配領域の疼痛閾値に及ぼす影響（口演）
○宮内鉄平，石垣尚一，矢谷博文，下田隆史，廣川雅之，中江佳代，鈴木英史，内田昌範，小野清美

488. 2008 年 2 月 21-22 日　80th Annual Scientific Meeting, American Prosthodontic Society（Chicago, USA）
Clinical handle ability of pulp-like colored fiber post（口演）
○ Kinuta S, Nakamura T, Yatani H

489. 2008 年 3 月 17-19 日　第 81 回日本薬理学会（横浜）
RANKL による破骨細胞分化におけるカルシニューリンの関与（ポスター）
○飯田務，江草　宏，佐伯万騎男，土居正典，矢谷博文，上崎善規

490. 2008 年 4 月 26-27 日　第 51 回日本歯科理工学会（神奈川）
VR Haptic デバイスを応用した歯科ハンドスキルシミュレーショントレーニング
（第二報）触力覚デバイスの歯科実習用デバイスへの改良（ポスター）
○若林一道，竹重文雄，絹田宗一郎，登尾啓史，中村隆志，矢谷博文，荘村泰治

491. 2008 年 4 月 26-27 日　第 51 回日本歯科理工学会（神奈川）
RP 迅速成形法を応用した義歯製作 CAD/CAM システムの開発（ポスター）
○絹田宗一郎，宮本拓，三輪俊太，和気正和，中村隆志，矢谷博文，荘村泰治

492. 2008 年 4 月 26-27 日　第 51 回日本歯科理工学会（神奈川）
機械的刺激が骨芽細胞の HSC ニッチ関連遺伝子発現に及ぼす影響（ポスター）
○佐々木淳一，松本卓也，江草　宏，荘村泰治，矢谷博文
研究奨励賞

493. 2008 年 4 月 26-27 日　第 51 回日本歯科理工学会（神奈川）
CT 顎骨像を利用したインプラント上部歯冠咬合面設計法 (第 1 報)　CT 顎骨像による
FGVP(仮想下顎機能運動路) の予測（ポスター）
○小野真司，熊沢洋一，河本裕介，加藤智崇，太田貴之，水篠公範，長尾明寿，登尾啓史，
荘村泰治

494. 2008 年 5 月 8-10 日　第 47 回日本生体医工学会（兵庫）
骨芽細胞 3 次元ゲル培養系を用いた硬組織石灰化の数理モデル化（ポスター）
○吉田信介，松本卓也，水野亜美，柏木美樹，佐々木淳一，荘村泰治

495. 2008 年 5 月 9-10 日　第 2 回日本エピジェネティクス研究会（静岡）
マウス骨髄間質幹細胞における骨関連遺伝子プロモーター領域の DNA メチル化解析（口演）
○江草　宏，蘆田俊二，小林宗正，明石喜裕，矢谷博文

講演・発表

496. 2008 年 6 月 6-8 日　第 117 回日本補綴歯科学会学術大会（名古屋）
有床義歯診査用紙の使用状況調査（口演）
○北川　昇，佐藤裕二，飯島裕之，服部佳功，山下秀一郎，玉置勝司，中村隆志

497. 2008 年 6 月 6-8 日　第 117 回日本補綴歯科学会学術大会（名古屋）
機能性ペプチド SVVYGLR を用いた骨組織再生の試み（口演）
○金田善俊，江草　宏，濱田吉之輔，矢谷博文

498. 2008 年 6 月 6-8 日　第 117 回日本補綴歯科学会学術大会（名古屋）
発話時平均周波数を用いた筋痛の評価法（口演）
○鈴木英史，石垣尚一，矢谷博文

499. 2008 年 7 月 2-5 日　The 86th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research（IADR）(Toronto, Canada)
Sex difference in thermal pain threshold after teeth clenching（ポスター）
○ Ishigaki S, Miyauchi T, Yatani H, Ono K

500. 2008 年 7 月 2-5 日　The 86th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research（IADR）(Toronto, Canada)
Global methylation screening in mesenchymal stem cell genomes during osteogenesis（口演）
○ Egusa H, Ashida S, Kobayashi M, Yatani H, Nishimura I

501. 2008 年 7 月 2-5 日　The 86th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research（IADR）(Toronto, Canada)
Bisulfite sequencing analysis of mouse osteocalcin and osteopontin promoter regions（ポスター）
○ Ashida S, Egusa H, Kobayashi M, Akashi H, Yatani H

502. 2008 年 7 月 2-5 日　The 86th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Toronto, Canada)
Involvement of Calcineurin and PICK1 in RANKL-induced osteoclast differentiation（ポスター）
○ Iida T, Egusa H, Saeki M, Kamisaki Y, Yatani H

503. 2008 年 7 月 2-5 日　The 86th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Toronto, Canada)
Cyclic strain promotes myogenesis of bone marrow stromal stem cells（ポスター）
○ Kobayashi M, Egusa H, Matsumoto T, Yatani H
Pre-Prosthetic Regenerative Science Award finalist

504. 2008 年 7 月 2-5 日　The 86th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Toronto, Canada)
Occlusal support affects the QOL and ADL in elderly patients（ポスター）
○ Uchida M, Yatani H, Ishigaki S

505. 2008 年 7 月 2-5 日　The 86th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Toronto, Canada)
Functional change of osteoblasts subjected to diffentmechanical stimulation（ポスター）
○ Sasaki J, Matsumoto T, Egusa, H, Sohmura T, Yatani H
大阪大学歯学会優秀海外発表大学院生奨励賞

506. 2008 年 7 月 2-5 日　The 86th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Toronto, Canada)
Modification of mechanical properties of fibrin gel（口演）
○ Kashiwagi M, Matsumoto T, Sasaki J, Sohmura T

507. 2008 年 7 月 2-5 日　The 86th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Toronto, Canada)
Rapid fabrication of cell spheroids by the MEMS chamber（ポスター）
○ Iwasaki A, Matsumoto T, Tazaki G, Tsuruta H, Sasaki J, Sohmura T

508. 2008 年 7 月 2-5 日　The 86th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Toronto, Canada)
Biomimetic cell-containing scaffold for bone tissue engineering（ポスター）
○ Mizuno A, Matsumoto T, Yoshida S, Sasaki J, Sohmura T

講演・発表

509. 2008 年 7 月 11-12 日　第 27 回日本歯科医学教育学会（東京）
VR Haptic デバイスを応用した歯科ハンドスキルシミュレーショントレーニング
（第三報―触力覚デバイスの歯科実習用デバイスへの改良２― ）（ポスター）
○若林一道，荘村泰治，山口　哲，吉田能得，竹重文雄，長島正，上崎善規，登尾啓史，
矢谷博文

510. 2008 年 7 月 17 日　第 106 回大阪大学歯学会例会（大阪）
Monad 結合蛋白質 Monad binding protein 1 のアポトーシス増強作用（口演）
○伊月悠貴，佐伯万騎男，江草　宏，矢谷博文，上﨑善規

511. 2008 年 7 月 17 日　第 106 回大阪大学歯学会例会（大阪）
周期的伸展刺激が骨髄由来間質細胞の筋分化に及ぼす影響（口演）
○小林宗正，江草　宏，松本卓也，矢谷博文

512. 2008 年 7 月 17 日　第 106 回大阪大学歯学会例会（大阪）
温度応答性高分子ゲルを用いた細胞シート作製技術の構築と応用（口演）
○佐々木淳一，松本卓也，江草　宏，荘村泰治，矢谷博文

513. 2008 年 7 月 17 日　第 106 回大阪大学歯学会例会（大阪）
転写因子 Myocardin の核内移行における importin の関与（口演）
○中村誠志，江草　宏，林謙一郎，岩崎一洋，祖父江憲治，矢谷博文

514. 2008 年 7 月 26-27 日　第 21 回日本顎関節学会（大阪）
唾液中ストレス応答ホルモン，睡眠時ブラキシズムレベル，ライフスタイル，性格的因子
および心理学的因子の解析による顎関節症のリスク因子の検討（口演）
○内田昌範，矢谷博文，石垣尚一

515. 2008 年 8 月 17-22 日　The 12th World Congress on Pain（Scotland, UK）
Sex difference in thermal pain threshold in the trigeminal nerve area（ポスター）
○ Ishigaki S, Yatani H

516. 2008 年 9 月 12-16 日　American Society for Bone and Mineral Research Annual Meeting（Montreal, Canada）
DNA methylation analysis of osteogenic gene promoter regions in mouse bone marrow stromal cells
○ Egusa H, Ashida S, Kobayashi M, Akashi Y, Yatani H

517. 2008 年 9 月 23-25 日　第 50 回歯科基礎医学会（東京）
周期的伸展刺激が骨髄由来間質細胞の筋分化に及ぼす影響（口演）
○小林宗正，江草　宏，松本卓也，矢谷博文

518. 2008 年 9 月 23-25 日　第 50 回歯科基礎医学会（東京）
Harmine の NFAT 発現増強作用（ポスター）
○土居正典，江草　宏，佐伯万騎男，飯田務，上崎善規，矢谷博文

519. 2008 年 10 月 12-13 日　第 19 回日本歯科審美学会（新潟）
セラミックブロックを研削して製作する CAD/CAM クラウンの色調再現（ポスター）
○西本あゆみ，若林一道，高梨知宏，山本　瞳，財満千晶，絹田宗一郎，赤尾　剛，岡本　啓，中村隆志，矢谷博文

520. 2008 年 10 月 31 日 -11 月 1 日　第 24 回日本ストレス学会（大阪）
顎関節症，ブラキシズムのリスク因子の検討（口演）
○内田昌範，矢谷博文，石垣尚一，戸田雅裕，森本兼曩

521. 2008 年 11 月 1-2 日　第 17 回日本コンピュータ外科学会（東京）
網膜投影型ヘッドマウントディスプレイを用いた手術ナビゲーションシステム（第一報）（口演）
○山口　哲，大谷恭史，矢谷博文，荘村泰治

522. 2008 年 11 月 8 日　第 41 回日本顎口腔機能学会（長崎）
意識的なかみしめが単純計算作業に与える影響－簡易型脳波計による測定－（口演）
○角谷誠和，瑞森崇弘，小林靖宜，稲野眞治，村嶋史子，矢谷博文

523. 2008 年 11 月 8 日　第 41 回日本顎口腔機能学会（長崎）
持続的クレンチングが A δ線維による疼痛閾値に及ぼす影響（口演）
○宮内鉄平，石垣尚一，矢谷博文，廣川雅之，鈴木英史，内田昌範，小野清美

講演・発表

524. 2008 年 11 月 14 日　第 114 回薬理学会近畿部会（神戸）
NFATc1 をターゲットとした破骨細胞分化関連化合物の探索（口演）
○土居正典，佐伯万騎男，江草　宏，矢谷博文，上崎善規

525. 2008 年 11 月 21-23 日　第 30 回日本歯科技工学会（大阪）
印象体の消毒をどうしていますか？（口演）
○西山智子，江草　宏，綿本隆生，阿部桂子，矢谷博文，松尾孝章

526. 2008 年 11 月 21-23 日　第 30 回日本歯科技工学会（大阪）
印象体に潜在する病原微生物およびその消毒法（ポスター）
○阿部桂子，江草　宏，綿本隆生，矢谷博文

527. 2008 年 11 月 29-30 日　56th Annual Meeting of Japanese Association for Dental Research（Nagoya）
Effect of conscious clenching on simple calculation task（ポスター）
○ Mizumori T, Kobayashi Y, Inano S, Sumiya M, Murashima F, Yatani H

528. 2008 年 11 月 29-30 日　56th Annual Meeting of Japanese Association for Dental Research（Nagoya）
Antifungal susceptibility of C. albicans and its hyphal mutants（ポスター）
○ Watamoto T, Senevirantne CJ, Jayatilake JAMS, Egusa H, Yatani H, Samaranayake LP

529. 2009 年 2 月 8 日　平成 20 年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会（和歌山）
新しいクラウンの評価基準について（ポスター）
○中村隆志，佐藤裕二，北川　昇，服部佳功，山下秀一郎，玉置勝司，矢谷博文

530. 2009 年 2 月 8 日　平成 20 年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会（和歌山）
周期的圧縮刺激によるヒト口腔粘膜細胞のサイトカイン産生（口演）
○明石喜裕，江草　宏，萱島浩輝，小林宗正，矢谷博文

531. 2009 年 2 月 8 日　平成 20 年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会（和歌山）
インプラント埋入手術が三叉神経領域の疼痛閾値に及ぼす影響の予備的検討（口演）
○小野清美，石垣尚一，矢谷博文，廣川雅之，鈴木英史，内田昌範，宮内鉄平

532. 2009 年 3 月 17 日　日本セラミックス協会 2009 年年会（千葉）
チタニアナノチューブの歯科用インプラントへの応用（ポスター）
○西田尚敬，山本一世，三輪利幸，関野　徹，田中俊一郎，江草　宏，宇佐美博文，
中村隆志

533. 2009 年 4 月 1-4 日　The 87th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Miami, America)
Development of high-throughput screening system for identifying osteoclastogenesis-related compounds（口演）
○ Egusa H, Doi M, Saeki M, Kamisaki Y, Yatani H

534. 2009 年 4 月 1-4 日　The 87th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Miami, America)
Bone regeneration induced by functional peptide SVVYGLR（口演）
○ Kaneda Y, Egusa H, Akashi Y, Ashida S, Hamada Y, Yatani H
Arthur R. Frechette 2009 New Investigator Award Finalist

535. 2009 年 4 月 1-4 日　The 87th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Miami, America)
Cyclic Pressure Affects Cytokine Production in Human Gingival Fibroblasts（ポスター）
○ Akashi A, Egusa H, Matsumoto T, Kaneda Y, Ashida S, Yatani H
Pre-Prosthetic Regenerative Science Award Second Place

536. 2009 年 4 月 11-12 日　第 53 回日本歯科理工学会（東京）
オプティカルトラッカーを用いたインプラント埋入位置姿勢計測法（第 2 報）
- 計測インプラントの座標変換ソフトウェアの開発 -（ポスター）
○小野真司，山口　哲，楠本直樹，中野　環，荘村泰治，矢谷博文

537. 2009 年 4 月 24 日　第 48 回日本生体医工学会（東京）
In vitro における骨芽細胞三次元配向制御と分化制御（ポスター）
○佐々木淳一，松本卓也，江草　宏，荘村泰治，矢谷博文

講演・発表

538. 2009年4月25日　The 6th Biennial Meeting of Asian Academy of Prosthodontics (AAP) (Seoul, Korea)
Effect of sandblasting on shear bond strength of tooth-colored porcelain to zirconia（ポスター）
○ Nakamura T, Wakabayashi K, Zaima C, Nishida H, Kinuta S, Yatani H

539. 2009年4月25日　The 6th Biennial Meeting of Asian Academy of Prosthodontics (AAP) (Seoul, Korea)
Experimental Prototype of Active Suppression System for Sleep Bruxism（ポスター）
○ Mizumori T, Kobayashi Y, Inano S, Sumiya M, Murashima F, Takemura S, Yatani H

540. 2009年4月25日　The 6th Biennial Meeting of Asian Academy of Prosthodontics (AAP) (Seoul, Korea)
Enhanced bone regeneration with bioactive synthetic peptide SVVYGLR（ポスター）
○ Egusa H, Kaneda Y, Akashi Y, Kayashima H, Yatani H
Best Poster Presentation Award

541. 2009年4月25日　The 6th Biennial Meeting of Asian Academy of Prosthodontics (AAP) (Seoul, Korea)
Contributing factors to temporomandibular disorders and sleep bruxism with special reference to emotional stress（ポスター）
○ Uchida M, Yatani H, Ishigaki S, Toda M, Morimoto K

542. 2009年4月25日　The 6th Biennial Meeting of Asian Academy of Prosthodontics (AAP) (Seoul, Korea)
Verification of the masseter muscle activities during sleep with an　ambulatory wireless bruxism recording system including sleep-stage analyzing function（ポスター）
○ Inano S, Mizumori T, Kobayashi Y, Sumiya M, Murashima F, Takemura S, Yatani H
Best Poster Presentation Award

543. 2009年4月25日　The 6th Biennial Meeting of Asian Academy of Prosthodontics (AAP) (Seoul, Korea)
Effect of clenching on the pain threshold of trigeminal nerve area（ポスター）
○ Miyauchi T, Ishigaki S, Ono K, Uchida M, Yatani H

544. 2009年4月25　The 6th Biennial Meeting of Asian Academy of Prosthodontics (AAP) (Seoul, Korea)
The effect of the implant surgery on the pain threshold of the trigeminal nerve region: A preliminary report（ポスター）
○ Ono K, Ishigaki S, Miyauchi T, Uchida M, Yatani H

545. 2009年6月2日　第61回日本細胞生物学会（名古屋）
The N-terminal basic domain of myocardin plays a critical role in its nuclear import mediated by importin α 1/ β 1（ポスター）
○ Nakamura S, Hayashi K, Iwasaki K, Egusa H, Yatani H, Sobue K

546. 2009年6月6-7日　第118回日本補綴歯科学会学術大会（京都）
ファイバーポストの形状が引抜抗力および支台歯応力分布に及ぼす影響（ポスター）
○絹田宗一郎，中村隆志，若林一道，濱田悠子，宮前守寛，荘村泰治，矢谷博文

547. 2009年6月6-7日　第118回日本補綴歯科学会学術大会（京都）
アンケートによるインプラント治療患者の満足度調査（ポスター）
○中川貴晴，山西康文，久田邦博，楠本直樹，中野　環，山田真一，矢谷博文

548. 2009年6月6-7日　第118回日本補綴歯科学会学術大会（京都）
マウス骨髄由来間葉系幹細胞の骨芽細胞分化へのDNAメチル化の関与（ポスター）
○蘆田俊二，江草　宏，小林宗正，明石喜裕，萱島浩輝，矢谷博文

549. 2009年6月6-7日　第118回日本補綴歯科学会学術大会（京都）
周期的伸展刺激を応用した骨髄間質幹細胞の骨格筋分化誘導　－咀嚼筋・舌組織再生に向けて－（口演）
○小林宗正，江草　宏，明石喜裕，萱島浩輝，矢谷博文
課題口演優秀賞

550. 2009年6月6-7日　第118回日本補綴歯科学会学術大会（京都）
顎関節症と睡眠時ブラキシズムの寄与因子の検討－特に情動ストレスとの関係（口演）
○内田昌範，矢谷博文，石垣尚一，戸田雅裕，森本兼曩

講演・発表

551. 2009 年 6 月 6-7 日　第 118 回日本補綴歯科学会学術大会（京都）
意識的なかみしめが単純計算作業に与える影響－簡易型脳波計による測定－（ポスター）
○角谷誠和，瑞森崇弘，小林靖宜，稲野眞治，村嶋史子，武村紗弥桂，矢谷博文

552. 2009 年 6 月 6-7 日　第 118 回日本補綴歯科学会学術大会（京都）
持続的クレンチングが三叉神経領域における疼痛閾値に及ぼす影響（ポスター）
○宮内鉄平，石垣尚一，矢谷博文，廣川雅之，鈴木英史，内田昌範，小野清美
優秀ポスター賞（デンツプライ賞）

553. 2009 年 6 月 6-7 日　第 118 回日本補綴歯科学会学術大会（京都）
低温化学合成によるチタニアナノチューブの析出と生体適合性（ポスター）
○西田尚敬，江草　宏，三浦治郎，中村隆志，山本一世，矢谷博文

554. 2009 年 7 月 11 日　第 23 回 Bacterial Adherence & Biofilm 学術集会（東京）
Candida albicans の菌糸およびバイオフィルム形成が抗真菌剤感受性に及ぼす影響（口演）
○綿本隆生，Seneviratne CJ，江草　宏，Samaranayake LP，矢谷博文

555. 2009 年 7 月 16 日　第 108 回大阪大学歯学会例会（大阪）
小分子化合物 harmine は破骨前駆細胞における NFATc1 および Id2 発現を増強する（口演）
○土居正典，江草　宏，佐伯万騎男，矢谷博文，上﨑善規

556. 2009 年 7 月 23-25 日　第 27 回日本骨代謝学会（大阪）
小分子化合物 harmine は破骨前駆細胞における NFATc1 および Id2 発現を増強する
（ポスター）
○江草　宏，土居正典，佐伯万騎男，矢谷博文
優秀ポスター演題賞

557. 2009 年 7 月 25-26 日　第 22 回日本顎関節学会・第 14 回日本口腔顔面痛学会共催集会（東京）
インプラント埋入手術が三叉神経領域の疼痛閾値に及ぼす影響に関する予備的検討；第 2 報（口演）
○小野清美，石垣尚一，矢谷博文

558. 2009 年 8 月 3 日　The 6th Congress of the International Federation of Esthetic Dentistry (Las Vegas, USA)
Complex esthetic treatments for a patient injured in a traffic accident: A case report (ポスター)
○ Nakamura T, Miyamae M, Wakabayashi K, Waki T, Yatani H

559. 2009年9月9日　The 6th Congress of the European Federation of IASP (International Association for the Study of Pain) Chapters (EFIC) (Lisbon, Portugal)
The effect of the implant surgery on the pain threshold of the trigeminal nerve region (ポスター)
○ Ishigaki S, Ono K, Yatani H

560. 2009 年 9 月 9-11 日　第 51 回歯科基礎医学会（新潟）
合成ペプチド SVVYGLR の骨組織再生作用（口演）
○江草　宏，金田善俊，萱島浩輝，福安　翔，明石喜裕，矢谷博文

561. 2009 年 9 月 9-11 日　第 51 回歯科基礎医学会（新潟）
周期的圧縮刺激が口腔粘膜細胞応答に及ぼす影響（口演）
○明石喜裕，江草　宏，飯田　務，小林宗正，土居正典，萱島浩輝，福安　翔，矢谷博文

562. 2009 年 9 月 19-20 日　第 20 回日本歯科審美学会（東京）
ジルコニアアバットメントとジルコニアクラウンを用いたインプラント上部構造に関する臨床評価（ポスター）
○中野　環，若林一道，青江利明，宮内修平，矢谷博文

563. 2009 年 9 月 19-20 日　第 20 回日本歯科審美学会（東京）
ハイスピードカメラを用いた歯根破折の動的挙動解析（ポスター）
○濱田悠子，若林一道，中村隆志，絹田宗一郎，大山龍男，赤尾　剛，宮前守寛，荘村泰治，矢谷博文

564. 2009 年 9 月 19-20 日　第 20 回日本歯科審美学会（東京）
審美領域に中等度骨欠損を有する症例に対する歯周再生療法の応用（ポスター）
○宮前守寛，中村隆志，若林一道，岡本　啓，矢谷博文

講演・発表

565. 2009 年 9 月 22-24 日　The 2nd Meeting of IADR Pan Asian Pacific Federation (PAPF) and the 1st Meeting of IADR Asia/Pacific Region (APR)（Wuhan, China）
Transcriptomic Regulation of Antifungal Resistant Genes in Candida albicans（口演）
○ Watamoto T, Seneviratne CJ, Egusa H, Yatani H, Samaranayake LP

566. 2009 年 9 月 22-24 日　The 2nd Meeting of IADR Pan Asian Pacific Federation (PAPF) and the 1st Meeting of IADR Asia/Pacific Region (APR)（Wuhan, China）
Contributing Factors to Temporomandibular Disorders and Sleep Bruxism（ポスター）
○ Uchida M, Yatani H, Ishigaki S, Toda M, Morimoto K

567. 2009 年 10 月 1-2 日　第 54 回日本歯科理工学会（鹿児島）
オプティカルトラッカーを用いたインプラント埋入位置姿勢計測法（第 2 報）
- インプラント位置関係の再現ソフトウェアの開発 -（ポスター）
○小野真司，山口　哲，楠本直樹，山田真一，荘村泰治，矢谷博文

568. 2009 年 10 月 1-2 日　第 54 回日本歯科理工学会（鹿児島）
チタン金属表面における酸化チタンナノチューブの合成と生体適合性（ポスター）
○西田尚敬，江草　宏，中村隆志，山本一世，矢谷博文

569. 2009 年 11 月 7 日　第 2 回日本運動器疼痛研究会（東京）
筋電図平均周波数を用いた咬筋慢性筋痛の評価（口演）
○石垣尚一，鈴木英史，矢谷博文

570. 2009 年 11 月 7-8 日　The 3rd Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry (Hiroshima)
Chemical library screening of orphan ligands for identifying osteoclastogenesis-related small molecular compounds（ポスター）
○ Egusa H, Doi M, Saeki M, Kamisaki Y, Yatani H

571. 2009 年 11 月 7-8 日　The 3rd Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry (Hiroshima)
Transcriptomic regulation of antifungal resistant genes in candida albicans and its hyphal mutants（ポスター）
○ Watamoto T, Seneviratne CJ, Egusa H, Yatani H, Samaranayake LP

572. 2009 年 11 月 8 日　2009 Fall Meeting Korean Academy of Esthetic Dentistry (Seoul, Korea)
Multidisciplinary approach for a patient: A case report（ポスター）
○ Miyamae M, Nakamura T, Wakabayashi K, Nakano H, Yatani H

573. 2009 年 11 月 12 日　第 109 回大阪大学歯学会例会（大阪）
成体マウス口腔粘膜細胞を用いた人工多能性幹（iPS）細胞の樹立（口演）
○萱島浩輝，江草　宏，福安　翔，佐伯万騎男，明石喜裕，矢谷博文

574. 2009 年 11 月 13 日　歯科補綴ウィンタースクール淡路 2009（淡路）
三叉神経領域における温度刺激を用いた定量的感覚検査（QST）の信頼性（口演）
○福田修二，石垣尚一，鈴木英史，内田昌範，宮内鉄平，小野清美，矢谷博文

575. 2009 年 11 月 14-15 日　平成 21 年度日本補綴歯科学会関西支部，中国・四国支部合同学術大会（淡路）
二層式ナイトガードの睡眠時ブラキシズム抑制効果についての予備的検討（ポスター）
○村嶋史子，宮本哲郎，瑞森崇弘，能勢浩行，小林靖宜，稲野眞治，角谷誠和，武村紗弥佳，矢谷博文

576. 2009 年 11 月 14-15 日　平成 21 年度日本補綴歯科学会関西支部，中国・四国支部合同学術大会（淡路）
小分子化合物 harmine が骨髄由来間質幹細胞の骨芽細胞分化に及ぼす影響（口演）
○福安　翔，江草　宏，萱島浩輝，土居正典，明石喜裕，矢谷博文

577. 2009 年 11 月 21 日　The 5th Asian Academy of Osseointegration (Bali, Indonesia)
Position and pose measurement method of inserted implants using optical tracker -Development of reconstruction software for implants relationship-（ポスター）
○ Ono S, Yamaguchi S, Kusumoto N, Nakano T, Yamada S, Sohmura T, Yatani H

578. 2009 年 11 月 28-29 日　第 43 回日本顎口腔機能学会（東京）
コードレス筋電計とウェアラブル睡眠センサを用いた睡眠時咬筋筋活動測定装置（口演）
○稲野眞治，瑞森崇弘，小林靖宜，角谷誠和，村嶋史子，武村紗弥佳，矢谷博文

講演・発表

579. 2009 年 11 月 28-29 日　第 43 回日本顎口腔機能学会（東京）
クレンチングが三叉神経支配領域の疼痛閾値に及ぼす影響とその経時的変化（口演）
○宮内鉄平，石垣尚一，小野清美，福田修二，矢谷博文

580. 2010 年 1 月 12-13 日　第 48 回セラミックス基礎科学討論会（沖縄）
低温劣化を抑制したジルコニアセラミックスの歯科への応用（ポスター）
○宇佐美博文，中村隆志，西田尚敬，関野　徹，大西宏司，竹内美由紀，矢谷博文

581. 2010 年 1 月 23-24 日　第 28 回日本接着歯学会学術大会（島根）
ハイスピードカメラを用いた歯根破折の動的挙動解析（口演）
○濱田悠子，若林一道，山口　哲，中村隆志，荘村泰治，矢谷博文
増原英一メモリアルアワード

582. 2010 年 1 月 31 日　第 29 回日本口腔インプラント学会近畿・北陸支部学術大会（和歌山）
ジルコニアアバットメントとジルコニアクラウンを用いたインプラント上部構造の臨床評価（ポスター）
○山西康文，中野　環，小野真司，楠本直樹，山田真一，矢谷博文

583. 2010 年 2 月 22 日　ナノ・バイオメディカル学会　第 2 回大会（大阪）
ゲルスキャフォールド内での細胞，基質パターニング（口演）
○松本卓也，佐々木淳一，江草　宏，矢谷博文，荘村泰治

584. 2010 年 4 月 17-18 日　第 55 回日本歯科理工学会学術講演会（東京）
オプティカルトラッカーを用いたインプラント埋入位置姿勢計測法（第 3 報）－従来法との印象精度の比較－（ポスター）
○小野真司，山口　哲，楠本直樹，山田真一，荘村泰治，矢谷博文
研究奨励賞

585. 2010 年 4 月 24-25 日　第 44 回日本顎口腔機能学会学術大会（広島）
クレンチングが三叉神経支配領域における温熱刺激疼痛閾値に及ぼす影響とその経時的変化（口演）
○宮内鉄平，石垣尚一，小野清美，福田修二，高岡亮太，松下　登，矢谷博文

586. 2010 年 5 月 19-21 日　第 62 回日本細胞生物学会（大阪）
Nuclear import mechanism of myocardin family members（ポスター）
○ Nakamura S, Hayashi K, Egusa H, Yatani H, Sobue K

587. 2010 年 6 月 12 日　第 119 回日本補綴歯科学会学術大会（東京）
生体骨組織を模倣した細胞配向構造を有する新規骨移植材料（口演）
○佐々木淳一，松本卓也，江草　宏，荘村泰治，矢谷博文
課題口演優秀賞

588. 2010 年 6 月 12 日　第 119 回日本補綴歯科学会学術大会（東京）
周期的圧縮刺激に対する口腔粘膜の細胞応答が破骨細胞活性に及ぼす影響（ポスター）
○明石喜裕，江草　宏，萱島浩輝，福安　翔，矢谷博文
優秀ポスター賞（デンツプライ賞）

589. 2010 年 6 月 12 日　第 119 回日本補綴歯科学会学術大会（東京）
インプラント埋入手術が三叉神経領域の疼痛閾値に及ぼす影響に関する予備的検討
（ポスター）
○小野清美，石垣尚一，内田昌範，宮内鉄平，福田修二，矢谷博文

590. 2010 年 6 月 12 日　第 119 回日本補綴歯科学会学術大会（東京）
Candida albicans における薬剤耐性関連遺伝子の発現様式（ポスター）
○綿本隆生，Seneviratne CJ，江草　宏，Samaranayake LP，矢谷博文

591. 2010 年 7 月 8 日　第 110 回大阪大学歯学会例会（大阪）
周期的圧縮刺激に対する口腔粘膜の細胞応答が破骨細胞活性に及ぼす影響（口演）
○明石喜裕，江草　宏，松本卓也，萱島浩輝，福安　翔，裏口真也，矢谷博文

592. 2010 年 7 月 8 日　第 110 回大阪大学歯学会例会（大阪）
c-Myc を含まない 3 遺伝子の導入によるマウス歯肉線維芽細胞由来 iPS 細胞の樹立（口演）
○萱島浩輝，江草　宏，沖田圭介，山中伸弥，矢谷博文

593. 2010 年 7 月 14-17 日　The 88th General Session and Exhibition of the International Association for ental Research (IADR) (Barcelona, Spain)
Pain threshold of the trigeminal nerve after the implant surgery（ポスター）
○ Ishigaki S, Ono K, Miyauchi T, Yatani H

講演・発表

594. 2010年7月14-17日　The 88th General Session and Exhibition of the International Association for ental Research (IADR) (Barcelona, Spain)
Dual function of small-molecule compound harmine on osteogenesis and osteoclastogenesis（口演）
○ Fukuyasu S, Egusa H, Doi M, Kayashima H, Akashi Y, Yatani H
Pre-Prosthetic Regenerative Science Award 1st prize

595. 2010年7月14-17日　The 88th General Session and Exhibition of the International Association for ental Research (IADR) (Barcelona, Spain)
Antifungal resistance gene expressions in various lifestyles of Candida albicans（口演）
○ Watamoto T, Seneviratne CJ, Egusa H, Yatani H, Samaranayake LP
Arthur R. Frechette Award 1st prize

596. 2010年7月14-17日　The 88th General Session and Exhibition of the International Association for ental Research (IADR) (Barcelona, Spain)
Mechanical stress-induced cytokines from human gingival fibroblasts stimulate osteoclast activity（口演）
○ Akashi Y, Egusa H, Kayashima H, Fukuyasu S, Yatani H

597. 2010年7月14-17日　The 88th General Session and Exhibition of the International Association for ental Research (IADR) (Barcelona, Spain)
Generation of qualified mouse gingival fibroblast-derived iPS cells without c-Myc（口演）
○ Egusa H, Kayashima H, Okita K, Yamanaka S, Yatani H

598. 2010年7月14-17日　The 88th General Session and Exhibition of the International Association for ental Research (IADR) (Barcelona, Spain)
Efficient generation of iPS cells from adult mouse gingival fibroblasts（口演）
○ Kayashima H, Egusa H, Fukuyasu S, Akashi Y, Yamanaka S, Yatani H
Prosthodontics Group Student Research Fellowship Award

599. 2010年7月14-17日　The 88th General Session and Exhibition of the International Association for ental Research (IADR) (Barcelona, Spain)
Durability and comfortability of double layered nightguard（ポスター）
○ Mizumori T, Kobayashi Y, Inano S, Sumiya M, Murashima F, Yatani H

600. 2010 年 7 月 24-25 日　第 23 回日本顎関節学会総会・学術大会（東京）
顎関節症の寄与因子の検討―特に情動ストレスとの関係（ポスター）
○内田昌範，矢谷博文，石垣尚一
ポスター発表優秀賞

601. 2010 年 8 月 27-29 日　第 21 回日本歯科審美学会学術大会（岩手）
口唇口蓋裂に伴う前歯部欠損による審美障害を接着ブリッジで改善した一症例（ポスター）
○佐々木知帆，三原佑介，石垣尚一，高岡亮太，矢谷博文

602. 2010 年 8 月 27-29 日　第 21 回日本歯科審美学会学術大会（岩手）
ハイスピードカメラを用いたオールセラミッククラウン破折時の動的挙動分析（口演）
○若林一道，中村隆志，大山龍男，赤尾　剛，岡本　啓，矢谷博文

603. 2010 年 9 月 21-22 日　第 52 回歯科基礎医学会学術大会（東京）
周期的圧縮刺激に対する口腔粘膜の細胞応答が破骨細胞活性に及ぼす影響
（口演，ポスター）
○明石喜裕，江草　宏，萱島浩輝，矢谷博文

604. 2010 年 9 月 21-22 日　第 52 回歯科基礎医学会学術大会（東京）
マウス歯肉線維芽細胞を用いた効率的な iPS 細胞の樹立（口演，ポスター）
○萱島浩輝，江草　宏，明石喜裕，佐伯万騎男，矢谷博文
優秀ポスター発表賞

605. 2010 年 9 月 24-25 日　European Academy of Craniomandibular Disorders（Naples, Italy）
Reliability of the quantitative sensory testing (QST) using thermal stimulus in the trigeminal area（ポスター）
○ Fukuda S, Ishigaki S, Yatani H

606. 2010 年 10 月 3 日　The 13th Scientific Meeting of the Asian Academy of Craniomandibular Disorders（Fukuoka）
Reliability of the quantitative sensory testing (QST) using thermal stimulus in the trigeminal area（ポスター）
○ Fukuda S, Ishigaki S, Yatani H

講演・発表

607. 2010 年 10 月 3 日　The 13th Scientific Meeting of the Asian Academy of Craniomandibular Disorders（Fukuoka）
Identification of sleep bruxism with an ambulatory wireless bruxism recording system including a biological monitor（ポスター）
○ Inano S, Mizumori T, Kobayashi Y, Sumiya M, Murashima F, Yatani H

608. 2010 年 10 月 9 日　第 56 回日本歯科理工学会学術大会（岐阜）
スキャフォールドフリー三次元細胞構造体の作製（口演）
○松本卓也，佐々木淳一，江草　宏，矢谷博文

609. 2010 年 10 月 16 日　第 14 回日本歯科学会東京支部学術大会（東京）
Elucidation of genetic and environmental factors involved in sleep bruxism in twin（口演）
○高岡亮太，石垣尚一，矢谷博文
Designing Clinical Research Competition Award of Excellence

610. 2010 年 10 月 30 日　第 8 回日本再生歯科医学会学術大会（名古屋）
歯肉線維芽細胞は有用な iPS 細胞源である（ポスター）
○江草　宏，沖田圭介，萱島浩輝，于　冠男，山中伸弥，矢谷博文
ポスター優秀賞

611. 2010 年 11 月 6 日　第 45 回日本顎口腔機能学会学術大会（埼玉）
短時間の軽度クレンチングが三叉神経領域における疼痛閾値に及ぼす影響（口演）
○宮内鉄平，石垣尚一，小野清美，福田修二，高岡亮太，松下　登，矢谷博文

612. 2010 年 11 月 6 日　第 45 回日本顎口腔機能学会学術大会（埼玉）
心拍数変動をトリガーとする電気刺激を用いた能動的睡眠時ブラキシズム抑制効果（口演）
○角谷誠和，瑞森崇弘，小林靖宜，稲野眞治，村島史子，矢谷博文

613. 2010 年 11 月 11 日　第 111 回大阪大学歯学会例会（大阪）
Candida albicans における薬剤耐性関連遺伝子の発現様式（口演）
○綿本隆生，Seneviratne CJ，江草　宏，伊村沙織，Samaranayake LP，矢谷博文

614. 2010 年 11 月 12-14 日　The 6th Congress of the Asian Academy of Osseointegration (Seoul, Korea)
Effect of an abutment applied horizontal set off and a new implant with back tapered neck on crestal bone in the esthetic zone : Athree-dimensional finite element analysis（ポスター）
○ Yamanishi Y, Yamaguchi S, Nakano T, Yamada S, Yatani H

615. 2010 年 11 月 13-14 日　平成 22 年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会（大阪）
ジルコニア用陶材の焼成回数が水熱腐食に及ぼす影響（ポスター）
○湯　学華，中村隆志，宇佐美博文，矢谷博文

616. 2010 年 11 月 13-14 日　平成 22 年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会（大阪）
顎関節症の症型発現における精神心理学因子の関与（口演）
○高岡亮太，松下　登，福田修二，小野清美，宮内鉄平，内田昌範，石垣尚一，奥田眞夫，矢谷博文

617. 2011 年 3 月 11 日　第 10 回日本再生医療学会総会（東京）
歯肉組織由来線維芽細胞は有用な iPS 細胞源 である（口演）
○江草　宏，沖田圭介，山中伸弥，矢谷博文

618. 2011 年 3 月 16 日　The 89th General Session and Exhibition of the International Association for ental Research (IADR) (San Diego, USA)
Enhanced osteogenesis of gingival fibroblast-derived iPS cells by small molecules (口演)
○ Kayashima H, Egusa H, Sasaki J-I, Yu G, Fukuyasu S, Yatani H
Arthur R. Frechette Prosthodontic Research Award Competition, Finalist

619. 2011 年 3 月 16 日　The 89th General Session and Exhibition of the International Association for ental Research (IADR) (San Diego, USA)
Cell-based double-screening method to identify reliable candidate for osteogenesis-targeting compounds (口演)
○ Fukuyasu S, Egusa H, Akashi Y, Kayashima H, Uraguchi S, Yu G, Yatani H
Arthur R. Frechette Prosthodontic Research Award Competition, Finalist

講演・発表

620. 2011 年 4 月 2-3 日　第 2 回日本歯科 CAD/CAM 学会学術大会（東京)
ハイスピードカメラを用いたオールセラミッククラウン破折時の動的挙動分析（ポスター）
○若林一道，宇佐美博文，中村隆志，矢谷博文
最優秀発表賞

621. 2011 年 4 月 15-17 日　The 4th International Congress on Adhesive Dentistry (Seoul, Korea)
Evaluation of adhesion of resin to radicular dentin in a direct resin core build-up method(口演)
○ Matsumoto M, Miura J, Yatani H

622. 2011 年 4 月 30 日　第 50 回日本生体医工学会（東京）
温度応答性ハイドロゲルを用いた三次元細胞集合体の作製（口演）
○松本卓也，佐々木淳一，江草　宏，麻生隆彬，明石　満，今里　聡，矢谷博文

623. 2011 年 4 月 30 日　第 50 回日本生体医工学会（東京）
細胞集合体を利用した硬組織生成過程の in vitro 再現（口演）
○佐々木淳一，松本卓也，江草　宏，矢谷 博文

624. 2011 年 5 月 20-21 日　第 120 回日本補綴歯科学会学術大会（東京）
圧縮刺激が誘発する顎堤吸収機構の解明に 向けた骨免疫学的アプローチ（口演）
○明石喜裕，江草　宏，矢谷博文
課題口演優秀賞

625. 2011 年 5 月 20-21 日　第 120 回日本補綴歯科学会学術大会（東京）
心拍数変動をトリガーとする電気刺激を用いた睡眠時ブラキシズムの能動的抑制（口演）
○角谷誠和，瑞森崇弘，小林靖宜，稲野眞治，村嶋史子，矢谷博文

626. 2011 年 5 月 20-21 日　第 120 回日本補綴歯科学会学術大会（東京）
義歯床用レジンの表面性状はCandida albicansの抗真菌剤感受性に影響を与える（ポスター）
○綿本隆生，伊村沙織，佐々木淳一，江草　宏，矢谷博文

627. 2011 年 5 月 20-21 日　第 120 回日本補綴歯科学会学術大会（東京）
口腔インプラントのための光学印象システムの開発　–従来法との印象精度の比較–
（ポスター）
○小野真司，山口　哲，楠本直樹，中野　環，矢谷博文

628. 2011 年 5 月 20-21 日　第 120 回日本補綴歯科学会学術大会（東京）
インプラント埋入手術が頭頸部の疼痛閾値に及ぼす影響（ポスター）
○小野清美，石垣尚一，内田昌範，宮内鉄平，福田修二，矢谷博文

629. 2011 年 5 月 20-21 日　第 120 回日本補綴歯科学会学術大会（東京）
小分子化合物を用いた歯肉由来 iPS 細胞の骨芽細胞分化促進（ポスター）
○萱島浩輝，江草　宏，佐々木淳一，裏口真也，于　冠男，王　放放，福安　翔，矢谷博文

630. 2011 年 05 月 28 日　International Dental Materials Congress 2011 (Seoul, Korea)
Dental implant surgical navigation system by retinal imaging display（ポスター）
○ Yamaguchi S, Yamanishi Y, Ono S, Yatani H, Imazato S

631. 2011 年 05 月 28 日　International Dental Materials Congress 2011 (Seoul, Korea)
Evaluation of Silica-Doped Y-TZP for Dental Restorations（ポスター）
○ Usami H, Nakamura T, Nishida H, Sekino T, Onishi H, Takeuchi M, Yatani H

632. 2011 年 6 月 27 日　第 63 回日本細胞生物学会学術大会（札幌）
Relationship between the expression of nuclear import machineries for myocardin and vascular smooth muscle cell phenotype（口演）
○ Nakamura S, Hayashi K, Iwasaki K, Fujioka T, Egusa H, Yatani H, Sobue K

633. 2011 年 6 月 30 日　第 112 回大阪大学歯学会例会（大阪）
骨芽細胞分化促進作用を有する小分子化合 物の探索システムの構築（口演）
○福安　翔，江草　宏，萱島浩輝，裏口真也，鎌野優弥，佐伯万騎男，矢谷博文

講演・発表

634. 2011 年 7 月 23-24 日　The 2nd Asian Academic Congress for the Temporomandibular Joint (in conjunction with the 24th Meeting of the Japanese Society of Temporomandibular Joint) (Hiroshima)
Influence of lifestyle and habits on the pain intensity in patients with temporomandibular disorders(ポスター)
○ Takaoka R, Fukuda S, Ishigaki S, Yatani H

635. 2011年08月29日　日本歯科理工学会　近畿･中四国支部　平成23年夏期セミナー(淡路島)
三次元有限要素解析を用いたインプラントデザインの差異が周囲骨に及ぼす力学的影響の評価（口演）
○山西康文，山口　哲，中野　環，今里　聡，矢谷博文

636. 2011 年 9 月 9-12 日　The 14th Biennial Meeting of International College of Prosthodontists (Hawaii, USA)
Prediction of sleep bruxism event by increased heart rate（ポスター）
○ Mizumori T, Sumiya M, Kobayashi Y, Inano S, Yatani H

637. 2011 年 9 月 9-12 日　The 14th Biennial Meeting of International College of Prosthodontists (Hawaii, USA)
Elucidation of relationship between axis I classification of temporomandibular disorders and psychological factors, health, life style, and habit（ポスター）
○ Ishigaki S, Takaoka R, Fukuda S, Matsushita N, Yatani H

638. 2011 年 9 月 9-12 日　The 14th Biennial Meeting of International College of Prosthodontists (Hawaii, USA)
Identification of sleep bruxism with an ambulatory wireless bruxism recording system including a biological sensor（ポスター）
○ Inano S, Mizumori T, Kobayashi Y, Sumiya M, Yatani H

639. 2011 年 9 月 10-11 日　第 9 回日本再生歯科医学会学術大会（大阪）
骨芽細胞分化促進作用を有する小分子化合 物の探索システムの構築（ポスター）
○福安　翔，江草　宏，萱島浩輝，裏口真也，鎌野優弥，矢谷博文

640. 2011 年 9 月 10-11 日　第 9 回日本再生歯科医学会学術大会（大阪）
Id2 欠損マウス由来 iPS 細胞を用いた骨芽細胞分化誘導モデル（ポスター）
○裏口真也，江草　宏，萱島浩輝，福安　翔，王　放放，矢谷博文

641. 2011 年 09 月 17 日　第 41 回日本口腔インプラント学会学術大会（名古屋）
新規骨移植材料の開発を目指した歯肉由来 iPS 細胞の 骨芽細胞分化誘導法の確立（口演）
○萱島浩輝，江草　宏，佐々木淳一，中野　環，矢谷博文

642. 2011 年 09 月 17 日　第 41 回日本口腔インプラント学会学術大会（名古屋）
アバットメント連結様式の差異がアバットメントスクリューと周囲骨に及ぼす力学的影響の解析（ポスター）
○山西康文 , 山口　哲 , 中野　環 , 今里　聡 , 矢谷博文
デンツプライ賞

643. 2011 年 09 月 17 日　第 41 回日本口腔インプラント学会学術大会（名古屋）
骨形成促進作用を有する小分子化合物の探 索システムの構築（ポスター）
○福安　翔，江草　宏，萱島浩輝，中野　環，矢谷博文

644. 2011 年 9 月 21-24 日　The 7th Congress of the European Federation of IASP (International Association for the Study of Pain) Chapters（Hamburg, Germany）
Effect of the dental implant surgery on the pain threshold of head and neck region（ポスター）
○ Ishigaki S, Ono K, Yatani H

645. 2011 年 10 月 1 日　第 53 回歯科基礎医学会学術大会（岐阜）
骨芽細胞分化促進作用を有する小分子化合 物の探索システムの構築（口演）
○福安　翔，江草　宏，佐伯万騎男，矢谷 博文

646. 2011 年 10 月 1 日　第 33 回日本歯科技工学会学術大会（東京）
3 次元形状の一致度を用いた評価方法の提案（ポスター）
○西　佑太，菅澤亜美，北原一慶，山口　哲，町　博之，林　克哉，矢谷博文

講演・発表

647. 2011 年 10 月 1 日　第 33 回日本歯科技工学会学術大会（東京）
歯科技工における Augmented Reality の応用（ポスター）
○森田博子，久保　瞳，佐藤由衣，篠原秀一，北原一慶，山口　哲，矢谷博文

648. 2011 年 10 月 1 日　第 33 回日本歯科技工学会学術大会（東京）
熱可塑性硬質レジンと常温重合レジンとの接着強度（ポスター）
○杉田雄飛，甲斐亘輝，村上周也，竹澤真美，町　博之，前田芳信，矢谷博文

649. 2011 年 10 月 8-9 日　第 22 回日本歯科審美学会学術大会（奈良）
ジルコニア用陶材の焼成回数が物性と微細構造に及ぼす影響（ポスター）
○湯　学華，中村隆志，宇佐美博文，若林一道，矢谷博文

650. 2011 年 10 月 8-9 日　第 22 回日本歯科審美学会学術大会（奈良）
ポーラス構造を有するジルコニアセラミックスの機械的性質（ポスター）
○菅野　剛，中村隆志，宇佐美博文，西田尚敬，赤尾　剛，大山龍男，矢谷博文

651. 2011 年 10 月 20-21 日　第 135 回日本歯科保存学会学術大会（大阪）
新規デュアルキュア型レジンコア材料を用いた支台築造システムにおける根面接着様相の評価（ポスター）
○松本真理子，三浦治郎，矢谷博文

652. 2011 年 10 月 22-23 日　平成 23 年度第 47 回日本顎口腔機能学会学術大会（神戸）
定量的感覚検査法を用いた短時間低レベルクレンチングによる疼痛緩和機構の解明（口演）
○宮内鉄平，石垣尚一，小野清美，福田修二，高岡亮太，松下登，宇野浩一郎，矢谷博文

653. 2011 年 10 月 28-31 日　The 7th Biennial Meeting of Asian Academy of Prosthodontics（Shanghai, China）
Effect of short-time low-level teeth clenching on the thermal pain intensity（ポスター）
○ Miyauchi T, Ono K, Ishigaki S, Yatani　H

654. 2011 年 10 月 28-31 日　The 7th Biennial Meeting of Asian Academy of Prosthodontics（Shanghai, China）
Prospective cohort study on the pain threshold of head and neck region after the implant surgery（ポスター）
○ Ono K, Miyauchi T, Ishigaki S, Yatani H

655. 2011 年 11 月 19-20 日　第 16 回日本口腔顔面痛学会学術大会（神戸）
QST を用いた侵害刺激と認知される痛みの関連性－健常成人について－（ポスター）
○福田修二，石垣尚一，宮内鉄平，小野清美，高岡亮太，松下　登，宇野浩一郎，矢谷博文

656. 2011 年 11 月 13-14 日　第 4 回日本運動器疼痛学会学術大会（大阪）
顎関節症の症型発現における精神心理学的因子の関与（ポスター）
○石垣尚一，高岡亮太，福田修二，内田昌範，矢谷博文

657. 2011 年 11 月 21 日　第 33 回日本バイオマテリアル学会学術大会（京都）
三次元細胞集合体を利用した内軟骨骨化の in vitro 再現（口演）
○佐々木淳一，松本卓也，江草　宏，西口昭広，松崎典弥，明石　満，今里　聡，矢谷博文
大会長賞

658. 2012 年 1 月 12 日　第 113 回大阪大学歯学会例会（大阪）
Id2 欠損マウス由来 iPS 細胞を用いた骨芽細胞分化機構の解析（口演）
○裏口真也，江草　宏，萱島浩輝，福安　翔，王　放放，矢谷博文

659. 2012 年 2 月 4 日　平成 23 年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会（神戸）
歯科医療器具洗浄における二酸化塩素の応用（口演）
○綿本隆生，江草　宏，矢谷博文

660. 2012 年 2 月 4 日　平成 23 年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会（神戸）
口腔内における定量的感覚検査の信頼性　第一報　口蓋粘膜における温冷覚閾値（口演）
○松下　登 , 内田昌範 , 石垣尚一 , 矢谷博文

661. 2012 年 4 月 3 日　The Joint 2nd World Congress on Twin Pregnancy and the 14th Congress of the International Society of Twin Studies (ISTS) (Florence, Italy)
Preliminary analysis of genetic and environmental factors involved in sleep bruxism in twins（ポスター）
○ Takaoka R, Ishigaki S, Hayakawa K, Yatani H

662. 2012 年 4 月 14 日　第 3 回日本歯科 CAD/CAM 学会学術大会（東京）
CAD/CAM にて作製したサイナスリフトアシスタント機構付きサージカルガイドの臨床応用（ポスター）
○小野真司，若林一道，荘村泰治，中野　環，中村隆志，矢谷博文

講演・発表

663. 2012 年 4 月 15 日　第 59 回日本歯科理工学会学術大会（徳島）
細胞集合体を用いた内軟骨性骨化 in vitro 定量解析ツールの開発（口演）
○佐々木淳一，松本卓也，江草　宏，矢谷博文，今里　聡

664. 2012 年 4 月 22 日　第 48 回日本顎口腔機能学会学術大会（塩尻）
口腔内における定量的感覚検査の信頼性－口蓋・舌・歯肉における温冷知覚閾値－（口演）
○松下　登，石垣尚一，内田昌範，福田修二，高岡亮太，宇野浩一郎，矢谷博文

665. 2012 年 5 月 4 日　The 28th Annual Meeting of American Academy of Cosmetic Dentistry（Washington DC, USA）
Esthetic rehabilitation with a ridge preservation and zirconia restorations: A case report
○ Nakamura T, Miyamae M, Wakabayashi K, Yatani H

666. 2012 年 5 月 4 日　The 28th Annual Meeting of American Academy of Cosmetic Dentistry（Washington DC, USA）
Periodontal regeneration therapy focused on eshthetic outcome: A case report
○ Wakabayashi K, Miyamae M, Nakamura T, Yatani H

667. 2012 年 5 月 4 日　The 28th Annual Meeting of American Academy of Cosmetic Dentistry（Washington DC, USA）
Anterior diasthema closure with proximal porcelain laminate veneer without tooth preparation
○ Nishida H, Mutobe Y, Nakamura T, Wakabayashi K, Yamamoto K

668. 2012 年 5 月 27 日　第 121 回日本補綴歯科学会学術大会（横浜）
健常者における温熱刺激によって惹起される疼痛反応の特性（口演）
○福田修二，石垣尚一，宇野浩一郎，矢谷博文

669. 2012 年 5 月 27 日　第 121 回日本補綴歯科学会学術大会（横浜）
噛みしめによる疼痛緩和作用の探索（ポスター）
○宮内鉄平，石垣尚一，内田昌範，小野清美，福田修二，高岡亮太，松下　登，宇野浩一郎，矢谷博文

670. 2012 年 5 月 27 日　第 121 回日本補綴歯科学会学術大会（横浜）
歯科インプラント埋入手術に伴う疼痛閾値の経時的変化（ポスター）
○小野清美，石垣尚一，内田昌範，宮内鉄平，福田修二，高岡亮太，松下　登，宇野浩一郎，矢谷博文

671. 2012 年 5 月 27 日　第 121 回日本補綴歯科学会学術大会（横浜）
インプラント治療における CBCT 画像の応用 - 再現性の検討（ポスター）
○上中彰浩，中野　環，小林靖宜，小野真司，矢谷博文

672. 2012 年 5 月 27 日　第 121 回日本補綴歯科学会学術大会（横浜）
腫瘍形成を回避した iPS 細胞の骨芽細胞分化誘導法－自己細胞由来骨移植材料に向けて－（ポスター）
○萱島浩輝，江草　宏，矢谷博文
優秀ポスター賞（デンツプライシロナ賞）

673. 2012 年 6 月 20 日　The 90th General Session and Exhibition of the International Association for ental Research (IADR) (Iguacu Falls, Brazil)
Enhanced osteogenesis of iPS cells by Id2 gene knockout（口演）
○ Uraguchi S, Egusa H, Fukuyasu S, Kamano Y, Yatani H
Arthur R. Frechette Prosthodontic Research Award Competition, First Place Winner

674. 2012 年 6 月 20 日　The 90th General Session and Exhibition of the International Association for ental Research (IADR) (Iguacu Falls, Brazil)
PICK1 regulates osteoclastogenesis by binding to calcineurin B（口演）
○ Kamano Y, ○ Egusa H, Saeki M, Iida T, Uraguchi S, Yatani H
Arthur R. Frechette Prosthodontic Research Award Competition, Finalist

675. 2012 年 7 月 14-15 日　第 25 回日本顎関節学会学術大会（札幌）
慢性疼痛を有する顎関節症患者における温熱侵害刺激により認知される痛みの特性（口演）
○福田修二，石垣尚一，宇野浩一郎，矢谷博文

676. 2012 年 7 月 14-15 日　第 25 回日本顎関節学会学術大会（札幌）
口腔内における定量的感覚検査の信頼性－頬粘膜における冷知覚閾値－（ポスター）
○内田昌範，松下　登，石垣尚一，福田修二，高岡亮太，宇野浩一郎，矢谷博文

講演・発表

677. 2012 年 7 月 21 日　The 12th Biennial meeting of Asian Academy of Aesthetic Dentistry（Sapporo）
Bond strength between veneering porcelain and zirconia ceramics with porous surface（ポスター）
○ Sugano T, Nakamura T, Wakabayashi K, Usami H, Okamoto K, Yatani H

678. 2012 年 7 月 21 日　The 12th Biennial meeting of Asian Academy of Aesthetic Dentistry（Sapporo）
Bonding effectiveness and multi-interfacial chalacterization of two contemporary direct build-up core systems（ポスター）
○ Matsumoto M, Mine A, Miura J, Yatani H
Poster award

679. 2012 年 7 月 20 日　第 31 回日本歯科医学教育学会学術大会（岡山）
大阪大学歯学部附属歯科技工士学校におけるスモール・グループ・ディスカッション学習の試み（ポスター）
○瑞森崇弘，矢谷博文

680. 2012 年 8 月 28 日　The 14th World Congress on Pain（Milan, Italy）
Characteristics of nociceptive response to heat stimulus in healthy subjects（ポスター）
○ Fukuda S, Ishigaki S, Yatani H

681. 2012 年 9 月 22 日　第 42 回日本口腔インプラント学会学術大会（大阪）
インプラントデザインの違いがインプラント周囲骨の応力分布に及ぼす影響（口演）
○山西康文，山口哲，中野　環，今里 聡，矢谷博文

682. 2012 年 9 月 22 日　第 42 回日本口腔インプラント学会学術大会（大阪）
CBCT を用いたインプラント体側の歯槽骨量の定量的評価（口演）
○上中彰浩，中野　環，小林靖宜，小野真司，矢谷博文

683. 2012 年 10 月 7 日　The 14th Scientific Meeting of the Asian Academy of Craniomandibular Disorders（Taipei, Taiwan）
Preliminary evaluation of genetic and environmental factors involved in sleep bruxism in twins（ポスター）
○ Ishigaki S, Takaoka R, Ogata S, Hayakawa K, Yatani H

684. 2012 年 10 月 7 日　The 14th Scientific Meeting of the Asian Academy of Craniomandibular Disorders（Taipei, Taiwan）
The influence of personality on sleep bruxism in Twins（ポスター）
○ Takaoka R, Ishigaki S, Ogata S, Hayakawa K, Yatani H

685. 2012 年 10 月 21 日　第 49 回日本顎口腔機能学会学術大会（福岡）
加齢が口腔内の温冷知覚閾値に及ぼす影響（口演）
○松下　登 , 石垣尚一 , 内田昌範 , 宇野浩一郎 , 矢谷博文

686. 2012 年 10 月 21 日　第 49 回日本顎口腔機能学会学術大会（福岡）
顎関節患者における定量的感覚検査を用いた疼痛感覚の検討（口演）
○福田修二 , 石垣尚一 , 矢谷博文

687. 2012 年 11 月 9-11 日　第 22 回日本歯科医学会総会（大阪）
Id2 欠損マウス由来 iPS 細胞を用いた骨芽細胞分化機構の解析（ポスター）
○裏口真也，江草　宏，福安　翔，鎌野優弥，王　放放，矢谷博文

688. 2012 年 11 月 9-11 日　第 22 回日本歯科医学会総会（大阪）
双生児研究による睡眠時ブラキシズムの発現に関与する遺伝要因および環境要因の解析のための予備分析（ポスター）
○高岡亮太，石垣尚一，宇野浩一郎，松下　登，福田修二，尾形宗士郎，早川和生，矢谷博文

689. 2012 年 11 月 9-11 日　第 22 回日本歯科医学会総会（大阪）
ウェアラブル生体センサを用いた睡眠時ブラキシズムの同定（ポスター）
○稲野眞治 , 瑞森崇弘 , 小林靖宜 , 角谷誠和 , 矢谷博文

690. 2012 年 11 月 9-11 日　第 22 回日本歯科医学会総会（大阪）
咬合異常感（違和感）の発症因子に関する多施設による実態調査の結果報告（ポスター）
○玉置勝司 , 小谷野潔 , 鱒見進一 , 窪木拓男 , 皆木省吾 , 貞森紳丞 , 矢谷博文 ,
藤澤政紀，杉崎正志，成田紀之，原　節宏，馬場一美，尾口仁志，金村清孝，山口泰彦，西川洋二，塚原宏泰

講演・発表

691. 2013 年 1 月 26 日　日本双生児研究学会第 27 回学術講演会（東京）
双生児研究による睡眠時ブラキシズムの発現に関与する遺伝要因および環境要因の解析（口演）
○石垣尚一，高岡亮太，尾形宗士郎，早川和生，矢谷博文

692. 2013 年 3 月 3 日　平成 24 年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会（大津）
審美歯冠修復装置の非破壊的適合試験法の検討 –第 1 報　X 線造影性を有する適合試験材の試作（口演）
○岡　雄造，若林一道，宇佐美博文，中村隆志，矢谷博文

693. 2013 年 3 月 3 日　平成 24 年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会（大津）
CBCT 画像によるインプラント体周囲軟組織の評価（口演）
○加藤時規，中野　環，小林靖宜，小野真司，上中彰浩，矢谷博文

694. 2013 年 3 月 3 日　平成 24 年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会（大津）
女性顎関節症患者における疼痛発現様相および生活習慣に対する精神心理学的因子の関与（口演）
○宇野浩一郎，高岡亮太，松下　登，福田修二，宮内鉄平，小野清美，内田昌範，奥田眞夫，石垣尚一，矢谷博文

695. 2013 年 3 月 3 日　平成 24 年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会（大津）
光干渉断層装置を用いた根管内接着の非破壊的観察－直接法支台築造法の評価－（口演）
○南野卓也，峯　篤史，松本真理子，中谷早希，岩下太一，矢谷博文

696. 2013 年 3 月 3 日　平成 24 年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会（大津）
歯根モデルを用いた支台築造窩洞のポスト孔内乾燥方法の評価（口演）
○岩下太一，峯　篤史，松本真理子，中谷早希，南野卓也，矢谷博文

697. 2013 年 3 月 23 日　The 91th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Seattle, USA)
Virus-free and autologous culture system for human gingiva-derived iPS cells（口演）
○ Yu G, Egusa H, Wang F, Yatani H

698. 2013 年 3 月 23 日　The 91th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Seattle, USA)
Transcriptional activation of amelogenin enhances osteogenesis of mesenchymal stem cells（口演）
○ Wang F, Egusa H, Saeki M, Yatani H
Pre-Prosthetic Regenerative Science Award for Young Investigations, First Place Winner

699. 2013 年 3 月 23 日　The 91th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Seattle, USA)
Comparative Analysis of iPS Cells and Mesenchymal Stem Cells during Osteogenic Differentiation（口演）
○ Uraguchi S, Egusa H, Kayashima H, Wang F, Yu G, Okawa H, Yamamoto H, Fukuyasu S, Akashi Y, Yatani H
Pre-Prosthetic Regenerative Science Award for Young Investigations, Finalist

700. 2013 年 3 月 30 日　補綴若手研究会（岡山）
Simvastatin がマウス歯肉線維芽細胞由来 iPS 細胞の骨芽細胞分化に及ぼす影響（口演）
○大川博子，江草　宏，萱島浩輝，山本治毅，裏口真也，矢谷博文

701. 2013 年 4 月 13 日　2013 Biennial Joint Congress of CPS-JPS-KAP（Jeju, Korea）
Genetic and environmental factors involved in sleep bruxism in twins（ポスター）
○ Ishigaki S, Takaoka R, Yatani H
Best Poster Presentation Award

702. 2013 年 4 月 13 日　2013 Biennial Joint Congress of CPS-JPS-KAP（Jeju, Korea）
Multiple Evaluation of two contemporary direct build-up resin core systems by μTBS, SEM, EDX, TEM and μCT（ポスター）
○ Matsumoto M, Mine A, Miura J, Yatani H

703. 2013 年 4 月 13 日　2013 Biennial Joint Congress of CPS-JPS-KAP（Jeju, Korea）
Comparative Analysis of iPS Cells and Mesenchymal Stem Cells in Osteogenic Differentiation（口演）
○ Uraguchi S, Egusa H, Kayashima H, Wang F, Yu G, Okawa H, Yamamoto H, Yatani H

講演・発表

704. 2013 年 4 月 20 日　日本顎口腔機能学会　第 50 回記念学術大会（東京）
定量的感覚検査による舌および口蓋における冷・温知覚閾値の特徴（口演）
○松下　登 , 石垣尚一 , 内田昌範 , 宇野浩一郎 , 矢谷博文

705. 2013 年 4 月 21 日　第 4 回日本歯科 CAD/CAM 学会学術大会（東京）
マイクロフォーカス X 線 CT を用いた審美歯冠修復装置の非破壊的および三次元的適合試験法の検討 –第 1 報 X 線造影性を有する適合試験材の開発（ポスター）
○岡　雄造，若林一道，宇佐美博文，中村隆志，矢谷博文

706. 2013 年 4 月 21 日　第 4 回日本歯科 CAD/CAM 学会学術大会（東京）
ポーラス構造を有するジルコニアセラミックスと陶材の焼付強度（ポスター）
○中村隆志，菅野　剛，若林一道，宇佐美博文，矢谷博文

707. 2013 年 4 月 26 日　The 29th Annual Meeting of American Academy of Cosmetic Dentistry（Seattle, USA）
Dynamic fracture analysis of all-ceramic crowns by using high speed photography（ポスター）
○ Nakamura T, Wakabayashi K, Usami H, Yatani H

708. 2013 年 5 月 18 日　第 122 回日本補綴歯科学会学術大会（福岡）
骨量の不足した上顎臼歯部に用いたショートインプラントに関する力学的検討（ポスター）
○森脇大善，山口哲，中野　環，小林靖宜，小野真司，山西康文，矢谷博文

709. 2013 年 5 月 18 日　第 122 回日本補綴歯科学会学術大会（福岡）
定量的感覚検査を用いた慢性痛を有する顎関節症患者における疼痛認知の歪みの評価（口演）
○福田修二，石垣尚一，宇野浩一郎，矢谷博文

710. 2013 年 5 月 18 日　第 122 回日本補綴歯科学会学術大会（福岡）
化合物ライブラリーを用いた骨再生を促進する新規化合物の探索（口演）
○福安　翔，江草　宏，矢谷博文
課題口演優秀賞

711. 2013 年 5 月 18 日　第 122 回日本補綴歯科学会学術大会（福岡）
小分子化合物を応用した感染応答性義歯床材料の開発（口演）
○綿本隆生，江草　宏，矢谷博文，澤瀬　隆
課題口演賞

712. 2013 年 5 月 30 日　第 31 回日本骨代謝学会（神戸）
神経型α7ニコチン性アセチルコリン受容体は破骨細胞の分化調節に関与する（ポスター）
○江草　宏，佐伯万騎男，矢谷博文

713. 2013 年 7 月 12 日　第 18 回日本口腔顔面痛学会学術大会（大宮）
慢性痛患者における疼痛認知の歪みを測る（口演）
○福田修二，石垣尚一，宇野浩一郎，矢谷博文

714. 2013 年 7 月 19 日　第 26 回日本顎関節学会学術大会（東京）
顎関節症患者の疼痛発現に関連する精神心理学的リスク因子の検討（ポスター）
○宇野浩一郎，高岡亮太，福田修二，内田昌範，桑原俊也，石垣尚一，矢谷博文

715. 2013 年 7 月 20 日　第 24 回日本審美歯科学会学術大会（東京）
ポーラス／緻密の二層構造を有するジルコニアフレームのオールセラミッククラウンへの応用（ポスター）
○菅野　剛，中村隆志，若林一道，宇佐美博文，矢谷博文

716. 2013 年 8 月 3 日　第 5 回 ISMSJ 学術集会（神戸）
心拍変動をトリガーとする電気刺激を用いた睡眠時ブラキシズム（SB）の能動的抑制（ポスター）
○辻阪亮子，瑞森崇弘，小林靖宜，角谷誠一，稲野眞治，東山亮，矢谷博文

717. 2013 年 9 月 14 日　第 43 回日本口腔インプラント学会学術大会（福岡）
CBCT を用いたインプラント体頬側の軟組織および歯槽骨の経時的変化の検討（口演）
○上中彰浩，中野　環，加藤時規，矢谷博文
優秀研究発表賞

講演・発表

718. 2013 年 9 月 14 日　第 43 回日本口腔インプラント学会学術大会（福岡）
移植に安全な iPS 細胞技術を基盤とした新規骨増生術の開発（ポスター）
○萱島浩輝，江草　宏，飯田　務，明石喜裕，矢谷博文
デンツプライ賞

719. 2013 年 9 月 14 日　第 43 回日本口腔インプラント学会学術大会（福岡）
化合物ライブラリーを用いた新たな骨形成促進薬の探索（ポスター）
○福安　翔，江草　宏，小林宗正，飯田　務，矢谷博文

720. 2013 年 9 月 18 日　The 15th Biennial Meeting of the International College of Prosthodontists (Torino, Italy)
Genetic and environmental factors involved in sleep bruxism in twins（口演）
○ Takaoka R, Ishigaki S, Yatani H

721. 2013 年 9 月 20 日　The 8th world congress of International Federation of Esthetic Dentistry（Munich, Germany）
Comparison of three treatment modalities for single tooth loss in the esthetic region : a case series
○ Kibayashi H, Yatani H
Poster presentation award (1st place)

722. 2013 年 9 月 20 日　The 8th world congress of International Federation of Esthetic Dentistry（Munich, Germany）
Dynamic fracture analysis of all-ceramic crowns by using high speed photography（ポスター）
○ Wakabayashi K, Nakamura T, Kaname T, Okamoto K, Akao T, Oyama T, Yatani H

723. 2013 年 9 月 22 日　第 55 回歯科基礎医学会学術大会（岡山）
PICK1 は CalcineurinB と結合し破骨細胞分化を促進する（ポスター）
○鎌野優弥，江草　宏，佐伯万騎男，大川博子，矢谷博文

724. 2013 年 9 月 22 日　第 55 回歯科基礎医学会学術大会（岡山）
Simvastatin がマウス歯肉線維芽細胞由来 iPS 細胞の骨芽細胞分化に及ぼす影響（口演）
○大川博子，江草　宏，矢谷博文

725. 2013 年 10 月 5 日　日本顎口腔機能学会　第 51 回学術大会（新潟）
口腔内における冷・温知覚閾値を用いた定量的感覚検査プロトコールの確立（口演）
○松下　登 , 石垣尚一 , 内田昌範 , 宇野浩一郎 , 矢谷博文

726. 2013年10月9日　The 8th Congress of the European Federation of IASP (International Association for the Study of Pain) Chapters (Florence, Italy)
Assessment of the cognitive distortion of pain in patients with chronic temporomandibular disorders using quantitative sensory testing（ポスター）
○ Ishigaki S, Fukuda S, Yatani H

727. 2013 年 10 月 20 日　第 33 回日本口腔インプラント学会近畿・北陸支部学術大会（神戸）
下顎臼歯部インプラント周囲組織の安定と維持に影響を及ぼす因子の検討（口演）
○下元拓哉，中野　環，小林靖宜，小野真司，矢谷博文

728. 2013 年 11 月 10 日　Korean Academy of Esthetic Dentistry（Seoul, Korea）
Simulation of Adequate Abutment Tooth Preparation for CAD 月 CAM All-Ceramic Crowns using a CAD model（ポスター）
○ Nakagawa K, Wakabayashi K, Carbajal J, Nakamura T, Yatani H

729. 2013 年 11 月 23 日　平成 25 年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会（大阪）
健常成人の口腔内における冷・温知覚閾値の調査（口演）
○松下　登 , 石垣尚一 , 内田昌範 , 宇野浩一郎 , 矢谷博文

730. 2013 年 11 月 23 日　平成 25 年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会（大阪）
1 ステップシステムを用いた象牙質接着における NaOCl とスルフィン酸塩処理の効果（口演）
○中谷早希，峯　篤史，松本真理子，岩下太一，南野卓也，三浦治郎，矢谷博文

731. 2013 年 12 月 1 日　第 7 回三叉神経領域の感覚ー運動統合機構研究会（新潟）
レム睡眠における錐体路刺激に対する開閉口筋の応答特性（口演）
○東山　亮，加藤隆文，佐藤文彦，Tashinul Haque，矢谷博文，増田祐次，吉田　篤

講演・発表

732. 2013 年 12 月 6 日　第 13 回東北大学多元物質科学研究所発表会（仙台）
ポーラス／緻密の二層構造を有するジルコニアフレームのオールセラミッククラウンへの応用（口演）
○中村隆志，菅野　剛，関野　徹，大西宏司，中博律，若林一道，宇佐美博文，矢谷博文，田中俊一郎

733. 2013 年 12 月 20 日　　Health Through Oral Health Collaborative Education, Research and Practices (Krabi, Thailand)
Enetic and environmental factors involved in sleep bruxism in twins（口演）
○ Takaoka R, Ishigaki S, Ogata S, Hayakawa K, Yatani H

734. 2014 年 1 月 9 日大阪大学歯学会第 117 回例会（吹田）
iPS 細胞初期化関連タンパク質の分離と精製（口演）
○鎌野優弥，佐伯万騎男，江草　宏，上崎善規，矢谷博文

735. 2014 年 1 月 25 日　日本双生児研究学会第 28 回学術講演会（大阪）
抑うつと性格の相関に関連する要因の行動遺伝学的検討（口演）
○高岡亮太，石垣尚一，尾形宗士郎，早川和生，矢谷博文

736. 2014 年 3 月 19 日　第 87 回日本薬理学会年会（仙台）
PICK1 は CalcineurinB と結合し破骨細胞分化を促進する（口演）
○鎌野優弥，佐伯万騎男，江草　宏，矢谷博文，上崎善規

737. 2014 年 3 月 28 日　The 2nd Asian Congress on Pain (AAFPS 2014) (Taipei, Taiwan)
Cognitive distortion of pain in patients with chronic temporomandibular disorders（ポスター）
○ Ishigaki S, Fukuda S, Yatani H

738. 2014 年 4 月 19 日　第 5 回日本デジタル歯科学会学術大会 (大阪)
ポーラス／緻密の二層構造ジルコニアフレームの破壊荷重（ポスター）
○菅野　剛，中村隆志，若林一道，宇佐美博文，矢谷博文
最優秀ポスター賞

738. 2014 年 4 月 19 日　第 52 回日本顎口腔機能学会学術大会（岡山）
慢性筋痛を有する顎関節症患者における睡眠および概日リズム解析の試み（口演）
○宇野浩一郎，松下　登，高岡亮太，宮内鉄平，内田昌範，石垣尚一，矢谷博文

740. 2014 年 5 月 2 日　The 30th Annual Meeting of American Academy of Cosmetic Dentistry (Orlando, USA)
Fracture resistance on crowns containing a hybrid frame made of both porous and dense zirconia（口演）
○ Nakamura T, Sugano T, Wakabayashi K, Yatani H
American Academy of Cosmetic Dentistry Poster Award 1st place winner in the Junior Faculty Material Science Poster Category

741. 2014 年 5 月 8 日　The 7th World Congress World Institute of Pain (Maastricht, The Netherlands)
Time course study of postoperative pain after dental implant surgery（ポスター）
○ Ishigaki S, Ono K, Yatani H

742. 2014 年 5 月 23-25 日　第 123 回日本補綴歯科学会学術大会（仙台）
CBCT を用いたインプラント体頬側の軟組織および歯槽骨の形態変化の前向き評価（ポスター）
○上中彰浩，中野　環，加藤時規，矢谷博文

743. 2014 年 5 月 23-25 日　第 123 回日本補綴歯科学会学術大会（仙台）
双生児研究による睡眠時ブラキシズムの発現に関与する遺伝要因および環境要因の解析（口演）
○高岡亮太，宇野浩一郎，松下　登，福田修二，宮内鉄平，石垣尚一，矢谷博文
課題口演賞

744. 2014 年 5 月 23-25 日　第 123 回日本補綴歯科学会学術大会（仙台）
Id2 遺伝子欠失 iPS 細胞を用いた BMP-2 の骨芽細胞分化促進機構の解析（口演）
○裏口真也，江草　宏，矢谷博文
課題口演優秀賞

講演・発表

745. 2014 年 5 月 23-25 日　第 123 回日本補綴歯科学会学術大会（仙台）
錐体路刺激に対するレム睡眠中の開閉口筋活動（口演）
○東山　亮，加藤隆史，矢谷博文，吉田　篤

746. 2014 年 6 月 27 日　The 92nd General Session and Exhibition of the International Association for ental Research (IADR) (Cape Town, South Africa)
Fabrication of biomimetic bone graft materials using iPS cells（口演）
○ Yamamoto H, Okawa H, Yatani H, Egusa H
Pre-Proshetic Regenerative Science Award for Young Investigators, First Place

747. 2014 年 6 月 27 日　The 92nd General Session and Exhibition of the International Association for ental Research (IADR) (Cape Town, South Africa)
Vertical bone augmentation using iPS cell constructs with simvastatin（口演）
○ Okawa H, Kayashima H, Yamamoto H, Yatani H, Egusa H
Arthur R. Frechette New Investigator Award, Winner

748. 2014 年 7 月 4 日　The 9th Scientific Meeting of the Asian Academy of Osseointegration (Sapporo)
Changes in postoperative pain thresholds after dental implant surgery（ポスター）
○ Ishigaki S, Ono K, Yatani H

749. 2014 年 9 月 6-7 日　日本補綴歯科学会　関西支部，中国・四国支部合同学術大会（倉敷）
睡眠・覚醒状態および身体活動状態が顎関節症患者における慢性筋痛に及ぼす影響（ポスター）
○石垣尚一，宇野浩一郎，新谷　歩，矢谷博文

750. 2014 年 9 月 6-7 日　日本補綴歯科学会関西支部，中国・四国支部合同学術大会（倉敷）
CAD/CAM クラウンに適した支台歯形態の三次元的評価（口演）
○中川敬史，若林一道，宇佐美博文，高梨知宏，中村隆志，矢谷博文

751. 2014 年 9 月 6-7 日　日本補綴歯科学会　関西支部，中国・四国支部合同学術大会（倉敷）
体外設置式脈拍測定装置の試作（ポスター）
○辻阪亮子，瑞森崇弘，原木真吾，矢谷博文

752. 2014 年 9 月 13 日　第 44 回日本口腔インプラント学会学術大会（東京）
CBCT を用いたインプラント体頬側の軟組織および歯槽骨の経時的変化－埋入術式による差異－（口演）
○加藤時規，中野　環，上中彰浩，矢谷博文

753. 2014 年 9 月 13 日　第 44 回日本口腔インプラント学会学術大会（東京）
上顎臼歯部複数歯欠損におけるショートインプラントの埋入本数と補綴設計の違いが周囲骨に及ぼす力学的影響（ポスター）
○森脇大善，中野　環，山口　哲，小野真司，矢谷博文

754. 2014 年 9 月 13 日　第 44 回日本口腔インプラント学会学術大会（東京）
上顎前歯部においてアバットメント連結様式の違いが隣接するインプラント間の歯槽骨に及ぼす力学的影響（ポスター）
○松岡　隆，中野　環，山西康文，小野真司，矢谷博文

755. 2014 年 9 月 25 日　第 56 回歯科基礎医学会学術大会（福岡）
核初期化タンパク質複合体の分離と精製（口演）
○鎌野優弥，佐伯万騎男，矢谷博文，江草　宏

756. 2014 年 9 月 26 日　EAO 23rd Annual Scientific Meeting (Roma, Italy)
Comparison of short implant with bicortical anchorage and 13 mm length implant with sinus augmentation on bone stress distribution in maxilla（ポスター）
○Moriwaki H, Nakano T, Yamaguchi S, Yamanishi Y, Ono S, Kobayashi Y, Imazato S, Yatani H

757. 2014 年 9 月 27 日　第 56 回歯科基礎医学会学術大会 (福岡)
レム睡眠中の錐体路刺激に対する開口筋の応答特性（口演）
○東山　亮，加藤隆史，佐藤文彦，矢谷博文，吉田　篤

758. 2014 年 10 月 4 日　第 64 回日本歯科理工学会会学術講演会 (広島)
マイクロフォーカスＸ線ＣＴを用いた審美修復装置の三次元的適合評価法の開発（口演）
○岡　雄造，若林一道，佐々木淳一，中村隆志，今里　聡，矢谷博文

講演・発表

759. 2014 年 10 月 4 日　第 53 回日本顎口腔機能学会学術大会（東京）
顎関節症患者における慢性筋痛に睡眠および身体活動が及ぼす影響について（口演）
○宇野浩一郎，石垣尚一，新谷　歩，矢谷博文

760. 2014 年 10 月 31 日　Indonesia & Japan Prosthodontic Society Joint Meeting (Bali, Indonesia)
Development of an electrodeless system for measuring pulse rate during sleep（ポスター）
○ Mizumori T, Tsujisaka A, Haraki S, Kato T, Yatani H

761. 2014 年 10 月 31 日　Indonesia & Japan Prosthodontic Society Joint Meeting (Bali, Indonesia)
Computer simulation of adequate abutment tooth preparation for CAD/CAM crowns（ポスター）
○ Wakabayashi K, Nakagawa K, Carbajal J, Nakamura T, Yatani H

762. 2014 年 10 月 31 日　Indonesia & Japan Prosthodontic Society Joint Meeting (Bali, Indonesia)
Sleep condition and circadian rhythm in TMD patients with chronic myalgia: a pilot study（ポスター）
○ Uno K, Ishigaki S, Shintani A, Yatani H

763. 2014 年 10 月 31 日　Indonesia & Japan Prosthodontic Society Joint Meeting (Bali, Indonesia)
Comparison between Newly Developed Electrodeless System and　Polysomnography in the Detection of Increased Pulse Rate（ポスター）
○ Tsujisaka A, Mizumori T, Haraki S, Kato T, Yatani H

764. 2014 年 10 月 31 日　Indonesia & Japan Prosthodontic Society Joint Meeting (Bali, Indonesia)
Effects of implant-abutment connection type on inter-implant stress and abutment micromovements: in silico study（ポスター）
○ Matsuoka T, Nakano T, Yamaguchi S, Yamanishi Y, Ono S, Yatani H

765. 2014 年 10 月 31 日　Indonesia & Japan Prosthodontic Society Joint Meeting (Bali, Indonesia)
Factors affecting peri-implant tissue health status in partially edentulous patients: a cross-sectional study（ポスター）
○ Shimomoto T, Nakano T, Kobayashi Y, Ono S, Yatani H

766. 2014 年 11 月 22 日　第 25 回日本歯科審美学会学術大会（高松）
ハイスピードカメラを用いた CAD/CAM ハイブリッドレジンクラウン破壊時の動的挙動解析（ポスター）
○要　智子，若林一道，Carbajal, J., 中村隆志，矢谷博文

767. 2014 年 11 月 22 日　第 25 回日本歯科審美学会学術大会（高松）
直接レジンコア築造法における乾燥方法の違いがポスト孔象牙質接着に及ぼす影響（ポスター）
○岩下太一，峯　篤史，松本真理子，中谷早希，南野卓也，川口明日香，東　真未，矢谷博文

768. 2014 年 11 月 22 日　第 25 回日本歯科審美学会学術大会（高松）
シリカ添加ジルコニアの透光性（ポスター）
○中野芳郎，中村隆志，菅野　剛，宇佐美博文，若林一道，矢谷博文

769. 2014 年 12 月 12 日　第 33 回日本接着歯学会学術大会（兵庫）
直接法支台築造後ポストスペースの非破壊的観察　－光干渉断層装置（OCT）と X 線マイクロコンピュータ断層撮影装置（μCT）の比較－（口演）
○南野卓也，峯　篤史，松本真理子，岩下太一，中谷早希，川口明日香，東　真未，壁谷知茂，矢谷博文

770. 2015 年 3 月 11-14 日　The 93rd General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Boston, USA)
How Sleep and Physical Activity Affect Chronic Pain（ポスター）
○ Ishigaki S, Uno K, Shintani A, Yatani H

771. 2015 年 3 月 11-14 日　The 93rd General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Boston, USA)
Effects of ultrasonic cleaning and etching on CAD/CAM resin bonding（ポスター）
○ Kawaguchi A, Higashi M, Matsumoto M, Miura J, Takeshige F, Mine A, Yatani H

講演・発表

772. 2015 年 3 月 11-14 日　The 93rd General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Boston, USA)
Effects of sandblasting and/or silanization on CAD/CAM resin bonding（ポスター）
○ Higashi M, Kawaguchi A, Matsumoto M, Miura J, Takeshige F, Mine A, Yatani H

773. 2015 年 3 月 11-14 日　The 93rd General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Boston, USA)
Effects of Implant-Abutment Design and Inter-implant Distance on Inter-implant Stress（ポスター）
○ Matsuoka T, Nakano T, Yamanishi Y, Ono S, Moriwaki H, Yatani H

774. 2015 年 3 月 11-14 日　The 93rd General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Boston, USA)
Evaluation of peri-implant tissue health status affected by keratinized mucosa (口演)
○ Shimomoto T, Nakano T, Kobayashi Y, Ono S, Yatani H
Implantology Research Group Young Investigator Prize for Student Research finalist

775. 2015 年 3 月 22-25 日　World Congress on Sleep Medicine (Seoul, Korea)
Sleep architectures in young adults with a high number of rhythmic masticatory muscle activity（ポスター）
○ Haraki S, Nonoue M, Tsujisaka A, Uno K, Mikami A, Ishigaki S, Mizumori T, Yatani H, Yoshida A, Kato T

776. 2015 年 4 月 25-26 日　第 6 回日本デジタル歯科学会学術大会（福岡）
ハイスピードカメラを用いた CAD/CAM ハイブリッドレジンクラウン破壊時の動的挙動解析　－水中浸漬後の破壊様相に関する検討－（ポスター）
○要　智子，若林一道，Carbajal, J., 中村隆志，矢谷博文
最優秀ポスター賞

777. 2015 年 5 月 30-31 日　第 124 回日本補綴歯科学会学術大会（埼玉）
前歯部 CAD/CAM クラウンに適した支台歯形態の三次元的評価（口演）
○中川敬史，若林一道，中村隆志，矢谷博文
課題口演賞

778. 2015 年 5 月 30-31 日　第 124 回日本補綴歯科学会学術大会（埼玉）
象牙質接着における NaOCl とスルフィン酸塩処理　1 ステップシステムの長期接着能（一般口演）
○中谷早希，峯　篤史，松本真理子，岩下太一，南野卓也，川口明日香，東　真未，三浦治郎，矢谷博文

779. 2015 年 5 月 30-31 日　第 124 回日本補綴歯科学会学術大会（埼玉）
神経型α 7 ニコチン性アセチルコリン受容体は破骨細胞の分化調節に関与する（一般口演）
○盛林昭仁，山本治毅，鎌野優弥，萱島浩輝，江草　宏，矢谷博文

780. 2015 年 5 月 30-31 日　第 124 回日本補綴歯科学会学術大会（埼玉）
異なる埋入術式がインプラント体周囲軟組織および硬組織の経時的変化に与える影響（ポスター）
○加藤時規，中野　環，上中彰浩，藤田裕也，矢谷博文

781. 2015 年 5 月 30-31 日　第 124 回日本補綴歯科学会学術大会（埼玉）
一回法インプラントと二回法インプラントの違いが周囲骨に及ぼす力学的影響の検討（ポスター）
○荒木　悠，中野　環，小野真司，山西康文，森脇大善，矢谷博文

782. 2015 年 6 月 7 日　Sleep 2015 (Seattle, USA)
Antagonistic jaw muscle response to corticobulbar tract stimulation during REM sleep in guinea pigs（ポスター）
○ Higashiyama M, Kato T, Sato F, Yatani H, Yoshida A

783. 2015 年 6 月 26 日　第 142 回日本歯科保存学会学術大会（福岡）
新規チオリン酸エステルモノマー配合ボンディング材の象牙質接着性能（ポスター）
○松本真理子，川口明日香，東　真未，三浦治郎，峯　篤史，矢谷博文

784. 2015 年 7 月 3-5 日　European Prosthodontic Association (EPA) (Prague, Czech Republic)
Effect of Sleep and Physical Activity on Chronic Myalgia（ポスター）
Ishigaki S, Uno K, Shintani A, Yatani H

講演・発表

785. 2015 年 7 月 4-5 日　第 28 回日本顎関節学会総会・学術大会・第 20 回日本口腔顔面痛学会　共催学術大会（名古屋）
顎関節症患者における咀嚼筋の慢性痛が睡眠状態に及ぼす影響（ポスター）
○石垣尚一，宇野浩一郎，桑原俊也，高岡亮太，福田修二，矢谷博文
ポスター発表優秀賞

786. 2015 年 7 月 4-5 日　第 28 回日本顎関節学会総会・学術大会・第 20 回日本口腔顔面痛学会　共催学術大会（名古屋）
進行性下顎頭吸収（PCR）の片側症例の 1 例（ポスター）
○瑞森崇弘，矢谷博文

787. 2015 年 7 月 23 日　第 120 回大阪大学歯学会例会（大阪）
α 7 ニコチン性アセチルコリン受容体拮抗薬が骨代謝に及ぼす影響（口演）
○盛林昭仁，萱島浩輝，佐伯万騎男，江草　宏，矢谷博文

788. 2015 年 7 月 23 日　第 120 回大阪大学歯学会例会（大阪）
PKC inhibitor によるマウス骨髄由来間葉系幹細胞および iPS 細胞における骨芽細胞分化誘導能の検討（口演）
○松岡　秀，萱島浩輝，矢谷博文

789. 2015 年 7 月 31 日 -8 月 2 日　第 7 回日本臨床睡眠医学会（ISMSJ）学術大会（大阪）
一般若年成人におけるリズム性咀嚼筋活動の発生頻度と睡眠構築の関係（口演）
○原木真吾，野々上茂，辻阪亮子，宇野浩一郎，三上章良，石垣尚一，瑞森崇弘，矢谷博文，吉田　篤，加藤隆史

790. 2015 年 9 月 12 日　第 57 回　歯科基礎医学会学術大会（新潟）
iPS 細胞由来骨補填材料の開発（ポスター）
○山本治毅，萱島浩輝，矢谷博文，江草　宏

791. 2015 年 9 月 12 日　第 57 回　歯科基礎医学会学術大会（新潟）
シンバスタチンを用いた iPS 細胞凝集体による骨誘導能（ポスター）
○大川博子，河阪幸宏，新部邦透，矢谷博文，江草　宏

792. 2015 年 9 月 12 日　第 57 回歯科基礎医学会学術大会（新潟）
α 7 ニコチン性アセチルコリン受容体拮抗薬が骨代謝に及ぼす影響（ポスター）
○盛林昭仁，萱島浩輝，佐伯万騎男，江草　宏，矢谷博文

793. 2015 年 9 月 17-20 日　The 16th Meeting of the International College of Prosthodontists (Seoul, Korea)
Effects of ultrasonic/acid cleaning on the long-term CAD/CAM resin bonding（口演）
○ Kawaguchi A, Matsumoto M, Higashi M, Miura J, Minamino T, Kabetani T, Takeshige F, Mine A, Yatani H
平成 27 年度第 2 回博士課程学生海外派遣支援事業 (学長リーダーシップ枠) 採択

794. 2015 年 9 月 17-20 日　The 16th Meeting of the International College of Prosthodontists (Seoul, Korea)
Effects of sandblasting/silanization on the long-term CAD/CAM resin bonding（口演）
○ Higashi M, Matsumoto M, Kawaguchi A, Miura J, Minamino T, Kabetani T, Takeshige F, Mine A, Yatani H

795. 2015 年 9 月 17-20 日　The 16th Meeting of the International College of Prosthodontists (Seoul, Korea)
Influence of different implant operative procedures on esthetics and morphologic changes of peri-implant tissue
○ Kato T, Nakano T, Kaminaka A, Yatani H

796. 2015 年 9 月 17-20 日　The 16th Meeting of the International College of Prosthodontists (Seoul, Korea)
Effect of Chronic Myalgia in TMD Patients on Sleep Status（口演）
○ Kumashiro K, Ishigaki S, Senzaki Y, Yatani H

797. 2015 年 9 月 17-20 日　The 16th Meeting of the International College of Prosthodontists (Seoul, Korea)
Intentional tooth wear to cope with excessive occlusal force（ポスター）
○ Takaoka R, Ishigaki S, Kumashiro K, Senzaki Y, Yatani H

講演・発表

798. 2015 年 9 月 22 日　第 45 回日本口腔インプラント学会学術大会（岡山）
角化歯肉の存在がインプラント周囲組織に及ぼす影響（口演）
○下元拓哉，中野　環，小野真司，矢谷博文
優秀研究発表賞

799. 2015 年 9 月 22 日　第 45 回日本口腔インプラント学会学術大会（岡山）
iPS 細胞由来骨基質を利用した生体模倣骨補填材料の開発（ポスター）
○山本治毅，萱島浩輝，大川博子，裏口真也，矢谷博文，江草　宏
デンツプライ賞

800. 2015 年 9 月 22 日　第 45 回日本口腔インプラント学会学術大会（岡山）
iPS 細胞を用いたスキャフォールドフリー骨増生技術の開発（ポスター）
○大川博子，萱島浩輝，佐々木淳一，矢谷博文，江草　宏
デンツプライ賞

801. 2015 年 9 月 22 日　第 45 回日本口腔インプラント学会学術大会（岡山）
上顎前歯部におけるインプラント間距離と埋入深度の違いがインプラント間の歯槽骨に及ぼす力学的影響（ポスター）
○松岡　隆，中野　環，山西康文，小野真司，矢谷博文

802. 2015 年 9 月 22 日　第 45 回日本口腔インプラント学会学術大会（岡山）
インプラント体周囲組織の四次元評価法を用いた縦断研究　–顎骨データの重ねあわせの三次元的な精度評価 -（ポスター）
○藤田祐也，中野　環，上中彰浩，矢谷博文

803. 2015 年 10 月 31-11 月 1 日　第 55 回日本顎口腔機能学会学術大会（大阪）
高頻度 RMMA を有する若年被験者における呼吸イベントの発現特性（口演）
○辻阪亮子，原木真吾，瑞森崇弘，矢谷博文，吉田　篤，加藤隆史
優秀賞

804. 2015 年 10 月 31-11 月 1 日　第 55 回日本顎口腔機能学会学術大会（大阪）
睡眠の質の主観的評価と睡眠・覚醒状態との関連（口演）
○熊城圭祐，仙﨑勇輝，宇野浩一郎，高岡亮太，石垣尚一，矢谷博文

805. 2015 年 10 月 31-11 月 1 日　第 55 回日本顎口腔機能学会学術大会（大阪）
高頻度の RMMA を有する若年被験者における生理学的及び心理学的特性（口演）
○原木真吾，辻阪亮子，石垣尚一，瑞森崇弘，矢谷博文，吉田　篤，加藤隆史

806. 2015 年 10 月 31-11 月 1 日　第 55 回日本顎口腔機能学会学術大会（大阪）
睡眠中の錐体路電気刺激に対する顎筋の応答特性（口演）
○東山　亮，加藤隆史，矢野博之，矢谷博文，吉田　篤

807. 2015 年 11 月 6 日　Korean Academy of Esthetic Dentistry 2015 Fall Meeting（Seoul, Korea）
Influence of abutment tooth geometry on the accuracy of conventional and digital methods of obtaining dental impressions（口演）
○ Carbajal J, Wakabayashi K, Nakamura T, Yatani H
Poster Award

808. 2015 年 11 月 7-8 日　平成 27 年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会（兵庫）
顎関節症患者における咀嚼筋慢性痛の長期経過　第一報　長期経過に影響する因子の検討（口演）
○仙﨑勇輝，石垣尚一，熊城圭祐，宇野浩一郎，高岡亮太，松下　登，福田修二，奥田眞夫，新谷　歩，矢谷博文

809. 2015 年 11 月 7-8 日　平成 27 年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会（兵庫）
一回法インプラントと二回法インプラントの違いが周囲骨に及ぼす力学的影響の検討（口演）
○荒木　悠，中野　環，小野真司，山西康文，森脇大善，矢谷博文

810. 2015 年 11 月 7-8 日　平成 27 年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会（兵庫）
ミスト CVD 法によるジルコニア表面へのシリカ成膜（口演）
○岡村真弥，西田尚敬，中野芳郎，宇佐美博文，若林一道，中村隆志，矢谷博文

811. 2015 年 11 月 22-23 日　第 26 回日本歯科審美学会学術大会（東京）
ハイスピードカメラによる CAD/CAM ハイブリッドレジンクラウン破壊時の動的挙動解析－オールセラミッククラウンと比較して－（ポスター）
○要　智子，若林一道，塩見祥子，Carbajal J, 天羽康介，中村隆志，矢谷博文

講演・発表

812. 2015 年 11 月 22-23 日　第 26 回日本歯科審美学会学術大会（東京）
歯冠補綴装置の三次元適合評価へのマイクロフォーカスＸ線ＣＴの応用（ポスター）
○岡　雄造，若林一道，中野芳郎，岡村真弥，天羽康介，塩見祥子，中村隆志，矢谷博文

813. 2015 年 12 月 13 日　第 35 回日本口腔インプラント学会近畿・北陸支部学術大会（金沢）
Cone Beam CT を用いた天然歯唇側軟組織・歯槽骨の厚さの同一平面上における定量評価（口演）
○小林友幸，中野　環，上中彰浩，加藤時規，矢谷博文

814. 2015 年 12 月 20 日　第 34 回日本接着歯学会学術大会（東京）
CAD/CAM 冠用レジンに対する接着技法の探求〜第三報　唾液汚染による接着能低下とその解決法〜（ポスター）
○川口明日香，峯　篤史，松本真理子，田尻裕子，東　真未，壁谷知茂，南野卓也，
三浦治郎，矢谷博文
発表優秀賞（ポスター発表部門）

815. 2015 年 12 月 20 日　第 34 回日本接着歯学会学術大会（東京）
CAD/CAM 用レジン接着に関するシステマティックレビュー（口演）
○壁谷知茂，峯　篤史，松本真理子，今井　大，東　真未，川口明日香，中谷早希，
江崎良真，矢谷博文

816. 2016 年 4 月 16-17 日　第 67 回日本歯科理工学会学術講演会（博多）
低温劣化がシリカ添加高透光性ジルコニアの機械的性質に及ぼす影響（口演）
○中野芳郎，中村隆志，岡　雄造，宇佐美博文，西田尚敬，若林一道，関野　徹，矢谷博文

817. 2016 年 4 月 16-17 日　第 67 回日本歯科理工学会学術講演会（博多）
ツリウム添加イットリア系ジルコニアの発光特性（口演）
○岡村真弥，西田尚敬，中野芳郎，若林一道，中村隆志，関野　徹，矢谷博文

818. 2016 年 4 月 27-30 日　The 32th Annual Meeting of American Academy of Cosmetic Dentistry (Toronto, Canada)
Analysis of fracture behaviors of CAD/CAM hybrid resin molar crown restorations by means of high-speed camera (ポスター)

○ Wakabayashi K, Kaname T, Shiomi S, Carbajal J, Nakamura T, Yatani H
American Academy of Cosmetic Dentistry Poster Award 2nd place winner in the Junior Faculty Material Science Poster Category

819. 2016 年 6 月 22 日　The 94th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (Seoul, Korea)
Sleep profile in young subjects with rhythmic masticatory muscle activity (口演)
○ Haraki S, Nonoue M, Tsujisaka A, Mikami A, Ishigaki S, Mizumori T, Yatani H, Yoshida A, Kato T

820. 2016 年 7 月 2 日　第 35 回日本歯科医学教育学会学術大会（大阪）
大阪大学歯学部附属歯科技工士学校での歯冠修復技工学講義におけるチュートリアル演習とグループ学習（ポスター）
○瑞森崇弘，矢谷博文

821. 2016 年 7 月 9-10 日　第 125 回日本補綴歯科学会学術大会（金沢）
骨髄由来間葉系幹細胞および iPS 細胞の骨芽細胞分化における PKC 阻害剤の影響（口演）
○松岡 秀，萱島浩輝，盛林昭仁，山本治毅，江草　宏，矢谷博文

822. 2016 年 7 月 9-10 日　第 125 回日本補綴歯科学会学術大会（金沢）
根管象牙質接着におけるリン酸，次亜塩素酸塩とスルフィン酸塩処理の効果（口演）
○中谷早希，峯　篤史，壁谷知茂，川口明日香，田尻裕子，三浦治郎，松本真理子，矢谷博文
課題口演賞

823. 2016 年 7 月 9-10 日　第 125 回日本補綴歯科学会学術大会（金沢）
非破壊試験を用いた根管象牙質接着の新規評価法（ポスター）
○南野卓也，峯　篤史，東　真未，江崎良真，今井　大，岩下太一，松本真理子，矢谷博文
優秀ポスター賞（デンツプライシロナ賞）

824. 2016 年 7 月 9-10 日　第 125 回日本補綴歯科学会学術大会（金沢）
睡眠時ブラキシズムを有する被験者における呼吸イベント後のリズム性咀嚼筋活動発生に関連する生理学的要因の検討（口演）
○辻阪亮子，原木真吾，瑞森崇弘，矢谷博文，加藤隆史

講演・発表

825. 2016 年 7 月 9-10 日　第 125 回日本補綴歯科学会学術大会（金沢）
CAD/CAM ハイブリッドレジンを用いた大臼歯クラウン破折様相と破壊強度（口演）
○要　智子，若林一道，塩見祥子，Carbajal J，中村隆志，矢谷博文

826. 2016 年 7 月 9-10 日　第 125 回日本補綴歯科学会学術大会（金沢）
大阪大学歯学部附属歯科技工士学校におけるデジタルデンティストリー実習（ポスター）
○若林一道，町　博之，小松原崇，中村隆志，竹重文雄，矢谷博文
カボデンタル賞（教育部門賞）

827. 2016 年 7 月 9-10 日　第 125 回日本補綴歯科学会学術大会（金沢）
造成を伴う上顎前歯部インプラント治療における骨および軟組織獲得量の評価（口演）
○藤田祐也，中野　環，上中彰浩，加藤時規，矢谷博文

828. 2016 年 7 月 9-10 日　第 125 回日本補綴歯科学会学術大会（金沢）
角化粘膜の存在がインプラント周囲組織の健康状態に及ぼす影響（ポスター）
○下元拓哉，中野　環，小野真司，井上将樹，小林靖宜，矢谷博文
優秀ポスター賞（デンツプライシロナ賞）

829. 2016 年 7 月 17 日　第 29 回日本顎関節学会総会・学術大会 (神奈川)
顎関節症患者における疼痛の長期経過に影響する因子の検討（口演）
○仙崎勇輝，小石由紀子，森口大輔，宇野浩一郎，高岡亮太，桑原俊也，石垣尚一，矢谷博文

830. 2016 年 8 月 6 日　第 8 回日本睡眠臨床医学会（神戸）
若年睡眠時ブラキシズム患者における RMMA と呼吸イベントの発現関連性（ポスター）
○辻阪亮子，原木真吾，野々上茂，瑞森崇弘，三上章良，矢谷博文，吉田　篤，加藤隆史

831. 2016 年 8 月 6 日　第 8 回日本睡眠臨床医学会（神戸）
リズム性咀嚼筋運動の発生頻度の違いによる睡眠構築の特徴（ポスター）
○原木真吾，野々上茂，辻阪亮子，三上章良，石垣尚一，瑞森崇弘，矢谷博文，吉田　篤，加藤隆史

832. 2016 年 8 月 27-28 日　第 27 回日本歯科審美学会学術大会（札幌）
デジタルデンティストリーを指向した新規支台歯形態の検討（ポスター）
○ Carbajal J，若林一道，中村隆志，矢谷博文

833. 2016 年 8 月 27-28 日　第 27 回日本歯科審美学会学術大会（札幌）
希土類賦活によるジルコニアの蛍光特性および構成相への影響（ポスター）
○西田尚敬，関野　徹，岡村真弥，中村隆志，矢谷博文，山本一世

834. 2016 年 9 月 3-4 日　The 2nd Annual Meeting of International Academy for Digital Medicine (Busan, Korea)
Evaluation of fluorescent characteristics of dental zirconia(ポスター)
○ Okamura S, Nishida, H, Wakabayashi, K, Nakamura T, Sekino, T, Yatani H

835. 2016 年 9 月 3-4 日　The 2nd Annual Meeting of International Academy for Digital Medicine (Busan, Korea)
Influence on phase costittution and fluorescence characteristics of zirconia by rare earth-activation（ポスター）
○ Nishida H, Sekino T, Okamura S, Wakabayashi K, Nakamura T

836. 2016 年 9 月 3-4 日　The 2nd Annual Meeting of International Academy for Digital Medicine (Busan, Korea)
Effects of undercut-handling algorithms of the CAD software on the marginal and internal fit of dental restorations（ポスター）
○ Carbajal J, Wakabayashi K, Nakamura T, Yatani H

837. 2016 年 9 月 15-17 日　The 40th Annual Meeting of the European Prosthodontic Association (Halle, Germany)
Evaluation of Factors which affect the long-term prognosis of pain in painful TMD (口演)
○ Ishigaki S, Senzaki Y, Yatani H

838. 2016 年 9 月 15-17 日　The 40th Annual Meeting of the European Prosthodontic Association (Halle, Germany)
Non-destructive observation of resin core build-up techniques: Direct vs Indirect (ポスター)
○ Higashi M, Minamino T, Mine A, Ezaki R, Matsumoto M, Yatani H
大阪大学歯学会優秀海外発表大学院生奨励賞

講演・発表

839. 2016 年 9 月 15-17 日　The 40th Annual Meeting of the European Prosthodontic Association (Halle, Germany)
Influence of saliva contamination on bonding of CAD/CAM resin blocks –The 4th report–（ポスター）
○ Kawaguchi-Uemura A, Mine A, Tajiri Y, Hagino R, Kabetani T, Matsumoto M, Yatani H

840. 2016 年 9 月 15-17 日　The 40th Annual Meeting of the European Prosthodontic Association (Halle, Germany)
Effects of water preservation methods on the dentin bond durability（ポスター）
○ Tajiri Y, Mine A, Matsumoto M, Kawaguchi-Uemura A, Higashi M, Nakatani H, Takeshige H, Miura J, Nihei T, Yatani H

841. 2016 年 9 月 17-19 日　第 46 回日本口腔インプラント学会学術大会（名古屋）
審美領域におけるインプラント間歯槽骨の維持にアバットメント連結様式とインプラント間距離が及ぼす力学的影響（口演，優勝研究発表）
○松岡　隆，中野　環，山西康文，小野真司，矢谷博文

842. 2016 年 9 月 17-19 日　第 46 回日本口腔インプラント学会学術大会（名古屋）
コーンビーム CT で得られた三次元顎骨データ重ね合わせによる抜歯即時埋入前後の骨および軟組織の評価（口演）
○藤田祐也，中野　環，上中彰浩，加藤時規，矢谷博文

843. 2016 年 9 月 17-19 日　第 46 回日本口腔インプラント学会学術大会（名古屋）
純チタンとチタンジルコニウム合金のインプラント体材料の違いが周囲骨とインプラント構成要素に及ぼす力学的影響の検討（ポスター）
○荒木　悠，中野　環，小野真司，山西康文，森脇大善，松岡 隆，渡邊翔太，矢谷博文

844. 2016 年 9 月 24 日　International Congress on Orofacial Pain (Kanagawa)
MRI diagnosis of 1526 TMJs: disc displacements and osteoarthrosis（ポスター）
○ Takaoka R, Moriguchi D, Koishi Y, Senzaki Y, Uno K, Ishigaki S, Yatani H
The 16th Asian Academy of Craniomandibular Disorders Best Poster Award

845. 2016 年 10 月 1 日　第 57 回日本顎口腔機能学会学術大会（仙台）
慢性咀嚼筋痛障害と睡眠状態の関連（口演）
○森口大輔，小石由紀子，宇野浩一郎，石垣尚一，矢谷博文

846. 2016 年 10 月 1 日　第 57 回日本顎口腔機能学会学術大会（仙台）
慢性咀嚼筋痛障害と日中の身体活動量，眠気，ストレスの関連（口演）
○小石由紀子，森口大輔，宇野浩一郎，石垣尚一，矢谷博文

847. 2016 年 10 月 1 日　第 57 回日本顎口腔機能学会学術大会（仙台）
大学という研究機関を生かすには（口演）
○辻阪亮子，高岡亮太

848. 2016 年 10 月 8 日　第 59 回秋季日本歯周病学会学術大会（新潟）
視診と Cone Beam CT による天然歯歯肉と歯槽骨の厚さの評価（口演）
○小林友幸，中野　環，上中彰浩，加藤時規，藤田裕也，矢谷博文

849. 2016 年 10 月 8 日　第 59 回秋季日本歯周病学会学術大会（新潟）
多変量解析を用いたインプラント上部構造固定様式の違いがインプラント周囲組織健康状態に及ぼす影響の評価（口演）
○井上将樹，中野　環，小野真司，下元拓哉，矢谷博文

850. 2016 年 10 月 29-30 日　平成 28 年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会（大阪）
支台歯およびセメントの色調がマルチレイヤー型ジルコニアの色調に及ぼす影響（口演）
○塩見祥子，若林一道，岡村真弥，中野芳郎，中村隆志，矢谷博文

851. 2016 年 10 月 29-30 日　平成 28 年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会（大阪）
静荷重負荷によるジルコニアアバットメントのインプラント体連結部デザインの検討（口演）
○渡邊翔太，中野　環，小野真司，矢谷博文

852. 2016 年 10 月 29-30 日　平成 28 年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会（大阪）
CAD/CAM 冠用レジン接着技法の探究 －第五報　2 種のブロックにおける超音波洗浄の影響－（口演）
○萩野僚介，峯　篤史，上村（川口）明日香，東　真未，田尻裕子，壁谷知茂，中谷早希，松本真理子，矢谷博文

講演・発表

853. 2016 年 10 月 29-30 日　平成 28 年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会（大阪）
Acoustic Emission Technique を用いた根管象牙質接着の非破壊的評価（口演）
○江崎良真，峯　篤史，南野卓也，東　真未，上村（川口）明日香，今井　大，松本真理子，矢谷博文

854. 2016 年 11 月 9-10 日　アライアンス平成 28 年度若手研究交流会（札幌）
低温劣化を抑制した半透明ジルコニア系ナノ複合セラミックブロックの開発（ポスター）
○中野芳郎，岡村真弥 , 西田尚敬，中村隆志，若林一道，矢谷博文 , 関野　徹

855. 2016 年 11 月 13-15 日　The 14th Biennial Meeting of Asian Academy of Aesthetic dentistry & 1st MICD Global Symposium (Bangkok, Thailand)
Effects of reverse-preparation algorithms of the CAD software on the marginal and internal fit and tensile strength of dental restorations（ポスター）
○ Wakabayashi K, Carbajal J, Nakamura T, Yatani H

856. 2016 年 11 月 26-27 日　第 10 回三叉神経領域の感覚 - 運動統合機能研究会（長野）
睡眠中の錐体路電気刺激に対するリズミカルな顎運動の応答特性（口演）
○東山 亮，佐藤文彦，矢谷博文，吉田　篤，加藤隆史

857. 2016 年 11 月 26-27 日　第 10 回三叉神経領域の感覚 - 運動統合機能研究会（長野）
若年の睡眠時ブラキシズムにおける睡眠の生理学的特性（口演）
○原木真吾，野々上茂，辻阪亮子，三上章良，石垣尚一，瑞森崇弘，矢谷博文，吉田　篤，加藤隆史

858. 2016 年 12 月 3 日　第 35 回日本接着歯学会学術大会（札幌）
CAD/CAM 冠用レジンに対する接着技法の探求～第六報　ヒト唾液汚染後の接着能評価と表面分析および汚染除去法～（口演）
○上村（川口）明日香，峯　篤史，松本真理子，田尻裕子，萩野僚介，中谷早希，三浦治郎，矢谷博文
発表優秀賞 (口頭発表部門)

859. 2016 年 12 月 3 日　第 35 回日本接着歯学会学術大会（札幌）
直接法および間接法レジンコア築造における根管象牙質に対する接着能評価 - プッシュアウト試験と非破壊観察 -（ポスター）
○東　真未，南野卓也，峯　篤史，江崎良真，萩野僚介，今井　大，松本真理子，矢谷博文

860. 2016 年 12 月 3 日　第 35 回日本接着歯学会学術大会（札幌）
大阪大学歯学部附属病院口腔補綴科で装着された CAD 月 CAM レジン冠の後向きコホート研究（ポスター）
○壁谷知茂，峯　篤史，今井　大，萩野僚介，田尻裕子，松本真理子，南野卓也，中谷早希，矢谷博文
発表優秀賞 (ポスター発表部門)

861. 2016 年 12 月 18 日　第 36 回日本口腔インプラント学会近畿・北陸支部学術大会（富山）
欠損様式の違いがガイデッドサージェリーの正確性に及ぼす影響（口演）
○松村淳史，中野　環，上中彰浩，加藤時規，矢谷博文

862. 2016 年 12 月 18 日　Korean Academy of Esthetic Dentistry 2016 Fall Meeting (Seoul, Korea)
Effects of the cement and abutment tooth color on the shade of multilayered zirconia (ポスター)
○Wakabayashi K, Shiomi S, Amo K, Carbajal J, Okamura S, Nakano Y, Nakamura T, Yatani H

863. 2017 年 1 月 12 日　第 122 回大阪大学歯学会例会（大阪）
レジン支台築造に適したファイバーポスト表面処理方法の検討（口演）
○今井　大，峯　篤史，岩下太一，東　真未，江崎良真，中谷早希，南野卓也，三浦治郎，松本真理子，矢谷博文

864. 2017 年 1 月 11 日　第 123 回大阪大学歯学会 (大阪)
レジン支台築造に適したファイバーポスト表面処理方法の検討
○今井　大，峯　篤史，岩下太一，東　真未，江崎良真，中谷早希，南野卓也，三浦治郎，松本真理子，矢谷博文

865. 2017 年 2 月 17-20 日　The 18th International Symposium on Eco-material Processing and Design (Okinawa)
Preparation of dental zirconia material with fluorescent color of natural teeth
○ Nishida H, Nakamura T, Cho SH, Sekino T

講演・発表

866. 2017 年 3 月 16 日　Academy of Osseointegration 2017 Annual Meeting (Orlando, USA)
Cone-beam tomography evaluation of horizontal and vertical dimensional changes in buccal peri-implant alveolar bone and soft tissue: A 1-year prospective clinical study
○ Yamada S, Nakano T, Kaminaka A, Kato T, Fujita Y, Araki H, Kobayashi T, Matsumura A, Inoue M, Watanabe S, Mizuno K, Yatani H

867. 2017 年 3 月 22-25 日　The 95th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (San Francisco, USA)
First night effects on oromotor activities in sleep bruxism
○ Haraki S, Nonoue M, Tsujisaka A, Mikami A, Ishigaki S, Mizumori T, Yatani H, Yoshida A, Kato T

868. 2017 年 3 月 22-25 日　The 95th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (San Francisco, USA)
Nonspecific treatment effects on chronic pain in temporomandibular disorders
○ Ishigaki S, Senzaki Y, Yatani H

869. 2017 年 3 月 22-25 日　The 95th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (San Francisco, USA)
Effects of PKC inhibitor on osteogenic differentiation of stem cells
○ Matsuoka S, Kayashima H, Moribayashi A, Yamamoto H, Egusa H, Yatani H
Prosthodontics Research Group Pre-Prosthetic Regenerative Science Award for Young Investigators First Place

870. 2017 年 4 月 15-16 日　第 69 回日本歯科理工学会学術講演会 (東京)
Tm-Er 共添加ジルコニア蛍光体の発光特性
○西田尚敬，関野　徹，中村隆志，矢谷博文

871. 2017 年 4 月 15-16 日　第 69 回日本歯科理工学会学術講演会 (東京)
Tm3+ 賦活歯科用高透光性ジルコニアの特性評価
○岡村真弥，西田尚敬，中野芳郎，若林一道，中村隆志，関野　徹，矢谷博文

872. 2017 年 4 月 22-23 日　第 8 回日本デジタル歯科学会 (横浜)
マルチレイヤー型ジルコニアの厚さが色調に及ぼす影響
○塩見祥子，若林一道，岡村真弥，中野芳郎，中村隆志，矢谷博文

873. 2017 年 4 月 22-23 日　第 8 回日本デジタル歯科学会 (横浜)
逆テーパーを有する支台歯で製作した CAD/CAM クラウンの維持力に関する研究
○ Carbajal J，若林一道，中村隆志，矢谷博文
優秀ポスター賞（2 位）

874. 2017 年 6 月 3 日　National Symposium of Osteology Japan (Tokyo)
Horizontal dimensional changes of the facial bone and soft tissue following immediate implant placement with bone and connective tissue grafting in the maxillary anterior zone
○ Fujita Y, Nakano T, Ono S, Kaminaka A, Kato T, Yatani H

875. 2017 年 6 月 3-4 日　第 48 回日本色彩学会全国大会 (横浜)
審美歯科修復における光学的シミュレーションの解析　—第 1 報　各種審美歯科材料の BRDF･BTDF の算出—
○天羽康介，若林一道，中村隆志，矢谷博文

876. 2017 年 6 月 30-7 月 2 日　第 127 回日本補綴歯科学会学術大会 (横浜)
上顎右側中切歯欠損による審美障害を低侵襲補綴歯科治療により改善した一症例
○高岡亮太，石垣尚一，矢谷博文

877. 2017 年 6 月 30-7 月 2 日　第 127 回日本補綴歯科学会学術大会 (横浜)
低温劣化を抑制した高透光性ジルコニアの開発 (第 3 日目)
○中野芳郎，中村隆志，岡村真弥，塩見祥子，天羽康介，宇佐美博文，若林一道，矢谷博文

878. 2017 年 6 月 30-7 月 2 日　第 127 回日本補綴歯科学会学術大会 (横浜)
睡眠時ブラキシズムにおけるリズム性及び非リズム性咀嚼筋運動の相反性初夜効果
○原木真吾，野々上茂，辻阪亮子，三上章良，石垣尚一，瑞森崇弘，矢谷博文，吉田　篤，加藤隆史

講演・発表

879. 2017 年 6 月 30-7 月 2 日　第 127 回日本補綴歯科学会学術大会 (横浜)
垂直的骨量の不足した症例におけるインプラント体の選択に関する力学的検討
○荒木　悠，中野　環，小野真司，森脇大善，矢谷博文

880. 2017 年 6 月 30-7 月 2 日　第 127 回日本補綴歯科学会学術大会 (横浜)
α 7 ニコチン性アセチルコリン受容体が骨芽細胞分化に及ぼす影響 (第 2 日目)
○盛林昭仁，萱島浩輝，江草　宏，矢谷博文
課題口演優秀賞

881. 2017 年 7 月 6 日　第 124 回大阪大学歯学会 (大阪)
CAD/CAM 冠用レジンブロックに対する新規ハイブリッドレジンの接着能評価
○萩野僚介，峯　篤史，上村 (川口) 明日香，東　真未，壁谷知茂，田尻裕子，弓立真広，松本真理子，中谷早希，矢谷博文

882. 2017 年 7 月 28-29 日　第 36 回日本歯科医学教育学会学術大会 (松本)
クラウンブリッジ補綴学 PBL チュートリアル演習でのプレゼンテーション評価用ルーブリックの作成
○瑞森崇弘，矢谷博文

883. 2017 年 7 月 29-30 日　第 30 回日本顎関節学会総会・学術大会 (横浜)
MRI データを用いた顎関節内障と joint effusion の関連についての予備調査
○仙崎勇輝，高岡亮太，石垣尚一，桑原俊也，矢谷博文

884. 2017 年 7 月 31 日　第 42 回日本睡眠学会 (横浜)
睡眠時ブラキシズムの重症度の違いによる睡眠の特徴
○原木真吾，野々上茂，辻阪亮子，宇野浩一郎，三上章良，石垣尚一，瑞森崇弘，矢谷博文，吉田　篤，加藤隆史

885. 2017 年 09 月 14-16 日　The 10th World Congress of International Federation of Esthetic Dentistry (Toyama)
Effect of different sintering methods on the fracture resistance of monolithic zirconia crowns after aging
○ Nakano Y, Nakamura , Usami H, Miyamae M, Wakabayashi K, Yatani H
Poster presentation award (2nd place)

886. 2017 年 09 月 14-16 日　The 10th World Congress of International Federation of Esthetic Dentistry (Toyama)
Imparting fluorescence color of natural teeth to zirconia material by co-doping Tm-Er
○ Nishida H, Sekino T, Nakamura , Yatani H, Yamamoto K
Poster presentation award (1st place)

887. 2017 年 9 月 16 日　第 28 回日本歯科審美学会学術大会 (富山)
審美歯科修復における光学的シミュレーションの解析　—第 2 報　歯冠形態 CAD モデルを用いた光線追跡シミュレーション—
○天羽康介，若林一道，木林博之，酒井英樹，中村隆志，矢谷博文

888. 2017 年 9 月 16 日　第 28 回日本歯科審美学会学術大会 (富山)
マルチレイヤー型ジルコニアで作製した前歯部フルカントゥアジルコニアクラウンの色調
○塩見祥子，若林一道，大住雅之，岡村真弥，中野芳郎，中村隆志，矢谷博文

889. 2017 年 9 月 23-24 日　第 47 回日本口腔インプラント学会学術大会 (仙台)
上顎前歯部インプラント治療における結合組織移植術の周囲組織形態への影響の CBCT による定量評価
○小林友幸，中野　環，小野真司，上中彰浩，加藤時規，藤田祐也，松村淳史，矢谷博文

890. 2017 年 9 月 23-24 日　第 47 回日本口腔インプラント学会学術大会 (仙台)
インプラント上部構造固定様式の違いがインプラント周囲組織の健康状態に及ぼす影響の多変量解析
○井上将樹，中野　環，小野真司，下元拓哉，矢谷博文

891. 2017 年 9 月 23-24 日　第 47 回日本口腔インプラント学会学術大会 (仙台)
骨および軟組織造成術を併用した上顎前歯部インプラント治療における唇側組織の経時的定量評価
○藤田祐也，中野　環，小野真司，上中彰浩，加藤時規，小林友幸，矢谷博文
優秀研究発表賞

892. 2017 年 9 月 23-24 日　第 28 回日本咀嚼学会学術大会 (東京)
高齢者における食事提供形態の違いによる栄養素摂取量と咀嚼回数の関連
○橋本弘子，松野　陽，小川　彩，石垣尚一，谷口信子

講演・発表

893. 2017 年 9 月 29 日 -10 月 1 日　第 9 回 ISMSJ(金沢)
第一夜効果が睡眠時ブラキシズムにおける咀嚼筋活動の発現に与える影響 (第 2 日目)
○原木真吾，野々上茂，辻阪亮子，宇野浩一郎，三上章良，石垣尚一，瑞森崇弘，矢谷博文，吉田　篤，加藤隆史

894. 2017 年 9 月 29 日 -10 月 1 日　第 9 回 ISMSJ(金沢)
実験動物とヒトのノンレム睡眠時リズム性咀嚼筋活動の類似性 (第 2 日目)
○加藤隆史，豊田理沙，原木真吾，矢野博之，矢野浩司，東山亮，吉田　篤

895. 2017 年 10 月 6 日　the 26th European Association For Osseointegration Annual Scientific Meeting (Madrid, Spain)
Horizontal dimensional changes of the facial bone and soft tissue following immediate implant placement with bone and connective tissue grafting in the maxillary anterior zone
○ Fujita Y, Nakano T, Ono S, Kaminaka A, Kato T, Yatani H

896. 2017 年 10 月 7-11 日　World Sleep 2017 (Prague, Czech Republic)
Distinct first night effects for rhythmic and non-rhythmic masticatory muscle activities in young adults
○ Haraki S, Nonoue S, Tsujisaka A, Okura M, Mikami A, Ishigaki S, Mizumori T, Yatani H, Taniike M, Kato T

897. 2017 年 10 月 14-15 日　第 70 回日本歯科理工学会学術講演会 (新潟)
Tm3+ ・Er3+ 共添加歯科用高透光性ジルコニアの特性評価 (第 2 日目)
○岡村真弥，西田尚敬，中野芳郎，若林一道，中村隆志，関野　徹，矢谷博文

898. 2017 年 11 月 19 日　Korean Academy of Esthetic Dentistry 2017 Fall Meeting (Seoul, Korea)
In silico optical analysis of dental esthetic restorations -Evaluation of optical properties of dental materials-
○ Wakabayashi K, Amo K, Kibayashi H, Sakai H, Nakamura T, Yatani H
Poster presentation award (3rd place)

899. 2017 年 11 月 25 日　第 36 回日本接着歯学会学術大会（東京）
セルフアドヒーシブセメントの象牙質接着能に影響を及ぼす仮着材除去法の検討
○田尻裕子，峯　篤史，松本真理子，上村 (川口) 明日香，萩野僚介，岩下太一, 三浦治郎，中谷早希，矢谷博文

900. 2017 年 11 月 25 日　第 36 回日本接着歯学会学術大会（東京）
レジン支台築造におけるファイバーポスト前処理方法の検討　- 唾液汚染ならびに各種処理法の検討 -
○今井　大, 峯　篤史, 東　真未, 江崎良真, 弓立真広, 壁谷知茂, 松本真理子, 南野卓也, 矢谷博文

901. 2017 年 12 月 3 日　第 37 回日本口腔インプラント学会近畿・北陸支部学術大会（大津）
ジルコニアアバットメントのチタンベースの有無がインプラント構成要素に及ぼす力学的影響
○渡邊翔太，中野　環，小野真司，山西康文，矢谷博文

902. 2017 年 12 月 8-9 日　The 3rd Annual Meeting of International Academy for Digital Medicine (Berlin, Germany)
Retentive strength of CAD/CAM crowns fabricated on reverse tapered preparation
○ Wakabayashi K, Carbajal J, Waki T, Nakamura T, Yatani H
Poster presentation award (1st place)

903. 2018 年 1 月 20 日　平成 29 年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会 (京都)
インプラントガイデッドサージェリーにおける埋入誤差測定方法の検討
○松村淳史，中野　環，小野真司，藤田祐也，矢谷博文

904. 2018 年 4 月 14-15 日　第 9 回日本デジタル歯科学会学術大会 (岩手)
マルチレイヤー型ジルコニアで製作した前歯部フルカントゥアジルコニアクラウンの色調の比較
○塩見祥子，若林一道，大住雅之，岡村真弥，中野芳郎，中村隆志，矢谷博文

905. 2018 年 4 月 14-15 日　第 9 回日本デジタル歯科学会学術大会 (岩手)
Tm3+，Er3+ 共添加ジルコニアの蛍光性，物性評価
○岡村真弥，西田尚敬，中野芳郎，若林一道，中村隆志，関野　徹，矢谷博文

講演・発表

906. 2018 年 4 月 14-15 日　第 9 回日本デジタル歯科学会学術大会 (岩手)
審美歯科修復における光学的シミュレーション解析 - 第 3 報 歯冠形態モデルにおける光線経路解析 -
○天羽康介，若林一道，酒井英樹，木林博之，中村隆志，矢谷博文
最優秀ポスター賞

907. 2018 年 6 月 2-3 日　日本色彩学会第 49 回全国大会（大阪）
審美歯科修復における光学的シミュレーション解析 —第 4 報 シミュレーション結果と実測との比較—
○天羽康介，若林一道，酒井英樹，木林博之，中村隆志，矢谷博文
奨励賞

908. 2018 年 6 月 16-17 日　第 127 回日本補綴歯科学会学術大会 (岡山)
術前の唇側歯槽骨形態が抜歯即時インプラント治療後の唇側骨幅へ及ぼす影響
○水野圭一朗，中野　環，小野真司，加藤時規，藤田祐也，小林友幸，矢谷博文

909. 2018 年 6 月 16-17 日　第 127 回日本補綴歯科学会学術大会 (岡山)
プロテインキナーゼ C 阻害剤を用いた新規骨再生医療技術の開発
○松岡　秀，萱島浩輝，江草　宏，矢谷博文
課題口演優秀賞

910. 2018 年 6 月 16-17 日　第 127 回日本補綴歯科学会学術大会 (岡山)
上顎小臼歯欠損による審美障害をオールセラミック接着ブリッジにより改善した一症例
○高岡亮太，小石由紀子，森口大輔，石垣尚一，矢谷博文

911. 2018 年 6 月 16-17 日　第 127 回日本補綴歯科学会学術大会 (岡山)
唾液汚染が CAD/CAM 冠用レジンの接着能に及ぼす影響とその除去法の検討
○上村明日香，峯　篤史，田尻裕子，萩野僚介，松本真理子，中谷早希，南野卓也，三浦治郎，矢谷博文
課題口演優秀賞

912. 2018 年 6 月 16-17 日　第 127 回日本補綴歯科学会学術大会 (岡山)
3 次元デジタルデータを導入した CAD/CAM レジン冠失敗要因の先進的臨床統計解析
○壁谷知茂，峯　篤史，中谷早希，弓立真広，松本真理子，岩下太一，南野卓也，矢谷博文
課題口演優秀賞

913. 2018 年 6 月 16-17 日　第 127 回日本補綴歯科学会学術大会 (岡山)
レジン支台築造法の違いがヒト根管象牙質の接着能に与える影響
○東　真未，峯　篤史，南野卓也，今井　大，江崎良真，松本真理子，三浦治郎，中谷早希，矢谷博文

914. 2018 年 7 月 7-8 日　第 31 回日本顎関節学会総会・学術大会 / 第 23 回日本口腔顔面痛学会学術大会 / 第 33 回日本歯科心身医学会総会・学術大会（福岡）
MRI データを用いた joint effusion と関節円板の位置，動態および下顎頭骨変化との関連
○仙崎勇輝，高岡亮太，森口大輔，小石由紀子，林　暁雨，玉利秀樹，桑原俊也，石垣尚一，矢谷博文

915. 2018 年 7 月 7-8 日　第 31 回日本顎関節学会総会・学術大会 / 第 23 回日本口腔顔面痛学会学術大会 / 第 33 回日本歯科心身医学会総会・学術大会（福岡）
動的定量的温度感覚検査を用いた時間的加重によるワインドアップに熱刺激条件が及ぼす影響
○森口大輔，小石由紀子，林　暁雨，仙崎勇輝，高岡亮太，石垣尚一，矢谷博文

916. 2018 年 7 月 12 日　第 126 回大阪大学歯学会例会（大阪）
優秀研究奨励賞　受賞講演「Advanced Statistical Analyses to Reduce Inconsistency of Bond Strength Data.」
○南野卓也，峯　篤史，新谷　歩，東　真未，川口（上村）明日香，壁谷知茂，萩野僚介，今井　大，田尻裕子，松本真理子，矢谷博文
優秀研究奨励賞，優秀研究奨励賞（指導教員）

917. 2018 年 7 月 25-28 日　The 96th General Session & Exhibition of IADR/PER General Session (London, UK)
Development of A New Ecaluation Model for Extra-Vertical Bone Augmentation
○ Bando Y, Kayashima H, Matsuoka S, Tatsumi H, Eegusa H, Yatani H

918. 2018 年 7 月 25-28 日　The 96th General Session & Exhibition of IADR/PER General Session (London, UK)
Evaluation of Dentin Bonding in Different Resin-core Build-up Methods
○ Higashi M, Mine A, Minamino T, Imai D, Ezaki R, Nakatani H, Matsumoto M, Yatani H

講演・発表

919. 2018 年 7 月 27-28 日　第 37 回日本歯科教育学会学術大会 (郡山)
クラウンブリッジ補綴学 PBL チュートリアル演習での評価用ルーブリックの使用と学生アンケートによる改善
○瑞森崇弘，矢谷博文

920. 2018 年 8 月 2-4 日　The 43rd Annual Meeting of American Academy of Esthetic Dentistry (California, USA)
Fluorescence of translucent dental zirconia doped with Thulium
○ Nakamura T, Okamura S, Nishida H, Usami H, Nakano Y, Wakabayashi K, Sekino T, Yatani H
奨励賞

921. 2018 年 9 月 15-16 日　第 48 回日本口腔インプラント学会学術大会 (大阪)
前歯部インプラント治療に伴う結合組織移植術がインプラント周囲組織の形態に及ぼす影響
○小林友幸，中野　環，小野真司，上中彰浩，加藤時規，藤田裕也，松村淳史，矢谷博文
優秀研究発表賞

922. 2018 年 9 月 15-16 日　第 48 回日本口腔インプラント学会学術大会 (大阪)
インプラント埋入位置の違いを含めたインプラント周囲組織の健康状態に及ぼす因子の一般化方程式を用いた検討
○井上将樹，中野　環，小野真司，下元拓哉，鈴木　梓，矢谷博文

923. 2018 年 9 月 15-16 日　第 48 回日本口腔インプラント学会学術大会 (大阪)
インプラントガイデッドサージェリーにおいてインプラント埋入位置の誤差を生じる因子の検討
○松村淳史，中野　環，小野真司，上中彰浩，加藤時則，藤田祐也，小林友幸，矢谷博文

924. 2018 年 9 月 15-16 日　第 48 回日本口腔インプラント学会学術大会 (大阪)
チタンベースのデザインの違いがジルコニアアバットメントの強度に及ぼす力学的影響
○渡邊翔太，中野　環，小野真司，山西康文，松岡 隆，矢谷博文

925. 2018 年 9 月 29-30 日　第 29 回日本歯科審美学会学術大会 (埼玉)
新規 CAD/CAM 用ハイブリッドレジンブロック製作したクラウンの破壊強度 (ポスター)
○若林一道，工藤博貴，要　智子，中村隆志，矢谷博文
優秀ポスター発表賞

926. 2018 年 10 月 26-27 日　第 61 回秋季日本歯周病学会学術大会 (大阪)
インプラント唇側軟組織の存在がインプラント周囲歯槽骨および軟組織の長期安定に与える影響の検討
○山田周平，中野　環，小野真司，小林友幸，井上将樹，松村淳史，矢谷博文

927. 2018 年 11 月 11 日　第 37 回日本接着歯学会学術大会 (新潟)
新規化学重合型ボンディング材の象牙質接着能 〜被着面および材料の温度が長期接着能に与える影響〜
○弓立真広，峯　篤史，中谷早希，田尻裕子，萩野僚介，伴晋太朗，江崎良真，松本真理子，三浦治郎，東　真未，南野卓也，矢谷博文
発表優秀賞（口頭発表部門）

928. 2018 年 11 月 11 日　第 37 回日本接着歯学会学術大会 (新潟)
CAD/CAM 冠用レジン接着技法の探究〜 第十報　MMA 含有プライマー処理およびシラン処理がフィラー含有量の異なるレジンブロックの接着に及ぼす影響 〜
○萩野僚介，峯　篤史，三浦治郎，上村（川口）明日香，田尻裕子，弓立真広，伴晋太朗，今井　大，松本真理子，東　真未，中谷早希，南野卓也，矢谷博文
発表優秀賞（ポスター発表部門）

929. 2018 年 11 月 12 日　第 40 回バイオマテリアル学会学術大会 (神戸)
外側性の垂直的骨造成モデルを用いた新生骨の多面的評価
○畔堂佑樹，萱島浩輝，石本卓也，中野貴由，江草　宏，矢谷博文

930. 2018 年 12 月 1-2 日　平成 30 年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会（金沢）
動的定量的温度感覚検査における熱刺激条件が時間的荷重によるワインドアップ現象に及ぼす影響
○森口大輔，林　暁雨，小石由紀子，仙崎勇輝，高岡亮太，石垣尚一，矢谷博文

931. 2018 年 12 月 10-11 日　The 4th Annual MEETING of the International Academy for Digital Dental Medicine (Shanghai, China)
In silico optical analysis of dental esthetic restorations
○ Amo K, Wakabayashi K, Sakai H, Kibayashi H, Nakamura T, Yatani H

講演・発表

932. 2019 年 5 月 10-12 日　第 127 回日本補綴歯科学会学術大会 (札幌)
3 ユニットの接着および従来型ブリッジの予後に関する 15 年間の後向きコホート研究
○黒﨑陽子，吉田利正，峯　篤史，大野　彩，三野卓哉，逢坂　卓，中川晋輔，前川賢治，窪木拓男，矢谷博文，山下　敦

933. 2019 年 5 月 10-12 日　第 127 回日本補綴歯科学会学術大会 (札幌)
新規アコースティックエミッション法を活用した歯科検査装置の開発
○江崎良真，峯　篤史，南野卓也，東　真未，川口（上村）明日香，中谷早希，矢谷博文
優秀課題口演優秀賞

934. 2019 年 5 月 10-12 日　第 127 回日本補綴歯科学会学術大会 (札幌)
審美歯冠補綴装置の光学的シミュレーション解析
○天羽康介，若林一道，酒井英樹，木林博之，中村隆志，矢谷博文

935. 2019 年 5 月 10-12 日　第 127 回日本補綴歯科学会学術大会 (札幌)
補綴学的・外科学的要因がインプラント周囲組織へ及ぼす影響の多変量解析を用いた評価
○井上将樹，中野　環，小野真司，下元拓哉，松岡　隆，鈴木　梓，矢谷博文

936. 2019 年 5 月 10-12 日　第 127 回日本補綴歯科学会学術大会 (札幌)
2 夜連続のポリソムノグラフィ検査における睡眠時ブラキシズムの重症度診断の比較
○原木真吾，辻坂亮子，豊田理紗，石垣尚一，瑞森崇弘，矢谷博文，加藤隆史

937. 2019 年 5 月 10-12 日　第 127 回日本補綴歯科学会学術大会 (札幌)
MRI を用いた顎関節内障の三次元的評価　第一報：関節円板転移の三次元的分類
○高岡亮太，仙崎勇輝，林　暁雨，小石由紀子，森口大輔，鈴木英史，奥田眞夫，石垣尚一，矢谷博文

938. 2019 年 5 月 10-12 日　第 127 回日本補綴歯科学会学術大会 (札幌)
MRI を用いた顎関節内障の三次元的評価　第二報：joint effusion 像
○仙崎勇輝，高岡亮太，林　暁雨，小石由紀子，森口大輔，鈴木英史，奥田眞夫，石垣尚一，矢谷博文

939. 2019 年 6 月 6 日　The 13th International Symposium on Periodontics and Restorative Dentistry (Boston, MA, USA)
An analysis on the effect of soft tissue presence on temporal change of peri-implant labial soft/hard tissue
○ Yamada S, Nakano T, Ono S, Shimomoto T, Fujita Y, Kobayashi T, Yatani H
Poster presentation award – The third-place winner

940. 2019 年 6 月 21 日　The 97th General Session & Exhibition of IADR/PER (Vancouver, BC, Canada)
Flare-Up Reaction During Treatment of Dental Metal Allergy
○ Harada A, Yamada M, Ko N, Mine A, Yatani H, Egusa H

941. 2019 年 7 月 19-20 日　第 38 回日本歯科教育学会学術大会 (福岡)
クラウンブリッジ補綴学卒前臨床実習で OSCE 形式医療面接演習用模擬患者シナリオ作成プログラム
○瑞森崇弘，矢谷博文

942. 2019 年 7 月 25 日　第 128 回大阪大学歯学会例会（大阪）
サイズ制御を行って作製したマウス iPS 細胞スフェロイドの多面的評価
○巽　秀人，萱島浩輝，畔堂佑樹，江草　宏，三浦治郎，矢谷博文

943. 2019 年 7 月 25 日　第 128 回大阪大学歯学会例会（大阪）
外側性の垂直的骨造成モデルを用いた造成骨における新生骨の多面的評価
○畔堂佑樹，萱島浩輝，巽　秀人，中南友里，石本拓也，中野貴由，江草　宏，矢谷博文

944. 2019 年 7 月 27 日　第 6 回アジア顎関節学会：第 32 回日本顎関節学会総会・学術大会と併催（東京）
MR を用いた縦断研究による subchondral cyst の病態解明の予備調査
○小石由紀子，高岡亮太，仙崎勇輝，森口大輔，林　暁雨，久山晃太郎，玉利秀樹，桑原俊也，石垣尚一，矢谷博文

講演・発表

945. 2019 年 9 月 4-7 日　The 18th International College of Prosthodontics (Amsterdam, Netherlands)
Prosthodontic recovery of a patient with severe central incisors root resorption associated with impacted canines
○ Takaoka R, Yatani H, Koishi Y, Moriguchi D, Kuyama K, Ishigaki S

946. 2019 年 9 月 4-7 日　The 18th International College of Prosthodontics (Amsterdam, Netherlands)
Elucidation of pathophysiology with a longitudinal study of subchondral cyst utilizing MR images in TMD patients
○Koishi Y, Takaoka R, Moriguchi D, Lin X, Kuyama K, Kayashima H, Shimamoto H, Nakatani A, Uchiyama Y, Ishigaki S, Yatani H

947. 2019 年 9 月 20-22 日　第 49 回日本口腔インプラント学会学術大会（福岡）
ガイデッドインプラントサージェリーに生じるインプラント体埋入位置の誤差に影響を及ぼす因子の多変量解析を用いた検討
○松村淳史，中野　環，小野真司，藤田祐也，小林友幸，水野圭一朗，山田周平，矢谷博文
優秀研究発表賞

948. 2019 年 9 月 20-22 日　第 49 回日本口腔インプラント学会学術大会（福岡）
異なるインプラント体連結部デザインにおけるジルコニアアバットメントの破壊抵抗性
○渡邊翔太，中野　環，小野真司，山西康文，松岡　隆，Zhihao ZHAI，矢谷博文

949. 2019 年 9 月 20-22 日　第 49 回日本口腔インプラント学会学術大会（福岡）
上顎前歯部唇側歯槽骨に裂開が存在する症例における抜歯即時インプラント治療が唇側組織に及ぼす影響の検討
○水野圭一朗，中野　環，小野真司，藤田祐也，小林友幸，山田周平，矢谷博文

950. 2019 年 9 月 20-22 日　第 49 回日本口腔インプラント学会学術大会（福岡）
形態別にみたインプラント体唇側組織の経時的変化
○山田周平，中野　環，小野真司，藤田祐也，小林友幸，水野圭一朗，矢谷博文

951. 2019 年 9 月 28-29 日　第 38 回日本接着歯学会学術大会（名古屋）
大臼歯 CAD/CAM レジン冠に起こる早期トラブルは脱離である〜大阪大学歯学部附属病院口腔補綴科での全数後向きコホート研究〜
○伴晋太朗，峯　篤史，東　真未，弓立真広，今井　大，江崎良真，南野卓也，中谷早希，矢谷博文
発表優秀賞（ポスター発表部門）

952. 2019 年 9 月 28-29 日　第 38 回日本接着歯学会学術大会（名古屋）
MDP は接着阻害因子としての仮着材残留成分の除去に奏効する.
○山田（田尻）裕子，峯　篤史，上村（川口）明日香，萩野僚介，山中あずさ，三浦治郎，中谷早希，矢谷博文
発表優秀賞（口頭発表部門）

953. 2019年10月4-6日　第10回日本デジタル歯科学会　第5回国際デジタル歯科学会 (奈良)
口腔内スキャナを用いた歯肉縁下フィニッシュラインの計測手法の開発　第一報 フィニッシュラインの位置が計測精度に及ぼす影響
○西山貴浩 , 若林一道 , カルバハルジェイソン , 岡村真弥 , 中村隆志 , 矢谷博文

954. 2019年10月4-6日　第10回日本デジタル歯科学会　第5回国際デジタル歯科学会 (奈良)
Colorimetry of natural teeth and multi-layerd zirconia crowns using a spectral imaging device
○Konishi S, Wkabayashi K, Osumi M, Zhanyue W, Fangfang JI, Jeison C, Okamura S, Nakamura T, Yatani H
Poster presentation special award

955. 2019 年 10 月 19 日　The 19th Asian Academy of Orofacial Pain and Temporomandibular Disorders Scientific Meeting (Manilla, Philippines)
Clinical Evaluation of Dynamic Quantitative Sensory Testing for the Assessment of Central Sensitization
○ Moriguchi D, Ishigaki S, Yatani H, Lin X, Kuyama K, Koishi Y, Takaoka R
Poster presentation special award

講演・発表

956. 2019 年 10 月 26 日　第 63 回日本顎口腔機能学会学術大会 (横浜)
中枢性感作の評価における wind-up の臨床的有用性
○森口大輔，石垣尚一，矢谷博文
最優秀ポスター賞

957. 2019 年 11 月 9-10 日　第 39 回日本口腔インプラント学会近畿･北陸支部学術大会 (大阪)
上顎審美領域に埋入された隣接するインプラント間の硬組織および軟組織の評価
○佐藤　匠，中野　環，小野真司，矢谷博文

958. 2019 年 11 月 23 日　令和元年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会 (大阪)
CAD/CAM 冠用ハイブリッドレジンブロックの前歯部クラウンへの適用 - 第 1 報 クラウン破壊強度 -
○工藤博貴，若林一道，岡村真弥，天羽康介，小西祥子，田宮紳吾，中村隆志，矢谷博文

959. 2019 年 11 月 23 日　令和元年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会 (大阪)
角化粘膜がインプラント体頸部骨吸収に及ぼす影響
○鈴木 梓，中野　環，小野真司，下元拓哉，井上将樹，矢谷博文

960. 2019 年 11 月 25-26 日　第 41 回バイオマテリアル学会 (筑波)
サイズ制御したマウス iPS 細胞スフェロイドの分化誘導能の検討
○巽　秀人，萱島浩輝，畔堂佑樹，江草　宏，矢谷博文

961. 2019 年 11 月 25-26 日　第 41 回バイオマテリアル学会 (筑波)
サイズ制御したマウス iPS 細胞スフェロイドの分化誘導能の検討
○巽　秀人，萱島浩輝，畔堂佑樹，江草　宏，矢谷博文

962. 2019 年 11 月 25-26 日　第 41 回バイオマテリアル学会 (筑波)
外側性に行った垂直的造成骨の骨補填材間における骨質解析の比較
○畔堂佑樹，萱島浩輝，石本卓也，中野貴由，江草　宏，矢谷博文
優秀研究ポスター賞

963. 2019 年 11 月 30 日 -12 月 1 日　第 30 回日本歯科審美学会学術大会（東京）
大臼歯用新規 CAD/CAM ハイブリッドレジンブロックで製作したクラウンの破壊強度
○若林一道，工藤博貴，田宮紳吾，岡村真弥，脇　智典，中村隆志，矢谷博文

964. 2019 年 11 月 30 日 -12 月 1 日　第 30 回日本歯科審美学会学術大会（東京）
CAD/CAM 冠用ハイブリッドレジンブロックの前歯部クラウンへの適用 - 第 2 報 ブロックと支台歯の材質の違いによる色調の差について -
○工藤博貴，若林一道，岡村真弥，天羽康介，小西祥子，田宮紳吾，中村隆志，矢谷博文

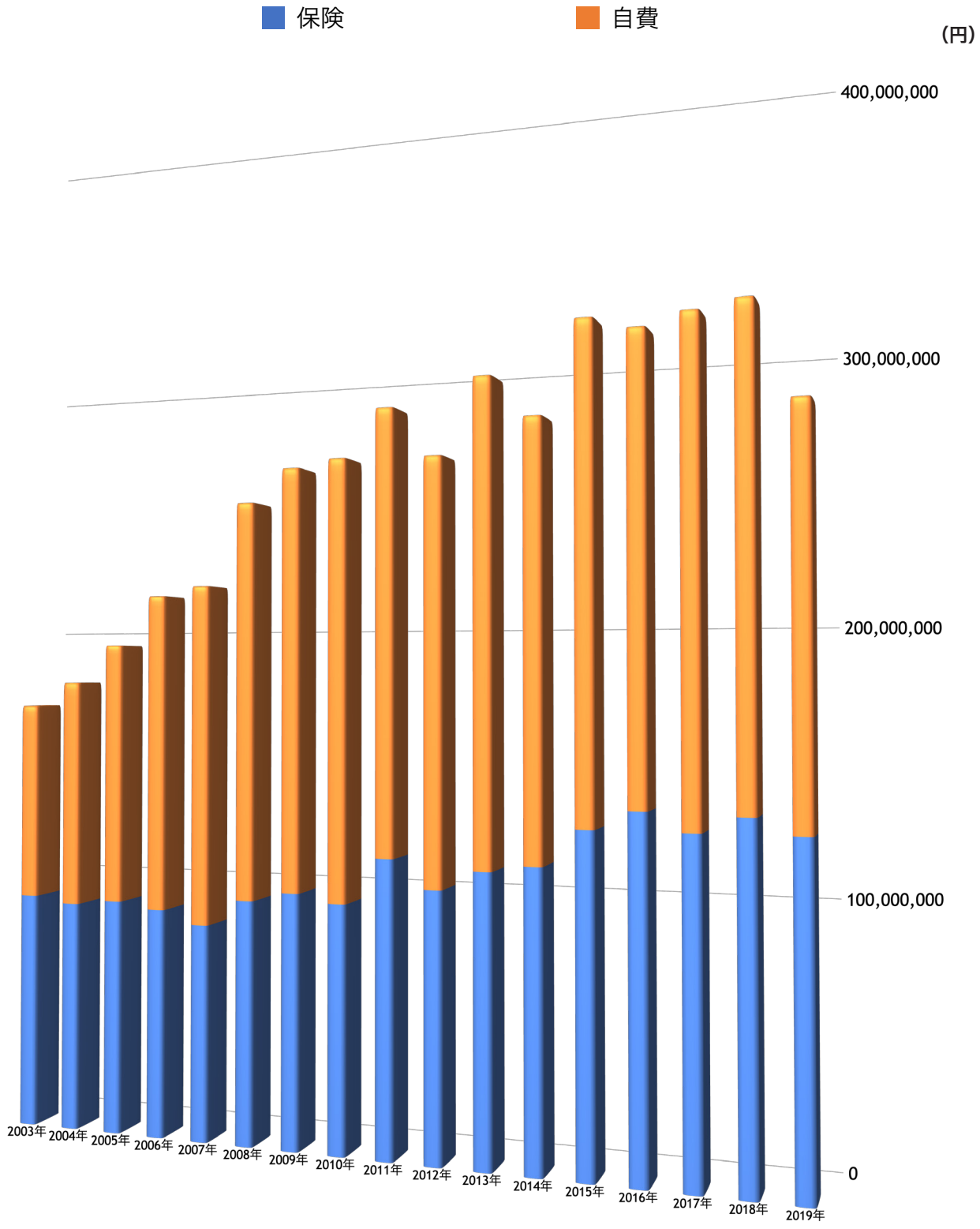
965. 2019 年 11 月 30 日 -12 月 1 日　第 30 回日本歯科審美学会学術大会（東京）
閉塞性睡眠時無呼吸症に対するマウスピース治療効果の定量的・三次元的評価
○岡本　啓，若林一道，大山龍男，赤尾　剛，宮前守寛，田宮紳吾，日野年澄，中村隆志

診療実績

診療実績

	保　険	自　費	総　計
2003年	92,437,310	77,234,928	169,672,238
2004年	89,991,680	89,194,300	179,185,980
2005年	91,847,960	102,372,725	194,220,685
2006年	89,356,800	124,413,909	213,770,709
2007年	84,321,300	133,091,543	217,412,843
2008年	94,701,807	154,997,706	249,699,513
2009年	98,479,490	164,044,246	262,523,736
2010年	95,317,768	170,213,254	265,531,022
2011年	113,180,240	170,831,416	284,011,656
2012年	102,386,718	162,542,609	264,929,327
2013年	109,955,964	183,968,155	293,924,119
2014年	112,584,059	165,326,161	277,910,220
2015年	126,625,609	186,123,327	312,748,936
2016年	133,791,907	174,263,928	308,055,835
2017年	126,625,609	186,123,327	312,748,936
2018年	132,854,017	183,081,094	315,935,111
2019年	126,776,740	152,867,214	279,643,954

（円）


保険
自費
(円)
400,000,000
300,000,000
200,000,000
100,000,000
0
2003年
2004年
2005年
2006年
2007年
2008年
2009年
2010年
2011年
2012年
2013年
2014年
2015年
2016年
2017年
2018年
2019年

編集後記

本書は 2020 年 3 月をもって退任されました矢谷博文教授の退任記念集として編まれました。矢谷教授の輝かしい功績の数々は本誌の読者の皆様でしたらご存知のことと思います。今回、「矢谷教授の業績の記録」としての本誌の役割を押さえながら、「矢谷イズム」という形のないものも何らかの形で残せればと願いながら編集に携わらせていただきました。

お忙しい中、ご寄稿くださった皆様、そして編集にご協力いただきました先生方に厚くお礼申し上げます。この退任誌が何年か経ち読み返した時にも心に残るものになれば幸いです。

最後となりましたが、本編集を我々に任せて頂きました矢谷教授に心より感謝申しあげます。

矢谷博文先生歯科補綴学第一教室教授ご退任を祝う会
実行委員会　代　表　　石垣尚一
副代表　　日野年澄